

ノ要領ヲ所管海軍鎮守府司令長官又ハ要港部司令官ニ通知スヘシ  
別表乙號

一 和泉灘及附近

播磨國明石川尻ト淡路國江崎トヲ結合シタル線及淡路國生石鼻ト紀伊國田倉崎トヲ結合シタル線以內ノ海岸及海面(海軍海圖第百六號參照)

●公有水面埋立及港灣工事施行

協議方ニ關スル件

昭和三年三月五日  
内務省訓第二三九號

公有水面埋立法施行令第三十二條及第三十三條並大正十一年五月内務省訓令第六號第二條ニ依リ本大臣ノ認可ヲ要スル事項ニシテ開港區域内ニ屬スルモノニ在リテハ爾今豫メ所轄稅關ト協議ヲ遂ケ其ノ願末ヲ認可稟請書ニ記載スヘシ

●公有土地水面使用規則

大正四年三月八日  
大阪府令第十五號

第一條 本則ニ於テ公有土地又ハ水面ト稱スルハ直接公用ニ供シタル道路、竝木敷、堤塘、曳船道、共同物揚場、河海、溜池、水路、溝渠ノ類及之ニ附屬セル土地又ハ水面ニシテ

〔大阪土〕

其ノ地盤官有ニ屬スルモノヲ謂フ

第二條 公有土地又ハ水面ヲ使用セントスル者ハ他ニ別段ノ規定アルモノヲ除クノ外本則ニ依リ大阪府知事ノ許可ヲ受クヘシ

第三條 願書ニハ使用箇所ノ種類、位置、面積、目的、使用方法、平面圖、斷面圖及丈量圖其ノ他必要ナル事項ヲ具備スヘシ

電柱建設ニ付テハ本柱、支柱、支線ニ區分シタル各本數其ノ他ノモノニシテ面積ニ依リ難キモノハ箇所數ヲ記載スヘシ

第四條 願書ニハ管内居住者ニシテ身元確實ナル保證人ノ連署ヲ要ス但シ公共團體ノ出願及電柱建設ノ爲メニスル出願ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第五條 使用期間ハ五年ヲ超ユルコトヲ得ス

使用期間ヲ更新シテ使用セントスルモノハ期間満了前ニ出願スヘシ其ノ期間ハ更新ノ時ヨリ五年ヲ超ユルコトヲ得ス

第六條 許可ヲ受ケタル者ハ指定ニ從ヒ使用料金を納付スヘシ

使用料金を徴收ニ關シテハ明治二十四年大阪府告示第五十六號官有土地森林原野收入金徴收規程ヲ準用ス

第七條 許可ヲ受ケタル者ハ使用期間中其ノ區域内ニ於ケル敷地及工作物修理保存ノ責ニ任ス使用ニ因リ區域外ニ涉リ公害ヲ生シ又ハ生セントスル虞アル場合ハ其ノ區域外ニ付

〔大阪土〕

テモ亦同シ

前項ニ依リ必要ナル設備又ハ其ノ方法ニ付テハ特ニ之ヲ指定スルコトアルヘシ

第八條 使用ノ方法ニ從フ設備ノ爲メ公有ノ土地又ハ工作物ニ附合セシメタル材料物件ハ無償ニテ公有ニ歸屬ス但シ收去ヲ許可シ又ハ之ヲ命シタルトキハ其ノ分離ノ時ヨリ許可ヲ受ケタル者ノ所有ニ歸ス

第九條 許可ニ因リテ生スル權利ハ私權ノ目的ト爲スコトヲ得ス但シ他人ニ權利換ヲ爲サムトスルトキハ双方連署ノ上出願スヘシ

許可ヲ受ケタル者ノ相續人ハ使用ニ關スル一切ノ權利義務ヲ繼承シタルモノト看做ス

第十條 許可ヲ受ケタル者又ハ其ノ保證人ノ住所若ハ氏名ノ異動ハ十四日以内ニ届出ツヘシ

第十一條 使用ノ區域、面積、目的若ハ方法ハ許可ヲ受ケスシテ之ヲ變更スルコトヲ得ス但シ單ニ面積ノ縮少ノミニ止マルモノハ其ノ旨届出ツヘシ

第十二條 左記各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ許可ヲ取消シ又ハ使用ヲ停止シ若ハ制限スルコトアルヘシ

一、法律命令ノ結果其ノ他公益上必要アリト認ムルトキ  
二、使用ニ因リ公害ヲ生シ又ハ生セントスル虞アリト認ムルトキ

三、許可ヲ受ケタルモノ本則ノ規定又ハ許可條件ニ違背シ

若ハ命令ニ因ル義務ヲ履行セサルトキ

第十三條 許可ヲ受ケタル者ハ本則ノ規定又ハ許可條件若ハ命令ニ因ル處分ヲ拒ミ又ハ其ノ結果生シタル費用及損害ニ付之方賠償ヲ請求スルコトヲ得ス

第十四條 使用期間満了ノトキ、許可ヲ取消シタルトキ又ハ使用期間中使用ヲ止メムトスルトキハ原形ニ回復シ其ノ旨届出ツヘシ但シ第八條ノ物件ハ許可又ハ命令ニ依ル場合ノ外之ヲ收去スルコトヲ得ス

前項ノ場合ニ於テ原形ヲ知ルコト能ハサルトキハ大阪府知事ノ認定スル所ニ依ルヘシ

第十五條 共同シテ許可ヲ受ケタル者ハ各連帶シテ其ノ責任ス保證人ニ付テモ亦同シ

第十六條 第二條ノ許可ヲ得スシテ公有土地又ハ水面ヲ使用シ若ハ第十一條本項ノ規定ニ違反シタル者ハ五十圓以下ノ罰金若ハ科料又ハ拘留ニ處ス

前項ノ處罰ハ使用料金を徴收ヲ妨ケス

第十七條 市町村ニ於テ其ノ費用ヲ負擔スル堤塘、道路又ハ竝木敷ニ關シテハ本則ヲ適用セス

第十八條 大阪府ノ管理ニ屬スル第一條記載ノ土地又ハ水面ハ地盤ノ官有ニ屬セサルモノト雖トモ仍本則ノ規定ヲ準用ス



附則

本則ハ大正四年四月一日ヨリ之ヲ施行ス  
明治三十五年四月大阪府令第四十五號ハ本則施行ノ日ヨリ之  
ヲ廢止ス  
本則施行ノ際現ニ使用期間中ニ在ルモノハ本則ニ依リ許可ヲ  
受ケタルモノト看做ス

川中使用願書式

明治二十七年六月十二日  
大阪府訓令第四十一號

郡役所 市役所 區役所 町村役場

改正 明治二十七年一月訓令第五九號

川中使用願書式

川中使用願者アルトキハ別紙書式ニ據ラシムヘシ

川中使用願

何那市町村大字(市ハ區町名)第何番(官民有)地先  
何川筋何(東西南北ノ類)側  
一 川中坪數何坪 但長何間出何間  
右川中材木浮場(又ハ何々ニ)使用致度候ニ付明治何  
年何月ヨリ來ル明治何年何月迄何ヶ月間使用ノ義御  
許可被成下度尤モ御許可ノ上ハ豫テ御示ノ請書ノ條

〔大阪土〕

項ハ堅ク遵守可仕候間特別ノ御詮議ヲ以テ使用御許  
可被成下度別紙圖面相添ヘ保證人連署ヲ以テ此段奉  
願候也

明治 年 月 日

住所

右願人 何 某印

(岡地ハ自分所有又ハ借地ト肩書ス  
ヘシ、若シ他人ノ所有又ハ借地ニ  
係ルモノハ其者ノ承諾連署ヲ要ス)

住所

保證人 何 某印

(保證人ハ大阪府管内在籍者ニシテ  
身元確實ナルモノニ限ル)

前書ノ通相違無之ニ付奥印候也

市町村長(大阪市ハ區長)何

某印

大阪府知事宛

〔大阪土〕

候也

年 月 日

住所

繼續人 何 某印

住所

親戚(又ハ退隱者)何 某印

住所

保證人 何 某印

前書ノ事實相違無之ニ付奥印候也

市町村長(大阪市ハ區長) 何 某印

大阪府知事宛

川中返上届

何那市町村大字(市ハ區町名)第何番(官民有)地先

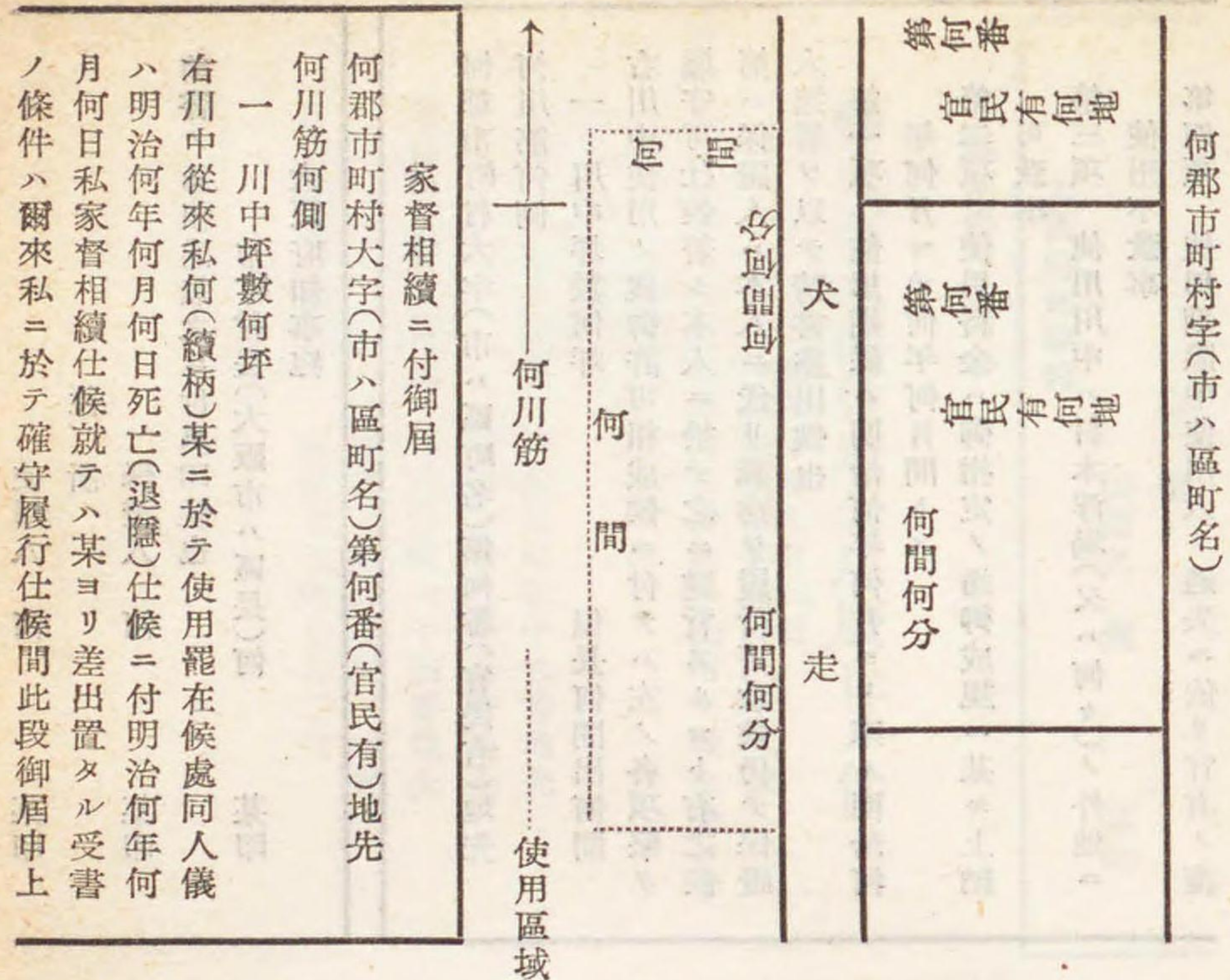
何川筋何側

一 川中坪數何坪

右川中何何ノ爲メ明治何年何月ヨリ同何年何月迄使  
用御許可ノ處今般都合(又ハ何月何日御命令ノ旨)ニ  
依リ返上仕候間此段御届申上候也

年 月 日

住所





住 所	住 所
使用人 何	使用人 何
某印	某印
保證人 何	保證人 何
某印	某印
前書ノ通相違無之ニ付奥印候也	前書ノ通相違無之ニ付奥印候也
市町村長(大阪市ハ區長)何	市町村長(大阪市ハ區長)何
某印	某印
大阪府知事宛	大阪府知事宛

請書

何郡市町村大字(市ハ區町名)第何番(官民有)地先  
何川筋何側  
一 川中坪數何坪 但長何間出何間  
右川中使用ノ儀御許可相成候ニ付テハ左ノ各項堅ク  
遵守可仕候若シ本人ニ於テ之ニ違背スルコト有之候  
節ハ保證人ハ本人ニ代リ義務ヲ履行可致候仍テ保證  
人連署ヲ以テ請書差出候也  
第一項 使用期限ハ明治何年何月ヨリ來ル明治何  
年何月マテ何年何月間トス  
第二項 使用料金ハ御指定ノ通御成規ニ基キ上納  
可致事  
第三項 使用川中ハ材木浮場(又ハ何々)ノ外他ニ  
使用不致事  
第四項 使用期限中使用者ノ過失ニ依リ官有ノ護

〔大阪土〕

岸等ニ損所ヲ生シタルトキハ其修理ハ使用人ニ  
於テ負擔可致事 但使用者ニ於テ修理等ヲ等閑  
ニ付シ候節ハ御廳ニ於テ修理御執行ノ上使用者  
ニ對シ其費用御追徴相成候トモ苦情申立間敷事  
第五項 使用期限内ト雖モ公害發顯若クハ公用ノ  
節ハ御命令次第何時ニテモ返上可仕ハ勿論之レ  
カ爲メ使用者ニ損害ヲ生スルモ賠償等請求不致事  
第六項 使用區域ハ二十四年大阪府告示第十三號  
ニ依リ目標建設シ決シテ區域外ニ涉リ使用致間  
敷事(二十七年訓令第五十九號ヲ以テ本項改正)  
第七項 第二、第三、第四、第六項ノ一項以上ニ  
違背シタルトキハ使用許可ノ指令御取消相成候  
トモ不苦候事  
第八項 使用箇所ノ物件ハ前項及第五項ノ場合ニ  
於テ御命令日限内ニ又ハ使用者ノ都合ニ依リ若  
クハ使用滿期ニ依リ返上ノ際ハ其返上以前ニ於  
テ速ニ撤却可致候萬一其日限内ニ撤却セサルト  
キハ御廳ニ於テ便宜御處分ノ上使用者ニ對シ其  
費用御追徴相成候共苦情申立間敷事  
明治 年 月 日

住 所	住 所
使用人 何	使用人 何
某印	某印

〔大阪土〕

住 所	住 所
保證人 何	保證人 何
某印	某印
大阪府知事宛	大阪府知事宛

圖面添付スヘシ

●公有水面敷地公用廢止ノ件

昭和十年七月三日  
大阪府告示第四百八十二號

昭和十年六月二十六日左記河川敷地ノ公用ヲ廢止シタリ

- 一、河川名 古川筋
- 一、公用廢止位置
  - 右岸 大阪市港區 自富島町五十九番地先
  - 至同 町八十七番地先
  - 左岸 同 市同區 自古川町三十四番地先
  - 至同 町六番地ノ一地先
- 一、公用廢止坪數 四百十七坪七合三勺







ニ屬スル等ノ指定ヲナシ又ハ縣負擔ノモノヲ市町村負擔ニ移シ市町村負擔ノモノヲ縣負擔ニ移スノ類等ヲ縣會ニ付議候向モ有之候處土木費ノ儀ハ明治十一年七月太政官無號達第十二ニ依リ府縣又ハ市町村ニ於テ負擔セサル可ラサルモノニシテ知事ハ府縣制施行ト否トニ係ラス自己ノ職權ヲ以テ適宜ニ其ノ所屬ヲ指定變更スルヲ得ルモノニ付右土木費負擔所屬ノ指定變更等ハ諮問案トシテ縣會ノ意見ヲ徵セララルハ格別議案トシテ縣會ニ付議スヘキモノニ非ス爲御心得此段依命及通牒候也

追テ本件ニ牴觸スル從前ノ指令通牒等ハ取消サレ候條此段申添候也

●土木費舊慣施行ノ件

明治十二年二月十二日  
太政官無號達

河港道路堤防橋梁費ノ儀ハ明治十七年七月第十九號布告ヲ以テ相定メ右施行順序ノ儀ハ同年十月二十二日號外達第十二項ノ通相達置候得共自然各地方ノ慣行ニヨリ右ニ準據シ難キ分ハ府縣會ノ決議ヲ以テ暫ク舊慣ニ因リ施行シ不苦候條此旨爲心得相達候事

●用排水幹線改良事業ノ施行ニ關スル件

大正十四年七月一日  
發甲第一九號內務省土木局長通牒  
各府縣知事宛

府縣ニ於テ國庫ノ補助ヲ受ケ用排水幹線改良事業ヲ施行セラ  
ルル場合其ノ工事カ現ニ府縣費支辨ニ屬セサル河川ニ關スル  
工事ナルトキハ明治十一年七月太政官無號達第十二ニ基キ定  
メラレタル河川ニ關スル費用ノ負擔所屬ヲ變更シ府縣費支辨  
河川ニ編入ヲ要スル義ニ有之且其ノ編入ニ付テハ大正十一年  
五月內務省訓令第六號第四條ニ依リ特ニ指定シタルモノヲ除  
クノ外同條ノ規定ニ依リ認可ヲ要スヘキ筋合ニ候處往々右手  
續ヲ履行スルコトナク工事ヲ施行セララル向モ有之候ニ付爲  
念

追テ右工事完了後其ノ河川ノ維持修繕ヲ市町村ヲシテ爲サ  
シムルヲ適當トスル場合ニハ更ニ市町村費支辨ニ移管方詮  
議相成候ハ支障無之候

〔大阪土〕

第八類 水道 下水道



〔大阪土〕

## 第八類 水道 下水道

### 第一章 水道

- 水道條例……………明治二三年二月法律九號……………一
- 私設水道布設許可申請取扱方心得……………大正二年五月内務省訓令一四號……………三
- 水道條例第三條及第四條ノ規定ニ依ル職權委任ノ件……………大正一〇年七月勅令三三一號……………三
- 水道條例第三條及第十一條但書ノ規定ニ依ル命令ニ關スル件……………大正一〇年七月内務省令二二號……………四

### 第二章 下水道

- 下水道法……………明治三三年三月法律三二號……………七
- 下水道法施行規則……………明治三四年七月内務省令二一號……………八
- 下水道築造認可申請方ノ件……………明治三四年七月内務省訓令一一號……………八







カ改良ヲ市町村ニ命スヘシ

第九條 市町村ハ工事落成又ハ改築修理ヲ了リタルトキハ地方官廳ニ届出監査ヲ受クヘシ

第十條 水道ノ給付ヲ受クル者ハ水質水量ノ検査ヲ市町村長ニ請求スルコトヲ得

第十一條 家屋内ノ給水用具及本支水管ヨリ之ニ接続スル細管ハ市町村ノ所定ニ從ヒ之ヲ設置シ其費用ハ水道ノ給水ヲ受クル家主ノ負擔トス但市町村ハ命令ノ定ムル所ニ依リ之ヲ設置シ其費用ヲ負擔スルコトヲ得

第十二條 市町村ノ水道掛ハ午前八時ヨリ午後五時迄ノ内ニ於テ家屋内ノ給水用具ヲ検査スルコトヲ得但水道掛ハ其證票ヲ携帯スヘシ

第十三條 市町村長ハ水道掛ノ報告ニ依リ家屋内ノ給水用具不完全ナリト認ムルトキハ相當ノ猶豫期日ヲ定メテ之ヲ修繕ヲ爲サシムヘシ

第十四條 家主ハ家屋内給水用具ノ設置又ハ其修繕ヲ了リタルトキハ市町村ノ水道掛ニ届出ツヘシ水道掛ハ速ニ之ヲ検査スヘシ

第十五條 市町村ハ一家専用ノ給水用具ヲ設クル能ハサルモノ、爲メニ共用給水器ヲ設クヘシ

〔大阪土〕

第十六條 市町村ハ消防用ノ爲メニ消火栓ヲ設置スヘシ消防用ニ消費シタル水ハ水料ヲ徴收スヘカラス

第十七條 市町村ニ非サル企業者ノ布設シタル水道ニシテ許可年限ノ滿了シタル後ハ關係市町村ハ水道布設ニ要シタル費用ヲ支拂ヒ其水道及水道經營ニ必要ナル土地物件ヲ買收スルコトヲ得但水道及水道經營ニ必要ナル土地物件ニシテ布設當時ニ比シ價格ヲ減損シタルモノアルトキハ水道布設ニ要シタル費用ヨリ之ヲ控除ス

第十八條 市町村ニ非サル企業者ノ布設シタル水道ニシテ關係市町村ニ於テ必要ト認ムルトキハ許可年限ノ滿了前ト雖之ヲ買收スルコトヲ得

第十九條 本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ依リ市町村又ハ市町村ニ非サル企業者ニ於テ履行スヘキ事項ヲ履行セス又ハ之ヲ履行スルモ充分ナラスト認ムルトキ又ハ必要ノ時限内ニ履行シ得スト認ムルトキハ地方長官ハ府縣費ヲ以テ之ヲ施行シ其費用ヲ市町村又ハ市町村ニ非サル企業者ヨリ

〔大阪土〕

之ヲ追徴スルコトヲ得

前項ノ處分ハ豫メ履行期間ヲ指定シテ戒告スルニ非サレハ之ヲ爲スコトヲ得但第八條ノ場合ハ此ノ限ニ在ラス

第二十條 市町村ニ非サル企業者ニシテ前條ノ費用ヲ指定ノ期限内ニ納付セザルトキハ國稅徵收ニ關スル規定ニ依リ之ヲ徵收ス

第二十一條 內務大臣ハ必要ト認ムルトキハ水道ノ布設ヲ市町村ニ命スルコトヲ得

第二十二條 內務大臣ノ職權ノ一部ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ地方長官ニ之ヲ委任スルコトヲ得

第二十三條 本法中市又ハ市長トアルハ北海道區制又ハ沖繩縣區制ニ依ル區ニ在リテハ區又ハ區長トシ府縣費トアルハ北海道ニ在リテハ北海道地方費トス

附則 (明治四十四年法律第四十三號)

第八條乃至第十六條ニ於テ市町村及市町村長トアルハ市町村以外ノ企業ニ係ル場合ニハ其ノ企業者ニ之ヲ準用ス  
本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●私設水道布設許可申請取扱方

心得 大正二年五月二十二日  
內務省訓令第十四號

廳府縣宛

私設水道布設許可申請取扱方心得左ノ通定ム

水道條例第三條ニ依リ市區町村ニ非サル企業者ヨリ水道布設許可申請書ヲ提出シタルトキハ地方長官ハ左ノ事項ヲ調査シ意見ヲ附シテ進達スヘシ但シ工事項法ニ付テハ水道布設許可ノ後更ニ實施設計ノ認可ヲ受ケシムル方針ヲ以テ其ノ大體ノ計畫ニ付調査スヘシ

- 一 給水區域市區町村ノ意見
- 二 給水區域市區町村ノ資力水道布設ニ堪ユルヤ否
- 三 水源タル河川池沼等ヨリ水利引用ニ關シ利害關係人ニ及ホス影響
- 四 企業ハ成功ノ見込アリヤ否
- 五 申請者ノ信用、資産ノ状態

●水道條例第三條及第四條ノ規定ニ依ル職權委任ノ件

大正十年七月十九日  
勅令第三百三十一號

- 水道條例第三條及第四條ノ規定ニ依ル內務大臣ノ職權中左ニ掲ケル事項ニ關スルモノハ地方長官ニ之ヲ委任ス
- 一 基本計畫ニ於ケル給水人口一萬ヲ超エサル水道ノ布設
- 二 前號ノ水道以外ノ水道ノ工費三萬圓ヲ超エサル改築又ハ増築但シ基本計畫ニ變更ナキモノニ限ル



附則

本令ハ大正十年八月一日ヨリ之ヲ施行ス

水道條例第三條及第十一條但書ノ規定ニ依ル命令ニ關スル件

大正十年七月十九日  
內務省令第二十二號

改正 昭和三年八月內務省令第二十九號

- 第一條 水道條例第三條ニ規定スル目論見書ニ添付スヘキ水质ノ試験表ニハ左ノ事項ニ關スル試験ノ結果ヲ記載スヘシ
- 一 色及清濁
  - 二 臭味
  - 三 沈滓
  - 四 反應
  - 五 亞硝酸
  - 六 アムモニア
  - 七 過マンガン酸カリウム消費量
  - 八 クロール
  - 九 硝酸
  - 十 硬度
  - 十一 蒸發殘渣
  - 十二 細菌聚落數

〔大阪土〕

前項各號ニ掲グルモノノ外異常成分混在ノ疑アルトキハ特ニ其ノ試験ノ結果ヲ記載スヘシ

第二條 水道條例第三條ニ規定スル目論見書ニハ工事方法ニ關スル左ノ圖面及書類ヲ添付スヘシ

- 一 實測平面圖 縮尺六千分一以上
- 二 實測縱斷面圖 縮尺長六千分一以上高二百分一以上但シ配水管ニ限リ本圖ヲ省略スルコトヲ得
- 三 取水口、取水管又ハ取水渠、隧道、沈砂池、貯水池、堰堤、餘水路、排水管又ハ排泥渠、送水管又ハ送水渠、沈澱池、濾水池、殺菌裝置、配水池、配水塔、唧水場、量水室、配水管又ハ配水渠、橋梁、伏越等水道設備ノ構造ニ關スル圖面其ノ他必要ナル細分圖 縮尺百分一以上
- 四 取水量決定ノ理由書
- 五 一位代價表
- 六 工費計算書
- 七 計畫説明書

第三條 實測平面圖ニハ都市區町村ノ名稱及境界、道路、河川、視形線其ノ他地形ヲ表スニ必要ナルモノ、取水口、取水管又ハ取水渠、隧道、沈砂池、貯水池、堰堤、餘水路、排水管又ハ排泥渠、送水管又ハ送水渠、沈澱池、濾水池、殺菌裝置、配水池、配水塔、唧水場、量水室、配水管又ハ配水渠、橋梁、伏越、排氣弁、消火栓、制水弁、配水區劃

〔大阪土〕

等ヲ記載スヘシ但シ管又ハ渠ニ付其ノ徑又ハ幅員ノ異ナルモノハ適宜ノ符號ヲ以テ之ヲ區別スヘシ

第四條 實測縱斷面圖ニハ地盤高、計畫線ノ高低、取水管送水管及配水管ノ大サ勾配、動水勾配線、水平距離、水源貯水池沈澱池濾水池唧水場配水池配水塔量水室等ノ標高並其ノ水位、排氣弁排泥管又ハ排泥渠橋梁及伏越ノ位置等ヲ記載スヘシ

第五條 第二條第三號ニ規定スル水道設備ノ構造ニ關スル圖面ニハ地盤線及斷面其ノ他構造ヲ表スニ必要ナル事項ヲ記載スヘシ

第六條 取水量決定ノ理由書ニハ水源ノ狀態、湧水量既設水利事業又ハ灌溉ニ必要ナル分水量及消火用其ノ他給水量(各設備ノ設計ノ基礎トナルヘキ水量)法定ノ理由ヲ記載スヘシ

貯水池又ハ調整池ヲ設クルモノニ在リテハ其ノ容量流域ノ面積及狀況、雨量觀測表等計畫ノ基礎トナルヘキ事項ヲ記載スヘシ

第七條 計畫説明書ニハ施工箇所ノ地形及地質、給水區域、現住人口及將來増殖スヘキ豫定人口、基本計畫給水人口、豫定給水人口、給水量、清淨方法、配水方法、配水管線選定ノ理由、管渠ノ斷面及水壓ノ計算方法、各種構造物設計ノ根據其ノ他水道計畫ニ關スル必要ナル事項ヲ記載スヘシ

第八條 地方長官ニ於テ大正十年七月勅令第三百三十一號各

第八類 水道 下水道 第一章 水道

號ニ掲グル事項ノ認可又ハ許可ヲ爲ス場合ニハ水道條例第三條第一項第三、第五及第六並本令第二條第二號乃至第七號ニ規定スル事項ヲ省略セシムルコトヲ得

第九條 市町村ハ左ノ各號ノ施設ヲ爲シ其ノ費用ヲ負擔スルコトヲ得

- 一 本支水管ヨリ家屋内ノ給水用具ニ接続スル細管ニシテ公道ノ地下ニ屬スル部分
- 二 衛生上特ニ必要アリト認め設置スル家屋内ノ給水用具及本支水管ヨリ之ニ接続スル細管

前項ノ規定ハ市町村ニ非サル企業者ニ之ヲ準用ス

附則

本令ハ大正十年八月一日ヨリ之ヲ施行ス



## 第二章 下水道

### ●下水道法

明治三十三年三月七日  
法律第三十二號

〔大阪土〕

**第一條** 本法ニ於テ下水道ト稱スルハ土地ノ清潔ヲ保持スル爲汚雨水疏通ノ目的ヲ以テ布設スル排水管其ノ他ノ排水線路及其ノ附屬装置ヲ謂フ

**第二條** 本法ニ於テ築造ト稱スルハ新築改築及増築ヲ包含ス

**第三條** 市ニ於テ下水道ヲ築造セムトスルトキハ其ノ設計工費ノ收支豫算及起工竣竣工ノ期限ヲ定メ内務大臣ノ認可ヲ受ケヘシ但シ命令ヲ以テ定ムル種類ノ改築又ハ増築工事ニ關シテハ此ノ限ニ在ラス

**第四條** 下水道ヲ設ケタル地ニ於テハ命令ノ定ムル所ニ依リ市又ハ土地ノ所有者使用者若ハ占有者ハ汚雨水ヲ下水道ニ疏通スル爲必要ナル施設ヲ爲シ及之ヲ管理スルノ義務ヲ負フ

**第五條** 市ニ於テ前項ノ施設ヲ爲シ及之ヲ管理スル場合ニ於テハ市條例ノ定ムル所ニ依リ其ノ費用ヲ土地ノ所有者使用者又ハ占有者ヨリ徴收スルコトヲ得

**第六條** 前條ノ場合ニ於テ甲地ノ汚雨水ヲ疏通スル爲必要アルトキハ乙地ニ汚雨水ヲ通過セシメ又ハ乙地ノ汚雨水ヲ通過セシムル爲設ケタル工作物ヲ使用スルコトヲ得但

第八類 水道 下水道 第二章 下水道

シ乙地ノ爲ニ損害最少キ場所及方法ヲ選ムヘシ  
前項ニ依リ他人ノ工作物ヲ使用スル者ハ其ノ利益ヲ受クル割合ニ應ジテ工作物ノ施設及管理ノ費用ヲ負擔スヘシ

**第七條** 下水道ヲ築造シ若ハ之ヲ管理シ又ハ第三條ノ施設ヲ爲シ若ハ之ヲ管理スル爲必要アルトキハ他人ノ土地ヲ使用スルコトヲ得但シ之方爲他人ノ受ケタル損害ニ對シ償金ヲ拂フコトヲ要ス

**第八條** 當該吏員ハ下水道又ハ第三條ノ施設ノ實況ヲ監視スル爲其ノ事由ヲ告知シテ私人ノ土地ニ立入ルコトヲ得

**第九條** 下水道ノ用地ニ必要ナル國有ノ土地ハ之ヲ市ニ讓與シ又ハ無償ニテ使用セシムルコトヲ得

**第十條** 本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ依リ私人ニ於テ履行スヘキ事項ヲ履行セス又ハ之ヲ履行スルモ充分ナラスト認ムルトキハ當該吏員ニ於テ之ヲ施行シ其ノ費用ハ市ニ於テ之ヲ支辨スヘシ

**第十一條** 前項ノ處分ハ豫メ履行期間ヲ指定シテ戒告スルニ非サレハ之ヲ爲スコトヲ得但シ必要ノ時限内ニ履行シ得スト認ムルトキハ此ノ限ニ在ラス

**第十二條** 前條ノ處分ヲ爲シタルトキハ市ハ市税ノ例ニ依リ其ノ費用ヲ義務者ヨリ徴收スルコトヲ得

**第十三條** 市ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ町村ノ委託ヲ受ケ町村ノ全部又ハ一部ノ爲ニ其ノ下水道ヲ築造スルコトヲ得



第八類 水道 下水道 第二章 下水道

第十一條 内務大臣ハ必要ト認ムルトキハ下水道ノ築造ヲ市ニ命スルコトヲ得

附則

第十二條 本法ハ明治三十三年四月一日ヨリ之ヲ施行ス  
第十三條 本法ハ東京市區改正ニ關スル規定ノ效力ヲ妨クス  
第十四條 本法ノ規定ハ之ヲ區町村ニ準用ス

●下水道法施行規則

明治三十四年七月十日  
内務省令第二十一號

改正 大正六年一〇月内務省令第一三號

- 第一條 土地ノ所有者使用者又ハ占有者ハ左ノ區分ニ依リ下水道法第三條ノ施設ヲ爲シ及之ヲ管理スルノ義務ヲ負フ但シ本則第二條ノ場合ニ於テハ此ノ限ニ在ラス
- 一 建物アル土地ニアリテハ之カ築造及修繕ハ其ノ建物ノ所有者
- 二 建物ナキ土地ニアリテハ之カ築造及修繕ハ其ノ土地ノ所有者
- 三 建物ノ有無ニ拘ハラズ之カ掃除及浚渫ハ土地ノ占有者
- 第二條 市ハ下水道法第三條ノ施設ニシテ公道ニ屬スル部分ヲ築造シ及之ヲ管理スルノ義務ヲ負フ

〔大阪土〕

- 外ニ屬スル部分ヲ築造シ又ハ之ヲ管理スルコトヲ得
- 第三條 市ハ下水道ノ改築又ハ増築工事ニシテ工費壹萬圓未満ノモノニ關シテハ下水道法第二條ノ認可ヲ受クルコトヲ要セス
- 第四條 當該吏員下水道法第六條ニ依リ私人ノ土地ニ立入ル場合ニ關シテハ汚物掃除法施行規則第十二條ノ規定ヲ準用ス
- 第五條 下水道法第八條第二項ノ戒告及第九條ノ費用徴收ニ關シテハ汚物掃除法施行規則第十三條及第十四條ノ規定ヲ準用ス
- 第六條 下水道ニ關シテハ汚物掃除法施行規則第四條第三項及第七條ノ規定ヲ準用ス
- 下水道及下水道法第三條ノ施設ニ關シテハ汚物掃除法施行規則第十五條ノ規定ヲ準用ス
- 第七條 東京市及八王子市ニ在リテハ地方長官ノ職務ハ警視總監及東京府知事之ヲ行フ

●下水道築造認可申請方ノ件

明治三十四年七月十日  
内務省訓令第十一號

廳府縣宛

下水道法第二條ニ依リ下水道築造ノ認可ヲ申請セムトスル

〔大阪土〕

- キハ左ノ規定ニ從ヒ圖面及書類ヲ調製添付セシムヘシ
- 第一條 申請書ニ添付スヘキ圖面及書類ハ左ノ如シ
- 一 實測平面圖 縮尺二千五百分一以上
- 二 實測縱斷面圖 縮尺長二千五百分一以上高百分一以上
- 三 排水管及排水渠ノ斷面圖 縮尺五十
- 四 人孔、燈孔、通風器、防臭瓣裝置、排水唧筒、沈澱池、濾過池ノ構造ニ關スル圖面其ノ他必要ナル細分圖 縮尺五十
- 分一
- 五 一位代價表
- 六 工費計算書
- 七 計畫說明書
- 八 下水道管理ニ關スル規程
- 九 歳入出豫算書
- 十 起工及竣工年月日
- 第二條 實測平面圖ニハ市町村界、市町村名、街路、河川、視形線其ノ他地形ヲ顯ハスニ必要ナルモノ、排水區劃、沈澱池、濾過池、排出地、排水管、排水渠、人孔、燈孔等ヲ詳記スヘシ但シ排水管排水渠ノ管徑幅員ノ異ナルモノハ適宜ノ符號ヲ以テ區別スヘシ
- 第三條 實測縱斷面圖ニハ計畫線ノ高低、排水管排水渠ノ勾配、水平距離、河川ノ水位、海面ノ干満潮面等總テ必要ナルモノヲ詳記スヘシ

第八類 水道 下水道 第二章 下水道

- ルモノヲ詳記スヘシ
- 第四條 人孔、燈孔等ノ構造圖ハ平面、斷面其ノ他構造ヲ顯ハスニ必要ナルモノヲ調製スヘシ
- 第五條 一位代價表ニハ切取、埋立、石垣、「コンクリート」、「モルタル」等各種共其ノ一位トナスヘキモノヲ選ミ一位ニ付テ必要ナル材料、人夫等ノ員數及代價賃金ヲ算シ摘要欄ヲ設ケ單價ノ基リ理由ヲ詳記スヘシ
- 第六條 工費計算書ニハ各種工事各部分毎ニ計算ヲ記スヘシ
- 第七條 計畫說明書ニハ下水道築造ノ必要ナル理由、地形（接壤地ヲモ含ム）地質、排水スヘキ地域及各排水區劃ノ面積、其ノ地域及各區劃ノ現在人口及將來増殖スヘキ豫定人口、雨水及汚水ノ量、排除方法、幹線撰定ノ理由、排水管及排水渠ノ斷面計算、洗滌及通風ノ裝置、汚水最後ノ處分法、河川ニ放流スルトキハ下流飲用者ノ有無其ノ他苟クモ設計ニ關スルモノハ其ノ算式及事項ヲ詳記スヘシ
- 第八條 下水道管理ニ關スル規程ニハ下水道ノ修繕、掃除及下水道又ハ市ノ義務ニ屬スル下水道法第三條ノ施設ト土地ノ所有者使用者ノ義務ニ屬スル施設トノ連絡等ニ關スル必要ノ事項ヲ規定スヘシ
- 第九條 圖面ハ總テ蠟布ヲ用ヒ計畫線路、構造等ヲ識別スルニ容易ナラシムル爲メ彩色ヲ施シ設計者ヲシテ署名捺印セシムヘシ

第八類 水道 下水道(終)



第九類 發電水利

一、江蘇省... 二、浙江省... 三、安徽省... 四、江西省... 五、湖北省... 六、湖南省... 七、四川省... 八、福建省... 九、廣東省... 十、廣西省... 十一、雲南省... 十二、貴州省... 十三、陝西省... 十四、甘肅省... 十五、青海省... 十六、寧夏省... 十七、山西省... 十八、河南省... 十九、河北省... 二十、山東省... 二十一、遼寧省... 二十二、吉林省... 二十三、黑龍江省... 二十四、熱河省... 二十五、察哈爾省... 二十六、綏遠省... 二十七、察哈爾省... 二十八、綏遠省... 二十九、察哈爾省... 三十、綏遠省...

（大略）

一、江蘇省... 二、浙江省... 三、安徽省... 四、江西省... 五、湖北省... 六、湖南省... 七、四川省... 八、福建省... 九、廣東省... 十、廣西省... 十一、雲南省... 十二、貴州省... 十三、陝西省... 十四、甘肅省... 十五、青海省... 十六、寧夏省... 十七、山西省... 十八、河南省... 十九、河北省... 二十、山東省... 二十一、遼寧省... 二十二、吉林省... 二十三、黑龍江省... 二十四、熱河省... 二十五、察哈爾省... 二十六、綏遠省... 二十七、察哈爾省... 二十八、綏遠省... 二十九、察哈爾省... 三十、綏遠省...



第九類 發電水利

出願並其手續

- 水利使用取締規則……………大正七年七月府令第六三號第四類第一章參照
- 發電ノ原動力ノ用ニ供スル水利使用ノ件……………明治四二年八月遞信省訓令一號
- 發電水力ニ關スル訓令ニ依ル稟伺其ノ他ノ手續ニ關スル件……………昭和一〇年七月業二五五〇號
- 官廳ニ於テ發電水力使用ノ場合稟伺方ノ件……………大正九年六月電監二九四八號
- 電氣事業許可命令書中變更ニ關スル件……………大正一〇年一二月業七七二號
- 發電水力使用ニ關スル規則制定ノ件……………大正一一年三月電監一二四七號
- 發電水力ニ關スル件……………明治四二年八月土甲二三號
- 發電ノ原動力ノ用ニ供スル水力發生ノ爲ニスル河川其ノ他公有水面ノ水ノ使用ニ關スル件……………大正五年一二月發土九五號
- 從來許可シタル發電ノ原動力ノ用ニ供スル水ノ使



○用變更ニ關スル件……………大正六年一月五發土三一六號……………八

○大正五年十二月發土第九十五號依命通牒ニ依ル水ノ使用ニ關スル稟伺其ノ他ノ手續ノ件……………大正六年三月發土一九號……………八

○發電用河水使用ニ關スル縣令發布ノ件……………大正一一年六月發土六五號……………一二

○電氣事業ニ要スル水利使用ニ付使用期間ヲ附スル件……………明治四三年三月土六七四號……………一三

○水利使用出願事件取扱ニ關スル件……………大正七年九月電監五七六〇號……………一三

○水利使用出願事件取扱方ノ件……………大正七年九月電監五六五三號……………一四

○水利使用事業取扱ニ關スル件……………大正八年六月電監三〇三二號……………一四

○發電用水利使用事業取扱ニ關スル件……………大正八年九月發土七四號……………一五

○發電ノ原動力ノ用ニ供スル水力發生ノ爲ニスル河川其ノ他公有水面ノ水ノ使用處分稟伺ニ關スル件……………大正六年一月五發土三一六號……………一六

○發電原動力ノ用ニ供スル水利使用出願書取扱方ノ件……………大正元年一月土二三七七號……………一七

〔大阪土〕

〔大阪土〕

○發電ノ原動力ノ用ニ供スル水力發生ノ爲ニスル河川其ノ他公有水面ノ水ノ使用ニ關スル件……………大正一五年三月發土四號……………一七

○發電用河水使用ニ關スル競願事件アル場合稟伺方ノ件……………大正七年一二月水乙一二五四號……………一七

○河水使用出願順位ニ關スル件……………大正一五年一〇月發甲三八號……………一八

**權利ノ移轉**

○發電ノ原動力ノ用ニ供スル水利使用ニ關スル權利移轉ノ件……………大正一三年五月發土一六號……………一八

○會社ノ新設合併ニ依リ水利使用ニ關スル權利ヲ移轉スル場合ニ於ケル取扱方ノ件……………大正一五年五月發土二三號……………一八

○水利使用出願事件取扱ニ關スル件……………大正九年五月電監二一四二號……………一九

**使用料**

○發電ノ爲ニスル水利使用ニ對シ使用料其ノ他徴收ニ關スル件……………大正一一年四月發土一六號……………一九



○發電用ノ水ノ使用料徴收ニ關スル件……………大正一三年六月發甲一五號……………一九

○發電水利使用料徴收ニ關スル件……………昭和七年六月發土二三號……………二〇

○發電用ノ水ノ使用料徴收ニ關スル件……………大正一三年七月遞土五號ノ内……………二一

報告及雜

○發電ノ原動力ノ用ニ供スル水ノ使用ニ關スル件……………大正七年九月發土一三四號……………二一

○發電用河水使用ニ關スル件……………大正八年七月發二一六號……………二二

○水利使用ニ關スル河川ノ流域ノ件……………大正七年一〇月水乙一一七〇號……………二三

○發電用水ノ使用ニ關スル願書受理報告事項ノ件……………大正六年六月發一四九號……………二三

○發電用水ノ使用ニ關スル願書受理報告事項ノ件……………昭和四年五月發甲二〇號……………二三

○地方廳限處分ノ發電用河水使用許可報告要項ノ件……………大正九年九月發甲三五號……………二四

○水利使用ニ關スル行政訴訟報告ノ件……………大正一五年七月發甲二三號……………二四

○發電水力調査申請規則……………明治四三年九月遞信省令八八號……………二四

○發電水力調査圖表類交付規則……………大正三年五月遞信省令一一號……………二五

〔大阪土〕

〔大阪土〕

第九類 發電水利

●發電ノ原動力ノ用ニ供スル水利使用ノ件

明治四十二年八月七日 遞信省訓令第一號

北海道廳 府縣

發電ノ原動力ニ供スル水力發生ノ爲出願セル水ノ使用ヲ許可セントストキハ水力百馬力未滿ノモノヲ除ク外電氣起業ノ目的並水力ニ關スル設計ノ大要及圖面ヲ具シ豫メ本大臣ニ稟伺スヘシ  
使用權ノ讓渡其ノ他事業ニ著シキ變更ヲ許可セントストキ亦同シ

●發電水力ニ關スル訓令ニ依ル稟伺其ノ他ノ手續ニ關スル件

昭和十一年七月三十日 業第二五〇號 遞信省電氣局長依命通牒

京都府知事宛

明治四十二年八月遞信省訓令第一號ニ關スル稟伺其ノ他ノ手續左ノ通改正相成候條爾今右ニ準據シ處理相成度  
追々明治四十二年十月二十一日附電監甲第一三四一號、大

第九類 發電水利

- 正四年九月十五日附電技第一八〇七號、大正六年十一月七日附電監甲一第五八三八號、大正八年六月十九日附電監第二九二二號及大正九年八月二十四日附電監第四三四八號依命通牒ハ廢止ノ義ト了知相成度
- 第一條 水力使用許可ノ稟伺ニハ左記事項ヲ具備シタル書類、圖面及命令書案ヲ添附シ起業ノ確否等取調ノ上意見ヲ詳具セラルベシ
- 第一、起業ノ概要
- (一) 起業者ノ住所、職業及氏名(法人ニ在リテハ商號又ハ名稱及主タル事務所ノ設置地)
- (二) 起業ノ目的
- (三) 工事資金ノ總額及其ノ出資方法
- (四) 水力使用期間
- (イ) 工事計畫ノ概要
- (ロ) 取水河川又ハ湖沼名並ニ取水口、放水口ノ位置
- (ハ) 取水河川 何川水系何川支(派)何川
- (イ) 取水湖沼 何湖(沼)
- (ロ) 取水口 何縣何郡何町村大字何字何
- (ハ) 放水口 何縣何郡何町村大字何字何



第九類 發電水利

- (一) 貯水池又ハ調整池
- (二) 位 置 何縣何郡何町村大字何字何
- (三) 全容量及有效容量(立方米ヲ單位トス)
- (四) 利用水深(米ヲ單位トス)
- (五) 湛水面積(平方米ヲ單位トス)
- (六) 使用方法
- (七) 使用水量(毎秒立方米ヲ單位トス)
- (八) 最大使用水量(發電ニ使用スル最大水量ヲ記載シ、河川ヨリノ取水量ヲ附記スルコト)
- (九) 常時使用水量(一年ヲ通シ連續使用シ得ル水量ヲ記載スルコト)
- (十) 有效落差(米ヲ單位トシ總落差及損失落差ヲ記載シ、計算書ヲ添付スルコト)
- (十一) 理論水力(キロワット 理論水力=使用水量×有效落差×9.8ノ算式ニ依リ計算スルコト)
- (十二) 最大理論水力(最大使用水量ニ對スルモノヲ記載スルコト)
- (十三) 常時理論水力(常時使用水量ニ對スルモノヲ記載スルコト)

〔大阪土〕

〔大阪土〕

- (一) 流域面積ヲ示ス爲流域境界線ヲ記入スルコト)
- (二) 水路豫測平面圖(縮尺一萬分ノ一以上トシ地形ノ概要ヲ表シ地名ヲ詳記シ堰堤、取水口、隧道、開渠、水槽、發電所、放水口其ノ他ノ主要工作物並ニ道路、橋梁其ノ他ノ既工作物ノ位置等ヲ記入スルコト)
- (三) 水路豫測縱斷面圖(縮尺横六千分ノ一以上縱二百分ノ一以上トシ堰堤、取水口、隧道、開渠、水槽、發電所、放水口其ノ他主要工作物ノ位置並ニ取水口及發電所附近ニ於ケル最高水位、平水位、最低水位ヲ記入スルコト、高低ノ基準ハ成ルベク陸地測量部ノ水準標ニ據ルコト)
- (四) 使用水量ノ決定
- (五) 流域面積(平方料ヲ單位トス)
- (六) 流域内ニ於ケル森林ノ狀態(裸地、耕地、林野ノ面積歩合等ヲ記載スルコト)
- (七) 降水量(附近觀測所ノ調査ニ係ル雨量表ニシテ成ルベク五年以上ニ亙ルモノヲ記載スルコト)
- (八) 取水口附近ニ於ケル流量ノ測定(測定ハ成ルベク渴水時ニ於テ數回之ヲ行フコト、測定日、方法、計算ヲ記載スルコト)
- (九) 測定箇所ノ橫斷面圖ヲ添付スルコト、(縮尺ハ適宜トシ最高水位、平水位、渴水位ヲ記入スルコト)

第九類 發電水利

- (一) 使用河川ノ狀態
- (二) 取水口ノ上流ヨリ放水口ノ下流ニ至ル迄本起業カ影響スル範圍ニ於テ河川ノ狀態及勾配ヲ記載スルコト)
- (三) 工事方法
- (四) 取水口ヨリ放水口ニ至ル迄ノ水路互長(米ヲ單位トス)
- (五) 堰堤、取水口、道水路、沈砂池、水槽、水壓管路、放水路等ノ構造ノ大要、位置並ニ位置選定ノ理由
- (六) 掘鑿土砂ノ數量及處理方法、切取盛土法面ノ保護及山地崩壞防止ノ方法
- (七) 高堰堤(基礎地盤ヨリ堤頂迄ノ高サ十五米以上ノモノヲ謂フ以下之ニ同シ)ノ型式、型式選定ノ理由、基礎地盤ノ地質、基礎面ヨリノ高サ、堰堤ノ高サ、堤體積、水門其ノ他ノ附屬設備及其ノ操作
- (八) 水路一覽圖(陸地測量部出版縮尺五萬分ノ一地形圖又ハ之ト同等ノ圖面ニ堰堤、取水口、水路、水槽、發電所、放水口等ノ位置ヲ記載スルコト附近ニ於テ灌溉其ノ他既許可ノ水利事業アルトキハ其ノ位置及事業者名ヲ記入スルコト、貯水池又ハ調整池ヲ設ケルモノニ在リテハ特ニ其ノ位置ヲ記載スルコト、取水口ニ於ケル

- (一) 使用水量決定ノ理由
- (二) 最大使用水量及常時使用水量決定ノ理由ヲ説明スルコト(河川ノ流量特ニ渴水量查定ノ根據、灌溉、流木、魚族棲息湖上其ノ他ノ爲放流スベキ水量、貯水池又ハ調整池ノ使用方法、豫想負荷等ヲ記載スルコト)
- (三) 利水其ノ他公益事業等トノ關係
- (四) 既許可ノ水力使用ニ及ボス影響並ニ之ニ關スル施設ノ大要
- (五) 灌溉、舟筏ノ通航、流木、魚業等ニ及ボス影響並ニ之ニ關スル施設ノ大要
- (六) 名勝舊蹟ニ及ボス影響並ニ之ニ關スル施設ノ大要
- (七) 堰堤ノ設置ニ伴フ水面ノ隆起ニ起因スル影響ノ程度並ニ之ニ關スル施設ノ大要
- (八) 貯水池又ハ調整池ノ設置ニ因リ流出水量ニ増減ヲ來タス結果取水河川ノ下流ニ於ケル既許可ノ水力使用並ニ灌溉、舟筏ノ通航、流木、魚業等ニ及ボス影響並ニ之ニ關スル施設ノ大要
- (九) 第五、工事費概算書(別紙様式ニ據ル)
- (十) 第六、發生電力ノ用途ニ關スル調査
- (十一) 前項ニ依リ稟何ヲ爲ス場合ニ於テ許可セントスル水力使用ト競願若ハ相關聯スル水力使用ノ出願アルトキハ該出願ニ



第九類 發電水利

付テモ調査ヲ遂ゲ同時ニ其ノ内容ヲ詳具セラルベシ  
 水力使用出願ニ對シ不許可處分ヲ爲サントスル場合ニ於テ  
 ハ其ノ内容竝ニ不許可理由ヲ具シ稟伺セラルベシ  
 水路工事ニシテ二府縣以上ニ跨ルモノニ付テハ關係府縣知  
 事ノ連署ヲ以テ稟伺セラルベシ但シ關係府縣知事ノ間ニ協  
 議調ハザルモノニ在リテハ許可セントスル府縣知事ニ於テ  
 第一項ニ掲ゲタル書類ノ外協議ノ顛末ヲ知ルニ足ルベキ書  
 類ヲ添附稟伺セラルベシ

第二條 左記各號ノ場合ニハ前條ニ準シ關係書類及圖面ヲ添  
 附シ調査ノ上意見ヲ詳具セラルベシ

- 一 水力使用權ノ移轉ニ關シ處分ヲ爲サントスルトキ
- 二 許可ノ取消、水力ノ使用停止又ハ許可有效期間、工事  
 實施ノ認可申請期間、工事著手期間、工事竣功期間其  
 ノ他許可ノ效力ニ著シキ變更ヲ生ズベキ事項ニ關スル  
 處分ヲ爲サントスルトキ
- 三 前條第一項第二(一)乃至(三)ノ變更ニ關シ處分ヲ爲サント  
 スルトキ
- 四 前條第一項第二(七)ノ工事ノ實施竝ニ其ノ著シキ變更ニ  
 關シ處分ヲ爲サントスルトキ但シ左ノ場合ニ限ル  
 (イ) 理論水力一千キロワット以上ノ工事ニ關スルモノ  
 工事設計及施工ニ關スル説明、堰堤ニ因ル水面ノ隆  
 起ノ及ボス影響等ヲ記載シタル書類竝ニ水路一覽

〔大阪土〕

圖、水路實測圖(平面圖、縱斷面圖、橫斷面圖)各種  
 工作物及附帶工作物ノ詳細ナル構造圖ヲ具備スルコ  
 ト

(ロ) 高堰堤設置ノ工事ニ關スルモノ  
 (イ) 書類圖面ノ外堰堤安定ノ計算及堤體積、基礎地  
 盤ノ種類及狀態(斷層、龜裂、風化、走向、傾斜等)  
 水門其ノ他ノ附屬設備及其ノ操作設備、洪水時及平  
 水時ニ於ケル水門操作方法、直營又ハ請負ノ別、施  
 工方法(基礎地盤ノ掘鑿、材料運搬方法、工用諸  
 機械及諸設備等)及堤體材料ノ説明(試驗表ヲ添附  
 スルコト)ヲ記載シタル書類竝ニ工事進行豫定表ヲ  
 具備スルコト

利水其ノ他公益事業ニ對スル施設若ハ補償ヲ命ジ又ハ之  
 ニ關シ當事者間ニ於テ協議ヲ爲シタルトキハ其ノ顛末ヲ  
 詳具スルコト

第一項中他府縣ニ關係アル事項ニ付テハ第一條第四項ニ準  
 シ處理セラルベシ

第三條 左記各號ノ場合ニ於テハ遲滞ナク報告セラルベシ

- 一 前二條ニ依リ稟伺ヲ爲シタル事項ニ付處分ヲ爲シタル  
 トキ
- 二 水力使用ノ許可ヲ受ケタル會社發起人若ハ組合員ノ變

〔大阪土〕

- 更ニ關シ處分ヲナシタルトキ
  - 三 水力使用權ノ消滅シタルトキ
  - 四 水力使用許可ノ後第一條第一項第二、(四)及(五)ノ變更ヲ  
 許可シタルトキ
  - 五 工事ニ著手シ又ハ工事竣功シタルトキ
  - 六 命令書中事項ノ變更ヲ爲シタルトキ
- 第四條 水力使用許可ノ願書ヲ受理シタルトキハ其ノ都度第  
 一條ノ水路一覽圖ヲ添附シ左ノ事項ヲ報告セラルベシ
- 一 出願人ノ住所、職業及氏名(法人ニ在リテハ商號又ハ  
 名稱及主ナル事務所ノ設置地)
  - 二 出願年月日
  - 三 起業ノ目的
  - 四 取水河川又ハ湖沼名竝ニ取水口、放水口ノ位置
  - 五 貯水池又ハ調整池ノ位置
  - 六 使用水量
  - 七 最大使用水量
  - 八 常時使用水量
  - 九 有效落差
  - 十 理論水力
  - 十一 最大理論水力
  - 十二 常時理論水力

第九類 發電水利

- 九 流域面積
  - 十 水路互長
  - 十一 工事費
  - 十二 競願關係其ノ他
- 第五條 前四條ニ依リ處理スルコトヲ要セザル水力使用(理  
 論水力百馬力未満ノモノ)ノ出願ニ對シ許可ヲ爲シ又ハ其  
 ノ水力使用權ノ移轉ヲ許可シタルトキハ遲滞ナク許可年月  
 日ヲ具シ報告セラルベシ但シ電氣供給事業ノ用ニ供スルモ  
 ノニ在リテハ處分前豫メ打合セラルベシ

工事費概算書

項目	數量	單價	金額	摘要
創立費				
用地費				
諸建物費				
堰堤費				
取水口費				
開渠費				



隧道費	
水路橋費	
沈砂池費	
餘水吐、土砂吐、其他水路附屬工事費	
水槽費	
鐵管路費	
放水路費	
掘鑿土砂處理費	
調整池又ハ貯水池費	
水車費	
補償費	
雜工事費	
電氣工事費	
測量及工事監督費	

豫備費	
何々費	
計	

前項ノ報告又ハ打合(水力使用權ノ移轉ノ場合ヲ除ク)ニハ第一條第一項第一及第二(一)乃至(五)ノ事項ヲ具備シタル書類並ニ水路一覽圖及命令書案ヲ添附セラルベシ  
第一項ノ水力使用ノ許可ヲ爲シタル後其ノ變更ヲ許可シ又ハ水力使用權消滅シタルトキハ更ニ報告セラルベシ

**官廳ニ於テ發電水力使用ノ場合稟伺方ノ件**

大正九年六月十二日  
電監第二九四八號 遞信省電氣局長通牒

各地方長官宛

發電水力使用ニ關スル處分ニ付テハ明治四十二年八月訓令第一號並ニ電監甲第一三三一號通牒ノ次第モ有之候處官廳ニ於テ發電水力使用ヲ爲サムトスル場合ニ在リテモ右ニ依リ相當申請ヲ爲サシメ稟伺ノ上處分相成ヘキ義ニ付御了知相成度爲念

**電氣事業許可命令書中變更ニ關スル件**

大正十年十二月八日  
業第七七二號 遞信省電氣局長通牒

〔大阪土〕

〔大阪土〕

各地方長官宛  
電氣供給事業者ニ對シ左記ノ通命令書ノ條項追加相成候ニ付貴管下各電氣事業者ニ御示達相成度

記

電氣及小口電力(三馬力未満)ノ供給ニ關シ已ムヲ得サル事由ニ依リ需用者ニ對シ工事ニ關スル寄附其ノ他特別ノ負擔ヲ求ムトスルトキハ所轄地方長官ノ認可ヲ受ケヘシ

**發電水力使用ニ關スル規則制**

大正十一年三月六日  
電監第一二四七號 電氣局長通牒

各地方長官宛

貴廳ニ於テ發電水力使用ニ關スル規定ヲ設ケ又ハ之ヲ變更セラルレムトスルトキハ豫メ遞信大臣ノ承認ヲ受ケラレ度右依命

**發電水力ニ關スル件**

明治四十二年八月七日  
土甲第二三號 內務次官通牒

各地方長官宛

本年八月七日遞信省訓令第一號ヲ以テ發電ノ原動力ニ供スル水力發生ニ關スル件ニ付訓令相成候處右ハ同省ノ主管ニ屬ス

第九類 發電水利

電氣事業ノ取締ニ關スルモノニシテ當省ノ主管ニ屬スル事項ニハ何等關係無之義ニ付從前ノ成規ニ依リ水ノ使用ニ關シ當省ニ稟伺ヲ要スルモノハ總テ其ノ手續ヲ履行セラルヘキ管ニ有之候條右様御承知相成度爲念此段及通牒候也

**發電ノ原動力ノ用ニ供スル水力發生ノ爲ニスル河川其ノ他公有水面ノ水ノ使用ニ關スル件**

大正五年十二月十六日  
發土第九五號 土木局長依命通牒

各地方長官宛

發電ノ原動力ニ供スル百馬力以上ノ水力發生ノ爲河川其ノ他公有水面ノ水ノ使用ヲ許可セムトスルトキハ當省大臣ノ認可ヲ受ケラレ度尙今後同様ノ出願ヲ受理セラレタルトキハ直ニ其ノ要領及受理ノ年月日ヲ報告相成度

追テ本文同様ノ事件ニシテ從來受理セラレ未タ處分ノ運ニ至ラサルモノニ付テハ其ノ要領及受理ノ年月日ヲ、又嘗テ許可セラレタルモノニシテ權利ノ現存スルモノニ付テハ左記ノ事項ヲ本年內ニ到著スル様夫々御報告相成度

- 一 起業者
- 二 河川其ノ他公有水面ノ名稱並引入口及吐口ノ地名



第九類 發電水利

- 三 引用水量及引用期間
- 四 引用箇所ニ於ケル河川其ノ他公有水面ノ濁水時及平時ニ於ケル流量
- 五 落差
- 六 許可ノ年月日及許可ノ條件
- 七 工事竣功シタルモノハ其ノ竣功ノ時期、工事中又ハ未著手ノモノハ其ノ著手及竣功ノ時期
- 八 一般平面圖
- 九 堰堤其ノ他引入箇所ニ於ケル設備ノ構造圖
- 十 水路ノ横斷面圖及縱斷面圖

從來許可シタル發電ノ原動力ノ用ニ供スル水ノ使用變更ニ關スル件

大正六年一月十二日

五發土第三一六號土木局長通牒

各地方長官宛

標記ノ件ニ關スル神奈川縣知事ノ照會ニ對シ從前地方廳限リ許可シタル事項ノ變更ト雖モ發電水力百馬力以上ノモノニ付テハ經伺ヲ要スル旨及回答置候條爲念及通牒候

大正五年十二月發土第九十五

〔大阪土〕

號依命通牒ニ依ル水ノ使用ニ關スル稟伺其ノ他ノ手續ノ件

大正六年三月三十日

發土第一九號土木局長通牒

各地方長官宛

改正 大正七年九月發土第一三三號 標記ノ件左ノ通り被定候條爾今右ニ準據シ御處理相成度

第一條 水ノ使用許可ノ稟伺書ニハ左ノ事項ヲ具備シタル圖書及命令書案ヲ添附シ起業ノ確否、起業者ノ信用及資産ノ狀態、掘鑿土砂處理方法、切取盛土法面ノ保護及山地崩壞防止ノ方法及第四號ノ事項ニ付テハ特ニ調査ノ上意見ヲ詳具セラルヘシ

第一 起業ノ概要

一 起業者ノ住所職業及氏名(會社ナルトキハ其ノ會社名)

二 起業ノ目的

(例) 電燈ノ供給事業ナルトキハ何縣何郡何町村内ノ燈火用、電力ノ供給事業ナルトキハ何鐵道何軌道何鑛山何工場用、其ノ他電氣化學工業ノ用ニ供スルモノナルトキハ何所在地何製造所、何工場用ノ類)

三 取水河川(他ノ公有水面ヲ含ム以下同シ) 名並取水口及放水口ノ位置

〔大阪土〕

四 計畫說明大要

(例) 取水河川、幹川何川支(派)何川、取水口何縣何郡何町村大字何字何、放水口何縣何郡何町村大字何字何)

一 使用水量(毎秒時間何立方尺)

二 有效落差(曲尺ニテ示スコト)

三 馬力數(使用水量及有效落差ヨリ計算シタル理論馬力數及發電力)(キロワット數)

四 水ノ使用期間

第二 水路工事

一 水路一覽圖

縮尺五萬分一トシ堰堤、取水口、隧道、開渠、發電所放水口等ノ位置及取水箇所ニ於ケル流域境界線ヲ記載シ尙附近ニ於テ灌溉其ノ他既許可ノ水利事業アルトキハ其ノ位置ヲ記入スルコト特ニ貯水池又ハ河水ノ調整池ヲ設ケルモノニ在リテハ其ノ位置ヲ記載スルコト

二 水路豫測縱斷面圖

縮尺横六千分一以上縦二百分一以上トシ堰堤、取水口、隧道、開渠、發電所、放水口其ノ他主要工作物ノ位置、取水口及發電所附近ニ於ケル最高水位、平水位、最低水位ヲ記入シ高低ノ基準ハ可成陸地測量部ノ水準標ニ準據スルコト

三 堰堤及水路ノ定規圖

縮尺ハ適宜トシ形狀、材質及構造ノ大要ヲ示スコト

第九類 發電水利



第九類 發電水利

- 二 舟筏ノ通航、流木及漁業ニ及ホス影響並之ニ關スル施設ノ大要
  - (例、舟筏ノ通航或ハ流木ノ慣行ナシ若ハ漁業ノ利ナシ又ハ堰堤ニ舟筏路若ハ魚道ヲ設クル等ノ類)
  - 三 名勝舊蹟等ニ及ホス影響並之ニ關スル設備ノ大要
  - 四 取水口堰堤ノ爲洪水時ニ於ケル水面ノ隆起ニ起因スル影響ノ程度並之ニ關スル設備ノ大要
    - (例、洪水時ニ於ケル水面ノ隆起、堰堤ニ於テ何尺、嵩水ノ影響約何間、何々縣道ノ上置工事ヲ爲シ何橋ヲ高ムル計畫等ノ類)
  - 五 貯水池設置ニ因リ流出水量ニ増減ヲ來タス結果取水河川ノ下流ニ於ケル用悪水路並舟筏ノ通航及流木ニ及ホス影響ノ程度並之ニ關スル施設ノ大要
  - 六 放水口ヲ他ノ河川ニ設クル場合關係河川ノ治水及水利上ニ及ホス影響ノ程度並之ニ關スル設備方法ノ大要
- 第五 工事費概算書(別紙様式ニ據ル)
  - 水路工事ニシテ二府縣以上ニ跨ルモノニ付テハ關係府縣知事ノ連署ヲ以テ稟伺セラルヘシ但シ關係府縣知事ノ間ニ協議ノ調ハサルモノニ在リテハ許可セムトスル府縣知事ニ於テ前項ニ掲ケタル書類ノ外協議ノ顛末ヲ知ルニ足ルヘキ書類ヲ添附稟伺セラルヘシ

〔大阪土〕

- 狀況等ヲ斟酌シテ之ヲ調製セラルヘシ
- 第二條 稟伺ノ上許可スヘキ水ノ使用ニ關シ左ニ掲ケル事項ヲ許可若ハ認可シ又ハ之ヲ命セムトスルキハ稟伺ノ上處分セラルヘシ
  - 一 河川法施行河川及其ノ流域ニ屬スル河川其ノ他特ニ指定スル河川ニ關スル工事ノ實施設計及其ノ變更但シ第二號乃至第四號ニ該當セサル事項ノ變更ハ此ノ限ニ在ラス
  - 二 使用水量ノ變更ニ伴フ工事ノ變更
  - 三 取水口放水口若ハ貯水池ノ位置又ハ其ノ構造ノ變更但シ些少ノ變更ハ此ノ限ニ在ラス
  - 四 其ノ他著シキ工事ノ變更
  - 五 命令書又ハ認可ヲ經タル命令書案ノ變更但シ左ニ掲ケルモノハ此ノ限ニ在ラス
    - イ 水ノ使用權者又ハ出願者ノ追加、脱退若ハ除名但シ水利權者又ハ出願者會社又ハ會社發起人ニ非サル場合ニ於テ其ノ全員ノ脱退若ハ除名ニ付テハ此ノ限ニ在ラス
  - 六 水ノ使用權ノ讓渡
- 第三條 前條ノ實施設計認可ノ稟伺書ニハ左ノ圖書、其ノ他
  - ロ 專ラ電氣ニ關スル事業取締上ノ必要ニ基キ命令書案中ノ水ノ使用水量ヲ減少シ若ハ其ノ使用ノ目的ヲ制限シ又ハ許可年限ヲ短縮スルコト

〔大阪土〕

ノ事項ノ稟伺書ニハ第一條又ハ本條ニ準シ調製シタル書類ヲ添附シ意見ヲ詳具セラルヘシ

- 一 水路實測圖
  - イ 平面圖
    - 縮尺六千分一以上トシ水路ノ中心線、測點番號水路及附帶工作物ノ位置ヲ記入シ附近ノ地形ヲ明ナラシムルコト
  - ロ 縱斷面圖
    - 縮尺横六千分一以上縦二百分一以上トシ測點番號基準線(高ハ可成陸地測量部水準標ニ準據スルコト)距離、透加距離、地盤高、切取盛土ノ高、水路底面ノ高、計畫水位(水面勾配ヲ記入スルコト)並實測平面圖ニ示シタル水路及附帶工作物ノ位置等ヲ記入シ尙取水口及放水口ニハ最高水位、平水位、最低水位ヲ記入スルコト
  - ハ 橫斷面圖
    - 縮尺二百分一以上トシ切取盛土面坪、計畫水位、法勾配、法面保護工事等ヲ記入シ各斷面間ノ距離ハ土坪計算ニ必要ナル程度ト爲スコト
  - ニ 構造圖
    - イ 堰堤(流木路、舟筏路、魚道、土砂吐等ヲ含ム)取水口、沈砂地、土砂吐、餘水路、制水門、隧道、開渠、

第九類 發電水利

- 木樋、水路管、水路橋、水槽、放水路、水壓管、吸出管、水車、發電所並貯水池、河水ノ調整池等ノ構造圖
  - 縮尺ハ適宜トシ構造ノ適否ヲ判定スル爲必要ナル水位ハ之ヲ記入シ尙水路ト新舊工作物トノ關係ヲ明ニシタル平面圖及斷面圖ヲ添附スルコト掘鑿土砂捨場附屬工作物ノ構造ハ特ニ之ヲ記載スルコト
- 三 工事説明書
  - 水路選定ノ理由、水路實測圖及構造圖ニ示シタル各種工事設計ノ要領(算式ヲ以テ計算シタルモノハ其ノ計算書ヲ添附スルコト)工事施行ノ順序、作業方法、掘鑿土砂處理方法(土坪計算表及土砂捨場圖ヲ添附シ各箇所ノ面積及土砂包容量ノ計算ヲ明示スルコト)等ヲ記載シ尙堰堤ニ付テハ地質ノ説明(試鑽ヲ行ヒタルモノハ其ノ成績表ヲ添附スルコト)ヲ爲シ且洪水時ニ於ケル水面ノ隆起及嵩水ノ影響ヲ圖示スルコト
  - 貯水池及河水ノ調整池ヲ設クル場合ニハ貯水容量(立方尺トシ其ノ計算書ヲ添附スルコト)及其ノ使用方法ヲ記載スルコト



第九類 發電水利

四 工事費豫算書  
工事費概算書中水路工事費ニ關スル各費目ヲ細別シ工事種類、長、數量、單價、金額及工法ノ摘要ヲ示スコト但シ特種ノモノニ付テハ別ニ設計書ヲ添付スルコト  
他府縣ニ關係アル事項ニ付テハ第一條第二項ニ準シ處理セラルヘシ

第四條 出願中ニ係ル水ノ使用ニ關スル事業ニシテ利害相反スルモノニ箇以上アル場合ニ於テ其ノ事件ヲ許可セムトスルトキハ他ノ事件ニ付テモ調査ヲ遂ケ同時ニ稟伺ノ上處分セラルヘシ

第五條 左ニ掲ケル場合ニ於テハ遲滯ナク報告セラルヘシ

- 一 水ノ使用ヲ許可シタルトキ
- 二 命令書ノ規定ニ依リ左ニ掲ケル期間伸長ノ認可ヲ爲シ又ハ期間ノ指定ヲ爲シタルトキ
- イ 工事實施認可申請期間伸長ノ認可
- ロ 工事ノ著手又ハ竣功期間伸長ノ認可又ハ其ノ期間ノ指定
- ハ 電氣事業經營許可又ハ電氣工作物施設認可申請期間伸長ノ認可
- 三 工事實施ノ認可ヲ與ヘタルトキ
- 四 第二條第一號但書ニ依リ工事實施設計變更ニ關スル處分ヲ爲シタルトキ

〔大阪土〕

五 第二條第五號但書ニ依リ命令書又ハ命令書案ヲ變更シタルトキ

六 工事ニ著手シ又ハ竣功シタルトキ

七 水ノ使用權消滅シタルトキ

●發電用河水使用ニ關スル縣令發布ノ件

大正十一年六月十七日  
發士第六五號內務省土木局長通牒  
各地方長官宛

發電用河水使用ニ關スル取締及出願手續等ニ付其ノ使用ヲ許可セラルル際細目ニ互ル命令書ハ之ヲ下付セス一般的ニ縣令ヲ以テ規定セラルル向有之候處右ハ大正六年三月發士第一九號依命通牒附屬命令書案列記事項ト同一趣旨ノ事項ヲ規定セラルル場合ハ兎ニ角右事項以外ニ互ルモノハ通常命令書案若ハ命令書ノ變更トシテ稟伺ヲ要スルモノニ付右ノ如キ縣令發布ノ場合ハ豫メ其變更廢止トモ稟伺ノ上御處理相成度追テ本文ニ依リ稟伺ヲ要スルモノト否トニ拘ラス水利利用ニ關スル縣令發布ノ際ハ其ノ都度階本一通御送付越相成度

●電氣事業ニ要スル水利使用ニ付使用期間ヲ附スル件

明治四十三年三月二十八日  
土第六七四號內務省土木局長通牒  
各地方長官宛

電氣事業ニ要スル水利使用ノ期間ヲ附スルハ取締上必要ノコト、存候條從來許可セラレタルモノ、内其ノ使用期間ノ定ナキモノハ其ノ許可命令條件ニ基キ此際相當期間ヲ附セラレ度依命此段及通牒候也

●水利使用出願事件取扱ニ關スル件

大正七年九月二十日  
遞信省電氣局長通牒  
電監第五七六〇號  
內務省土木局長  
各地方長官宛

近時各種工業ノ顯著ナル發達ニ伴ヒ電氣動力ノ需要急激ニ増加シ敏速ニ之ヲ供給ヲ充タサシムルノ必要アルニ拘ラス在來水利使用ノ許可ヲ受ケタルモノニシテ數年間徒ニ之ヲ留保シテ事業經營ヲ爲ササルモノアリ且近來激増セル水利使用出願中ニハ往々單ニ權利ヲ獲ルノ目的ヲ以テ出願スルニ非スヤト疑ハルモノアルト共ニ權利讓渡ニ關スル弊害ヲモ生セムト

第九類 發電水利

〔大阪土〕

スル傾向有之其ノ結果電氣動力供給ニ支障ヲ與ヘ眞摯ナル企業ノ發達ヲ阻害シ延イテハ一般經濟上ニモ影響スルトコロ少ナカラサル次第ニ付之ヲ取締ノ勵行ヲ期スル爲メ爾今水利使用許可處分ニ際シテハ左記ニ據リ處理相成度候

- 一 會社成立期間、工事實施ノ認可申請期間（水利許可ノ日ノ翌日ヨリ起算ス但シ許可ノ際未タ電氣事業經營ノ出願ヲ爲ササルモノニ付テハ事業經營出願ノ日ノ翌日ヨリ起算ス）電氣事業經營許可申請期間、工事著手期間及工事落成期間ハ實際ノ事情ニ適合スル様ニ之ヲ定メ天災又ハ不可抗力ニ依ル場合ノ外延期ヲ許ササルコト但シ自己ノ過失ニ歸セサル正當ノ事由ニヨリ期間内ニ工事實施認可ノ申請若ハ電氣事業經營許可ノ申請ヲ爲シ難キトキ又ハ工事ニ著手シ若ハ竣功シ難キトキハ期間經過前ニ延期ノ申請ヲ爲スコトヲ得セシムルモ其ノ期間ハ大體ニ於テ一年以内トスルコト
  - 二 水利使用許可ニヨリテ生スル權利義務ハ之ヲ他人ニ移シ又ハ貸付スルコトヲ許ササルコト但シ左ノ場合ハ特ニ之ヲ許スコトアルヘシ  
イ、工事落成後又ハ工事落成前ニ於テ事業力相當ニ進行シ成功ノ見込アリト認ムルトキ  
ロ、會社合併ニ因ルトキ  
ハ、會社ノ組織變更ニ因ルトキ
- 前項但書ニヨリ權利移轉ヲ許可スル場合ニ於テモ命令書ニ定



ムル期間ハ之ヲ伸長セス  
追テ既許可ノ水利ニ就テハ權利義務ノ移轉若ハ工事實施認  
可申請期間又ハ期間ノ伸長ノ申請アル場合其ノ他適當ノ機  
會ニ於テ命令書ヲ變更シ本文ノ規定ニ據ラシムル様配意ア  
リタシ尙既ニ認可ヲ經タルモノニシテ未タ命令書ヲ交付セ  
サルモノニ就テハ本通牒ノ趣旨ニ依リ相當更正ノ上命令書  
交付相成度

●水利使用出願事件取扱方ノ件

大正七年九月二十日  
電監第五六五三號 遞信省電氣局長通牒  
各地方長官宛

水利使用許可處分ニ就テハ本年九月電監第一五七六〇號ヲ以  
テ依命通牒ノ次第モ有之候處右ニ關シテハ尙左記ノ事項御注  
意相煩度候  
一 電氣事業經營許可申請書又ハ自家用電氣工作物施設認可  
申請書ニハ可成水力使用許可ノ際マテニ之ヲ提出セシメ若  
シ許可ノ際マテニ提出スルコトヲ得サル事情アルモノニ付  
テハ許可後可成速ニ提出セシムルコト  
二 凡テ期間並期限ノ變更ハ明治四十二年十月電監甲第一三  
四一號依命通牒第二條第三號ニ該當スルモノトシ察伺ノコ  
ト

〔大阪土〕

●水利使用事業取扱ニ關スル件

大正八年六月九日  
電監第三〇三二號 遞信省電氣局長通牒  
內務省土木局長  
各地方長官宛

發電水力ニ關シテハ曩ニ地方長官會議ニ於テ遞信大臣ヨリ訓  
示ノ次第モ有之候處諸般産業ノ原動力トシテ水力ノ開發利用  
カ甚タ重大ナルコトハ言ヲ須ヒサル處ニ有之其ノ利用方法ノ  
如何ハ一國經濟ノ消長ニモ影響スル所尠カラサル義ニ付水ノ  
使用ニ關スル出願審査ニ際シテハ左記事項ニ據リ處理相成様  
致度  
一 水ノ經濟的利用ニハ充分意ヲ用フルコト  
二 水ノ各種利用方法相互間ノ調節ニ就テハ周到ノ注意  
ヲ爲スコト

- (一) 水力利用ノ場合ニ於テハ水量ハ可成豐富ニ利用セシ  
メ落差ハ可成有利ニ利用セシムルコト若シ右ニ反スル出願  
ヲ許可セントスル場合ニハ其ノ事由ヲ詳細説明スルコト  
(二) 地方廳限リ百馬力未滿ノ水力ノ許可ヲ爲シ後ニ百馬  
力以上ニ變更申請ヲ爲スノ例アリ右ノ如キ地點ハ始ヨリ  
百馬力以上ノ設計ト爲サシムヘキコト  
三 電力ノ供給ヲ豐富ナラシメ且發電設備費ヲ低廉ナラシム

〔大阪土〕

- ル爲水力利用ノ計畫ハ努メテ其ノ規模ヲ大ナラシムルコト  
三 電氣事業法ニ依ル電氣事業又ハ其ノ事業者ニ電氣ノ供給  
ヲ爲ス事業ニシテ其ノ出願ニ係ル計畫ノ大規模ナルモノト  
其ノ他自家用發電水力事業トノ競願ニ付テハ可成供給事業  
者ニ許可スルコト但シ左ノ場合ハ此ノ限ニ在ラス  
(一) 供給事業者ノ水ノ利用方法不經濟ナルトキ  
(二) 供給事業者カ既ニ充分他ニ電力ヲ發生スヘキ地點ノ  
許可ヲ受ケ其ノ工事成功ノ時期及電力需給ノ狀況等ニ鑑  
ミ新水力地點ノ許可ヲ必要トセスト認ムルトキ  
(三) 其ノ他特種ノ事由アルトキ  
四 大規模ノ發電水力地點ノ利用ニ付近キ將來ニ於テ需要ノ  
見込ナキニ拘ラス之方使用區域ヲ強テ一地方ニ限定セムト  
スルカ如キハ水力利用上甚タ不利トスル所ナルヲ以テ當該  
地方ニ於テ實際ノ需要アル場合ノ外右ノ如キ制限ヲ附セサ  
ルコト  
五 水力使用ノ出願アリタルトキハ直ニ調査ヲ開始シ敏活ニ  
之方處理ヲ爲スト共ニ企業ノ意思ナク單ニ權利ヲ獲ルノ目  
的ヲ以テ出願スルモノ及許可後數年間工事ニ著手セス又ハ  
著手スルモ毫モ工事ヲ進捗セシメサルモノニ對シテハ一層  
取締ヲ嚴ニスルコト  
(一) 大正三年前廳府縣受理未處分事件ニ付テハ各事件毎  
ニ從來調査ノ經過ヲ具シ起業確否ノ意見ヲ附シ速ニ報告

●發電用水利使用事業取扱ニ關スル件

大正八年九月十九日  
發土第七四號 內務省土木局長通牒  
遞信省電氣局長  
各地方長官宛

スルコト但シ起業不確實ナリト認メラルモノニ付テハ  
此ノ際不許可ノ處分ヲ爲シ其ノ結果ヲ報告スルコト  
(一) 水ノ使用ニ關スル事件處分ニ際シ關係市町村會ニ諮  
問スル場合ハ其ノ答申ニ付相當ノ期間ヲ附シ其ノ期間内  
ニ答申ナキ時ハ意見ナキモノト看做シ速ニ處理スルコト  
(二) 三千馬力以上ノ既許可ノ水力地點ニ付既ニ工事ニ著  
手シタルモノト未著手ノモノトヲ分チ工事未著手ノモノ  
ニ付テハ著手期間内ノモノナルヤ否ヤ又既ニ工事ニ著手  
シタルモノニ付テハ其ノ工事進捗ノ程度竣功ノ見込期日  
ヲ取調ヘ可成速ニ報告スルコト  
六 既許可ノ水力工事ニ關シテハ其ノ工事方法等ニ付充分監  
督ノ實ヲ舉グルコト



相成差支無之又右ノ如キ場合ハ六月九日電監第三〇三二號依命通牒第三項第三號ニ所謂特種ノ事由アルモノトシテ御考慮相成可然候

六月九日電監第三〇三二號依命通牒第三項ニ依リ電氣供給事業ノ出願ヲ許可セムトスル場合ニ於テ公共ノ利益トナルヘキ事業又ハ之ニ準スヘキ事業ニシテ獎勵ヲ要スルモノニ對シ許可ヲ受ケタルモノヲシテ電力ヲ供給セシムル必要アリト認ムルトキハ低廉ナル料金ヲ以テ所有ノ電力ヲ供給セシメタルモ是等ノ事業者力其ノ事業用ノ爲水利使用ノ競願ヲ爲シタルモ公共ノ利益ト爲ルヘキ重要ナル事業ナルニ拘ラス小規模ナルカ爲不許可處分ヲ爲ス場合ノ如キハ特ニ實費ニ近キ料金ヲ以テ供給ヲ爲サシムル等適當ナル方法ヲ講セラレ可然ト存候ニ付此ノ場合ニ於テハ許可命令書中ニ相當ノ規定ヲ設ケ可然御措置相成度

●發電ノ原動力ノ用ニ供スル水

〔大阪土〕

●發電原動力ノ用ニ供スル水利使用出願書取扱方ノ件

大正元年十一月十六日  
土第二三七七號土木局長通牒

各地方長官宛

發電原動力ノ用ニ供スル水利使用願ノ義ハ多クノ府縣ニ在リテハ市區町村郡支廳ヲ經由セスシテ直ニ地方廳ニ提出セシムルモ今尙ホ該手續ニ依ラサル地方モ有之哉ニ聞及ヒ候ニ付自今右願書ハ直ニ地方廳ニ提出セシメ其許可セムトスルモノニ就テハ地方廳ヨリ一定ノ期限ヲ附シ關係アル市區町村ニ諮問スルコトニ取扱方一定致候方可然ト存候ニ付爲念此段通牒候也

●發電ノ原動力ノ用ニ供スル水力發生ノ爲ニスル河川其ノ他公有水面ノ水ノ使用ニ關スル件

大正十五年三月十一日  
發土第四號內務省土木局長依命通牒

各地方長官宛

標記ノ件ニ關シテハ大正五年十二月十六日發土第九五號並大正六年三月三十日發土第一九號ヲ以テ許可ノ場合稟伺方及通

力發生ノ爲ニスル河川其ノ他公有水面ノ水ノ使用處分稟伺ニ關スル件

大正六年一月八日  
五發土第三一六號土木局長通牒

各地方長官宛

標記ノ件ニ付秋田縣知事ヨリ甲號ノ通り照會ニ對シ乙號ノ通り回答致置候ニ付御承相成度

〔甲號〕 秋田縣知事照會

本月十六日御省發土第九五號ヲ以テ標記ノ件稟伺方御通牒相成候處元來本件ハ明治四十二年八月逕信省訓令第一號ニ依リ其ノ許可ノ前逕信大臣ノ認可ヲ要スルコトニ相成居リ候ニ付爾後右御通牒ニ基キ內務大臣ニ稟伺ヲ爲ス場合ハ恰カモ府縣起債ノ認可申請書ヲ內務大臣藏兩大臣ニ宛テ又軌道條例ニ依リ軌道敷設特許ノ申請書ヲ內閣總理、內務兩大臣ニ提出シタル儀例ニ準ヒ本稟伺書類モ內務、逕信兩大臣宛トシ提出シタル儀ト相心得可然哉何分ノ義承相成度此段及照會候也

〔乙號〕 土木局長回答

標記ノ件ニ付客年十二月二十五日秋收土乙第四五四〇號ヲ以テ御照會ノ趣了承右ハ各別ニ御稟伺可相成義ト御承相成度

〔大阪土〕

標置候處不許可ノ場合時ニ處分ノ公正ヲ失スル向モ有之哉ニ被認候條爾今競願ノモノヲ不許可處分セラレムトスル場合ハ勿論單願ノ場合ニ於テモ前記通牒ニ該當スル事件ノ不許可處分ニ付テハ稟伺ノ上御處分相成度

●發電用河水使用ニ關スル競願事件アル場合稟伺方ノ件

大正七年十二月四日  
水乙第一二五四號土木局長通牒

各地方長官宛

標記ノ件ニ付別紙甲號ノ通り熊本縣知事ヨリ照會有之今般乙號ノ通り及回答候條御了知相成度

〔甲號〕 熊本縣知事照會

發電ノ原動力ニ供スル爲水ノ使用出願者二名以上アル場合其ノ一事件ヲ許可セムトスルトキハ他ノ事件ニ付テモ調査ヲ遂ケ同時ニ稟伺ノ上處分スヘキコトニ相成居候ニ付テハ右ハ大正五年十二月十六日附內務省發土第九五號御通牒ニ依リ百馬力以上(客月二十八日附內務省發土第一三四號變更アリシモ是ヲ以テ例トス)ノ電力發生ノ場合ニ適用スルモノニシテ百馬力以下ノトキハ其ノ他ノ不許可ニ付スヘキ分ハ電力發生數ノ如何ヲ問ハス稟伺ヲ要セサル意義ノ様被存候處御通牒ノ趣



意ハ矢張り前述ノ通ニシテ假令五十馬力ノモノヲ許可スルニ際シ他ノ一千馬力ノモノヲ不許可ニ付スル共認可ヲ受ケルノ必要ナキモノトセラレ候哉疑義ニ互リ候ニ付何分ノ御回報相願度候

(乙號) 土木局長回答  
標記ノ件ニ付本月二日土第三七四三號ヲ以テ御照會ノ趣了承右ハ稟伺ノ上處分セラレヘキ義ト御承知相成度

### ●河水使用出願順位ニ關スル件

大正十五年十月二十七日  
發甲第三八號內務省土木局長通牒  
各府縣知事宛

發電ノ爲ニスル河水使用ニ關シ出願ヲ爲シタル者カ願意ヲ拋棄シ他人力之レニ代ハル出願ヲ爲サシカ爲出願ノ讓渡トシテ關係者ヨリ届出ツルカ如キモノ往々有之候處如此場合ト雖新ナル出願ニ外ナラサルヲ以テ出願順位ハ之レカ届出期日ヲ以テ決定スヘキモノニ有之從テ會社合併ニ依ル場合ト雖被合併會社ノ出願期日ニ依ルヘキモノ無之候條御了知相成度

### ●發電ノ原動力ノ用ニ供スル水利使用ニ關スル權利移轉ノ件

〔大阪土〕

大正十三年五月七日  
發土第一六號內務省土木局長依命通牒  
各地方長官宛  
發電ノ原動力ノ用ニ供スル水利使用ノ許可ニ依リ生スル權利義務ハ電氣事業法施行規則第十條ノ二ノ規定ニ依リ電氣事業ヲ讓受ケタル者ニ對シ其ノ電氣事業ト共ニ之カ移轉ヲ認可スルコトニ取扱方決定相成候條爲念此段及通牒候

### ●會社ノ新設合併ニ依リ水利使用ニ關スル權利ヲ移轉スル場合ニ於ケル取扱方ノ件

大正十五年五月五日  
發土第二三號內務省土木局長通牒  
各地方長官宛

會社ノ新設合併ニ依リ水利使用ニ關スル權利ノ移轉ヲナサムトスル場合之ヲ許可セラルルニ當リテハ稟伺ノ上處分セララルト貴官限り處分セララルトヲ問ハス爾今左記條件ヲ附シ御處分相成度

記  
一 本許可ノ日ノ翌日ヨリ起算シ六ヶ月内ニ會社成立セザルトキハ權利移轉ノ許可ハ其ノ效力ヲ失フ

〔大阪土〕

### ●發電ノ爲ニスル水利使用ニ對シ使用料其ノ他徴收ニ關スル件

大正十一年四月十一日  
發土第一六號土木局長通牒  
各地方長官宛

發電ノ原動力ニ供スル水力發生ノ爲ニスル河川其ノ他公有水面ノ水ノ使用ニ對シ使用料ヲ徴シ又ハ其ノ名義ノ何タルヲ問ハス納付金ヲ徴スル爲之カ規程又ハ納付ニ關スル内規等ヲ定メ若ハ之ヲ變更セラレムトスルトキハ豫メ當省ヘ御内議ノ上御處理相成度  
追テ從來制定ニ係ル規程、内規等ハ此ノ際御送付相成度

### ●發電用ノ水ノ使用料徴收ニ關スル件

大正十三年六月十一日  
發甲第一五號土木局長通牒  
北海道廳長官、各府縣(京都、滋賀、石川、山梨、長野、福島ヲ除ク)知事宛

發電ノ用ニ供スル水ノ使用ニ對シ之カ使用料ヲ徴收セラレムトスル場合ハ大體別紙標準ニ據リ詮議可相成コトニ内定セラレ候條御承知相成度  
追テ本件使用料徴收ニ關シテハ客年四月十一日土第一六號

二 創立總會ニ於テ讓受人ニ下付セル命令書ノ條項ヲ遵守シテ營業スルコトヲ議決セザルトキハ本許可ハ其ノ效力ヲ失フ

### ●水利使用出願事件取扱ニ關スル件

大正九年五月四日  
電監第二一四二號 遞信省電氣局長通牒  
內務省土木局長  
各地方長官宛

發電水力ノ使用ニ關シ曩ニ通牒致置候次第モ有之候處尙左記各項ニ依リ御處理相成度

一 從來發電水力使用ヲ許可セラレ又ハ其ノ使用許可ノ認可ヲ與ヘタル會社發起人若ハ組合員ノ追加脱退ハ組合員ノ全員脱退ノ場合ヲ除クノ外稟伺ヲ要セザルコトニ相成居候處爾今許可受人ノ三分ノ一以上ノ變更ニ付テハ豫メ稟伺ノ上處分相成度

二 會社發起人名義ヲ以テ發電水力使用ノ許可ヲ受ケタル後會社ノ設立ニ際シ其ノ權利ヲ過大ノ資産ニ計上シ徒ニ會社ノ負擔ヲ大ナラシムルカ如キ開エ有之候處有ハ延イテ發電費ニモ影響スルノミナラス不穩當ノ次第ニ付相當御取締相成度



第九類 發電水利

依命通牒ニ依リ承認ヲ受ケラルヘキ義ニ付此段爲念

- 一、水利使用料ハ其ノ使用水量ヲ標準トスルト發電水力ヲ標準トスルトヲ問ハス其ノ金額ハ發電水力一理論馬力ニ付一ヶ年金額ニ相當スル範圍内ニ止ムルコト
- 二、發電用水路其ノ他ノ工作物カニ府縣以上ニ跨ル等ノ場合關係府縣知事ニ於テ其ノ水利使用ノ許可ヲ爲ストキハ前項ノ範圍内ニ於テ關係府縣知事其ノ料金額ヲ協定スルコト
- 三、使用料ハ發電開始後月割ヲ以テ之ヲ徵收スルコト
- 四、左ノ水利使用者ヨリハ水利使用料ヲ徵收セサルコト
  - 一、地方公共團體
  - 二、公益法人
  - 三、産業組合
  - 四、一水系ニ於ケル總理論馬力百馬力未滿ノモノ
  - 五、利益配當率年五分以下ナルモノ
- 五、本標準ニ據ル水利使用料ノ外河川ノ使用料又ハ占用料其ノ他公納金寄附金等如何ナル名稱ヲ以テスルヲ問ハス實質上水利使用ニ關スル收納ハ之ヲ爲サハルコト
- 六、大正十二年度以前ヨリ引續キ徵收又ハ收納スルモノハ將來成ルヘク速ニ整理ヲ遂ケ本標準ニ據ルヘキコト

●發電水利使用料徵收ニ關スル

〔大阪土〕

件

昭和七年六月七日 發土第二三號土木局長依命通牒

二〇

發電水利使用料徵收ニ關シテハ大正十三年六月十一日附發甲第十五號ヲ以テ及通牒置候處府縣財政並電氣事業ノ現狀ニ即シ通信省ト協議ノ上別紙ノ通徵收基準ヲ變更シ昭和七年度分ヨリ施行スルコトニ決定相成候條現ニ使用料ヲ徵收スル府縣ニアリテハ速ニ本標準ニ則リ徵收規程改正（公納金契約又ハ其ノ他ノ名義ニ依リ收納ヲ爲スモノハ徵收規程ヲ新ニ制定スルコト）ノ手續御取運有之度尙徵收規程ヲ變更シタル趣旨ハ前述ノ通ニシテ此ノ際限リニ使用料ヲ增徴シ又ハ新ニ之ヲ徵收スルガ如キコト無之様特ニ御留意相成度又本件使用料ハ河川法ニ於テ之ヲ府縣ノ收入ニ歸屬セシメタル趣旨ニ鑑ミ之ヲ河川ニ關スル費用ニ振向ケラルヘキハ勿論ノ義ニ候條併テ御留意相成度

〔別紙〕

- 發電水利使用料徵收ニ關スル規程
- 一、府縣ハ本協定ニ則ル水利使用料ノ外名義ノ如何ヲ問ハズ發電水利使用ニ關スル收納ヲ爲シ得ザルコト
- 二、徵收標準ハ常時理論馬力及常時理論馬力ト最大理論馬力トノ差ニ依リ、徵收率ハ常時理論馬力ニ付年額一圓以内、常時理論馬力ト最大理論馬力トノ差ニ對シ一理論馬力

〔大阪土〕

- 力ニ付年額五十錢以内トスルコト
- 三、利益配當率年五分未滿ノモノニ對シテハ徵收ヲ免除スルモ從前五分以上ノ配當ヲ爲シタルモノガ五分未滿ニ低下シタル爲各府縣徵收規程ニ依リ徵收ヲ免ガルルニ至リタルモノニ對シテハ前項徵收率ノ半額ヲ徵收トスルコト
- 四、前二項ニ依ル各府縣水利使用料總額ガ昭和五年度徵收總額ニ百分ノ九十ヲ乘シタル金額ニ達セザル年度ニ於テハ最大理論馬力ト常時理論馬力トノ差ニ對スル徵收率ニ例外ヲ認ムルコト
- 五、前各項ニ據ルノ外ハ總テ從前ノ通りトス

●發電用ノ水ノ使用料徵收ニ關スル件

大正十三年七月二十六日 發土第五號ノ内土木局長通牒

各地方長官宛

標記ノ件ニ關シ本年六月十一日發甲第一五號ヲ以テ及通牒候處右ハ從來水利使用料ニ關シ一定ノ許可標準ナキカ爲メ地方ニ依リ高率ノ新徵又ハ增徴ヲ爲スノ傾向アルヲ以テ其ノ最高限度ノ標準ヲ定メタル次第ニ有之府縣財政ノ事情ト水力電氣事業ノ狀況トニ鑑ミ之ヲ許否シ又ハ右限度内ニ於テ適宜料金ヲ定メラルヘキ義ニ候條該通牒ノ趣旨ヲ誤解シ限リニ使用料ノ徵收又ハ增徴ノ計畫ヲ爲ササル様御留意相成度

第九類 發電水利

●發電ノ原動力ノ用ニ供スル水ノ使用ニ關スル件

大正七年九月二十八日 發土第一三四號土木局長依命通牒

各地方長官宛

- 發電ノ原動力ニ供スル百馬力以上ノ水力發生ノ爲ニスル水ノ使用ニ關スル事件ハ當省ヘ稟伺ノ上處分方大正五年十二月十六日發土第九五號ヲ以テ依命及通牒候次第モ有之候處右ノ内左記各項ノ一ニ該當スルモノノ外ハ自今稟伺ヲ要セス候條貴官限リ處分ノ上直ニ左ノ要項ヲ具シ報告相成度
- 追テ本文ニ依ル報告後變更認可等ノ爲報告ノ内容ニ異動ヲ來タスモノハ是亦其ノ處分ノ都度報告相成度
- 一、河川法施行河川ノ流域ニ係ルモノ
- 二、河川法準用河川（水流水面ヲ合）ノ流域ニ係ルモノニシテ掘鑿土砂二千坪以上若ハ理論馬力一千馬力以上ノモノ
- 三、前項以外ノ河川ニ依ルモノニシテ掘鑿土砂量五千坪以上若ハ理論馬力三千馬力以上ノモノ
- 四、貯水ヲ爲シ又ハ主トシテ落差ヲ得ル目的ヲ以テ堰堤ヲ

二一



- 一 石狩川ノ流域ニ係ルモノ
- 二 尻別川、十勝川、釧路川、清滑川及天鹽川ノ流域ニ依ルモノニシテ掘鑿土砂二千坪以上若ハ理論馬力一千馬力以上ノモノ
- 三 前項以外ノ河川ニ依ルモノニシテ掘鑿土砂量五千坪以上若ハ理論馬力三千馬力以上ノモノ
- 四 貯水ヲ爲シ又ハ主トシテ落差ヲ得ル目的ヲ以テ堰堤ヲ築造スルモノ
- 五 甲河川ヨリ引水シ乙河川ニ放流スルモノニシテ治水上利害關係ノ著シキモノ
- 六 堰堤以外ニ於テ舟筏ノ通航木材ノ流下若ハ魚族ノ湖上ニ關シ特別ノ施設ヲ爲スモノ
- 七 灌漑其ノ他ノ水利事業ニ著シク障害ヲ及ボスノ虞アルモノ

記 (北海道廳ノ分)

- 一 許可年月日
- 二 起業者住所氏名
- 三 起業目的
- 四 河川其他公有水面ノ名稱
- 五 取水口放水口位置
- 六 使用水量
- 七 許可年限
- 九 有效落差
- 九 理論馬力及發電電力
- 一〇 流域面積(平方里)
- 一一 堰堤ノ高及長並其ノ工種
- 一二 一般平面圖(五百分ノ一)及水路縱斷面圖

發電用河水使用ニ關スル件

大正八年七月十七日 發第一四九號土木局長通牒

各地方長官宛

標記ノ件ニ付客年九月二十八日發士第一三四號ヲ以テ依命通牒ニ及ヒ置候處稟伺ヲ要セス貴官限り處分相成可然事項ノ要項御報告ニ際シテハ左記項目具備セラレ度

〔大阪土〕

水利使用ニ關スル河川ノ流域ノ件

大正七年十月二十六日 水乙第一一七〇號土木局長通牒

各地方長官宛

標記ノ件ニ付別紙甲號ノ通奈良縣知事ヨリ照會有之今般乙號ノ通り回答ニ及候條御了知相成度

(甲號) 奈良縣知事照會

客月二十八日內務省發士第百三十四號ヲ以テ發電原動力ニ供スル水ノ使用ニ關スル件依命通牒相成候處右ノ内河川法施行河川又ハ準用河川ノ流域トハ其ノ府縣ノ管内ヲ一區域トシテ考查スヘキ義ト被相認候モ或ハ一河川ノ流域數府縣ニ涉リ其ノ下流一府縣内ニ於テ幹川ノ一部河川法ヲ施行シ又ハ準用セラルル場合ニ於テハ其ノ上流ノ他府縣ハ悉ク其ノ河川ノ流域トシテ前記御通牒ノ趣旨ニ依リ稟伺ヲ要スヘキ義ニ有之候哉客月三十日六發第五十四號御通牒ノ次第モ有之候得共聊方疑義有之候ニ付更ニ至急何分ノ御指示ヲ得度及御照會候也

(乙號) 土木局長回答

標記ノ件ニ付本月十一日士第六三七八號ヲ以テ御照會ノ趣了承右ハ後段御見解ノ通ト御承知相成度

受理報告事項ノ件

大正六年六月二十一日 發第一四九號內務省土木局長通牒

各地方長官宛

標記ノ報告ハ今後別紙記載例ニ倣ヒ御調製相成度

(別紙)

- 起業者 住所何某外何名(會社ナルトキハ其ノ社名)
- 引用河川名 何川(幹川大字何川支(派)何川)
- 取水口 何縣何郡何村大字何字何
- 放水口 何縣何郡何村大字何字何
- 使用水量 每秒時何立方尺
- 落差 (曲尺ニテ示スコト)
- 馬力數 (理論馬力數ヲ記入スルコト)
- 發電力 キロワット數
- 工費 (總額ヲ記入スルコト)
- 目的 一般電力供給又ハ自家何業用等ノ類
- 受理年月日 大正 年 月 日
- 備考 本件ハ何々ト競願ナリ又ハ何々ノ類

發電用水ノ使用ニ關スル願書

發電用水ノ使用ニ關スル願書 受理報告事項ノ件



昭和四年五月十三日  
發甲第二〇號內務省土木局長通牒  
各地方長官宛

大正六年六月二十一日附發第一四九號ヲ以テ標記ノ件及通牒  
置候處爾今報告例中左ノ通記載相成度又右報告ニハ取水口、  
放水口、水路、發電所、貯水池位置等ヲ明示シタル陸地測量  
部刊行五萬分ノ地形圖添附相成度尙競願關係アルモノニ付  
テハ色別等ニ依リ洩レナク記入有之度

引用河川名、河川法施行河川(河川法準用河川)何川……

### ●地方廳限處分ノ發電用河水使 用許可報告要項ノ件

大正九年九月十七日  
發甲第三五號土木局長通牒  
各地方長官宛

標記ノ件ニ付客年七月發第二一六號ヲ以テ及通牒置候處爾今  
左記載例ニ據リ報告相成度

(記載例)

一 命令書寫(起業者ノ住所氏名ハ全部記載ノコト尙起業  
ノ目的ニシテ命令書ノミニテ其ノ内容判明セサルモノニ  
在リテハ別ニ詳記シタルモノ添附ノコト)

〔大阪土〕

- 二 有效落差
- 三 理論馬力及發電力
- 四 流域面積
- 五 堰堤ノ高(河床ヨリ最高ヲ記載スルコト)及長並其ノ工  
種
- 六 掘鑿土砂ノ數量
- 七 水路一覽圖(縮尺五萬分一)(可成陸地測量部發行ノ地  
圖ニ依ルコトトシ堰堤、取水口、隧道、開渠、發電所、  
餘水路、放水口等ノ位置ヲ記載スルコト)水路縱斷面圖

### ●水利使用ニ關スル行政訴訟報 告ノ件

大正十五年七月九日  
發甲第二三號內務省土木局長通牒  
各地方長官宛

水利使用ニ關スル行政訴訟ニシテ貴官ヲ被告トシ訴訟ヲ提起  
シタルモノアルトキハ爾今其ノ都度訴狀答辯書寫等添附御報  
告相成度

### ●發電水力調査申請規則

明治四十三年九月二十八日  
遞信省令第八十八號

第一條 電氣事業經營ノ目的ヲ以テ水力ヲ使用セムトスル者

〔大阪土〕

第八條 遞信大臣ニ於テ起業不確實ト認メタル場合ニ於テハ  
調査ノ許可ヲ取消スコトアルヘシ

第九條 申請者ニ於テ調査ノ廢止ヲ求メムトスルトキハ事由  
ヲ具シ遞信大臣ニ申請スヘシ

第十條 前二條ニ依リ調査ヲ廢止シタル場合ト雖既ニ調査ニ  
要シタル費用ハ之ヲ免除セス

第十一條 本規則ニ依リ遞信大臣ニ提出スル書類ハ總テ所轄  
臨時發電水力調査局支局ヲ經由スヘシ

附則  
本令ハ明治四十三年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

### ●發電水力調査圖表類交付規則

大正三年五月六日  
遞信省令第十一號

改正 大正一〇年第二〇號、一四年第九號  
第一條 遞信省ニ於テ調査シタル發電水力調査圖表類ハ其ノ  
副本ノ交付ヲ申請スルコトヲ得

第二條 調査圖表類ノ交付ヲ申請セムトスル者ハ第一號書式  
ノ申請書ヲ差出スヘシ

第三條 調査圖表類ノ交付ヲ申請セムトスル者ハ左ノ區別ニ  
前項ノ申請書ニハ第二號書式ノ企業概要書ヲ添付スヘシ

第七條 調査ヲ終了シタルトキハ費用計算書及發電水力調査  
書ヲ調製シ申請者ニ交付ス

第六條 申請者ニ於テ調査費用ヲ納付セサルトキハ相當ト認  
ムル價格ヲ以テ前條ノ有價證券ヲ賣却シ其ノ代價ヨリ賣却  
費用ヲ控除シタル殘額ヲ以テ之ニ充當シ過剩額ハ之ヲ還付  
シ不足額ハ之ヲ追徴ス

第五條 申請者ハ調査費用ノ擔保トシテ臨時發電水力調査局  
長官ノ指示スル所ニ依リ有價證券ヲ提供スヘシ

第四條 調査費用ハ總テ申請者ノ負擔トス其ノ納付ニ關シテ  
ハ臨時發電水力調査局長官ノ指示スル所ニ依ルヘシ

第三條 遞信大臣ニ於テ申請ヲ許可シタルトキハ調査著手ノ  
期日ヲ定メ之ヲ申請者ニ通知スルモノトス

第二條 前條ノ調査ヲ申請セムトスル者ハ左記ノ事項ヲ具備  
シタル申請書ヲ提出スヘシ

一 起業ノ目的

二 調査地點

三 概定馬力數

前項ノ申請書ニハ左記ノ書類ヲ添付スヘシ

一 水力使用許可書又ハ承諾書ノ謄本

二 其他參考トナルヘキ書類及圖面(縮尺二十万分ノ一町  
村名ヲ記シタルモノ)

三 遞信大臣ニ於テ申請ヲ許可シタルトキハ調査著手ノ  
期日ヲ定メ之ヲ申請者ニ通知スルモノトス

第四條 調査費用ハ總テ申請者ノ負擔トス其ノ納付ニ關シテ  
ハ臨時發電水力調査局長官ノ指示スル所ニ依ルヘシ

第五條 申請者ハ調査費用ノ擔保トシテ臨時發電水力調査局  
長官ノ指示スル所ニ依リ有價證券ヲ提供スヘシ

第六條 申請者ニ於テ調査費用ヲ納付セサルトキハ相當ト認  
ムル價格ヲ以テ前條ノ有價證券ヲ賣却シ其ノ代價ヨリ賣却  
費用ヲ控除シタル殘額ヲ以テ之ニ充當シ過剩額ハ之ヲ還付  
シ不足額ハ之ヲ追徴ス

第七條 調査ヲ終了シタルトキハ費用計算書及發電水力調査  
書ヲ調製シ申請者ニ交付ス



第九類 發電水利

依リ手数料ヲ納付スヘシ

一流量ニ關スル調査圖表類

一流量測定地點(又ハ一測水所)

一曆年分ニ付

金五十圓

一曆年ニ於ケル調査期間一年未滿ノモノニ付

金二十五圓

二地形ニ關スル調査圖表類

一水力地點又ハ一水力地點トシテ利用セムトスル區間ニ付

金百圓

前項第一號ノ場合ニ於テ毎日ノ流量ニ關スル圖表ノ交付ヲ受ケサルモノノ手数料ハ各其ノ半額トス

手数料ハ其ノ金額ニ相當スル收入印紙ヲ申請書ニ貼付シテ納付スヘシ

前項ノ收入印紙ハ逓信省ニ於テ之ヲ消印ス

第四條 逓信省ニ於テ調査シタル流量測定地點(又ハ測水所)及發電水力地點ハ地方廳又ハ逓信局ニ就キ承合スヘシ

第一號書式

收入印紙ヲ貼付スヘシ但シ消印スヘカラス

發電水力地點調査圖表類副本交付申請書

貴省ニ於テ調査相成候左記圖表類ノ副本交付相成度企業概要書添附此段申請候也

年月日

住所

逓信大臣宛

申請者

氏名

記

一流量圖表(自何年何月至何年何月)

但シ何々水系何々川筋何縣何郡何村何字流量測定地點(又ハ測水所)ニ關スルモノ

二地形圖

但シ何々水系何々川第何號水力地點又ハ自何縣何郡何村何字至何縣何郡何村何字間(何川合流點下流)ノモノ

第二號書式

企業概要書

一、企業者名

二、利用何川及地點

何川名 何水系

地點 取入口

放水口

三、水力利用ノ目的

四、動力利用區域

第九類 發電水利(終)

〔大阪土〕

第十類 土地收用



第十類 土地收用

- 土地收用法……………明治三三年三月法律二九號……………一
- 土地收用法施行令……………明治三三年三月勅令九九號……………一一
- 土地收用法第六條ニ基ツキ發スル命令ノ件……………明治三三年三月勅令一〇〇號……………一三
- 土地收用法ニ關スル件……………明治三三年四月内務省訓令九號……………一五
- 土地收用法第四十六條ニ依ル合同收用審査會ニ關スル件……………明治三三年三月勅令一〇一號……………一六
- 土地收用法第六十九條ニ據ル命令ノ件……………明治三三年三月勅令一〇二號……………一六
- 土地收用法第八十五條第三項ニ據ル命令ノ件……………明治三三年三月勅令一〇三號……………一六
- 公用土地買上規則ニ依リ買上ケ又ハ土地收用法ニ依リ收用シタル土地處分等ノ場合ニ於ケル取扱方ノ件……………明治三三年五月内務省訓令五二五號……………一七
- 内務省ノ起業ニ依ル土木事業ニ關シ携帶證票雛形ノ件……………明治三三年五月内務省訓令五二五號……………一七



ノ件……………大正三年一月内務省告示七號……………一八

○大阪府ノ起業ニ係ル事業ニ關シ土地ニ立入り又ハ  
 障害物ヲ除却スル者ノ身分ヲ證明スヘキ證票雛形……………昭和六年七月府告示六二二號……………一八

○土地收用法ニ依リ起業者ヨリ事業認定ノ申請ヲ爲  
 シタル場合ニ關スル件……………明治三五年七月内務省訓令一四號……………一九

○土地收用手續ニ關スル件……………昭和九年三月土木部長依命通牒……………一九

○土地收用法ニ關シ收用土地其ノ他ノ原狀撮影方ニ  
 關スル件……………昭和八年七月總務課長依命通牒……………一九

○土地收用裁決申請手續ニ關スル件……………昭和八年七月總務課長通牒……………二〇

〔大阪土〕

### 第十類 土地收用

〔大阪土〕

#### ●土地收用法

明治三十三年三月七日  
法律第二十九號

改正 大正三年三月法律第一五號、昭和二年三月第三九號、六年四月第五  
三號

#### 土地收用法

- 第一章 總則
- 第二章 事業ノ準備
- 第三章 事業ノ認定
- 第四章 收用ノ手續
- 第五章 收用審査會
- 第六章 損失ノ補償
- 第七章 收用ノ效果
- 第八章 費用ノ負擔
- 第九章 監督、強制及罰則
- 第十章 訴願及訴訟

#### 附 則

#### 土地收用法 第一章 總則

第一條 公共ノ利益ト爲ルヘキ事業ノ爲之ニ要スル土地ヲ收  
 用又ハ使用スルノ必要アルトキハ其ノ土地ハ本法ノ規定ニ  
 依リ之ヲ收用又ハ使用スルコトヲ得

#### 第十類 土地收用

本法ニ於テ使用ト稱スルハ權利ノ制限ヲ包含ス

第二條 土地ヲ收用又ハ使用スルコトヲ得ル事業ハ左ノ各號  
 ノ一ニ該當スルモノナルコトヲ要ス

- 一 國防其ノ他軍事ニ關スル事業
  - 二 皇室陵墓ノ營建又ハ神社若ハ官公署ノ建設ニ關スル事  
 業
  - 三 社會事業又ハ教育若ハ學藝ニ關スル事業
  - 四 鐵道、軌道、索道、專用自動車道、道路、橋梁、河川、  
 堤防、砂防、運河、用惡水路、溜池、船渠、港灣、埠  
 頭、水道、下水、國立公園、市場、電氣裝置、瓦斯裝  
 置又ハ火葬場ニ關スル事業
  - 五 衛生、測候、航路標識、防風、防火、水害豫防其ノ他  
 公用ノ目的ヲ以テ國道府縣市町村其ノ他公共團體ニ於  
 テ施設スル事業
- 第二條ノ二 現ニ土地ヲ收用又ハ使用スルコトヲ得ル事業ノ  
 用ニ供スル土地ハ特別ノ必要アル場合ニ非ザレバ之ヲ收用  
 又ハ使用スルコトヲ得ス
- 第三條 本法又ハ本法ニ基ツキテ發スル命令ニ規定シタル起  
 業者ノ權利義務ハ事業ト共ニ其ノ承繼人ニ移轉ス
- 第四條 本法又ハ本法ニ基ツキテ發スル命令ノ規定ニ依リ爲  
 シタル手續其ノ他ノ行爲ハ起業者、土地所有者又ハ關係人  
 ノ承繼人ニ對シテモ其ノ效力ヲ有ス



第十類 土地收用

第五條 本法ニ於テ土地所有者ト稱スルハ收用又ハ使用スヘキ土地ノ所有者ヲ謂フ

本法ニ於テ關係人ト稱スルハ收用又ハ使用スヘキ土地又ハ其ノ土地ニ在ル建物ニ關シテ權利ヲ有スル者ヲ謂フ

第十九條ノ地方長官ノ公告又ハ通知ノ後其ノ土地又ハ其ノ土地ニ在ル建物ニ關シテ權利ヲ取得シタル者ハ關係人ト看做サス但シ既存ノ權利ヲ承繼シタル者ハ此ノ限ニ在ラス

第六條 本法又ハ本法ニ基ツキテ發スル命令ニ規定シタル期間ノ計算法、通知ノ方法及書類ノ送達ニ關シテハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第七條 本法ノ規定ハ水ノ使用ニ關スル權利其ノ他土地ニ關スル所有權以外ノ權利ノ收用又ハ使用ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第七條ノ二 本法ハ第二條ニ規定スル事業ノ用ニ供スベキ土地ニ定著スル物件又ハ之ニ關スル權利ヲ其ノ事業ノ用ニ供スル爲ニ收用又ハ使用スル場合ニ之ヲ準用ス

第八條 本法ノ規定ハ土地ニ屬スル土石砂礫ノ收用ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第二章 事業ノ準備

第九條 事業ノ準備ノ爲必要アルトキハ起業者ハ事業ノ種類及立入ルヘキ土地ノ區域ヲ定メ地方長官ノ許可ヲ得テ土地ニ立入り測量又ハ検査ヲ爲スコトヲ得但シ此ノ場合ニ於テ

〔大阪土〕

〔大阪土〕

臣之ヲ認定ス但シ軍機ニ關スル事業ハ此ノ限ニ在ラス

第十三條 起業者カ前條ノ認定ヲ受ケントスルトキハ事業計畫書及圖面ヲ添ヘ地方長官ヲ經由シテ内務大臣ニ申請スベシ但シ起業者カ宮内省又ハ國ナルトキハ宮内大臣又ハ主務大臣ハ事業計畫書及圖面ヲ添ヘ内務大臣ニ請求スベシ

第十四條 内務大臣カ認定ヲ爲シタルトキハ起業者及事業ノ種類並起業地ヲ公告スヘシ

第十五條 天災事變ニ際シ急施ヲ要スル事業ノ爲土地ヲ使用スルトキハ市町村長ハ其ノ事業ノ認定ヲ爲スコトヲ得

前項ノ事業カ宮内省、國又ハ道府縣ノ起業ニ係ルトキハ宮内大臣、主務大臣又ハ道廳長官府縣知事ハ事業ノ種類、使用スベキ土地ノ區域及使用ノ期間ヲ市町村長ニ通知スベシ

前二項ノ使用ノ期間ハ六箇月ヲ超ユルコトヲ得ス

軍事上臨時急施ヲ要スル事業ノ爲土地ヲ使用スルトキハ主務大臣ハ使用スヘキ土地ノ區域ヲ市町村長ニ通知スヘシ

第十六條 起業者カ市町村長ノ認定ヲ受ケムトスルトキハ事業ノ種類、使用スヘキ土地ノ區域及使用ノ期間ヲ定メ市町村長ニ申請スヘシ

第十七條 市町村長カ認定ヲ爲シタルトキ又ハ第十五條第二項ノ通知ヲ受ケタルトキハ起業者、事業ノ種類、使用スヘキ土地ノ區域及使用ノ期間ヲ土地所有者及占有者ニ通知ス

第十類 土地收用

〔大阪土〕

〔大阪土〕

宮内省又ハ國ノ起業ニ係ルトキハ宮内大臣又ハ主務大臣ハ之ヲ地方長官ニ通知スヘシ

地方長官前項ノ許可ヲ與ヘ又ハ通知ヲ受ケタルトキハ起業者、事業ノ種類及立入ルヘキ土地ノ區域ヲ公告シ又ハ之ヲ其ノ土地占有者ニ通知スヘシ

第十九條ノ地方長官ノ公告又ハ通知ノ後起業者カ事業ノ準備ノ爲其ノ土地ニ立入り測量又ハ検査ヲ爲ス場合ニ於テハ本條ノ許可又ハ通知ヲ要セス

第十條 前條ノ場合ニ於テハ起業者ハ立入ルヘキ日より五日

前ニ其ノ日時及場所ヲ市町村長ニ通知スヘシ市町村長ハ之ヲ公告シ又ハ其ノ土地占有者ニ通知スヘシ

邸内ニ立入ル場合ニ於テハ起業者ハ豫メ其ノ占有者ニ通知スヘシ

日出前日没後ハ起業者ハ占有者ノ承諾アルニ非ザレバ邸内ニ立入ルコトヲ得ズ

第十一條 第九條ノ規定ニ依ル測量又ハ検査ノ爲必要アルトキハ起業者ハ行政廳ノ許可ヲ得テ障害物ヲ除却スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ障害物ノ除却ヲ爲ス場合ニ於テハ起業者ハ三日前ニ其ノ所有者及占有者ニ通知スヘシ

第三章 事業ノ認定

第十二條 土地ヲ收用又ハ使用スルコトヲ得ル事業ハ内務大臣

〔大阪土〕

市町村長カ第十五條第四項ノ通知ヲ受ケタルトキハ使用スヘキ土地ノ區域ヲ土地所有者及占有者ニ通知スヘシ

第十八條 起業者カ内務大臣ノ認定ノ公告ノ後三箇年内ニ第十九條ノ申請ヲ爲ササルトキハ其ノ認定ハ效力ヲ失フ

第四章 收用ノ手續

第十九條 内務大臣ノ認定ノ公告ノ後起業者ノ申請ニ依リ地方長官ハ收用又ハ使用スヘキ土地ノ細目ヲ公告シ又ハ之ヲ土地所有者及關係人ニ通知スヘシ

軍機ニ關スル事業ニ付テハ主務大臣ハ地方長官ニ收用又ハ使用スヘキ土地ノ細目ヲ通知シ地方長官ハ之ヲ土地所有者及關係人ニ通知スヘシ

第十九條ノ二 前條ノ地方長官ノ公告又ハ通知ノ後ハ土地所有者及關係人ハ事業ニ支障ヲ及ボス虞ナキ場合ヲ除クノ外行政廳ノ許可ヲ得ルニ非ザレバ收用又ハ使用スベキ土地ノ形質ヲ變更シ又ハ第七條ノ二ノ物件ヲ損壞若ハ收去スルコトヲ得ズ

第二十條 第十九條ノ地方長官ノ公告又ハ通知ノ後ハ起業者ハ其ノ土地ニ立入り土地物件ヲ調査スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テハ起業者ハ立入ルヘキ日より三日前ニ其ノ日時及場所ヲ其ノ土地占有者ニ通知スヘシ

日出前日没後ハ占有者ノ承諾アルニ非ザレバ邸内ニ立入ル

三

三



第十類 土地收用

コトヲ得ス

第二十一條 第十九條ノ地方長官ノ公告又ハ通知ノ後起業者ハ土地所有者及關係人ト共ニ土地物件ニ關スル調書ヲ作ルベシ

前項ノ場合ニ於テ土地所有者又ハ關係人が調書ヲ作ルコトヲ距ミタルトキ其ノ他之ト共ニ調書ヲ作ルコト能ハザルトキハ起業者ハ市町村長ノ立會ヲ以テ之ヲ作ルベシ市町村長ガ起業者ナルトキ又ハ起業者ニ對シ第四十條第二項ニ掲ゲタル關係ヲ有スルトキハ起業者ノ申請ニ依リ地方長官立會人ヲ指定スベシ

起業者、土地所有者及關係人ハ本條ノ規定ニ依リ作りタル調書ノ記載事項ニ對シテ異議ヲ述ブルコトヲ得ズ

第二十二條 第十九條ノ地方長官ノ公告又ハ通知ノ後起業者ハ其ノ土地ニ關スル權利ヲ取得スル爲メ土地所有者及關係人ニ協議ヲ爲スヘシ

前項ノ協議調ハサルトキ又ハ協議ヲ爲スコト能ハサルトキハ起業者ハ收用審査會ノ裁決ヲ求ムルコトヲ得

第二十三條 收用審査會ノ裁決ヲ求メタルトキハ起業者ハ其ノ申請書ニ左ニ掲ケタル書類ヲ添ヘ地方長官ニ差出スヘシ但シ電機ニ關スル事業ニ付テハ事業計畫書及圖面ヲ添フルコトヲ要セス

一 事業計畫書及圖面

〔大阪土〕

二 市區町村別ニ左ニ掲ケタル事項ヲ記載シタル書類

收用又ハ使用スヘキ土地ノ番號、地目

收用又ハ使用スヘキ土地ノ面積及其ノ土地ニ在ル物件ノ種類、數量但シ土地物件カ分割ヲ來スヘキ場合ニ於テハ其ノ全部ノ面積建坪等ヲ併記スヘシ

損失補償ノ見積金額及内譯

收用ノ時期又ハ使用ノ時期、期間

土地所有者及關係人ノ氏名、住所

三 第二十一條ノ規定ニ依ル土地物件ニ關スル調書又ハ其ノ寫

收用審査會ノ裁決ヲ求メタルトキハ起業者ハ同時ニ土地所有者及關係人ニ通知スヘシ

第二十四條 地方長官前條ノ書類ヲ受ケタルトキハ之ヲ市町村長ニ送付スベシ但シ同條第一項第三號ノ書類ハ此ノ限ニ在ラズ

市町村長前項ノ書類ヲ受ケタルトキハ遲滞ナク公告ヲ爲シ公告ノ日ヨリ一週間之ヲ公衆ノ縦覽ニ供スベシ

第二十五條 土地所有者及關係人ハ前條縦覽期間ノ初日ヨリ二週間内ニ地方長官ニ意見書ヲ差出スコトヲ得

第二十六條 地方長官ハ前條ノ期間ヲ經過シタル後收用審査會ヲ開クヘシ

第二十七條 收用審査會ハ開會ノ日ヨリ一週間内ニ裁決ヲ爲

〔大阪土〕

スヘシ但シ地方長官ハ必要ト認ムルトキハ二週間内ノ延期ヲ爲スコトヲ得

第二十八條 收用審査會カ前條ノ期間内ニ裁決ヲ爲ササルトキハ地方長官ハ事情ヲ具シ内務大臣ノ指揮ヲ請フヘシ内務大臣ハ收用審査會ニ一定ノ期間内ニ裁決ヲ爲スヘキコトヲ命シ又ハ之ニ代テ裁決ヲ爲スヘキコトヲ地方長官ニ命スルコトヲ得

收用審査會カ前項ノ期間内ニ裁決ヲ爲ササルトキハ地方長官ハ之ニ代テ裁決ヲ爲スヘシ

第二十九條 收用審査會カ招集ニ應セス又ハ成立セサルトキハ地方長官ハ内務大臣ノ認可ヲ得テ之ニ代テ裁決ヲ爲スコトヲ得事業ノ急施ヲ要スルトキ亦同シ

第三十條 收用審査會カ裁決ヲ爲シタルトキハ其ノ裁決書ノ謄本ヲ添ヘ地方長官ニ報告スヘシ

第三十一條 前條ノ報告ヲ受ケ又ハ收用審査會ニ代テ裁決ヲ爲シタルトキハ地方長官ハ裁決書ノ謄本ヲ起業者、土地所有者及關係人ニ送達スヘシ

第三十二條 軍機ニ關スル事業又ハ内務大臣ノ認定シタル事業ノ施行ニ因リテ必要ヲ生シタル道路、堤防其ノ他公用ニ供スル工作物ノ新築、改築又ハ増築ノ爲メ土地ヲ收用又ハ使

第十類 土地收用

用スルトキハ地方長官ノ許可ヲ得テ直ニ本章ノ規定ニ依ルコトヲ得

五

第三十三條 市町村長カ認定ヲ爲シ又ハ第十五條第二項若ハ第四項ノ通知ヲ受ケタルトキハ第十七條ノ通知ノ後起業者ヲシテ直ニ其ノ土地ヲ使用セシムルコトヲ得但シ損失ノ補償ニ關シテハ本法ノ規定ニ依ルヘシ

第三十四條 起業者カ第十九條ノ地方長官ノ公告又ハ通知ノ後一箇年内ニ收用審査會ノ裁決ヲ求メサルトキハ其ノ公告又ハ通知ハ效力ヲ失フ

第五章 收用審査會

第三十五條 收用審査會ハ内務大臣ノ監督ニ屬シ左ニ掲ケタル事項ヲ定メテ收用又ハ使用ノ裁決ヲ爲スモノトス

一 收用又ハ使用スヘキ土地ノ區域

二 損失ノ補償

三 收用ノ時期又ハ使用ノ時期、期間

起業者ノ申請カ本法又ハ本法ニ基ツキテ發スル命令ノ規定ニ違反スルトキハ收用審査會ハ却下ノ裁決ヲ爲スヘシ

第三十六條 收用審査會ハ會長一人委員六人ヲ以テ之ヲ組織ス

第三十七條 會長ハ地方長官ヲ以テ之ニ充ツ議事其ノ他ノ會務ヲ統理シ會ヲ代表ス

第三十八條 委員ハ高等文官及道府縣名譽職參事會員各三人ヲ以テ之ニ充ツ

高等文官ニシテ委員タルヘキ者ハ内務大臣之ヲ命シ道府縣



第十類 土地收用

名譽職參事會員ニシテ委員タルヘキ者ハ其ノ互選トス  
第三十九條 收用審査會ハ委員半數以上出席スルニ非サレハ  
會議ヲ開クコトヲ得ス  
收用審査會ノ議事ハ過半數ヲ以テ決ス可否同數ナルトキハ  
會長ノ決スル所ニ依ル

第四十條 委員方起業者、土地所有者又ハ關係人ナルトキハ  
收用審査會ノ議事ニ參與スルコトヲ得ス  
委員方起業者、土地所有者若ハ關係人ノ配偶者、四親等内  
ノ親族、戸主、家族、代理人及保佐人ナルトキ又ハ起業者、  
土地所有者若ハ關係人タル市町村ノ市町村長、合名會社ノ  
社員、合資會社及株式合資會社ノ無限責任社員、株式會社  
ノ取締役及監査役其ノ他法人ノ理事及監事ナルトキ亦前項  
ニ同シ

本條ノ規定ニ依リ委員ノ數減少シテ前條第一項ノ數ヲ得サ  
ルトキハ地方長官ハ左ニ掲ケタル順序ニ從ヒ其ノ本條ノ規  
定ニ抵觸セサル者ノ内ヨリ臨時ニ指名シテ之ヲ補充スヘ  
シ  
一 道府縣名譽職參事會員  
二 道府縣名譽職參事會員ノ補充員  
三 道府縣會議員

第四十一條 收用審査會ノ裁決ハ起業者、土地所有者及關係  
人ノ申立タル範圍ヲ超ユルコトヲ得ス

〔大阪土〕

〔大阪土〕

第四十二條 收用審査會ハ必要ト認ムルトキハ鑑定人ヲ選ビ  
其ノ意見ヲ聽クコトヲ得

前項ノ鑑定人ニ付テハ第四十條ノ規定ヲ準用ス  
第四十三條 收用審査會ハ必要ト認ムルトキハ起業者、土地  
所有者又ハ關係人ヲ呼出シ其ノ意見ヲ聽クコトヲ得  
收用審査會ハ事實參考ノ爲必要ト認ムルトキハ前項ニ掲グ  
ル者以外ノ者ヲ呼出シ其ノ供述ヲ聽クコトヲ得

第四十四條 裁決ハ文書ヲ以テ之ヲ爲シ其ノ理由ヲ附シ會長  
之ニ署名捺印スヘシ  
裁決書ノ謄本ニハ會ノ印章ヲ押捺スヘシ

第四十五條 鑑定人及事實參考人ハ旅費及手當ヲ請求スルコ  
トヲ得

第四十六條 二府縣以上ニ渉ル事業ニ係ルトキハ關係地方長  
官ハ勅令ノ定ムル所ニ從ヒ合同シテ收用審査會ヲ開クコト  
ヲ得

第六章 損失ノ補償

第四十七條 土地所有者及關係人ノ受クル損失ハ起業者之ヲ  
補償スヘシ  
損失ノ補償ハ各人別ニ之ヲ爲スヘシ但シ其ノ各人別ニ見積  
リ難キトキハ此ノ限ニ在ラス

第四十八條 收用スヘキ土地物件ニ付テハ相當ノ價格ニ依リ  
其ノ損失ヲ補償スヘシ

之ヲ補償スヘシ  
第五十五條 土地ノ使用力三箇年以上ニ互ルトキ又ハ土地ノ  
形質ヲ變更スルトキ若ハ使用スヘキ土地ニ建物アルトキハ  
所有者ハ其ノ土地ノ收用ヲ請求スルコトヲ得但シ空間ヲ使  
用スル場合ニ於テ土地ノ使用ヲ妨ケサルトキハ此ノ限ニ在  
ラス

〔大阪土〕

第五十六條 第十九條ノ地方長官ノ公告又ハ通知ノ後行政廳  
ノ許可ヲ得スシテ土地ノ形質ヲ變更シ又ハ工作物ノ新築、  
改築、増築若ハ大修繕ヲ爲シ又ハ物件ヲ附加増置シタル土  
地所有者又ハ關係人ハ之ニ關スル損失ノ補償ヲ請求スルコ  
トヲ得

第五十七條 第九條又ハ第二十條ノ規定ニ依リ土地ニ立入り  
測量、検査又ハ調査ヲ爲スニ因リテ他人ニ及ホシタル損失  
ハ起業者之ヲ補償スヘシ

第五十八條 第十九條ノ地方長官ノ公告又ハ通知ノ後起業者  
カ事業ヲ廢止變更シタルニ因リテ土地所有者又ハ關係人ノ  
受ケタル損失ハ之ヲ補償スヘシ

第五十九條 前二條ノ補償ニ付キ協議調ハサルトキハ地方長  
官ノ決定ヲ求ムルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ第三十一條及  
第四十一條乃至第四十五條ノ規定ヲ準用ス

第七章 收用ノ效果

第六十條 起業者ハ收用又ハ使用ノ時期迄ニ補償金ヲ拂渡ス

使用スヘキ土地ニ付テハ其ノ土地及近傍類地ノ料金ニ依リ  
其ノ損失ヲ補償スヘシ  
第四十九條 土地ノ一部ヲ收用又ハ使用スルニ因リテ殘地ノ  
價格ヲ減シ其ノ他殘地ニ關シ損失ヲ生スヘキトキハ其ノ損  
失ヲ補償スヘシ  
第五十條 土地ノ一部ヲ收用スルニ因リテ殘地ヲ從來用井タ  
ル目的ニ供スルコト能ハサルトキハ土地所有者ハ其ノ全部  
ノ收用ヲ請求スルコトヲ得  
第五十一條 收用又ハ使用スヘキ土地ニ在ル物件ハ移轉料ヲ  
補償シテ移轉セシムヘシ但シ物件ノ分割ヲ來シ其ノ全部ヲ  
移轉スルニ非サレハ從來用井タル目的ニ供スルコト能ハサ  
ルトキハ所有者ハ其ノ全部ノ移轉料ヲ請求スルコトヲ得  
前項ノ場合ニ於テ物件ヲ移轉スルニ因リテ從來用井タル目  
的ニ供スルコト能ハサルトキハ所有者ハ其ノ收用ヲ請求ス  
ルコトヲ得  
第五十二條 前條ノ移轉料ニシテ其ノ物件ノ相當價格ヲ超ユ  
ル場合ニ於テハ起業者ハ其ノ收用ヲ請求スルコトヲ得  
第五十三條 土地ヲ收用又ハ使用スルニ因リテ通路、溝渠、  
塙柵其ノ他ノ工作物ノ新築、改築、増築又ハ修繕ヲ爲ス必  
要ヲ生スルトキハ其ノ費用ヲ補償スヘシ  
第五十四條 前數條ニ規定シタルモノノ外土地ヲ收用又ハ使  
用スルニ因リテ土地所有者及關係人ノ通常受クヘキ損失ハ

第十類 土地收用



ハシ

左ニ掲ケタル場合ニ於テハ補償金ヲ供託スルコトヲ得

一 補償金ヲ受クヘキ者カ其ノ受領ヲ拒ミタルトキ又ハ之ヲ受領スルコト能ハサルトキ

二 起業者カ過失ナクシテ補償金ヲ受クヘキ者ヲ確知スルコト能ハサルトキ

三 起業者カ收用審査會ノ裁決中補償金額ノ決定ニ對シテ不服アルトキ但シ補償金ヲ受クヘキ者ノ請求アルトキハ起業者ハ自己ノ見積金額ヲ拂渡スヘシ

四 起業者カ補償金拂渡ノ差押又ハ假差押ヲ受ケタルトキ

第六十一條 土地所有者及關係人ハ收用又ハ使用ノ時期迄ニ土地物件ヲ引渡シ又ハ物件ヲ移轉スヘシ但シ左ニ掲ケタル場合ニ於テハ起業者ノ請求ニ依リ市町村長ハ土地所有者及關係人ニ代ルモノトス

一 土地所有者及關係人カ土地物件ヲ引渡シ又ハ物件ヲ移轉スルコト能ハサルトキ

二 起業者ノ過失ナクシテ土地所有者及關係人ヲ確知スルコト能ハサルトキ

第六十二條 起業者カ收用又ハ使用ノ時期迄ニ補償金ノ拂渡又ハ供託ヲ爲ササルトキハ收用審査會ノ裁決ハ其ノ效力ヲ失フ但シ土地所有者及關係人カ損害賠償ノ請求ヲ爲スコトヲ妨ケス

〔大阪土〕

第六十三條 土地物件ヲ收用スルトキハ收用ノ時期ニ於テ所有權ハ起業者之ヲ取得シ其ノ他ノ權利ハ消滅ス

土地ヲ使用スルトキハ其ノ權利ハ使用ノ期間ニ於テ起業者之ヲ取得シ其ノ他ノ權利ハ使用ノ期間其ノ行使ヲ停止セラレ但シ使用ヲ妨ケサルモノハ此ノ限ニ在ラス

第六十四條 收用審査會ノ裁決ノ後收用又ハ使用スヘキ土地物件カ土地所有者又ハ關係人ノ責ニ歸スヘカラサル事由ニ因リテ滅失又ハ毀損シタルトキハ其ノ滅失又ハ毀損ハ起業者ノ負擔ニ歸ス

第六十五條 先取特權、質權又ハ抵當權ハ其ノ目的物ノ收用又ハ使用ニ因リテ債務者カ受クヘキ補償金ニ對シテモ之ヲ行フコトヲ得但シ其ノ拂渡前ニ差押ヲ爲スヘシ

第六十六條 收用ノ時期ヨリ二十箇年内ニ事業ノ廢止其ノ他ノ事故ニ因リテ收用シタル土地ノ全部又ハ一部カ不用ニ歸シタルトキハ舊所有者又ハ其ノ相續人ハ補償價格ヲ以テ之ヲ買受ルコトヲ得但シ第五十條ノ規定ニ依リテ收用シタル殘地ハ其ノ接續部分ノ不用ニ歸シタル時ニ非サレハ之ヲ買受ルコトヲ得ス

前項ノ場合ニ於テ買受ハ第三者ニ對シテモ其ノ效力ヲ有ス  
第一項ノ期間内ニ於テ收用シタル土地ヲ他ノ軍機ニ關スル事業又ハ内務大臣ノ認定シタル事業ニ供スルトキハ不用ニ

〔大阪土〕

歸シタルモノト看做サス

第六十七條 前條ノ不用ノ土地アルトキハ起業者ハ舊所有者又ハ其ノ相續人ニ通知スヘシ但シ起業者ノ過失ナクシテ之ヲ確知スルコト能ハサルトキハ少クとも三回ノ公告ヲ爲スヘシ

前項ノ通知ヲ受ケタル日ヨリ二箇月内又ハ第三回ノ公告終了ノ日ヨリ六箇月内ニ舊所有者又ハ其ノ相續人カ買受ノ通知ヲ爲ササルトキハ其ノ權利ヲ失フ

第八章 費用ノ負擔

第六十八條 起業者、土地所有者及關係人カ本法又ハ本法ニ基ツキテ發スル命令ニ規定シタル手續其ノ他ノ行為ヲ爲シ又ハ義務ヲ履行スル爲ニ要シタル費用ハ各其ノ負擔トス

第六十九條 收用審査會ニ要シタル費用ハ命令ヲ以テ別ニ負擔者ヲ定メタルモノヲ除クノ外府縣ノ負擔トス第五十九條ノ場合ニ要シタル費用ニ付テ亦同シ

第七十二條ノ規定ニ依リ收用審査會ノ裁決ヲ取消シタル場合ニ於テ更ニ開クヘキ收用審査會ニ要シタル費用ハ之ヲ起業者、土地所有者及關係人ニ負擔セシムルコトヲ得ス

第七十條 第七十三條第一項ノ規定ニ依リ地方長官カ義務者ノ爲スヘキ事項ヲ自ら執行シ又ハ他人ヲシテ執行セシメタル爲ニ要シタル費用ハ府縣ノ負擔トス  
府縣ハ前項ノ費用ヲ各其ノ義務者ヨリ徵收スルコトヲ得但

第十類 土地收用

シ其ノ義務者ノ受領スヘキ補償金ヲ以テ之ヲ充ツルコトヲ得

第七十一條 土地所有者又ハ關係人ノ負擔スヘキ費用ハ第六十一條但書ノ場合ニ於テハ市町村ノ負擔トス

前項ノ場合ニ於テハ前條第二項ノ規定ヲ準用ス

第九章 監督、強制及罰則

第七十二條 收用審査會カ其ノ權限ヲ越エ又ハ法令ノ規定ニ違反シテ爲シタル裁決ハ内務大臣之ヲ取消スコトヲ得

第七十三條 義務者カ本法又ハ本法ニ基ツキテ發スル命令ノ規定ニ依ル義務ヲ履行セス又ハ之ヲ履行スルモ一定ノ期間内ニ終了スル見込ナキトキハ地方長官ハ自ら之ヲ執行シ又ハ他人ヲシテ之ヲ執行セシムルコトヲ得

義務者カ本法又ハ本法ニ基ツキテ發スル命令ノ規定ニ依ル義務ヲ履行セサル場合ニ於テ前項ノ規定ニ依ルコト能ハサルトキハ地方長官ハ直接ニ之ヲ強制スルコトヲ得

第七十四條 前章ノ規定ニ依リ私人ノ負擔スヘキ費用ヲ支出セサル者アルトキハ行政廳ハ國稅滯納處分ノ例ニ依リ之ヲ徵收スルコトヲ得

前項ノ費用ニ付テハ行政廳ハ國稅ニ次キ先取特權ヲ有ス

第七十五條 第九條又ハ第十一條ノ場合ニ於テ行政廳ノ許可ヲ得ズシテ土地ニ立入り又ハ障害物ヲ除却シタル者ハ百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

第七十六條 第十九條ノ地方長官ノ公告又ハ通知アリタルコ



第十類 土地收用

トヲ知りタル者第十九條ノ二ノ規定ニ違反シタルトキハ二百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

第七十七條 鑑定人トシテ收用審査會ニ呼出サレタル者虛偽ノ陳述ヲ爲シタルトキハ二年以下ノ懲役ニ處ス

第七十八條 故ナク鑑定人タルコトヲ拒ミタル者又ハ鑑定人カ故ナク鑑定ヲ爲スコトヲ拒ミタルトキハ百圓以下ノ過料ニ處ス

第七十九條 鑑定人又ハ第四十三條第二項若ハ第五十九條ノ規定ニ依リ呼出ヲ受ケタル者故ナク出頭セザルトキハ五十圓以下ノ過料ニ處ス

第八十條 非訟事件手續法第二百六條乃至第二百八條ノ規定ハ前二條ノ過料ニ之ヲ準用ス

第十章 訴願及訴訟

第八十一條 收用審査會ノ裁決ニ對シテ不服アル者ハ内務大臣ニ訴願スルコトヲ得

收用審査會ノ違法裁決ニ由リ權利ヲ傷害セラレタリトスル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

前二項ノ規定ニ依リ訴願訴訟ハ裁決書謄本ノ交付ヲ受ケタル日ヨリ二週間ヲ經過シタルトキハ之ヲ提起スルコトヲ得

本法ノ規定ニ依リ通常裁判所ニ出訴ヲ許シタル事項ニ關シテハ訴願又ハ行政訴訟ヲ提起スルコトヲ得

〔大阪土〕

第八十二條 收用審査會ノ裁決中補償金額ノ決定ニ對シテ不服アル者ハ通常裁判所ニ出訴スルコトヲ得但シ裁決書謄本ノ交付ヲ受ケタル日ヨリ三箇月ヲ經過シタルトキハ此ノ限ニ在ラス

前項ノ訴訟ハ收用審査會ニ對シテ之ヲ提起スルコトヲ得

第五十九條ノ規定ニ依リ地方長官ノ決定ニ付テハ前二項ノ規定ヲ準用ス

第八十三條 本法ノ規定ニ依リ訴願訴訟ハ事業ノ進行及土地ノ收用又ハ使用ヲ停止セス

附則

第八十四條 本法ハ明治三十三年四月一日ヨリ施行ス

第八十五條 明治二十二年法律第十九號土地收用法ノ規定ニ依リ收用又ハ使用ニ關シテ爲シタル手續其ノ他ノ行爲ハ本法ノ規定ニ依リテ爲シタルモノト看做ス

明治二十二年法律第十九號土地收用法ノ規定ニ依リ收用シタル土地ニ關シテハ第六十六條ノ期間ハ本法施行ノ日ヨリ之ヲ起算ス

明治八年太政官達第三百三十二號公用土地買上規則ニ依リ買上ケ現ニ國有タル土地ハ命令ノ定ムル所ニ依リ本條ノ規定ヲ準用ス

第八十六條 第十五條乃至第十七條及第三十三條ノ規定ニ依

リ町村長ノ爲スベキ職務ハ北海道ニ於テハ支廳長之ヲ行フ

本法ニ依リ町村長ノ爲スベキ職務ハ町村制ヲ施行セザル地ニ於テハ町村長ニ準ズベキ者之ヲ行フ

第八十七條 明治二十二年勅令第五號東京市區改正土地建物處分規則其ノ他別段ノ定アルモノハ各其ノ定ムル所ニ依リ

第八十八條 明治二十二年法律第十九號土地收用法明治二十三年法律第五十四號土地收用協議會規則及明治三十二年法律第七十二號ハ之ヲ廢止ス

附則 (昭和二年法律第三十九號)

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

〔昭和二年九月十五日ヨリ施行〕

大正十五年法律第七十八號ハ之ヲ廢止ス

本法施行前收用審査會ノ裁決ヲ求メタル收用又ハ使用ニ付テハ第四十三條ノ規定ヲ除クノ外仍從前ノ例ニ依ル但シ第三十五條第二項ノ規定ニ依リ却下ノ裁決アリタルモノニ付テハ其ノ裁決ニ對シ訴願訴訟ヲ爲ス場合ヲ除クノ外此ノ限ニ在ラズ

本法施行前從前ノ第七十八條又ハ第八十條ノ規定ニ該當スル行爲ヲ爲シタル者ニシテ本法施行ノ際未ダ其ノ裁判ヲ受ケザル者ハ本法ニ依リ處罰ス但シ過料ノ額ハ同條ノ罰金ノ額ヲ超ユルコトヲ得ズ

第十類 土地收用

一

● 土地收用法施行令

明治三十三年三月三十一日 勅令第九十九號

改正 昭和二年八月勅令第二七三號

第一條 土地收用法第十一條第一項ニ規定シタル行政廳ノ職權ハ市町村長之ヲ行フ

第二條 土地收用法第九條、第十一條又ハ第二十條ノ規定ニ依リ起業者ノ爲土地ニ立入り又ハ障害物ヲ除却スル者ハ其ノ證票ヲ携帯スヘシ

第三條 起業者ガ内務大臣ノ認定ヲ受ケントスル場合ニ於テ起業地内ニ左ニ掲ゲタル土地アルトキハ其ノ土地ニ關スル調書及圖面ヲ申請書ニ添附スベシ

一 御料地及皇族所有地

二 國有地

三 現ニ土地ヲ收用又ハ使用スルコトヲ得ル事業ノ用ニ供スル土地

四 寺院境内地

五 名所、舊蹟及古墳墓

前項ニ規定スル調書ニハ其ノ土地ヲ起業地ニ編入スルニ付土地管理者ノ意見ヲ記載スベシ

第四條 土地收用法第十四條ノ規定ニ依リ公告ハ官報ヲ以テ

一



第十類 土地收用

之ヲ爲スヘシ

第五條 内務大臣ノ認定ノ公告ノ後事業ヲ廢止變更シタルニ因リテ土地收用法第十九條ノ申請ヲ爲スノ必要ナキニ至リタルトキハ起業者ハ之ヲ地方長官ニ届出ツヘシ

第六條 土地收用法第二十一條ノ規定ニ依ル調書ハ土地調書及物件調書トス

土地調書ニハ收用又ハ使用セントスル土地ニ付左ノ事項ヲ記載シ實測平面圖ヲ添附スベシ

一 土地所在ノ郡、市、區、町村及字、土地ノ番號、地目及面積並ニ土地所有者ノ名及住所

二 收用又ハ使用セントスル土地ノ面積

三 土地ニ關シテ權利ヲ有スル者ノ名及住所並ニ其ノ權利ノ種類及内容

四 調書ヲ作りタル年月日

五 其ノ他必要ナル事項

物件調書ニハ收用若ハ使用又ハ移轉セントスル物件ニ付左ノ事項ヲ記載スベシ

一 物件ノ在ル土地所在ノ郡、市、區、町村及字並ニ土地ノ番號及地目

二 物件ノ種類及數量並ニ其ノ所有者ノ名及住所

三 物件ニ關シテ權利ヲ有スル者ノ名及住所並ニ其ノ權利

〔大阪土〕

ノ種類及内容

四 調書ヲ作りタル年月日

五 其ノ他必要ナル事項

物件ガ建物ナル場合ニ在リテハ物件調書ニハ前項ニ掲グルモノノ外建物ノ種類ニ區別シ其ノ構造及建坪ヲ記載シ實測平面圖ヲ添附スベシ

土地收用法第七條ノ規定ニ依リ權利ヲ收用又ハ使用スル場合ニ於ケル調書ニ關シテハ第三項及第四項ノ例ニ依ル

調書ニハ調書ヲ作りタル起業者、土地所有者及關係人記名捺印スベシ立會人アルトキハ立會人モ亦之ニ記名捺印スベシ

第七條 土地收用法第二十四條ノ規定ニ依リ公告ヲ爲シタルトキハ市町村長ハ其ノ旨ヲ地方長官ニ報告スヘシ

第八條 土地收用法第三十二條ノ規定ニ依リ地方長官ノ許可ヲ受ケムトスル者ハ工事計畫書及圖面ヲ添ヘ左ニ掲ケタル事項ヲ記載シ出願スヘシ

一 工事ノ種類

二 收用又ハ使用スヘキ土地ノ細目

三 其ノ必要ヲ生セシメタル事業トノ關係

範圍内ニ於テ收用審査會ノ定ムル所ニ依ル  
鑑定ヲ爲スニ付數多ノ時間又ハ特別ノ技能若ハ費用ヲ要スルトキハ前項ノ手當ノ外別ニ相當ノ金額ヲ給スルコトヲ得

〔大阪土〕

本條ノ場合ニ於テハ第三條ノ規定ヲ準用ス

第九條 土地收用法第三十二條ノ規定ニ依リ許可ヲ與ヘタルトキハ地方長官ハ收用又ハ使用スヘキ土地ノ細目ト共ニ起業者及工事ノ種類ヲ公告シ又ハ之ヲ土地所有者及關係人ニ通知スヘシ

第十條 土地收用法第十九條ノ地方長官ノ公告又ハ通知ノ後事業ヲ廢止變更シタルニ因リテ土地ヲ收用又ハ使用スルノ必要ナキニ至リタルトキハ起業者ハ之ヲ地方長官ニ届出ツヘシ

地方長官前項ノ届出ヲ受ケタルトキハ之ヲ公告シ又ハ土地所有者及關係人ニ通知スヘシ

第十一條 收用審査會會長及委員ニハ旅費ヲ支給ス

第十二條 收用審査會會長及高等文官ニシテ委員タル者ノ旅費額及其ノ支給方法ハ内國旅費規則ノ定ムル所ニ依ル

高等文官ニ非サル委員ノ旅費額及其ノ支給方法ハ府縣制第九十四條ノ規定ニ從ヒ定ムル所ニ依ル

第十三條 鑑定人及事實參考人ノ旅費額ハ鐵道賃及船賃ハ二等以下ノ運賃ニ於テ、車馬賃（汽船ヲ通セザル水路ノ船賃ヲ含ム）ハ一里ニ付七十五錢以下ニ於テ收用審査會ノ定ムル所ニ依ル

第十四條 鑑定人及事實參考人ノ手當ハ一日二圓乃至十圓ノ

第十類 土地收用

第十類 土地收用

第十類 土地收用

第十類 土地收用

第十類 土地收用

第十類 土地收用

第十類 土地收用

第十類 土地收用

第十類 土地收用

第十類 土地收用

第十類 土地收用

第十類 土地收用

第十類 土地收用

第十類 土地收用

第十類 土地收用

第十類 土地收用

第十類 土地收用

第十類 土地收用

第十類 土地收用

第十類 土地收用

第十類 土地收用

第十類 土地收用

第十類 土地收用

●土地收用法第六條ニ基ツキ發  
スル命令ノ件

明治三十三年三月三十一日  
勅令第百號



第十類 土地收用

- 第一條 本令ハ土地收用法又ハ土地收用法ニ基ツキテ發スル命令ニ規定シタル期間ノ計算法、通知ノ方法及書類ノ送達ニ關シテ之ヲ適用ス
- 第二條 期間ヲ定ムルニ時ヲ以テシタルトキハ即時ヨリ之ヲ起算ス
- 第三條 期間ヲ定ムルニ日、週、月又ハ年ヲ以テシタルトキハ期間ノ初日ハ之ヲ算入セス但シ其ノ期間方午前零時ヨリ始マルトキハ此ノ限ニ在ラス
- 第四條 期間ノ末日カ大祭日、日曜日ニ當ルトキハ期間ハ其ノ翌日ヲ以テ滿了ス但シ行政廳ニ對スル期間ハ其ノ末日カ行政廳ノ休日ニ當ルトキハ其ノ休日ノ終了シタル翌日ヲ以テ滿了ス
- 第五條 期間ヲ定ムルニ週、月又ハ年ヲ以テシタルトキハ曆ニ從ヒテ之ヲ算ス
- 第六條 土地收用法第十八條第二十五條及第三十四條ノ期間ハ郵便ニ依リ書類ヲ差出シタル場合ニ於テハ其ノ遞送ニ要ス

〔大阪土〕

- 第七條 通知ハ書面ヲ以テ之ヲ爲スヘシ但シ内務大臣方定メタル場合ニ於テハ口頭ヲ以テ之ニ代フルコトヲ得
- 第八條 書類ノ送達ニシテ送達者自ラ送達セサル場合ニ於テハ使丁又ハ書留郵便ニ依ルコトヲ得
- 第九條 數人方一人ノ代理人ヲ有スル場合ニ於テ其ノ代理人ニ爲スヘキ送達ハ一通ノ書類ヲ以テ之ヲ爲スコトヲ得
- 第十條 委任ニ因ル代理人アル場合ニ於テモ其ノ委任者ニ爲シタル送達ハ其ノ效力ヲ妨ケス
- 第十一條 無能力者ニ對スル送達ハ其ノ法定代理人ニ之ヲ爲スヘシ但シ委任ニ因ル代理人アルトキハ此ノ限ニ在ラス
- 第十二條 現役及召集中ノ豫備、後備ノ軍籍ニ在ル下士以下ノ軍人ニ對スル送達ハ其ノ所屬ノ長官又ハ隊長ニ之ヲ爲スコトヲ得

〔大阪土〕

- 第十三條 在監人ニ對スル送達ハ其ノ監獄ノ首長ニ之ヲ爲スヘシ
- 第十四條 送達ハ送達ヲ受クヘキ人ノ現所在地ニ於テ之ヲ爲スコトヲ得
- 第十五條 送達ヲ受クヘキ人其ノ住所、居所又ハ事務所ニ在ラサルトキハ其ノ送達ハ現場ニ在ル成年ノ同居者又ハ雇人ニ之ヲ爲スコトヲ得
- 第十六條 送達ヲ受クヘキ人其ノ住所、居所又ハ事務所ニ在ラサルトキハ其ノ送達ハ現場ニ在ル他ノ役員又ハ成年ノ雇人ニ之ヲ爲スコトヲ得
- 第十七條 送達ヲ受領シタル者ハ其ノ場所及年月日時ヲ記載セル受領證ヲ交付スヘシ

第十類 土地收用

土地收用法ニ關スル件

- 前項ノ受領證ヲ交付セス又ハ交付スルコト能ハサルトキ又ハ第十五條第三項ノ規定ニ依リ送達ヲ爲シタルトキハ送達人ハ其ノ調書ヲ作ルヘシ
- 第十八條 送達ヲ受クヘキ者ノ住所、居所又ハ事務所不明ナルトキハ收用又ハ使用スヘキ土地所在ノ市町村長ニ於テ之ヲ公告スヘシ
- 第十九條 書類ノ送達ニ關スル規定ハ通知ヲ爲ス場合ニ之ヲ適用ス
- 第二十條 訴訟及訴訟提起期間ノ計算法ハ訴訟法行政裁判法及民事訴訟法ノ規定ヲ適用ス
- 第二十一條 書留郵便ニ依リテ爲ス送達ニ付テハ郵便ニ關スル法令ノ規定ヲ適用ス

改正 明治四〇年五月内務省訓令第九號、大正元年二月第二四號

北海道德 府縣

第一條 土地收用法第三十二條ノ規定ニ依リ許可ヲ與フル場



第十類 土地收用

合ニ於テ其起業地内ニ土地收用法施行令第三條ニ掲ケタル土地アルトキハ本大臣ニ稟伺ノ上處分スヘシ

●土地收用法第四十六條ニ依ル  
合同收用審査會ニ關スル件

明治三十三年三月三十一日  
勅令第三百一號

- 第一條 合同收用審査會ヲ開カムトスルトキハ關係地方長官協議ヲ爲シ内務大臣ノ認可ヲ受クヘシ協議調ハサルトキハ内務大臣ノ指揮ヲ請フヘシ
- 第二條 合同收用審査會會長ハ開會地ノ地方長官ヲ以テ之ニ充テ其ノ委員ハ關係府縣收用審査會委員ヲ以テ之ニ充ツ
- 第三條 土地收用法第二十六條乃至第二十九條ニ規定シタル地方長官ノ職權ハ合同收用審査會ヲ開キタル場合ニ於テハ開會地ノ地方長官之ヲ行フ
- 第四條 合同收用審査會ノ費用ニシテ府縣ノ負擔スヘキモノノ中等文官ニ非サル委員ノ旅費ハ其ノ所屬府縣ノ負擔トシ其ノ他ハ關係府縣ノ分擔トス

附則  
本令ハ明治三十三年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

●土地收用法第六十九條ニ據ル

〔大阪土〕

土地ヲ除クノ外土地收用法第八十五條第一項及第二項ノ規定ヲ準用ス

- 一 公用土地買上規則第四則但書又ハ第八則ノ規定ニ依ラシテ買上ケタル土地
- 二 府縣郡市町村其ノ他公共團體ニ於テ土地收用法施行ノ際現ニ修理保存費ヲ負擔スル土地
- 三 明治三十二年勅令第三百三十三號第一條ノ規定ニ依リ帝國ノ臣民又ハ法人ニ於テ所有權ヲ取得スルコトヲ得ヘキ土地
- 四 土地收用法施行前不用ニ歸シタル土地
- 五 土地收用法施行前第三者ニ讓渡スヘキ契約ヲ爲シタル土地

附則

本令ハ明治三十三年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

●公用土地買上規則ニ依リ買上ケ又ハ土地收用法ニ依リ收用シタル土地處分等ノ場合ニ於ケル取扱方ノ件

明治三十三年五月十八日  
内務省訓令第五二五號

第一條 明治八年太政官達第百三十二號公用土地買上規則ニ第十類 土地收用

命令ノ件

明治三十三年三月三十一日  
勅令第三百二號

第一條 收用審査會ノ費用中左ニ掲ケタルモノハ起業者ノ負擔トス

- 一 鑑定人及事實參考人ノ旅費及手當
  - 二 裁決書謄本ノ調製費
  - 三 郵便及電信料
  - 四 備入料
  - 五 其ノ他内務大臣ノ指定シタルモノ
- 第二條 收用審査會ノ費用中收用審査會會長及高等文官ニシテ委員タル者ノ旅費ハ所屬官廳ノ經費ヲ以テ之ヲ支辨ス
- 第三條 土地收用法第五十九條ノ場合ニ要シタル費用ニ付テハ前二條ノ規定ヲ準用ス

附則

本令ハ明治三十三年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

●土地收用法第八十五條第三項ニ據ル命令ノ件

明治三十三年三月三十一日  
勅令第三百三號

明治八年太政官達第百三十二號公用土地買上規則ニ依リ買上ケ引續キ國有ニ屬スル土地ニ付テハ左ノ各號ノ一ニ該當スル

〔大阪土〕

依リ買上ケ又ハ土地收用法ニ依リ收用シタル土地ニ關シ賣拂、讓與、交換等ノ處分ヲ爲シ若ハ官有地中他ノ種目ニ組換(例ヘハ公用ニ供スル土地ヲ他ノ公用ニ供シ又ハ)ヲ爲ス(不用ノ土地ヲ御料地社寺境内地ニ編入スルノ類)ヲ爲スコトヲ要スルトキハ本大臣ニ稟請スルモノハ稟請書ニ、其應限リ處分シタルモノハ官有土地増減異動報告中摘要及事由欄内ニ左ノ事項ヲ詳記スヘシ

- 一 公用土地買上規則ニ依リ買上ケタル土地ニシテ本年勅令第三百三號規程各號ノ一ニ該當スルモノニ在テハ其事由
- 二 公用土地買上規則ニ依リ買上ケタル土地ニシテ本年勅令第三百三號規程各號ノ一ニ該當セサルモノ及土地收用法ニ依リ收用シタル土地ニ在テハ舊所有者ニ於テ買受ケルコトヲ得サルニ至リタル事由 (公用土地買上規則ニ依リ買上ケ居リシモノナリ、土地收用法第六十六條第一項規定ノ期) 間ヲ經過シ期間内ニ買受ノ通知ヲ爲ササルモノナリノ類)
- 第二條 公用土地買上規則ニ依リ買上ケ又ハ土地收用法ニ依リ收用シタル土地ヲ各廳ニ於テ其所有ニ供セムトスルカ爲メ例ニ依リ支障ノ有無ヲ問合セ來リタルトキ前條一號、二號ニ掲ケルカ如キ事由アルモノハ其事由又舊所有者ニ於テ買受ケルコトヲ得ヘキモノアルトキハ其事由ヲ回答書ニ詳記スヘシ

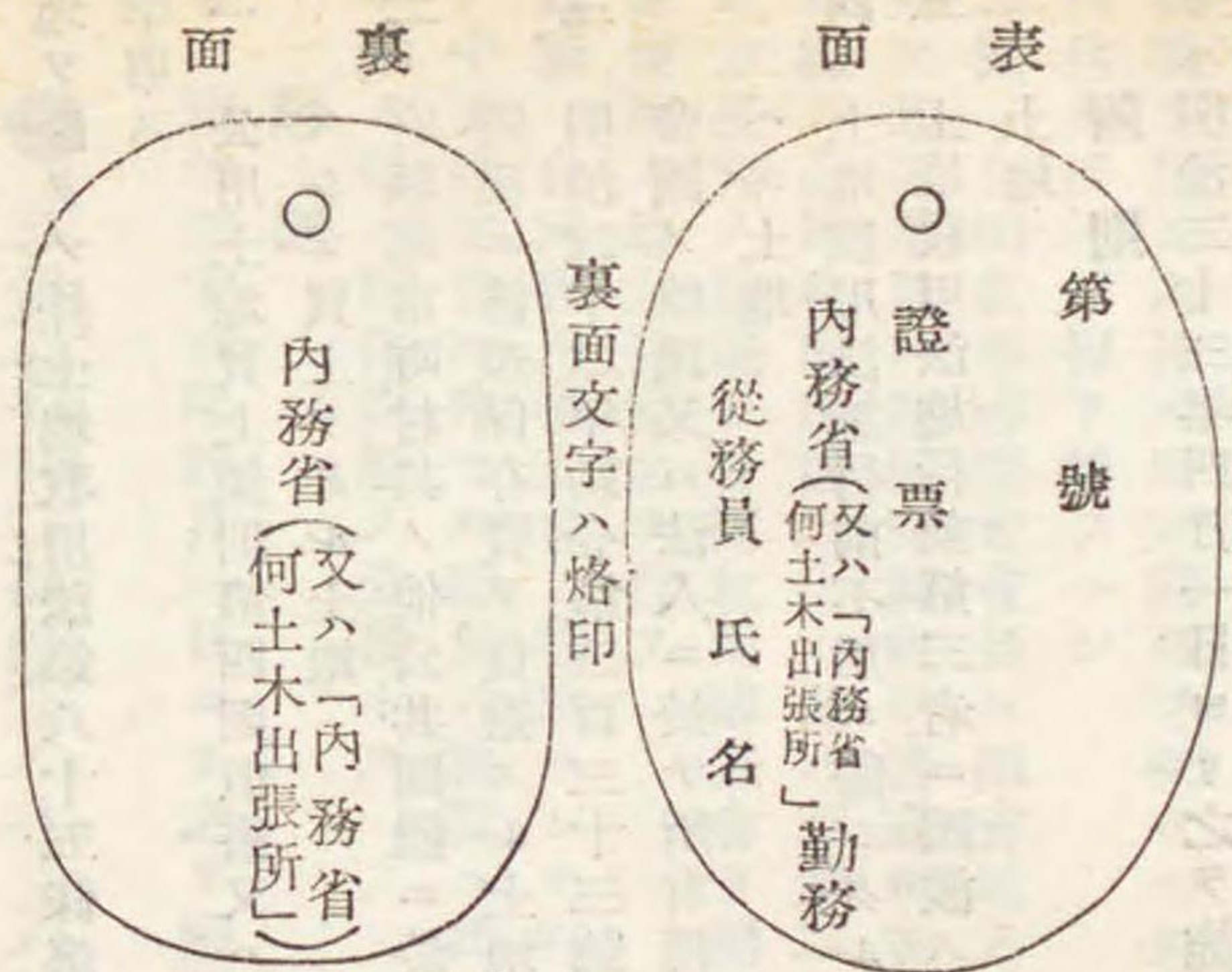
右訓令ス



●内務省ノ起業ニ依ル土木事業ニ關シ携帶證票雛形ノ件

大正三年一月十六日  
内務省告示第七號

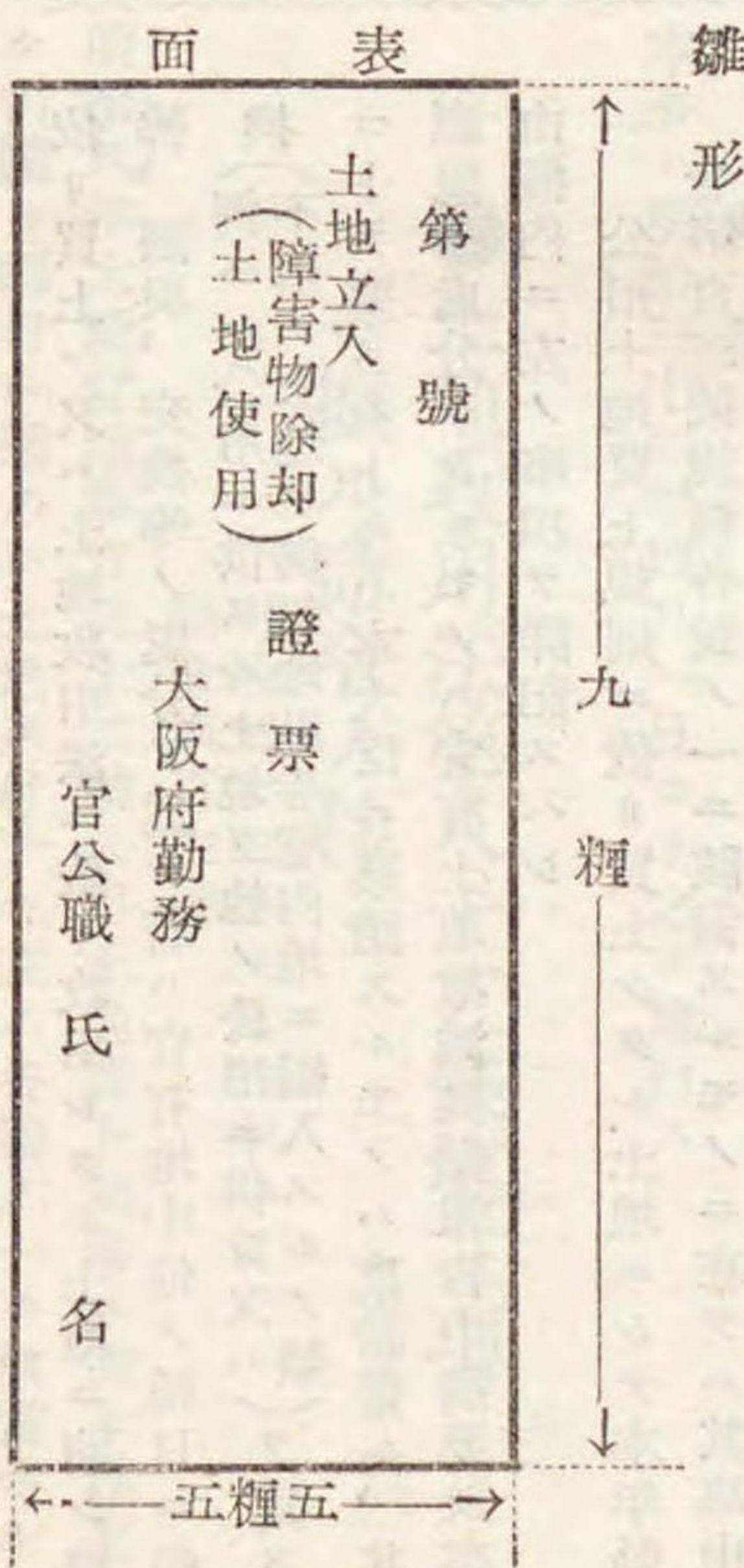
明治三十三年勅令第九十九號土地收用法施行令第二條ニ依リ内務省ノ起業ニ係ル土木事業ニ關シ土地ニ立入り又ハ障害物ヲ除却スル者ノ身分ヲ證明スヘキ證票ノ雛形左ノ通定ム



●大阪府ノ起業ニ係ル事業ニ關シ土地ニ立入り又ハ障害物ヲ除却スル者ノ身分ヲ證明スヘキ證票雛形

昭和六年七月三十一日  
大阪府告示第六百二十二號

明治三十三年三月勅令第九十九號土地收用法施行令第二條ニ依リ大阪府ノ起業ニ係ル事業ニ關シ土地ニ立入り又ハ障害物ヲ除却スル者ノ身分ヲ證明スヘキ證票ノ雛形左ノ通定ム



〔大阪土〕

〔大阪土〕

●土地收用手續ニ關スル件

昭和九年三月二日  
土木部長依命通牒

貴町村起業ニ係ル土木事業ニ關シ土地收用法ニ依ル事業認定申請後裁決申請前協議成立シ又ハ其ノ他ノ事由ニ依リ裁決申請ヲ要セザルニ至リタルトキハ遲滞ナク其ノ旨報告相成度此段依命及通牒候也

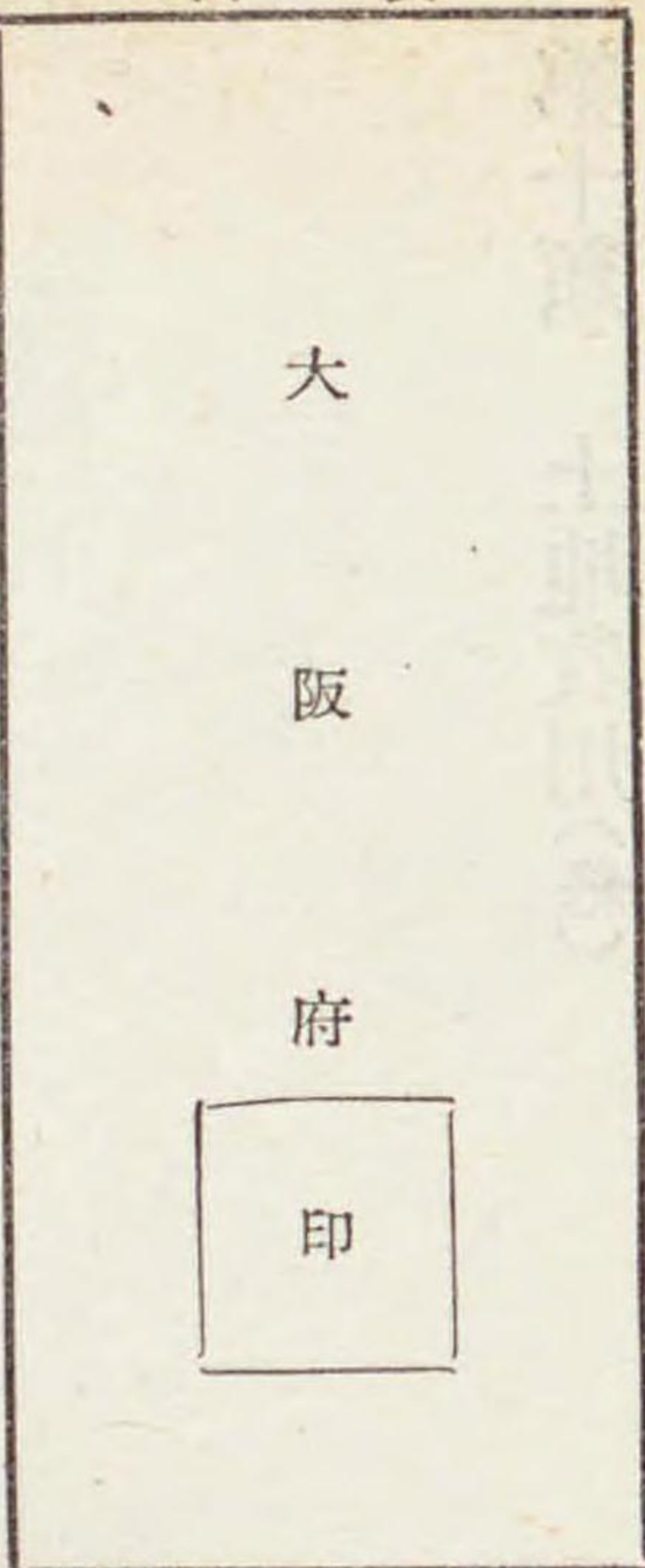
(備考) 土木部各出張所長ニモ總務課長ヨリ本趣旨通牒

●土地收用法ニ關シ收用土地其ノ他ノ原狀撮影方ニ關スル件

昭和八年七月二十九日  
總務課長依命通牒

本府起業ニ係ル土木工事用地取得ニ關シ土地收用法ニ依リ解決ヲ要シ又ハ要スル虞アルモノニ付テハ後日行政訴訟又ハ民事訴訟ノ證據方法トシテ必要ニ付土地所有者其ノ他權利者ノ起工承諾ノ有無ニ不拘工事著手前原狀ノ寫眞數葉(各三枚宛)撮影相成度此段依命及通牒候也

裏 面



用紙ハ強韌ナル質ノモノヲ用フルモノトス

●土地收用法ニ依リ起業者ヨリ事業認定ノ申請ヲ爲シタル場合ニ關スル件

明治三十五年七月三十日  
内務省訓令第十四號

北海道廳 府縣

明治三十三年法律第二十九號土地收用法第十三條ニ依リ起業者ヨリ事業認定ノ申請ヲ爲シタル場合ニ於テ其事業施行ノ爲メ御料地及國有林野ニ潰地ヲ要スルモノアルトキハ御料局支廳若クハ御料局事務所管ノ御料地ニ付テハ當該支廳長若クハ事務所長ニ其他ノ御料地ニ付テハ御料局長ニ又國有林野ニ付テハ大林區署長ニ其支障ノ有無ニ付協議ヲ遂ケ事業認定申請書進達ノ際該協議ノ顛末ヲ具申スヘシ



●土地收用裁決申請手續ニ關スル件

昭和八年七月二十九日  
總務課長通牒

土木部各出張所長宛  
工營所長宛

爾今土地收用裁決申請相成ル場合ニ於テハ本日本土地收用法ニ關シ收用土地其ノ他ノ原狀攝影ニ關スル件依命通牒ニヨル原狀寫眞各三枚宛竝收用申請ニ至ル迄ノ願末書御添付相成様致度

第十類 土地收用(終)



〔大阪土〕

第十一類

都市計畫 耕地整理  
市街地建築物



〔大阪土〕

# 第十一類 都市計畫 耕地整理 市街地建築物

## 第一章 都市計畫

- 都市計畫法……………大正八年四月法律三六號……………一
- 都市計畫法施行令……………大正八年一月勅令四八二號……………四
- 都市計畫法令ノ施行ニ關スル件……………昭和八年五月發都一三號……………八
- 都市計畫法及市街地建築物法適用地…………………………一〇
- 都市計畫ニ關シ陸軍省關係事項ハ豫メ協議方ノ件……………大正一三年七月陸都二號……………一三
- 都市計畫關係書類提出方……………大正一一年三月府令一八號……………一四
- 都市計畫法ニ關シ提出スヘキ書類ニ市町村長副申ノ件……………大正一一年三月府訓令三號……………一四
- 内閣ノ認可ヲ受クヘキ事件ノ議決ニ付答申ノ件……………大正一〇年二月發一五號……………一五
- 内閣ノ認可ト道路法トノ關係疑義ノ件……………大正一一年二月都六〇號ノ内……………一五
- 内閣ノ認可ト軌道條例トノ關係疑義ノ件……………大正一一年二月都六〇號ノ内……………一五



- 都市計畫事業運河新設ニ關シ運河法第一條ノ規定ノ取扱ニ關スル件……………大正一三年六月省議決定……………一六
- 都市計畫委員會官制……………大正八年一月勅令四八三號……………一六
- 都市計畫付議事項發案權委任ノ件……………大正一二年七月內務省告示一七六號……………二〇
- 都市計畫地方委員會付議事項發案權委任ニ關スル件……………大正一二年八月發一二〇號……………二〇
- 都市計畫地方委員會付議事項發案權委任ニ關スル件……………大正一一年一〇月發一三一號……………二〇
- 都市計畫事業年度割變更ニ關スル件……………大正一三年一月都一四號……………二二
- 都市計畫事業執行者指定ニ關スル件……………大正一一年三月都八六號ノ内……………二二
- 營造物管理者ヲ指定セシ時ノ費用ノ件……………大正一一年三月都八六號ノ内……………二三
- 都市計畫道路擴築事業ニ對スル國庫補助ニ關スル件……………大正一一年六月京都八號……………二三
- 都市計畫法第八條特別稅賦課ノ件……………大正一一年三月都八六ノ内……………二三

〔大阪土〕

- 都市計畫法施行令第九條第四號ノ規定ニ依ル指定ノ件……………大正九年九月內務省二八號……………二四
- 都市計畫事業費受益者負擔ノ件……………大正一一年一月阪五一號……………二四
- 大阪府知事施行都市計畫事業道路新設擴築受益者負擔ニ關スル件……………昭和七年五月內務省令一五號……………二五
- 大阪府知事執行都市計畫事業道路新設擴築受益者負擔ニ關スル件施行細則……………昭和七年一二月府令八〇號……………二七
- 大阪都市計畫事業神崎川改修受益者負擔ニ關スル件……………昭和八年三月內務省令七號……………二九
- 大阪府知事執行都市計畫事業防潮堤新設受益者負擔ニ關スル件……………昭和一〇年四月內務省訓令二二號……………三〇
- 內閣ノ認可ト法第十一條トノ關係疑義ノ件……………大正一一年二月都六〇號ノ内……………三二
- 風致地區規則……………昭和八年八月府令八八號……………三二
- 風致地區規則ノ認可ヲ受クルコトヲ要セサル行爲……………昭和八年八月府告示六三四號……………三三



○都市計畫關係書類提出方ニ關シ提出スヘキ書類中  
風致地區規則ニ依ル書類ニ付テハ市町村長ノ經由  
ヲ要セザルノ件……………昭和八年九月府令九四號……………三三

○土地區劃整理施行規則……………大正一二年一月府令三號……………三四

○土地區劃整理ノ施行ニ關スル件……………昭和四年二月內務省令二號……………四七

○土地區劃整理補助規則……………昭和一〇年十一月府令八一號……………四七

○土地區劃整理設計認可申請ニ關スル件……………大正一三年七月發三七號……………四七

○都市計畫法ニ依ル土地區劃整理ニ關スル登記ノ件……………大正八年一月勅令四八四號……………四八

○土地區劃整理地ノ取扱方……………大正一四年三月大藏省訓令一號……………四八

○都市計畫法ニ依ル土地區劃整理ニ關スル登記ノ件……………大正八年一月司法省令一八號……………四八

○土地區劃整理地ニ關シ明治四十二年大藏省訓令第  
二十九號準用ノ件……………大正一四年三月大藏省訓令二號……………四八

第二章 耕地整理

○耕地整理法……………明治四二年四月法律三〇號……………四九

〔大阪土〕

〔大阪土〕

○耕地整理法施行規則……………明治四二年一〇月農商務省令三九號……………七〇

○耕地整理地取扱手續……………明治四二年一〇月訓令二八號……………八八

○耕地整理登記令……………明治四二年一〇月勅令二三三號……………九〇

○耕地整理登記令施行細則……………明治四二年一〇月司法省令二一號……………九六

第三章 市街地建築物

○市街地建築物法……………大正八年四月法律三七號……………九九

○市街地建築物法適用地……………(第一章參照)

○市街地建築物法施行令……………大正九年九月勅令四三八號……………一〇二







第十一類 都市計畫 耕地整理 市街地建築物 第一章 都市計畫

三、營業稅、雜種稅又ハ家屋稅 各府縣稅十分ノ四以內  
四、特別地稅 賃賃價格千分ノ三・四以內  
五、其ノ他勅令ヲ以テ定ムルモノ

營業收益稅制ノ賦課ニ付テハ營業收益稅法第十條第二項ノ規定ニ依ル資本利子稅額ノ控除ヲ爲ササルモノヲ以テ營業收益稅額ト看做ス

特別地稅ノ賦課率ハ當該年度ノ豫算ニ於テ定メタル田畑ニ對スル地租制ノ賦課率ヲ以テ算定シタル地租制額ノ當該田畑ノ賃賃價格ニ對スル比率ヲ超ユルコトヲ得ス

第九條 都市計畫區域內ニ存スル國有河岸地ニシテ公共ノ用ニ供セサルモノハ第六條ノ費用ヲ負擔スル公共團體ニ之ヲ下付スルコトヲ得

第十條 都市計畫區域內ニ於テ市街地建築物法ニ依ル地域又ハ地區ノ指定、變更又ハ廢止ヲ爲ストキハ都市計畫ノ施設トシテ之ヲ爲スヘシ

都市計畫區域內ニ於テハ市街地建築物法ニ依ル地域及地區ノ外土地ノ狀況ニ依リ必要ト認ムルトキハ風致又ハ風紀ノ維持ノ爲特ニ地區ヲ指定スルコトヲ得

第十一條 第十六條第一項ノ土地ノ境域內又ハ前條第二項ノ規定ニ依リ指定スル地區內ニ於ケル建築物、土地ニ關スル

〔大阪土〕

工事又ハ權利ニ關スル制限ニシテ都市計畫上必要ナルモノハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム  
第十二條 都市計畫區域內ニ於ケル土地ニ付テハ其ノ宅地トシテノ利用ヲ增進スル爲土地區劃整理ヲ施行スルコトヲ得  
前項ノ土地區劃整理ニ關シテハ本法ニ別段ノ定アル場合ヲ除クノ外耕地整理法ヲ準用ス  
第十三條 都市計畫トシテ内閣ノ認可ヲ受ケタル土地區劃整理ハ認可後一年內ニ其ノ施行ニ著手スル者ナキ場合ニ於テハ公共團體ヲシテ都市計畫事業トシテ之ヲ施行セシム但シ災害其ノ他特別ノ事情ニ因リ特ニ急施ヲ要スル場合ニ於テハ認可後一年內ト雖モ之ヲ施行セシムルコトヲ得  
前項ノ規定ニ依リ公共團體ノ施行スル土地區劃整理ニ付耕地整理法ヲ準用シ難キ事項ニ關シテハ勅令ヲ以テ必要ナル規定ヲ設ケルコトヲ得  
第十四條 地方長官土地區劃整理ノ設計ニ關スル認可ヲ爲ス場合ニ於テハ主務大臣ノ認可ヲ受ケヘシ  
第十五條 土地區劃整理ヲ施行シタル土地ノ賃賃價格ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ之ヲ定ム  
第十五條ノ二 土地區劃整理ニ付テハ耕地整理法第四十三條ノ規定ニ拘ラス建物アル宅地ヲ土地區劃整理施行地區ニ編入スルコトヲ得  
第十六條 道路、廣場、河川、港灣、公園其ノ他勅令ヲ以テ

〔大阪土〕

指定スル施設ニ關スル都市計畫事業ニシテ内閣ノ認可ヲ受ケタルモノニ必要ナル土地ハ之ヲ收用又ハ使用スルコトヲ得  
前項土地附近ノ土地ニシテ都市計畫事業トシテノ建築敷地造成ニ必要ナルモノハ勅令ノ定ムル所ニ依リ之ヲ收用又ハ使用スルコトヲ得

第十七條 土地區劃整理ノ爲又ハ衛生上若ハ保安上ノ必要ニ依ル建築物ノ整理ノ爲必要アルトキハ建築物其ノ他ノ工作物ヲ收用スルコトヲ得

第十八條 前二條ノ規定ニ依ル收用又ハ使用ニ關シテハ本法ニ別段ノ定アル場合ヲ除クノ外土地收用法ヲ適用ス  
前項ノ規定ニ依ル土地收用法ノ適用ニ付テハ前條ノ工作物ハ之ヲ土地ト看做ス

第十九條 第十六條又ハ第十七條ノ規定ニ依ル收用又ハ使用ニ付テハ第三條ノ規定ニ依ル都市計畫ノ認可ヲ以テ土地收用法ニ依ル事業ノ認定ト看做ス

第二十條 土地收用法第二十二條第一項ノ協議調ハサル場合又ハ其ノ協議ヲ爲スコト能ハサル場合ニ於テハ事業執行者ハ主務大臣ノ裁定ヲ求ムルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テハ收用審査會ノ裁決ヲ求ムルコトヲ得  
前二項ノ規定ハ損失ノ補償ノ協議ニ關シテハ之ヲ適用セス

第十一類 都市計畫 耕地整理 市街地建築物 第一章 都市計畫

第二十一條 第九條ノ規定ニ依リ下付ヲ受ケタル土地及第十條第六條第二項ノ規定ニ依リ收用シタル土地ノ處分及管理ニ關シテハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第二十二條 都市計畫事業ニ依リ生シタル營造物ノ管理ニ付特ニ必要アルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ其ノ管理者ヲ定ム

第二十三條 行政執行法第五條及第六條ノ規定竝之ニ基キテ發スル命令ハ本法若ハ本法ニ基キテ發スル命令又ハ之ニ依リテ爲ス處分ニ依リ行フヘキ作爲又ハ不作爲ヲ行政廳力強制スル場合ニ之ヲ準用ス

第二十四條 本法若ハ本法ニ基キテ發スル命令又ハ之ニ依リテ爲ス處分ニ依リ私人ノ義務ニ屬スル負擔金其ノ他ノ費用ハ行政廳國稅滯納處分ノ例ニ依リ之ヲ徵收スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依ル徵收金ノ先取特權ノ順位並其ノ追徵還付及時効ニ付テハ行政廳ノ統轄スル公共團體ノ徵收金ノ例ニ依ル

第二十五條 本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ規定シタル事項ニ付行政廳ノ爲シタル處分ニ不服アル者ハ訴願スルコトヲ得  
本法ニ依リ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得ル場合ニ於テハ主務大臣ニ訴願スルコトヲ得ス

第二十六條 本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ規定シタル



事項ニ付行政廳ノ爲シタル違法處分ニ因リ權利ヲ毀損セラレタリトスル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

附則

第二十七條 本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム (大正八年九月八日第一號ヲ以テ大正九年一月一日ヨリ施行)

第二十八條 東京市區改正條例、東京市區改正土地建物處分規則及大正七年法律第三十六號並之ニ基キテ發シタル命令ハ之ヲ廢止ス

第二十九條 東京市區改正條例及東京市區改正土地建物處分規則ノ適用又ハ準用ヲ受クル市ハ第二條ノ規定ニ依リ指定セラレタルモノト看做ス

第三十條 東京市區改正條例又ハ大正七年法律第三十六號ニ依リ内閣ノ認可ヲ受ケタル設計又ハ議定シタル事業ハ各本法ニ依リ内閣ノ認可ヲ受ケタル都市計畫又ハ都市計畫事業ト看做ス

第三十一條 東京市區改正條例、東京市區改正土地建物處分規則若ハ大正七年法律第三十六號又ハ之ニ基キテ發シタル命令ニ依リ爲シタル處分ハ本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ抵觸セザル限り本法ニ依リ爲シタル處分ト看做ス

第三十二條 東京市區改正土地建物處分規則ノ適用又ハ準用ニ依リ行政廳ノ爲シタル處分ニ關シテハ同規則第一條第二項乃至第四項ハ仍其ノ效力ヲ有ス

〔大阪土〕

第三十三條 東京市區改正條例又ハ大正七年法律第三十六號大正七年勅令第百八十四號ニ依リ下付ヲ受ケタル官有ノ河岸地ハ其ノ下付ヲ受ケタル市ノ所有ニ屬スル間地租ヲ免除ス但シ其ノ市ノ都市計畫事業ノ終リタルトキハ此ノ限ニ在ラス

前項ノ河岸地ヨリ收入スル金額ハ其ノ市ノ都市計畫事業ノ終ル迄之ヲ他ニ支出スルコトヲ得ス

第一項ノ河岸地ノ下付ヲ受ケタル市ハ之ヲ賣却讓與スルコトヲ得ス但シ已ムヲ得サル場合ニ於テ都市計畫委員會ノ議決ヲ經テ主務大臣ノ認可ヲ受ケタルトキハ此ノ限ニ在ラス

● 都市計畫法施行令

大正八年十一月二十八日 勅令第四百八十二號

改正 大正一〇年一〇月勅令第四一六號、昭和四年二月第三九五號、六年四月第四五號、八年五月第八四號、一〇年五月第一一號

第一條 都市計畫事業ハ市又ハ都市計畫法第一條ノ規定ニ依リ指定スル町村ヲ統轄スル行政廳之ヲ執行ス

第二條 市又ハ前條ノ町村ノ區域外ニ於テ又ハ區域外ニ互リ都市計畫事業ヲ執行スル場合ニ於テ内務大臣區域外ニ於ケル事業力主トシテ區域外ノ公共團體ノ利害ニ關スト認ムルトキハ前條ノ規定ニ拘ラス其ノ公共團體ヲ統轄スル行政廳ヲシテ區域外ニ於ケル事業ヲ執行セシムルコトヲ得

〔大阪土〕

第三條 内務大臣都市計畫事業カ分割シテ之ヲ執行スルコト困難又ハ不利益ト認ムルトキ其ノ他特別ノ事情アリト認ムルトキハ前二條ノ規定ニ拘ラス事業ヲ執行スヘキ行政廳ヲ指定スルコトヲ得

第四條 前三條ノ規定ハ行政官廳都市計畫事業ヲ執行スル場合ニ之ヲ適用セス

第五條 行政廳ニ非サル者ヲシテ執行セシムルコトヲ得ル都市計畫事業ノ種類及範圍ハ關係行政廳ノ意見ヲ聞キ都市計畫委員會ノ議ヲ經テ内務大臣之ヲ定ム

第六條 行政廳ニ非サル者都市計畫事業ヲ執行セムトスルトキハ内務大臣ニ特許ヲ申請スヘシ

第七條 内務大臣ハ前條ノ特許ニ都市計畫上其ノ他公益上必要ト認ムル條件ヲ附スルコトヲ得

第八條 第六條ノ特許ヲ受ケタル者事業ヲ實施セムトスルトキハ設計書ヲ添附シ地方長官ノ認可ヲ受クヘシ

第九條 左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ非サレハ都市計畫事業ニ因リ著シク利益ヲ受クル者ヲシテ事業ノ執行ニ要スル費用ヲ負擔セシムルコトヲ得ス

一 行政官廳ノ執行スル事業ニ因リ公共團體カ著シク利益ヲ受クルトキ  
二 事業地ノ公共團體以外ノ公共團體ヲ又ハ上級公共團體ヲ統轄スル行政廳ニ於テ執行スル事業ニ因リ事業地ノ公

第十一類 都市計畫 耕地整理 市街地建築物 第一章 都市計畫

公共團體カ著シク利益ヲ受クルトキ

三 事業ニ因リ生シタル營造物カ他ノ工作物ト效用ヲ兼ヌルニ因リ著シク利益ヲ受クル者アルトキ又ハ其ノ營造物ヲ利用スルニ因リ著シク利益ヲ受クル者アルトキ

四 前各號ノ外都市計畫事業ニ因リ著シク利益ヲ受クル者ニシテ内務大臣ヨリ指定セラレタルモノアルトキ

第十條 都市計畫法第六條第二項ノ規定ニ依リ負擔セシムル費用ノ金額及其ノ負擔方法ニ付テハ關係市町村長ノ意見ヲ聞キ都市計畫委員會ノ議ヲ經テ内務大臣之ヲ定ム

第十一條 都市計畫法第十六條第一項ノ土地ノ境域内ニ於テ工作物ヲ新築改築増築若ハ除却シ、土地ノ形質ヲ變更シ又ハ地方長官ノ指定シタル竹木土石ノ類ヲ採取セムトスル者ハ地方長官ノ許可ヲ受クヘシ但シ命令ヲ以テ許可ヲ要セスト規定シタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第十二條 地方長官ハ前條ノ許可ニ都市計畫事業ノ執行上必要ナル條件ヲ附スルコトヲ得

第十三條 風致維持ノ爲指定スル地區内ニ於ケル工作物ノ新築改築増築若ハ除却、土地ノ形質ノ變更、竹木土石ノ類ノ採取其ノ他風致維持ニ影響ヲ及ボス虞アル行爲ハ地方長官内務大臣ノ認可ヲ受ケ命令ヲ以テ之ヲ禁止シ又ハ制限スルコトヲ得

第十四條 地方長官ハ第十一條ノ規定ニ、前條ノ命令ニ又ハ



第十二條ノ條件ニ違反シタル者ニ對シ原狀回復ヲ命スルコトヲ得

第十五條 都市計畫法第十三條第一項ノ規定ニ依ル公共團體ノ土地區劃整理ノ施行ハ内務大臣之ヲ命ス

第十六條 前條ノ土地區劃整理ノ施行ニ要スル費用ハ整理地區内ノ土地所有者又ハ關係人ノ負擔トス

第十七條 公共團體第十五條ノ規定ニ依リ土地區劃整理ノ施行ヲ命セラレタルトキハ設計書、費用負擔方法及耕地整理法ニ基ク規約ニ代ルヘキ必要事項ヲ定メテ之ヲ告示シ十日間土地所有者及關係人ノ縦覽ニ供シタル後地方長官ノ認可ヲ受クヘシ

土地所有者又ハ關係人前項ノ規定ニ依リ定メタル設計書、費用負擔方法其ノ他ノ事項ニ關シ異議アルトキハ前項ノ掲ケル期間内ニ地方長官ニ之ヲ申出ツルコトヲ得

地方長官ハ前項ノ議決力第一項ノ規定ニ依リ定メタル設計書、費用負擔方法其ノ他ノ事項ノ變更ヲ必要トスルトキハ

〔大阪土〕

公共團體ニ其ノ變更ヲ命スヘシ公共團體力變更ヲ爲シタルトキハ其ノ變更シタル部分ニ付第一項ノ手續ヲ爲スヘシ

第十八條 前二條ノ土地所有者及關係人ノ意義ニ關シテハ耕地整理法ノ定ムル所ニ依ル

第十九條 第十五條ノ土地區劃整理ノ施行ニ付テノ耕地整理法ノ準用ニ關シテハ同法第四十二條ノ二、第四十七條及第四十八條ノ組合ハ土地區劃整理ヲ施行スル公共團體トシ同法第四十三條第一項及第四十四條ノ耕地整理組合ノ地區ハ土地區劃整理ノ地區トス

第二十條 土地區劃整理ヲ施行シタル土地ノ賃賃價格ニ關シテハ耕地整理法第十二條乃至第十三條ノ二、第十四條第二項、第三項、第十四條ノ二乃至第十六條及第十六條ノ三乃至第十六條ノ八ノ規定ヲ準用ス此ノ場合ニ於テハ大正七年法律第四十三號ノ規定ニ依ル地租變更免租租期ヲ有スル土地及同法第一條第一項各號ニ掲グル土地ハ之ヲ耕地整理法第十五條第一項ニ掲グル免租租期ヲ有スル土地ト看做ス

〔大阪土〕

ル者又ハ其ノ相續人

四 其ノ土地ノ上ニ存シタル家屋ヲ其ノ土地收用ノ際所有シタル者

前項ニ掲ケル者一人ナルトキハ其ノ者ニ對シ隨意契約ニ依リ賣却又ハ貸付スルコトヲ得

第二十五條 前條ノ規定ニ依リ賣却又ハ貸付スルコトヲ得サル土地ノ賣却又ハ貸付ニ付テハ一般ノ競争入札ニ依ル

第二十六條 一宅地ヲ爲スニ足ラサル殘地ハ隣地所有者ニ對シ隨意契約ニ依リ賣却又ハ貸付スルコトヲ得

第二十七條 都市計畫事業ニ要スル國有地ハ事業ノ執行ニ要スル費用ヲ負擔スル公共團體ヲシテ無償ニテ之ヲ供用セシメ其ノ地ニ存スル國有ノ建築物ハ無償ニテ其ノ公共團體ニ之ヲ交付ス

第二十八條 都市計畫法第九條ノ規定ニ依リ下付ヲ受ケタル土地ハ都市計畫事業ノ財源ト爲ス爲基本財産トシテ管理スヘシ但シ特別ノ事由ニ依リ内務大臣ノ認可ヲ受ケタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第二十九條 公共團體ハ第二十三條ノ土地ノ賣却若ハ貸付ニ付又ハ都市計畫法第十六條第二項ノ規定ニ依リ收用シタル土地若ハ前二條ノ土地ノ管理方法ニ付必要ナル規定ヲ定メ地方長官ヲ經由シ内務大臣ノ認可ヲ受ケヘシ

第三十條 内務大臣必要ト認ムルトキハ都市計畫事業ニ依リ

二項、第三項及第十四條ノ三、第十五條、第十六條、第十六條ノ八中ノ同法第十四條第一項ノ規定ト看做ス

第二十一條 鐵道、軌道、運河、飛行場、水道、下水道、土地區劃整理、運動場、一團地ノ住宅經營、市場、屠場、墓地、火葬場、塵埃燒却場及防風、防火、防水、防砂又ハ防潮ノ施設ハ都市計畫法第十六條第一項ノ規定ニ依リ之ヲ指定ス

第二十二條 都市計畫法第十六條第二項ノ規定ニ依リ收用又ハ使用ハ土地區劃整理ヲ施行スル必要アル場合ニ限り之ヲ爲スコトヲ得

第二十三條 前條ノ規定ニ依リ收用シタル土地ハ土地區劃整理ノ工事完了後ニ非サレハ之ヲ賣却シ又ハ貸付スルコトヲ得

第二十四條 前條ノ規定ニ依ル土地ノ賣却又ハ貸付ハ左ニ掲ケル者ニ對シ每筆競争入札ニ依リテ之ヲ行フ

一 其ノ土地ノ附近地方都市計畫法第十六條第一項ノ規定ニ依リ收用セラレタル場合ニ於テ其ノ收用セラレタル附近地ノ全部又ハ一部ヲ收用ノ際所有シタル者又ハ其ノ相續人

二 前號ノ附近地ノ上ニ存シタル家屋ヲ其ノ附近地收用ノ際所有シタル者

三 其ノ土地ノ全部又ハ一部ヲ其ノ土地收用ノ際所有シタル者



第十一類 都市計畫 耕地整理 市街地建築物 第一章 都市計畫

生シタル營造物ノ管理者ヲ指定スルコトヲ得

附則

本令ハ都市計畫法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

附則 (昭和六年勅令第四十五號)

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

昭和六年法律第二十九號附則第三條、第五條、第九條乃至第十四條及第十八條ノ規定ハ土地區劃整理ヲ施行シタル土地ノ賃賃價格ニ付之ヲ準用ス

前項ノ場合ニ於テハ第二十條第二項ノ改正規定ヲ耕地整理法附則第九條、第十條及第十八條中ノ同法第十四條第一項ノ規定ト看做ス

附則 (昭和十年勅令第百一十一號)

第二十條第一項ノ改正規定ハ本令施行前土地區劃整理ノ工事ニ著手シタル土地ニモ亦之ヲ適用ス此ノ場合ニ於テハ耕地整理法第十五條第一項ノ規定ノ準用ニ付テハ同項中工事著手ノトキトアルハ工事著手ノ時ノ現況ニ依リトス

● 都市計畫法令ノ施行ニ關スル

件

昭和八年五月十八日  
發都第一三號內務次官通牒

今回都市計畫法令改正相成候處之カ施行ニ當リテハ左記各項ニ依リ御措置相成度

〔大阪土〕

一 市ニ對シテハ當然本法ヲ適用セララルコトトナルヲ以テ

イ 新ニ適用ヲ受ケタル市ノ市會ニ於テ選舉スヘキ都市計畫地方委員會ノ委員數ニ付テハ豫メ本省ニ打合セ相成度

ロ 新ニ適用ヲ受ケタル市ニ於テハ別紙都市計畫區域調查資料送付相成度

追テ從來ノ規定ニ依リ指定セラレタル市ニシテ都市計畫區域未タ決定セサルモノニ付テモ此際至急手續相成度申添候

二 町村ニ付テモ本法ヲ適用シ得ルコトトナルカ

イ 町村ニシテ(一)人口増加率顯著ナルモノ(二)人口一萬以上ノモノ(三)溫泉地、海水浴場、史蹟地、遊覽地等ヲ有スルモノ(四)災害ヲ蒙リテ復興ヲ要スルモノ(五)港灣ノ修築、工場、停車場ノ設置等ニ伴ヒ市街地ノ造成セラレントスルモノ等ニ付本法適用ノ趣旨ナルヲ以テ右ニ依リ御取扱相成度

ロ 右ノ町村ニシテ本法適用ノ希望ヲ有スルモノニ付テハ事情ヲ具シ指定方内申相成度尙之ト同時ニ別紙都市計畫區域調查資料送付相成度

ハ 新ニ適用ヲ受ケタル町村ノ町村會ニ於テ選舉スヘキ都

〔大阪土〕

市計畫地方委員會ノ委員數ニ付テハ豫メ本省ニ打合セ相成度

都市計畫區域調查資料

第一 行政區劃圖 市町村及隣接町村ノ行政區劃ヲ明示シ利用面積ヨリ控除スヘキ部分(第三參照)ヲ「グリーン」ヲ以テ

人口統計表

市町村名	何年	人口統計表			
		何年	何年	何年	何年
市(町、村)					
隣接					
何					
何					
何					
何					

一、本表ハ最近二十ヶ年間ノ毎年未現在ヲ掲ケ尙國勢調査ノ統計ヲモ併記スルコト  
二、市町村ノ廢置分合アリタル場合ハ其ノ時期ヲ明記シ從前ノ人口ヲモ各別ニ記入スルコト  
第三 面積及人口密度表 左ノ様式ニ依リ市町村及隣接町村ノ面積及人口密度ヲ記載スルコト

市町村名	面積		利用面積		對人口密度	
	全	坪數	利	積	利用面積ニ對スル	人口密度
市(町、村)	ヘクタール	坪數	ヘクタール	坪數	1ヘクタール當リ	1人當リ坪數
何						



縣	市	町	村
大阪府	大阪市	岸和田市	堺市

一、利用面積トハ大ナル河川、湖沼、練兵場及宅地トシテ利用シ得サル山地等ノ面積ヲ總面積ヨリ控除シタルモノヲ謂フ

二、人口密度ハ最近ノ國勢調査ノ統計ニ依リ算出スルコト

三、最近二十年間ニ於テ市町村ノ廢置分合アリタル場合ハ其ノ旨ヲ明記シ從前ノ面積ヲモ各別ニ記入スルコト

第四 交通機關配置圖 鐵道軌道ヲ區別シ運輸系統ヲ明ニシ

停車場停留場ノ位置ヲ記入スルコト

乗合自動車ノ運輸系統ハ適宜記入スルコト

道路ハ國道ハ「アリエー」、指定府縣道ハ「バミリオン」、縣道ハ「グリムソンレーキ」ヲ以テ記入スルコト

第五 上水、下水道配置圖 給水區域排水區域ヲ示シ且水源

地、貯水地、淨水場、處理場等ノ位置ヲ略示シ別ニ事業說明書ヲ添付スルコト

計畫中ノモノハ其ノ旨附記スルコト

● 都市計畫法及市街地建築物法適用地

都市名	都市計畫區域内ニ包含スル町村	市街地建築物法適用區域	都市計畫法適用年月日	市街地建築物法適用年月日	市街地建築物法適用要綱
大阪市	同上	同上	大正九、一、一	大正九、一、一	全規定

〔大阪土〕

都市名	都市計畫區域内ニ包含スル町村	市街地建築物法適用區域	都市計畫法適用年月日	市街地建築物法適用年月日	市街地建築物法適用要綱
大阪府	岸和田市	同上	大正一一、四、二四	大正一三、四、一	全規定
堺市	同上	同上	大正一一、四、二四	大正一三、四、一	全規定
岸和田市	同上	同上	大正一一、四、二四	大正一三、四、一	全規定
高槻町	同上	同上	大正一一、四、二四	大正一三、四、一	全規定

〔大阪土〕



池田	池田町	同上	昭和八、一二、二八	昭和一〇、四、一一	緩和規定
箕面	箕面村	同上	昭和八、一二、二八	昭和一〇、四、一一	緩和規定
豐中	豐中市	同上	昭和八、一二、二八	昭和一〇、四、一一	全規定
	昭和一一、一〇、一四內務省告示五四九號ヲ以テ昭和一一、一〇、一五ヨリ豐能郡豐中町、麻田村、櫻井谷村及熊野田村ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ豐中市ヲ置ク				
三郷	三郷町	同上	昭和八、一二、二八	昭昭一〇、四、一一	全規定
布施	布施市	同上	昭和八、一二、二八	昭和一〇、四、一一	全規定
	昭和一一、三、二七內務省告示一四七號ヲ以テ昭和一一、四、一ヨリ中河内郡布施町、長瀬村、小阪町、楠根町、意岐部村及彌刀村ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ布施市ヲ置ク				
加美	加美村	同上	昭和八、一二、二八	昭和一〇、四、一一	全規定
柏原	柏原町	同上	昭和八、一二、二八	昭和一〇、四、一一	緩和規定
長野	長野町	同上	昭和八、一二、二八	昭和一〇、四、一一	緩和規定

〔大阪土〕

〔大阪土〕

高石	高石町	同上	昭和八、一二、二八	昭和一〇、四、一一	全規定
大津	大津町	同上	昭和八、一二、二八	昭和一〇、四、一一	全規定

備考

茨木、麻田、樟井、淡輪、富田林、大草、枚岡、八尾、龍華、久寶寺、枚方ノ十一ヶ町村ニ近ク都市計畫法適用ノ見込

●都市計畫ニ關シ陸軍省關係事項ハ豫メ協議方ノ件

大正十三年七月二十六日  
陸軍第二號內務次官通牒

關係府縣知事宛

標記ノ件ニ關シ陸軍次官ヨリ別紙甲號ノ通協議有之候ニ付乙號ノ通回答致置候條右回答ノ趣旨ニ依リ可然御取計相成度依命此段及通牒候也

追テ市ニ對シテハ別ニ通牒不致候ニ付關係事項ハ御移牒相成度申添候

(別紙)

甲號(大正十三年六月二十七日陸普第二三九二號)  
陸軍次官發照(會)

第十一類 都市計畫 耕地整理 市街地建築物 第一章 都市計畫

都市計畫法第二條ニ依リ指定セラレタル都市ニ於ケル都市計畫ハ陸軍所管ノ土地建築物其ノ他平戰兩時ニ於ケル一般軍事上ニモ重大ナル影響ヲ及ボシ相當研究ヲ要スルモノ尠カラス且又陸軍側地方委員限リニテ判定シ難キモノモ可有之ト存候然ルニ地方委員會議ニ付議セラレヘキ議案等ハ早クモ二、三日前ニ交付セラレルヲ例トシ從テ詳細ナル研究竝陸軍側委員ト本省間トノ照復ノ爲メニ要スル時日ナキ爲審議上困難尠カラス候條爾今左記ニ據リ取計相成様致度及協議候也

左記

- 一 陸軍所管ノ土地建築物ニ關係アル事項ハ計畫ニ際シ豫メ陸軍關係官廳ニ協議セラレコト
- 二 地方委員會議ニ付議セラレタル事項ニシテ軍事上陸軍側委員ノミニテ判定シ難キモノハ該委員ト本省トノ間ニ於テ照復ヲ了スル迄其ノ意見ヲ保留セシムルコト



乙號(大正十三年七月二十五日陸都第二號)陸軍次官宛、内務次官回答)六月廿七日陸普第二三九二號ヲ以テ御協議相成候都市計畫地方委員會議ニ關スル件了承右ハ左記ノ通取計候條御諒知相成度此段及回答候也

- 一 貴省所管ノ土地建造物ニ關係アル事項ニ付テハ關係府縣又ハ市ヨリ直接貴省關係官廳ニ對シ協議セシムルコトトス
- 二 軍事上陸軍側委員ノミニテ判定シ難キ事項ニ付該委員力貴省トノ間ニ於テ照復ヲ了スル迄其ノ意見ヲ保留セララルハ支障無之候但シ議事ノ進行ハ委員長ノ權限ニ屬スルヲ以テ此ノ點誤解無キ様御諒承相成度

●都市計畫關係書類提出方

大正十一年三月二十七日 大阪府令第十八號

改正 大正一五年六月府令第七八號 大正八年法律第三十六號都市計畫法又ハ之ニ基キテ發スル命令ニ關シ主務大臣其ノ他ヘ提出スヘキ書類ハ總テ當廳ヲ經由スヘシ 前項ニ依リ當廳ヲ經由シ又ハ當廳ニ提出スヘキ書類ハ總テ關係市町村長ヲ經由スヘシ

附則

〔大阪土〕

大正九年十月大阪府令第八十四號ハ之ヲ廢止ス 本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●都市計畫法ニ關シ提出スヘキ書類ニ市町村長副申ノ件

大正十一年三月二十七日 大阪府訓令第三號

改正 大正一五年訓令第四二號 市町村長 都市計畫法又ハ之ニ基キテ發スル命令ニ關シ書類ヲ提出シタルトキハ市町村長ハ其利害ヲ調査シ意見ヲ副申シ別ニ意見ナキモノハ書類中適當ノ箇所ニ進達年月日並經由印ヲ捺シ進達スヘシ

附則

大正九年十月大阪府訓令第二十五號ハ之ヲ廢止ス 本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

〔大阪土〕

●内閣ノ認可ヲ受クヘキ事件ノ

議決ニ付答申ノ件

大正十年二月十日 發第一五號都市計畫課長通牒

各地方委員會(東京ヲ除ク)

都市計畫法第三條ニ依リ内閣ノ認可ヲ受クヘキ事件ノ議決ニ付答申ヲ爲ス場合ハ左記ノ書類ヲ添附シ且付議ト異ル議決ヲ爲シタルトキハ其ノ理由ヲ記載相成度此段及通牒候也

- 一 議決書三通
- 一 道路ニ付テハ路線其ノ他ノ計畫ニ付テハ位置ヲ示シタル圖面二通
- 一 設計圖(道路ハ六百分ノ一其ノ他ハ適宜)二通

●内閣ノ認可ト道路法トノ關係 疑義ノ件

大正十一年二月二十日 都第六〇號ノ内都市計畫課長通牒 京都府知事宛

道路法ノ規定ハ都市計畫事業トシテ内閣ノ認可ヲ得タル道路ノ新設擴築等ニ關シテハ道路法ニ依ル認可ヲ受クルニ至ル迄凡テ適用ナシ

第十一類 都市計畫 耕地整理 市街地建築物 第一章 都市計畫

京都市長照會(大正九年五月一日) 工第九九〇號ノ内

都市計畫法第三條ノ都市計畫事業ニシテ内閣ノ認可ヲ受ケタル道路ハ其ノ工事ノ執行方法ニ關シテハ道路法第三十一條ノ規定ニ依ルヲ要セサルヤ尙道路法施行令第二條ニ依ル路線ノ變更若ハ廢止ニ付テモ市會ヘノ諮問ヲ要セサル哉

●内閣ノ認可ト軌道條例トノ關係 疑義ノ件

大正十一年二月二十日 都第六〇號ノ内都市計畫課長通牒 京都府知事宛

- 五 都市計畫並ニ都市計畫事業トシテハ路線ノ認定ニ止メ後ノ手續ハ軌道條例ニ依ルヲ要ス
- 六 提出ヲ要セス
- 五 京都市長照會(大正九年五月一日) 工第九九〇號ノ内) 都市計畫法第三條ノ都市計畫並ニ都市計畫事業ニシテ内閣ノ認可ヲ受ケタル軌道ノ敷設ハ軌道條例第一條ノ内務大臣ノ特許並ニ軌道條例取扱方第二條ニ依ル地方長官ニ於テ府縣、那市町村其ノ他公共團體ノ議會ノ意見ヲ聞クヲ要セサルヤ
- 六 前項見解ノ如クナリトモハ軌道條例取扱方第一條ノ起業



目論見書以下ノ添附書類ハ都市計畫法中何等ノ規定ナキニ依リ全然之ヲ提出ヲ要セザル哉若シ之ヲ提出ヲ要スルモノトセハ都市計畫添附書類トシテ提出スヘキ義ナル哉

都市計畫委員會官制

大正八年十一月二十八日 勅令第四百八十三號

都市計畫事業運河新設ニ關シ 運河法第一條ノ規定ノ取扱ニ關スル件

大正十三年六月十日 省議決定

都市計畫事業トシテ運河ヲ新設スル場合ニ於テハ運河法第一條ニ規定セル運河開設者カ内務大臣ノ免許ヲ受クヘキ手續ハ本事業ノ確定ト共ニ手續ヲ了シタルモノトシテ取扱フコトニ致度

理由 都市計畫事業ハ都市計畫法第三條ノ規定ニ依リ都市計畫委員會ノ議ヲ經テ内務大臣之ヲ決定シ内閣ノ認可ヲ受ケ確定スヘキモノニシテ而シテ其決定シタル事業ハ同法施行令第一條ノ規定ニ依リ原則トシテ行政廳タル市長カ執行スヘキモノニ付從テ此ノ場合ニ於テハ運河法第一條ニ依リ運河開設者カ内務大臣ノ免許ヲ受クルヲ要スル規定ハ便宜上事業ノ確定ト共ニ免許アリタルモノトシテ取扱フコト手續簡單ナレハナリ

〔大阪土〕

運河法 第一條 一般運送ノ用ニ供スル目的ヲ以テ運河ヲ開設セムトスル者ハ内務大臣ノ免許ヲ受クヘシ

第一條 都市計畫委員會ハ内務大臣ノ監督ニ屬シ法律勅令ニ依リ其ノ權限ニ屬セシメタル事項其ノ他都市計畫上必要ナル事項ヲ調査審議ス

第二條 都市計畫委員會ハ都市計畫ニ關スル事項ニ付關係行政廳ノ諮問ニ應シ又ハ關係行政廳ニ建議スルコトヲ得

〔大阪土〕

之ヲ都市計畫委員會ノ議ニ付ス但シ都市計畫地方委員會ニ對スル輕易ナル事項ノ付議ハ之ヲ地方長官又ハ市町村長ニ委任スルコトヲ得

第十一類 都市計畫 耕地整理 市街地建築物 第一章 都市計畫

- 一 市長及都市計畫法第一條ノ規定ニ依リ指定スル町村ノ町村長
二 總務部長タル北海道廳部長又ハ府縣書記官、經濟部長タル北海道廳部長又ハ府縣書記官、土木部長タル北海道廳部長、府縣書記官又ハ地方技師及警察部長タル北海道廳部長又ハ府縣書記官(東京地方委員會ニ在リテハ保安部長タル警視廳部長)
三 關係各廳高等官 八人以内
四 市會議員及第一號ノ町村ノ町村會議員 市町村會議員各定數ノ六分ノ一以内但シ一市町村ニ付十五人ヲ超ユルコトヲ得ズ
五 道府縣會議員 道府縣會議員定數ノ十分ノ一以内
六 市長以外ノ市吏員 一市ニ付二人以内
七 學識經驗アル者 十人以内
八 東京地方委員會ニ在リテハ警視總監及東京府知事前項ニ掲グル者ノ外必要アル場合ニ於テハ都市計畫法第二條第二項ノ規定ニ依リ其ノ區域ノ全部又ハ一部ヲ都市計畫區域ニ編入セラレタル町村ノ町村長ニ地方委員會ノ委員ヲ命ズルコトヲ得
第二項第一號、第四號及第六號並ニ前項ニ掲グル者ハ其ノ市町村ニ關セザル事項ニ付議事ニ參與スルコトヲ得ズ但シ



會長ニ於テ必要ト認ムル場合ハ此ノ限ニ在ラズ  
第一項乃至第三項ニ掲グル者ノ外臨時ニ必要アル場合ニ於  
テハ臨時委員ヲ命シ議事ニ參與シ決議ノ數ニ加ハラシムル  
コトヲ得

第一項第一號、第二項第一號乃至第三號及第八號並ニ第三  
項ニ掲グル者事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理スル者議事ニ  
參與シ決議ノ數ニ加ハルコトヲ得

市町村會及道府縣會ハ第二項第四號及第五號ノ規定ニ依ル  
委員タルベキ者ヲ選舉スベシ  
學識經驗アル者ノ中ヨリ命セラレタル委員ノ任期ハ四年ト  
ス但シ特別ノ事由アル場合ニ於テハ任期中之ヲ解任スルコ  
トヲ妨グズ

第九條 中央委員會ノ委員及臨時委員ハ内務大臣ノ奏請ニ依  
リ内閣ニ於テ之ヲ命ズ  
地方委員會ノ委員及臨時委員ハ前條第二項第一號、第二號  
及第八號ニ掲グル者ヲ除クノ外内務大臣之ヲ命ズ

第十條 會長ハ會務ヲ總理ス

會長事故アルトキハ中央委員會ニ在リテハ内務大臣ノ、東  
京地方委員會ニ在リテハ内務次官ノ、其ノ他ノ地方委員會  
ニ在リテハ地方長官ノ指名シタル委員其ノ職務ヲ代理ス

第十一條 委員會ハ都市計畫ニ關シ必要アル時ハ期間ヲ指定  
シ關係道府縣市町村ヲシテ特定ノ事項ニ付調査ヲ爲サシメ

〔大阪土〕

又ハ必要ナル圖書類ヲ提出セシムルコトヲ得  
委員會ハ委員又ハ臨時委員ヲ派遣シテ都市計畫事業執行ノ  
狀況ヲ檢査セシムルコトヲ得

第十二條 委員會ハ會長之ヲ招集ス

會長ハ委員會開會ノ日ヨリ少クトモ三日前ニ招集及會議ノ  
事項ヲ委員及臨時委員ニ通知スヘシ但シ急施ヲ要スル場合  
ハ此ノ限ニ在ラズ

第十三條 委員會ハ委員及臨時委員ノ半數以上出席スルニ非  
サレハ會議ヲ開クコトヲ得ス

第十四條 會長ハ會議ノ議長ト爲ル

委員會ノ議事ハ出席ノ委員及臨時委員ノ過半數ヲ以テ之ヲ  
決ス可同數ナルトキハ議長ノ決スル所ニ依ル

第十五條 委員會ニ常務委員會ヲ置ク委員會ノ委任ヲ受ケ其  
ノ權限ニ屬スル事項ニシテ輕易ナルモノヲ處理ス

中央委員會ノ常務委員會ハ會長ノ指名シタル委員九人以内  
ヲ以テ之ヲ組織ス

地方委員會ノ常務委員會ハ第八條第二項第一號及第八號ノ  
委員並ニ會長ノ指名シタル委員九人以内ヲ以テ之ヲ組織ス  
但シ同一道府縣内ニ市及都市計畫法第一條ノ規定ニ依リ指  
定スル町村通シテ二以上アルトキハ會長ハ一市町村ヲ増ス  
毎ニ委員二人以内ヲ増スコトヲ得

委員會ノ會長ハ常務委員會ヲシテ委員會ノ會議事項ヲ豫メ

〔大阪土〕

附則

本令ハ都市計畫法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス  
都市計畫調查會官制ハ之ヲ廢止ス

地方委員會ニ要スル費用ハ當分ノ内北海道地方費又ハ府縣ノ  
負擔トス

東京市、京都市、大阪市、橫濱市、神戸市及名古屋市ノ市區  
改正委員會ノ委員ニシテ東京市區改正委員會組織權限規程第  
一條第二項第五號ノ規定又ハ大正七年勅令第百八十三號第二  
條第四號ノ規定ニ依リ任命セラレタル者ハ第八條ノ規定ニ依  
リ任命セラレタル委員ト看做ス

附則 (大正十一年勅令第百七十二號)

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

從前ノ都市計畫地方委員會ハ本令ニ依ル都市計畫地方委員會  
ト看做ス

本令施行ノ際現ニ臨時委員ノ職ニ在ル者ニシテ別ニ辭令書ヲ  
交付セラレサルモノハ之ヲ本令ニ依ル臨時委員ト看做ス

附則 (昭和八年勅令第八十五號)

本令ハ昭和八年法律第二十二號施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行ノ際從前ノ第八條第二項第二號ノ委員ニシテ第八條  
第二項第二號ノ改正規定ニ依リ委員タルモノハ同條同項第三  
號ノ改正規定ニ依ル委員タルモノトス

附則 (昭和十一年勅令第四百十一號)

審査セシムルコトヲ得

第八條第四項及第六項、第十二條第一項、第十三條並ニ前  
條ノ規定ハ常務委員會ニ之ヲ準用ス

第十六條 委員會ニ幹事若干人ヲ置ク中央委員會ノ幹事ハ内  
務大臣ノ奏請ニ依リ内閣ニ於テ之ヲ命シ地方委員會ノ幹事  
ハ内務大臣之ヲ命ズ

幹事ハ會長ノ指揮ヲ承ケ庶務ヲ整理ス

第十六條ノ二 中央委員會ニ書記ヲ置ク内務大臣之ヲ命ズ  
書記ハ上司ノ指揮ヲ承ケ庶務ニ従事ス

第十七條 地方委員會ニ通シテ左ノ職員ヲ置ク

事務官

專任二十人以内

奏任

技師

專任七十八人以内

奏任

書記

專任九十四人以内

判任

技手

專任二百四十五人以内

判任

前項ニ掲グル職員ノ各地方委員會ノ定員ハ内務大臣之ヲ定  
ム

事務官ハ上司ノ命ヲ承ケ事務ヲ掌ル

技師ハ上司ノ命ヲ承ケ技術ヲ掌ル

書記及技手ハ上司ノ指揮ヲ承ケ庶務及技術ニ従事ス

第十八條 地方委員會ノ判任官ノ進退ハ東京地方委員會ニ在  
リテハ内務大臣、其ノ他ノ地方委員會ニ在リテハ地方長官  
之ヲ專行ス



本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス  
本令施行ノ際現ニ委員タル者ニシテ學識經驗アル者ノ中ヨリ  
命セラレタルモノノ任期ハ本令施行ノ日ヨリ之ヲ起算ス

●都市計畫付議事項發案權委任ノ件

大正十一年七月二十一日  
內務省告示第七十六號

都市計畫委員會官制第四條ノ二但書ノ規定ニ依リ左ニ掲ケル  
事項ノ付議ハ事業執行者タル知事又ハ市長ニ之ヲ委任ス  
一 事業ノ實施上必要ヲ生シタル設計ノ些少ノ變更  
二 既定ノ事業年度ヲ延長セサル年度割ノ變更  
三 前二號ノ外知事又ハ市長ニ於テ輕易ト認メ內務大臣ノ認  
可ヲ受ケタル事項

●都市計畫地方委員會付議事項發案權委任ニ關スル件

大正十一年八月十八日  
發第一二〇號都市計畫局長通牒

東京外五府縣知事及東京外五市長宛

本年七月二十一日當省告示第一七六號標記ノ件中第一號事業  
ノ實施上必要ヲ生シタル設計ノ些少ノ變更トアルハ專ラ技術  
上ノ見地ヨリ局部ノ變更ヲ要スルモノニ限ル義ニシテ街路改

〔大阪土〕

正ノ方針ヲ變更スルカ如キ關係ニアルモノハ勿論其ノ路線ニ  
付多少ニテモ地方ノ問題ヲ惹起セル如キモノハ之ヲ含マサル  
次第ニ有之候條右ニ御處置相成度爲念此段及通牒候也

●都市計畫地方委員會付議事項發案權委任ニ關スル件

大正十一年十月十日  
發第一三一號都市計畫局長通牒

東京外五府縣知事及東京  
外五市長 地方委員會會長宛  
本年七月二十一日當省告示第一七六號標記ノ件中委員會ノ付  
議ハ決定權ノ委任ニアラス付議ノ委任ナルヲ以テ其ノ意味ヲ  
明瞭ナラシムル爲爾今之カ付議案ハ左ノ文例ニ依ルコトニ御  
措置相成度此段及通牒候也

〔記〕

左記ノ件內務大臣ノ委任ニ依リ都市計畫何々地方委員會ニ付  
議ス

年月日

知事(又ハ)市長

〔記〕

一 何々決定又ハ變更ノ件  
何々(付議事項ノ内容)

〔大阪土〕

第五條 都市計畫委員會ノ議決ヲ經ヘキ事項ニシテ專ラ一地

方ニ關スルモノニ付テハ其ノ地方委員會ノ議決ヲ以テ都市  
計畫委員會ノ議決トシ其ノ他ノ事項ニ付テハ中央委員會ノ  
議決ヲ以テ都市計畫委員會ノ議決トス但シ地方委員會ノ議  
決ヲ經タル事項ニシテ內務大臣更ニ審議ノ必要アリト認ム  
ルモノニ付テハ之ヲ中央委員會ノ議ニ付シ其ノ議決ヲ以テ  
都市計畫委員會ノ議決ト看做ス

內務大臣ハ委員會ノ議決ヲ經タル事項ニ付必要アリト認ム  
ルトキハ之ヲ再議ニ付スルコトヲ得

第六條 中央委員會及地方委員會ハ會長及委員ヲ以テ之ヲ組

織ス  
第七條 中央委員會ノ會長ハ內務大臣ヲ以テ之ニ充ツ  
地方委員會ノ會長ハ東京地方委員會ニ在リテハ內務次官ヲ  
以テ、其ノ他ノ地方委員會ニ在リテハ地方長官ヲ以テ之ニ  
充ツ

第八條 中央委員會ノ委員ハ左ニ掲ケル者ヲ以テ之ニ充ツ

- 一 關係各廳高等官 十六人以上
- 二 學識經驗アル者 十二人以上
- 一 市長及都市計畫法第一條ノ規定ニ依リ指定スル町村ノ  
町村長
- 二 內務部長タル北海道廳部長又ハ府縣書記官、警察部長

第十一類 都市計畫 耕地整理 市街地建築物 第一章 都市計畫

タル北海道廳部長又ハ府縣書記官(東京地方委員會ニ在  
リテハ保安部長タル警視廳部長)及土木部長タル北海道

廳部長、府縣書記官又ハ地方技師

三 關係各廳高等官 八人以上

四 市會議員及第一號ノ町村ノ町村會議員 市町村會議員  
各定數ノ六分ノ一以內但シ一市町村ニ付十五人ヲ超ユル  
コトヲ得ズ

五 道府縣會議員 道府縣會議員定數ノ十分ノ一以內

六 市長以外ノ市吏員 一市ニ付二人以內

七 學識經驗アル者 十人以上

八 東京地方委員會ニ在リテハ警視總監及東京府知事

前項第一號、第四號及第六號ニ掲ケル者ハ其ノ市町村ニ關  
セザル事項ニ付議事ニ參與スルコトヲ得ズ但シ會長ニ於テ  
必要ト認ムル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第一項及第二項ニ掲ケル者ノ外臨時ニ必要アル場合ニ於テ  
ハ臨時委員ヲ命ジ議事ニ參與シ決議ノ數ニ加ハラシムルコ  
トヲ得

第一項第一號並ニ第二項第一號乃至第三號及第八號ニ掲ケ  
ル者事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理スル者議事ニ參與シ決  
議ノ數ニ加ハルコトヲ得

市町村會及道府縣會ハ第二項第四號及第五號ノ規定ニ依ル  
委員タルベキ者ヲ選舉スベシ



●都市計畫事業年度割變更ニ關スル件

大正十三年十一月十二日  
都第一四號關係都市計畫課長依命通牒  
道府縣長官宛

從來都市計畫事業年度割ノ變更ニ關シテハ如何ナル場合ニ於テモ都市計畫地方委員會ノ決議ヲ經テ内務大臣ノ決定ヲ求ムル手續ニ有之候處今後ハ或年度ノ工事執行ノ結果其ノ工事費精算額ト豫定金額トニ差違ヲ生シ從テ既定ノ年度割ニ異動ヲ生スルモ既往年度ニ週及シテ年度割ノ變更ヲ爲ス要ナク又財源ノ都合又ハ工事執行上已ムヲ得サル事情ニ因リ或年度ノ工事力其ノ翌年度ニ繰越サルル爲自然既定ノ年度割ニ異動ヲ生スルモ既定ノ事業年度ヲ延長セサル限りハ都市計畫地方委員會ノ議決ヲ要セサル儀ト御了知相成度  
追テ本文ノ趣都市計畫地方委員長並關係市長へ御示達相成度

●都市計畫事業執行者指定ニ關スル件

大正十一年三月十日  
都第八六號ノ内務次官回答  
大阪府知事宛

(都市計畫事業執行ニ關スル質疑ノ件)

〔大阪土〕

大正九年七月二十九日都第二六號ヲ以テ標記ノ件照會相成候處左記ノ通承相成度

記

- 一 御見解ノ通ニテ計畫ヲ進メラレ可然  
大阪府知事照會(都第二六號ノ内)  
都市計畫事業執行ニ關スル質疑事項照會ノ件
- 都市計畫事業執行ニ關シ左記事項豫メ承知致度候條御繁用中恐縮ノ至リニ候得共御指示相仰度此段及照會候也
- 實疑事項
  - 一 大阪市ノ區域外ニ於テ又ハ區域外ニ互ル都市計畫事業中大阪市長ニ於テ執行スルモノヲ除キタル他ノ事業ニシテ市ノ區域外ニ於ケル事業カ主トシテ其ノ地元町村ノ直接利害ニ關スル全ク地方的事業ト認メタルモノ(此ノ事業ハ其ノ地元町村ニ於テ執行スルモノトシ)ノ外大阪府知事力執行スルヲ適當ナリト認ムルモノハ施行令第三條ニ依リ大阪府ヲ事業執行者トシテ指定ヲ受度希望ニ候右ニ依テ諸般ノ計畫ヲ定メ可然哉豫メ御内意承知致度

〔大阪土〕

●營造物管理者ヲ指定セシ時ノ費用ノ件

大正十一年三月十日  
都第八六號ノ内務次官回答  
大阪府知事宛

都市計畫事業ニ依リ生シタル營造物管理者力指定セラレタル場合ニ於テモ之カ維持修繕ニ要スル費用ハ各其ノ營造物ヲ支配スル法規ニ依ル義ト承知アリ度

大阪府知事照會(大正九年七月二十九日)  
都第二六號ノ内

都市計畫事業ニ依リ生シタル營造物ノ管理上必要アルトキハ内務大臣ニ於テ其ノ管理者ヲ指定シ得ヘキハ都市計畫法施行令第三十條ノ定ムル所ナルモ之カ維持修繕ニ要スル費用ニ至リテハ何等ノ規定ナシ此等ハ如何ニ定メラルル方針ナルヤ何度

●都市計畫道路擴築事業ニ對スル國庫補助ニ關スル件

大正十一年六月六日  
京都第八號内務次官回答  
都市計畫京都地方委員長宛

都京發第二六號ヲ以テ標記ノ件御照會相成候處右ノ道路ノ新設擴築力軌道敷設ノ爲ニ必要ヲ生シタルニ非スシテ道路交通

第十一類 都市計畫 耕地整理 市街地建築物 第一章 都市計畫

上一定ノ計畫ニ基キ施行セララルル場合ニ於テハ補助相成候例ニ有之候條御承相成度

京都地方委員長照會(大正十一年五月十日)  
都京發第二六號

新ニ電車軌道ヲ敷設スル爲都市計畫事業トシテ施行スル道路ノ新設及擴築工事ニ對シテ當然國庫ヨリ補助セララルルモノト心得可然哉今般當委員會ニ御諮問相成候第五號線變更ニ關シ説明上必要ニ付折返シ何分ノ御意見承知致度此段及照會候也

●都市計畫法第八條特別稅賦課ノ件

大正十一年三月十日  
都第八六號ノ内務次官回答  
大阪府知事宛

- 二 法第八條ノ特別稅ハ府下全般ニ互リ之ヲ賦課スルモノト承知アリ度尙不均一ノ賦課ハ府縣制第一百一條及明治三十二年勅令第三百十六號第三條ニ據ルヘキ義ト承知アリ度
- 三 御見解ノ通ト承知アリ度
- 大阪府知事照會(大正九年七月二十九日)  
都第二六號ノ内
- 二 法第四條ノ費用及大阪府カ都市計畫事業ヲ執行スル場合ニ於テ法第六條ノ費用ニ充ツル爲法第八條ノ特別稅ヲ賦課スヘキ區域ハ大阪府下全體ニ互リ之ヲ賦課シ得ル哉或ハ單ニ都市計畫區域内ノ市部及郡部ノ區域ノミニ限ルヘキ哉尙右特別稅ハ府下全體ニ互リ賦課シ得ヘキ法意ナリトスルモ



單ニ都市計畫區域内ニ限リ賦課スルモ支障ナキ儀ニ候哉  
三 市町村、(郡)、府縣ヲ統轄スル行政廳ニ於テ各同時ニ都  
市計畫事業ノ費用ニ充ツル爲法第八條ノ特別稅ヲ各別ニ其  
ノ最高率迄賦課シ得ル儀ニ候哉

●都市計畫法施行令第九條第四  
號ノ規定ニ依ル指定ノ件

大正九年九月六日  
內務省令第二十八號

改正 大正一四年一月內務省令第二六號、昭和五年一月第三號、七年一  
月第四六號

都市計畫法施行令第九條第四號ノ規定ニ依リ指定スルコト左  
ノ如シ但シ第一號ノ期間ニ付テハ事業著手ノ時ヨリ之ヲ起算  
ス  
一 都市計畫事業トシテ道路、廣場、公園ノ新設、擴張若ハ  
路面ノ改良又ハ軌道ノ建設者ハ河川、運河ノ新設、改修ヲ  
爲シタル場合ニ於テ其ノ道路、廣場、公園、軌道、河川若  
ハ運河ノ附近ニ於テ內務大臣ノ定ムル區劃内ニ在ル有租地  
ノ所有者但シ質權ノ目的タル土地ニ付テハ質權者、十年ヨ  
リ長キ期間ノ定アル地上權、永小作權及賃借權ノ目的タル  
土地ニ付テハ地上權者、永小作人及賃借人  
一 前號ノ區劃内ニ在ル無租地ニシテ公用又ハ公共ノ用ニ供

〔大阪土〕

セラレサルモノニ付テハ地上權者、永小作人及賃借人  
附則  
本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●都市計畫事業費受益者負擔ノ  
件

大正十一年十一月十五日  
阪第五一號都市計畫局長回答  
大阪市長宛

十一月一日附都甲第二一二號ヲ以テ標記ノ件御照會相成候處  
大正九年內務省令第二十八號第二號中無租地トアルハ地租條  
例第四條ニ依ル免租地ノミナラス其ノ他法律ニ依リ地租ヲ免  
セラルル土地ヲモ包含スル義ト御承知相成度

大阪市長照會(大正十一年十一月二日)  
都甲第二一二號

大正九年內務省令第二八號都市計畫事業ニ依ル受益者負擔  
ニ關スル指定ノ件第二號中無租地云々トアルハ地租條例第  
四條ニ依ル免租地ニ該當スル義ト承知シ可然哉折返シ御回  
報煩度爲念此段御照會申上候

一 一トス但シ前條第二項ノ場合ニ於テ道路新設ノ場合ハ其  
ノ事業費ノ十分ノ五、道路擴張ノ場合ハ其ノ事業費ノ十分  
ノ四以内ニ於テ內務大臣之ヲ決定ス  
道路擴張ノ場合ニ於テ其ノ擴張道路ノ地積ガ其ノ敷地内ニ  
在ル舊道路ノ地積ノ三倍以上トナルトキハ前項ノ適用ニ關  
シテハ之ヲ道路新設ト看做ス  
前項ノ地積ハ第五條第一項第一號ノ區分毎ニ之ヲ計算ス  
第五條 大正九年內務省令第二十八號ノ受益者ノ負擔金額ハ  
左記各號ニ依リ之ヲ定ム

〔大阪土〕

●大阪府知事執行都市計畫事業  
道路新設擴張受益者負擔ニ關  
スル件

昭和七年五月二十四日  
內務省令第十五號

改正 昭和七年一月內務省令第三九號

第一條 大阪府知事ハ都市計畫事業トシテ其ノ執行スベキ道  
路ノ新設又ハ擴張ニ要スル費用ヲ本令ノ定ムル所ニ依リ受  
益者ヲシテ負擔セシムベシ

第二條 都市計畫法施行令第九條第二號ニ依ル大阪市ノ負擔  
額ハ一等大路第三類第三十號線(大阪吹田線)及同第三十三  
號線(傳法尼崎線)中新澁川ニ架スル橋梁ノ事業費(軌道ヲ  
敷設スル者ノ寄附シタル金額ヲ控除シタル額)ノ十分ノ一  
トス

第三條 大正九年內務省令第二十八號ノ區劃ハ道路ノ周圍ニ  
於テ其ノ境界線ヨリ(街角ヲ剪除シタル部分ニ在リテハ其  
ノ剪除セザル部分ノ道路境界線ヲ延長シタル線ヨリ)道路  
幅員ノ七倍ノ地域トス  
土地ノ狀況ニ依リ前項ノ區劃ヲ擴張スル必要アリト認ムル  
トキハ前項ノ道路幅員ノ十倍以内ニ於テ內務大臣之ヲ決定  
ス

第四條 前條ノ區劃内ノ受益者負擔額ハ道路新設ノ場合ハ其  
ノ事業費ノ三分ノ一、道路擴張ノ場合ハ其ノ事業費ノ四分

第十一類 都市計畫 耕地整理 市街地建築物 第二章 都市計畫



スベシ

第六條 河川、運河、溝渠、鐵道、新設軌道、崖地等ニシテ土地ノ利用ヲ區分スベキ地物ガ第三條ノ地域内ニ在ルトキハ之ヲ以テ負擔區劃ノ限界トス  
同等以上ノ效用アリト認ムル並行道路ガ第三條ノ區劃ノ二倍ノ地域内ニ在ルトキハ其ノ道路トノ間隔ノ中央線ヲ以テ負擔區劃ノ限界トス但シ其ノ間隔内ニ前項ノ地物アルトキハ前項ノ例ニ依ル  
前二項ノ場合ニ於ケル各受益者ノ負擔金ノ算定ニ付テハ負擔區劃ノ限界ナキモノト看做ス

第七條 第五條ノ負擔金ハ其ノ負擔區ノ事業著手ノ日ノ現在ニ依リ受益者ヨリ之ヲ納付セシム  
前項ノ事業著手ノ日ハ府知事之ヲ告示スベシ  
第二條及第五條ノ受益者ノ負擔金額ヲ決定シタルトキハ府知事ハ之ヲ受益者ニ通知スベシ

第八條 第五條ノ各受益者ハ府知事ノ相當ト認ムル擔保ヲ提供シ且利子ニ相當スル増負擔金ヲ納付シ前條第三項ノ決定通知ノ日ヨリ五年ヲ超エザル期間ニ於テ負擔金ノ分割延納ヲ求ムルコトヲ得

第九條 負擔金ガ事業費精算額ニ依リ算出シタル各受益者ノ負擔金額ニ比シ超過スルトキハ之ヲ還付シ不足スルトキハ之ヲ追徴ス但シ府知事ニ於テ大差ナシト認ムルトキハ此ノ

〔大阪土〕

〔大阪土〕

昭和三年二月内務省令第五號ハ之ヲ廢止ス  
從前ノ規定ニ依リ爲シタル處分其ノ他ノ行爲ハ本令ニ依リ爲シタルモノト看做ス

### 大阪府知事執行都市計畫事業 道路新設擴築受益者負擔ニ關 スル件施行細則

昭和七年十二月二十六日  
大阪府令第八十號

改正 昭和一〇年一月府令第二號  
第一條 本則ニ於テ省令ト稱スルハ昭和七年内務省令第十五號ヲ謂フ

第二條 事業費トハ用地買收費、補償費、工事費及之ニ伴フ諸經費ヲ謂フ

第三條 省令第五條第一項第二號ノ地帯ハ之ヲ左ノ三箇ニ區分ス但シ特別ノ事由アル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第一地帯 道路ノ境界線ヨリ道路幅員ノ一倍ノ地域

第二地帯 前號ノ地域ヨリ道路幅員ノ二倍ノ地域

第三地帯 前號ノ地域ヨリ道路幅員ノ四倍ノ地域

第四條 前條ノ各地帯ノ負擔額ハ左ノ率ニ依リ之ヲ定ム

第一地帯 百分ノ五十  
第二地帯 百分ノ三十五

第十一類 都市計畫 耕地整理 市街地建築物 第一章 都市計畫

限ニ在ラズ

第十條 都市計畫法又ハ道路法ノ規定ニ依リ道路ノ新設若ハ擴築又ハ路面改良ニ要スル費用ヲ著シク利益ヲ受クルニ依リ負擔スベキ關係ニ該當シタル土地ガ五年以内ニ重複シテ本令ニ依リ負擔金ヲ課セラルベキ關係ニ該當スルトキハ其ノ負擔金ノ一部ヲ免除スルコトヲ得

第十一條 道路ノ新設又ハ擴築ニ要スル費用ヲ補足スル爲メ土地、物件、勞力又ハ金錢ヲ寄附シタル者ニ對シテハ其ノ寄附額ノ範圍内ニ於テ負擔金ヲ減免スルコトヲ得府知事ガ適當ト認ムル工法ニ依リ工事ヲ施行シテ之ヲ寄附シタル者ニ對シテ亦同シ

道路ノ新設又ハ擴築ニ要スル土地ヲ土地區劃整理施行者ガ無償ニテ供用スルトキハ其ノ整理施行地區内又ハ整理施行地區タリシ區域内ノ受益者ニ對シテハ前項ノ例ニ依リ負擔金ヲ減免スルコトヲ得

第十二條 土地ノ狀況ニ依リ府知事ニ於テ必要アリト認ムルトキハ負擔金ヲ減免スルコトヲ得

第十三條 本令ノ施行ニ關シ必要ナル事項ハ府知事之ヲ定ム  
附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第三地帯 百分ノ十五

第五條 大正九年内務省令第二十八號ノ受益者ハ土地登記簿ニ依リ之ヲ定ム但シ未登記ニ屬スルモノハ知事ノ定ムル所ニ依ル

第六條 同一ノ土地ニ付前條ノ受益者二以上アル場合ニ於テハ現ニ土地ヲ使用スル權利ヲ有スル者ヲ以テ受益者ト看做ス

第七條 地積ハ土地臺帳ニ依ル但シ土地臺帳ニ登載ナキ土地又ハ土地臺帳ノ地積ト實測地積トノ差甚シキ土地ニ就テハ實測ニ依ル

第八條 省令第六條ノ河川、運河、溝渠ハ平均幅員十間以上ノモノトス但シ土地ノ狀況ニ依リ右ノ制限ニ斟酌ヲ加フルコトアルベシ

第九條 省令第八條ニ依リ負擔金ノ分割延納ヲ求メントスル者ハ負擔金額決定通知ヲ受ケタル日ヨリ十五日以内ニ出願スベシ

第十條 省令第八條ノ擔保ハ國債證券、大阪府債券、勸業債券其ノ他知事ニ於テ適當ト認ムル有價證券又ハ所有權以外ノ權利ノ設定登記ナキ土地トス但シ知事ニ於テ負擔金完納ノ資力アリト認ムル連帶保證人二名以上ヲ以テ之ニ代フルコトヲ得

前項有價證券ノ見積價格ハ時價ノ九割トシ土地ノ見積價格



ハ知事ノ定ムル所ニ依ル

擔保物件ノ價格著シク低下シタルトキ又ハ保證人ノ變更ヲ要スト認メタルトキハ之ガ増徴又ハ變更ヲ命ズルコトアルベシ

第十一條 土地ヲ擔保トシテ提供セントスル場合ハ願書ニ土地登記簿謄本ヲ添付スベシ

第十二條 省令第八條ノ増負擔金ハ年五分ノ利子ニ相當スル金額トス

第十三條 負擔金ハ隨時之ヲ徴收ス但シ分割延納ヲ許可シタル場合ノ負擔金並ニ増負擔金ハ毎年左ノ納期ニ於テ之ヲ徴收ス

第一期 四月一日ヨリ四月三十日限

第二期 十月一日ヨリ十月三十一日限

前項但書ノ場合ニ於ケル第一回分ニ限り別ニ納期ヲ指定スルコトアルベシ

第十四條 負擔金ノ分割延納ノ許可ヲ受ケタル者左記各號ノ一ニ該當スルトキハ其ノ許可ヲ取消シ未納額ヲ一時ニ徴收スルコトアルベシ

- 一 指定ノ期間内ニ納付セザルトキ
- 二 擔保物件ノ増徴又ハ保證人ノ變更ニ應ゼザルトキ
- 三 破産ノ宣告ヲ受ケタルトキ又ハ法人ニシテ解散シタルトキ

〔大阪土〕

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第十五條 省令第十條ノ免除額ハ輕キ負擔金ニ相當スル金額トス

第十六條 省令第十二條ノ負擔金ノ減免ハ左ノ通トス但シ同一ノ土地ニシテ左記各號ノ二以上ニ該當スル場合ハ免除額ノ多キ方ヲ適用ス

一 道路ニ接スル土地ニシテ路面ニ對シ高低差平均三尺ヲ超エタルトキハ一割、以上一尺ヲ超エル毎ニ一割ヲ増シタル率ニ依リ間口當負擔金ヲ減額ス但シ高低差平均十二尺ヲ超エタルモノハ免除ス

二 道路ニ接スル土地ニシテ後方接續地ト受益者ヲ異ニシ宅地ニ利用シ難キ狭小ノ土地ハ奥行平均一間未滿ハ八割、一間未滿ハ六割、二間未滿ハ四割、各其ノ間口當負擔金ヲ減額ス但シ奥行平均三尺未滿ハ免除ス

三 有租地ニシテ道路法ニ依リ認定セラレタル道路及公共ノ用ニ供スル溝渠、溜池、運河ハ負擔金ヲ免除シ私有道路ニシテ公衆ノ用ニ供シ事實上他ノ用途ニ使用シ得ザル土地ハ負擔金ノ五割、公共ノ用ニ供セザル溜池ハ其ノ二割ヲ減額ス

四 道路ノ法敷又ハ側溝トシテ無償使用ノ土地ハ面積負擔金ヲ免除ス

附則

〔大阪土〕

昭和三年大阪府令第三十二號ハ之ヲ廢止ス從前ノ規定ニ依リ爲シタル處分其ノ他ノ行爲ハ本令ニ依リ爲シタルモノト看做ス

### ●大阪都市計畫事業神崎川改修 受益者負擔ニ關スル件

昭和八年三月三十一日 内務省令第七號

第一條 大阪府知事ハ昭和七年十月二十八日內閣認可ニ係ル都市計畫事業神崎川改修ニ要スル費用ヲ本令ノ定ムル所ニ依リ受益者ヲシテ負擔セシムベシ

第二條 大正九年內務省令第二十八號ノ區劃ハ河川ノ周圍ニ於テ其ノ計畫幅員ノ境界線ヨリ三百五十米ノ地域トス

第三條 前條ノ區劃内ノ受益者負擔金額ハ事業費ノ三分ノ一トス

第四條 各受益者ノ負擔金額ハ左ノ各號ニ依リ之ヲ定ム

- 一 負擔區劃内ニ於ケル總地積ニ付利益ヲ受ケル厚薄ニ依リ單位地積當負擔指數ヲ定メ之ニ各土地ノ單位地積數ヲ乘ジテ得タル數ヲ當該土地ノ負擔指數トス
- 二 前條ノ負擔金額ヲ前號ノ各土地ノ負擔指數ノ總和ニテ除シテ得タル金額ヲ指數一箇當負擔金額トス

第十一類 都市計畫 耕地整理 市街地建築物 第一章 都市計畫

三 指數一箇當負擔金額ニ各土地ノ負擔指數ヲ乘ジテ得タル金額ヲ以テ當該土地ノ受益者ノ負擔金額トス

第五條 負擔金ハ本令施行ノ日ノ現在ニ依リ受益者ヨリ之ヲ納付セシム

第六條 受益者ノ負擔金額ヲ決定シタルトキハ知事ハ之ヲ各受益者ニ通知スベシ

第七條 負擔金額ガ事業費精算額ニ依リ算出シタル各受益者ノ負擔金額ニ比シ超過スルトキハ之ヲ還付シ不足スルトキハ之ヲ追徴ス但シ知事ニ於テ大差ナシト認ムルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第八條 左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ負擔金ヲ減免スルコトヲ得但シ第二號ノ場合ニ於ケル減免額ハ其ノ寄附額又ハ工事費額ヲ超ユルコトヲ得ズ

一 土地ノ狀況ニ依リ斟酌スベキ必要アルトキ

- 二 本事業ニ要スル費用ヲ補足スル爲メ土地、物件、勞力若ハ金錢ヲ寄附シ又ハ知事ガ適當ト認ムル工法ニ依リ工事ヲ施行シテ寄附シタルトキ

前項第二號ノ寄附額ハ知事之ヲ評定シ第三條ノ事業費ニ算入ス



第九條 本令施行ニ關シ必要ナル事項ハ知事之ヲ定ム

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

大阪府知事執行都市計畫事業

防潮堤新設受益者負擔ニ關スル件

昭和十年四月十一日 內務省令第二十二號

第一條 大阪府知事ハ昭和十年四月十日 內務省告示第二百二十

二號乃至第二百二十五號堺、高石、大津及岸和田ノ各都市

計畫事業防潮堤ノ新設ニ要スル費用ヲ本令ノ定ムル所ニ依

リ受益者ヲシテ負擔セシムベシ

第二條 都市計畫法施行令第九條第二號ノ規定ニ依ル堺市、

濱寺町、高石町、大津町、忠岡村及春木町ノ負擔額ハ各其

ノ區域内ニ於ケル事業費ノ四分ノ一トス

第三條 大正九年內務省令第二十八號ノ區劃ハ防潮堤ノ東側

境界線ヨリ六百米以内ノ地域ニ於テ土地ノ狀況ニ依リ內務

大臣之ヲ決定ス

第四條 前條ノ區劃内ノ受益者負擔額ハ事業費（道路トシテ

ノ效用ヲ兼ネシムル爲ニ要スル事業費ヲ除ク）ノ六分ノ一

トス

第五條 大正九年內務省令第二十八號ノ各受益者ノ負擔金額

〔大阪土〕

知事之ヲ告示スベシ

第七條 前二條ノ負擔金ハ其ノ負擔區ノ事業著手ノ日ノ現在

ニ依ル受益者ヨリ之ヲ納付セシム

前項ノ事業著手ノ日ハ知事之ヲ告示スベシ

各受益者ノ負擔金額ヲ決定シタルトキハ知事ハ之ヲ受益者

ニ通知スベシ

第八條 知事ハ第三條及第六條ノ各受益者ヲシテ知事ノ相當

ト認ムル擔保ヲ提供セシメ且利子ニ相當スル増負擔金ヲ納

付セシメ前條第三項ノ決定通知ノ日ヨリ五年ヲ超エザル期

間ニ於テ負擔金ノ分割延納ヲ爲サシムルコトヲ得

第九條 負擔金ハ事業費豫算額ニ依リ算出ス

前項ノ負擔金額ガ事業費精算額ニ依リ算出シタル各受益者

ノ負擔金額ニ比シ超過スルトキハ之ヲ還付シ不足スルトキ

ハ之ヲ追徴ス但シ知事ニ於テ大差ナシト認ムルトキハ此ノ

限ニ在ラズ

第十條 左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ負擔金ヲ減免

スルコトヲ得但シ第一號ノ場合ニ於ケル減免額ハ其ノ寄附

額又ハ工事費額ヲ超ユルコトヲ得ズ

一 防潮堤ノ新設ニ要スル費用ヲ補足スル爲土地、物件、

勞力若ハ金錢ヲ寄附シ又ハ知事ノ適當ト認ムル工法ニ依

リ

第十一類 都市計畫 耕地整理 市街地建築物 第一章 都市計畫

第十一條 本令ノ施行ニ關シ必要ナル事項ハ知事之ヲ定ム

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第六條 防潮堤ニ關スル設備ニシテ道路トシテノ效用ヲ兼

ルモノアルトキハ前二條ノ規定ニ依ルノ外道路トシテ利用

スル土地ノ境界線ヨリ奥行四十米ノ地域内ニ於ケル受益者

〔大阪土〕

第三條ノ區劃ヲ土地ノ狀況ニ依リ一箇又ハ數箇ノ負擔區

トシ該當區分内ノ事業費ニ付其ノ區ノ負擔額ヲ定メ各負擔

區ニ付左ノ各號ニ依リ之ヲ定ム

一 各負擔區内ニ於ケル受益者ノ土地ニ付利益ヲ受ケル厚

薄ニ依リ單位地積當負擔指數ヲ定メ之ニ各土地ノ單位地

積數ヲ乘ジテ得タル數ヲ當該土地ノ負擔指數トス

二 前條ノ負擔額ヲ前號ノ各土地ノ負擔指數ノ總和ニテ除

シテ得タル金額ヲ指數一箇當負擔金額トス

三 指數一箇當負擔金額ニ各土地ノ負擔指數ヲ乘ジテ得タ

ル金額ヲ以テ當該土地ノ受益者ノ負擔金額トス

第六條 防潮堤ニ關スル設備ニシテ道路トシテノ效用ヲ兼

ルモノアルトキハ前二條ノ規定ニ依ルノ外道路トシテ利用

スル土地ノ境界線ヨリ奥行四十米ノ地域内ニ於ケル受益者

ヲシテ道路トシテノ效用ヲ兼ネシムル爲ニ要スル事業費ノ

三分ノ一ニ付其ノ半額ヲ當該部分ニ面スル土地ノ間口ノ長

ニ比例シ他ノ半額ヲ地域内ノ土地ノ地積ニ比例シテ之ヲ負

擔セシム

土地ノ狀況ニ依リ必要アリト認ムルトキハ知事ハ前項ノ規

定ニ拘ラズ別ニ地域、負擔金額又ハ負擔方法ヲ定ムルコト

ヲ得

第一項ノ事業費ハ知事ノ認定スル所ニ依ル

第二項ノ規定ニ依リ定メタル地域、負擔金額、負擔方法ハ

三 工事ヲ施行シ之ヲ寄附シタル者アルトキ

二 左ノ土地ニ付其ノ受益者ノ申請ニ依リ必要アリト認ム

ルトキ

イ 國、府縣、市町村其ノ他ノ公共團體ニ於テ公用又ハ

公共ノ用ニ供スル土地

ロ 神社寺院祠宇佛堂ノ境内地、教會所説教所ノ構内地

及私立學校用地免租ニ關スル法律第一條ニ掲グルモノ

ノ用ニ供スル土地

ハ 都市計畫法第十六條第一項ノ土地



● 內閣ノ認可ト法第十一條トノ關係疑義ノ件

大正十一年二月二十日  
都第六〇號ノ內都市計畫課長依命通牒  
京都府知事宛

大正九年工第九九〇號ヲ以テ京都市長ヨリ別紙寫ノ通直接內務次官宛照會セラレタル都市計畫法ニ關スル質疑ノ件ニ付別紙ノ通決定致候間可然御示達相成度此段依命通牒候也

- 一 尙本件ノ如キ文書ハ地方廳經由致スヘキ様御示達相成度
  - 一 法第十一條中第十條第二項ノ規定ニ依リ指定シタル地區内ニ於ケル制限ハ都市計畫ノ認可ニ依リ效力ヲ生シ第
  - 十六條第一項ノ土地ノ境界内ニ於ケル制限即チ施行令第
  - 十一條ノ制限ハ都市計畫事業ノ認可ヲ得タル時ヨリ效力
  - ヲ生ス京都市ノ大正八年末ニ於ケル市區改正設計ノ認可
  - ハ都市計畫事業ノ認可ト見做ス
  - 二 前項ノ制限ハ內閣ノ認可ト同時ニ發生ス
- 京都市長照會(大正九年五月一日)  
工第九九〇號ノ內
- 都市計畫法ニ關シ左記ノ件疑義ニ相涉リ候條何分ノ御回示相煩度此段及御照會候也
- 一 都市計畫法第三條ノ都市計畫ニシテ內閣ノ認可ヲ受ケル
  - トキハ同法第十一條同施行令第十一條ノ制限ヲ適用シ得可

〔大阪土〕

キ哉或ハ都市計畫事業ノ認可ヲ受ケタル後ニ於テ始メテ適用シ得ヘキ儀ナル哉尙京都市ノ昨年末ニ受ケタル認可ハ都市計畫事業ノ認可ト見做シ可然哉

- 二 前項ノ制限ハ內閣ノ認可ト同時ニ發生スヘキ哉將又土地收用法第十九條第一項ノ手續ヲ完了シタル後ニ於テ始メテ適用シ得ヘキ儀ナル哉

● 風致地區規則

昭和八年八月三十日  
大阪府令第八十八號

- 第一條 風致地區内ニ於テハ左ノ行爲ヲ爲スコトヲ得ズ
  - 一 樹竹林ノ皆伐
  - 二 巨木ノ伐採
  - 三 池沼河水ノ汚染
- 第二條 前各號ノ外風致ヲ害スル行爲
- 第二條 風致地區内ニ於テ左ノ行爲ヲ爲サントスルトキハ當廳ノ認可ヲ受ケベシ但シ別ニ告示シタルモノニ付テハ此ノ限ニ在ラズ
  - 一 建物其ノ他工作物ノ新築、改築、増築、除却又ハ移轉
  - 二 土地ノ掘鑿、盛土、水面ノ埋立又ハ道路、溝渠等ノ廢
  - 置其ノ他土地ノ形質ノ變更
  - 三 竹木土石ノ類ノ採取

〔大阪土〕

● 風致地區規則ノ認可ヲ受ケルコトヲ要セザル行爲

昭和八年八月三十日  
大阪府告示第六百三十四號

- 左ニ掲グル行爲ニ付テハ昭和八年八月三十日大阪府令第八十八號風致地區規則ノ認可ヲ受ケルコトヲ要セズ
  - 一 公衆ノ目ニ觸レザル限度ニ於テ邸宅内等ニ於ケル建物其ノ他工作物ノ新築、改築、増築、除却又ハ移轉、土地ノ切取若ハ盛土又ハ竹木ノ伐採
  - 二 森林又ハ竹木類ノ保護ノ爲メ下草刈、蔓切、撫育、間伐又ハ枝打
  - 三 高さ三メートル以内ノ墓碑、墓石類又ハ其ノ附屬工作物ニ關スル行爲

● 都市計畫關係書類提出方ニ關シ提出スヘキ書類中風致地區規則ニ依ル書類ニ付テハ市町村長ノ經由ヲ要セザルノ件

昭和八年九月二十七日  
大阪府令第九十四號

大正十一年三月大阪府令第十八號都市計畫關係書類提出方ニ關

三三

第十一類 都市計畫 耕地整理 市街地建築物 第一章 都市計畫

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

附則

第六條 第一條、第二條又ハ第四條ノ規定ニ違反シタル者ハ五十圓以下ノ罰金又ハ拘留若ハ科料ニ處ス

コトヲ得

第五條 第二條各號ノ行爲ニシテ他ノ法令ニ依リ當廳ニ願届

ヲ要スルモノニ付テハ其ノ願届書ニ本令ノ願届ヲ併記スル

コトヲ得

第四條 第二條ノ認可ヲ受ケタル行爲ヲ完了シ又ハ中止シタ

ルトキハ五日以内ニ其ノ旨届出ヅベシ

第三條 前條ノ認可ヲ受ケントスル者ハ左ノ事項ヲ具シ設計

書又ハ施行方法書ヲ添附シ申請書正副二通ヲ提出スベシ

一 申請者ノ住所氏名(法人ニ在リテハ其ノ名稱、事務所

所在地及代表者ノ住所、氏名)

二 行爲地ノ所在、地目及面積

三 認可ヲ受ケントスル行爲及其ノ目的

四 著手並ニ完了ノ豫定期日

五 其ノ他參考事項

前項ノ設計書又ハ施行方法書ニハ左ノ圖面ヲ添附スベシ

一 附近地ノ見取圖

二 平面圖(位置ヲ含ム)、立面圖、意匠配色圖等設計又ハ

施行方法ノ表示ニ必要ナル圖面

第四條 第二條ノ認可ヲ受ケタル行爲ヲ完了シ又ハ中止シタ

ルトキハ五日以内ニ其ノ旨届出ヅベシ

第五條 第二條各號ノ行爲ニシテ他ノ法令ニ依リ當廳ニ願届

ヲ要スルモノニ付テハ其ノ願届書ニ本令ノ願届ヲ併記スル

コトヲ得

第六條 第一條、第二條又ハ第四條ノ規定ニ違反シタル者ハ

五十圓以下ノ罰金又ハ拘留若ハ科料ニ處ス

コトヲ得



シ提出スベキ書類中昭和八年八月大阪府令第八十八號風致地區規則ニ依ル書類ニ付テハ自今市町村長ノ經由ヲ要セズ

### ●土地區劃整理施行規則

大正十二年一月二十二日  
大阪府令第三號

#### 第一章 總則

**第一條** 整理施行者又ハ土地區劃整理組合ノ組合員タル資格ヲ有スル者ニ非サレハ土地區劃整理施行又ハ土地區劃整理組合設立ノ認可申請者ト爲ルコトヲ得ス但シ土地區劃整理組合設立ノ認可申請者ニ付テハ地方ノ狀況ニ依リ特別ノ事情アルトキハ此ノ限ニ在ラス

前項ノ規定ニ依リ認可ヲ申請セムトスルモノアルトキハ認可申請書並ニ同添付圖書ニ通テ作成提出スヘシ

前項ノ規定ニ依リ認可申請書其他ノ書類ヲ郡、市、町、村長進達スル場合ハ左ノ書類ヲ添付スヘシ但シ郡、町、村長進達ノ場合ニ限リ第一號書類ヲ添付セサルコトヲ得

一 都市計畫トノ關係ヲ明ニスル圖又ハ書面

二 起業ノ確否ニ關スル意見書

第二項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

本則ニ於ケル認可トハ都市計畫法、耕地整理法準用又ハ都市計畫法施行令ニヨル特許又ハ認可ヲ謂フ

〔大阪土〕

**第二條** 土地區劃整理施行若ハ土地區劃整理組合設立ノ認可申請者又ハ整理施行者ハ整理施行地區所在ノ市町村ニ事務所ヲ設ケヘシ但シ特別ノ事情アルトキハ之ヲ其ノ隣接市町村ニ設クルコトヲ得

事務所ニハ土地區劃整理ニ關スル一切ノ書類及帳簿ヲ備ヘ置クヘシ

共同施行者若ハ組合員タルヘキ者又ハ利害關係人ヨリ前項ノ書類又ハ帳簿ノ閱覽ヲ求メタルトキハ正當ノ事由アル場合ヲ除クノ外之ヲ拒ムコトヲ得ス

**第三條** 土地區劃整理施行若ハ土地區劃整理組合(土地區劃整理組合聯合會ヲ含ム)設立ノ認可申請者又ハ土地區劃整理ノ施行ヲ命セラレタル公共團體ハ其ノ氏名若ハ名稱、住所、整理施行地區及事務所ヲ整理施行地區ノ屬スル各市町村長ニ届出ツヘシ

**第四條** 耕地整理法第七條又ハ第八條ノ規定ニ該當スル通知又ハ公告ニハ立入ノ目的、場所及期日ヲ示スヘシ

前項ノ公告ハ立入ルヘキ土地ノ屬スル各市役所又ハ町村役場ノ揭示場ニ少ナクモ三日間之ヲ揭示スヘシ

**第五條** 整理施行地ノ地價ヲ計算スル場合ニ於テ耕地整理法第十一條第一項ノ土地ニ該當セサルモノニシテ地租ヲ課セサル土地、耕地整理法第十五條第一號、第二號ニ該當スル土地及一筆ノ一部ヲ編入シタル土地アルトキハ土地區劃整理

〔大阪土〕

理施行若ハ土地區劃整理組合設立ノ認可申請者又ハ整理施行者ハ其ノ現況ニ依リ整理施行地區内ノ土地ノ地價ヲ參酌シテ相當ノ假地價ヲ附スヘシ埋立又ハ干拓ノ許可ヲ受ケタル水面ニ付亦同シ

**第六條** 土地區劃整理事業カ府、郡、市町村其ノ他ノ公共團體ノ事業ニ關スルトキハ土地區劃整理施行又ハ土地區劃整理組合設立ノ認可申請書ニ其ノ團體ノ承認ヲ證スル書面、其ノ承認ヲ得サルトキハ其ノ事由ヲ記載シタル書面ヲ添付スヘシ

前項ノ規定ハ設計書、規約又ハ整理施行地區變更ノ場合ニ之ヲ準用ス

**第七條** 國有地又ハ府ノ公用若ハ公共ノ用ニ供スル土地ヲ整理施行地區ニ編入スル爲耕地整理法又ハ本則ノ規定ニ依リ認可申請スル場合ニ於テハ土地區劃整理施行、土地區劃整理組合設立若ハ土地區劃整理地區變更ノ認可又ハ都市計畫法施行令第十七條第一項ノ規定ニヨル設計書ノ認可申請ト共ニ之ヲ爲スコトヲ得

前項ノ規定ニヨル認可申請書ニハ第一條第二項ノ規定ヲ準用ス

第十一類 都市計畫 耕地整理 市街地建築物 第一章 都市計畫

**第八條** 設計書ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ但シ整理施行地區ヲ數區ニ分チタル場合ニ於テハ第六號以下ノ事項ハ各區毎ニ之ヲ記載スヘシ

- 一 整理施行地ノ現況及工事施行ノ目的
- 二 工事其ノ他ノ事業ノ計畫説明
- 三 主要工事ノ仕様
- 四 整理施行地及之ニ隣接スル土地、水面ノ現形圖  
縮尺千二百分ノ一
- 五 整理豫定圖  
縮尺千二百分ノ一
- 六 工事施行後ニ於ケル土地ノ筆數及面積ノ地目別合計ノ豫定
- 七 工事施行ニ依リテ得ヘキ利益
- 八 工事ノ著手及完了ノ豫定時期
- 九 維持管理ニ要スルモノヲ除ク外工事費其ノ他ノ一切ノ費用及夫役現品ノ豫算

土地區劃整理ノ施行ヲ命セラレタル公共團體ニ於テ耕地整理法第四十三條又ハ第四十四條ノ規定ニ該當スル土地ヲ整理施行地區ニ編入シタルトキハ設計書ニ之ヲ表示スヘシ

**第九條** 規約ニハ耕地整理法ニ該當シ又ハ本則ニ規定アルモノ、外左ノ事項ヲ記載スヘシ

- 一 事業ノ範圍
- 二 整理施行地區ヲ數區ニ分チタルトキハ其ノ區分



- 三 土地區劃整理組合又ハ聯合會ニ在リテハ名稱
- 四 事務所ノ所在地
- 五 土地區劃整理組合ニ在リテハ組合長、組合副長及評議員、聯合會ニ在リテハ會長及副會長ノ定數、選任、解任及任期ニ關スル規定、共同施行ニ依ル土地區劃整理ニシテ役員ヲ置クモノニ在リテハ其ノ名稱、定數、職務權限、選任、解任及任期ニ關スル規定
- 六 會議ニ關スル規定
- 七 處務及會計ニ關スル規定
- 八 補償金評定ノ標準ヲ定メタルトキハ其ノ規定
- 九 費用及夫役現品ノ分賦收入方法並延滞利息又ハ過怠金ニ關スル規定
- 十 耕地整理法第三十條第四項ニ該當スル告示前ニ於ケル土地使用ニ關スル規定
- 十一 耕地整理法第三十條第一項、第二項ノ規定ニ該當スル處分方法
- 十二 土地及水面ノ價額評定ノ標準ヲ定メタルトキハ其ノ規定
- 十三 數人共同シテ施行スル土地區劃整理ニ在リテハ設計書、規約若ハ整理施行地區ノ變更又ハ事業ノ停止若ハ廢止ニ關スル規定
- 十四 豫約開墾者又ハ埋立若ハ干拓ノ許可ヲ受ケタル者ノ

〔大阪土〕

- 一 權利消滅ノ場合ニ於ケル補償金徵收ノ方法ヲ定メタルトキハ其ノ規定
- 二 維持管理ヲ行フモノニ在リテハ其ノ規定
- 第十條 土地區劃整理施行又ハ土地區劃整理組合設立ノ認可アリタルトキ若ハ公共團體カ土地區劃整理ノ施行ヲ命セラレタルトキハ整理施行者ハ工事ニ著手スル前第八條第四號ノ圖面ヲ添附シテ左ノ事項ヲ所轄稅務署長ニ申告スヘシ其ノ變更ヲ生シタルトキ亦同シ
- 一 整理施行地ノ屬スル郡、市町村並土地ノ字、番號及水面ノ位置、面積
- 二 土地區劃整理施行、土地區劃整理組合設立又ハ整理施行地區變更ノ認可ノ年月日又ハ公共團體カ土地區劃整理ノ施行ヲ命セラレタル年月日
- 三 工事施行後ニ於ケル土地ノ筆數及面積ノ地目別合計ノ豫定
- 四 耕地整理法第十五條第一號、第二號ニ該當スル土地アリタルトキハ本則第五條ニ依リ定メタル假地價
- 五 工事ノ著手及完了ノ豫定期
- 第十一條 整理施行地區内ニ一筆ノ一部ヲ編入シタル土地アリタルトキハ前條ノ申告ト共ニ分筆ノ手續ヲ爲スヘシ
- 第十二條 工事ニ著手シ又ハ工事完了シタルトキハ整理施行者ハ遲滞ナク其ノ旨ヲ府知事及所轄稅務署長ニ届出ツヘシ

〔大阪土〕

- 第十三條 整理施行地區ヲ數區ニ分チタル場合ニ於テハ各區毎ニ前二條ノ手續ヲ爲スヘシ
- 第十四條 都市計畫法施行令第二十條第二項及耕地整理法第十四條第二項乃至第五項、第十五條第一號但書、第二號ノ規定ニ該當スル地價ノ修正又ハ設定ヲ要スル土地ニ付テハ整理施行者ハ從前ノ土地ノ字、番號、地目、面積及修正又ハ設定地價ノ見積額ヲ記シタル書面並從前ノ土地及工事施行後ニ於ケル土地各筆ノ區域ヲ表示シタル圖面ヲ作り第十條ノ規定ニ依ル工事完了ノ届出ト共ニ所轄稅務署長ニ之ヲ差出スヘシ但シ地價ノ見積ニ付テハ評議員ヲ置ク土地區劃整理組合ニ在リテハ評議員會ノ決議ヲ經ルコトヲ要ス
- 第十五條 整理施行者ハ工事完了ノ届出ヲ爲シタル後遲滞ナク換地説明書、整理確定圖及地價配當案ヲ作ルヘシ
- 前項ノ地價配當案ハ土地區劃整理組合ニ在リテハ耕地整理法第三十條第一項、第二項ノ規定ニ該當スル處分ノ議決ヲ爲ス總會又ハ總會議ニ於テ其ノ承認ヲ求ムヘシ
- 第十六條 地上權者、永小作權者、賃借權者又ハ豫約開墾者カ整理施行地又ハ組合員タル場合ニ於テ一人施行者又ハ共同施行者耕地整理法第三十條第三項ノ規定ニ該當スル認可ヲ申請セムトスルトキハ七日前ニ、土地區劃整理組合同條第一項、第二項ノ規定ニ該當スル處分ノ議決ヲ爲ス總會又ハ總會議ヲ招集セムトスルトキハ同時ニ其ノ旨ヲ土地所有

- 者ニ通知スヘシ
- 第十七條 耕地整理法第三十條第三項ノ規定ニ該當スル認可申請書ニハ換地説明書、整理確定圖及土地區劃整理組合ニ在リテハ總會又ハ總會議ノ議事録ノ謄本ヲ添附スヘシ
- 第二十二條ノ規定ニヨル書類ノ提出ハ前項ト共ニ之ヲ爲スコトヲ得
- 第十八條 耕地整理法第十五條第一號ノ規定ニ該當スル地價ヲ修正又ハ設定シタル場合ニ於テ工事完了前事業ノ廢止又ハ土地區劃整理組合ノ解散ノ爲工事ノ利益ヲ受クルコト能ハサル土地ニ付テハ廢止又ハ解散ノ時ヨリ地價ノ修正又ハ設定ナカリシモノト看做ス整理施行地區ノ變更ニ依リ地區外ニ除斥セラレタル土地ニ付亦同シ
- 第十九條 土地區劃整理地價据置年期又ハ土地區劃整理新開免租年期ノ許可ヲ受ケムトスル者ハ工事完了ノ届出ヲ爲シタル後三十日以内ニ所轄稅務署長ニ之ヲ申請スヘシ此ノ場合ニ於テ整理施行者ハ代リテ其ノ申請ヲ爲スコトヲ得
- 前項年期延長ノ許可ヲ受ケムトスル者ハ年期滿了後六十日以内ニ所轄稅務署長ニ之ヲ申請スヘシ
- 耕地整理法第十四條ノ二ノ規定ニ該當スル民有地ト爲シタル土地ニシテ第一項ノ期間内ニ土地區劃整理新開免租年期ノ申請ナキトキハ直ニ其ノ地價ヲ定ム
- 第二十條 耕地整理法第三十條第三項ニ該當スル認可アリタ



ルトキハ整理施行者ハ地價配當案ニ耕地整理法第三十條第三項ノ規定ニ該當スル認可書ノ謄本、換地説明書及整理確定圖ヲ添附シテ所轄稅務署長ニ差出シ地價ノ配賦ヲ受ケヘシ

前項ノ規定ハ都市計畫法施行令第十七條第一項ノ認可アリタル場合ニ之ヲ準用ス

**第二十一條** 耕地整理法第十六條ノ規定ニ該當スル申告ハ地價ノ配賦ヲ受ケタル後遲滞ナク所轄稅務署長ニ之ヲ爲スヘシ

此ノ場合ニ於テ共同施行者又ハ土地區劃整理組合ニ在リテハ協議一致ヲ證スル書面、協議一致セサルトキハ其ノ旨ヲ記載シタル書面ヲ添付スヘシ

**第二十二條** 整理施行者ハ耕地整理法第三十條第四項ノ規定ニ該當スル認可ノ通知ニ要スル爲左ニ掲グル書類ヲ提出スヘシ認可ノ變更又ハ更正アリタル場合亦同シ

一 換地説明書

二 整理確定圖

前項ノ場合ハ第一條第二項ノ規定ヲ準用ス

**第二十三條** 前條第一號及第二號ノ書類ハ土地區劃整理地區カニ以上ノ登記所ノ管轄ニ涉ル場合ニ於テハ各登記所ノ管轄ニ屬スル地域毎ニ分割シタルモノヲ以テ之ニ代フルコトヲ得但シ甲登記所ノ管轄ニ屬スル從前ノ土地ニ對シ乙登記

〔大阪土〕

所ノ管轄内ニ於テ換地ヲ交付シタルモノアルトキハ其ノ牽聯スル從前ノ土地及換地ハ換地説明書ノ分割シタルモノニ之ヲ表示スヘシ

**第二十四條** 整理施行地又ハ之ニ存スル建物ニ付登記ヲ爲シタルトキハ登記權利者ハ遲滞ナク整理施行者ニ其ノ旨ヲ通知スヘシ

**第二十五條** 耕地整理法第三十條第一項、第二項ノ規定ニ該當スル處分ヲ爲シタル後同條第四項ニ該當スル告示前ニ於テ從前ノ土地ノ全部又ハ一部ニ付所有權以外ノ權利又ハ處分ノ制限ニ關スル登記ヲ爲シタルモノアルトキハ整理施行者ハ遲滞ナク同法第三十三條ニ該當スル指定ヲ爲シ府知事ノ認可ヲ受ケヘシ

從前ノ土地ノ全部又ハ一部ニ付既登記ノ所有權以外ノ權利又ハ處分ノ制限アル場合ニ於テ耕地整理法第三十三條ニ該當スル指定ヲ爲サ、リシモノアルトキ亦前項ニ同シ

耕地整理法第三十條第四項ニ該當スル告示前ニ於テ換地ノ一部ニ該當スル從前ノ土地ニ付所有權移轉ノ登記ヲ爲シタルモノアルトキハ整理施行者ハ遲滞ナク同法第三十條第一項、第二項ノ規定ニ該當スル處分ヲ爲シ府知事ノ認可ヲ受ケヘシ

**第二十六條** 前條ノ規定ハ耕地整理登記令第八條ノ五但書ノ規定ニ依リ耕地整理法第三十條第四項ニ該當スル告示後登

〔大阪土〕

記ヲ爲シタル場合ニ之ヲ準用ス

**第二十七條** 共同施行又ハ土地區劃整理組合若ハ聯合會ニ依ル土地區劃整理ノ事業年度ハ一箇年トス

前項ノ事業年度ハ九月一日ヨリ翌年八月三十一日迄トス但シ特別ノ事情アルトキハ規約ヲ以テ別段ノ規定ヲ爲スコトヲ得

**第二十八條** 共同施行者又ハ土地區劃整理組合若ハ聯合會ハ每事業年度前經費ノ收支豫算ヲ定ムヘシ但シ初年度ニ於テハ土地區劃整理施行又ハ土地區劃整理組合若ハ聯合會設立ノ認可後遲滞ナク之ヲ爲スヘシ

**第二十九條** 共同施行者、土地區劃整理組合若ハ聯合會又ハ土地區劃整理ノ施行ヲ命セラレタル公共團體ハ每事業年度經過後遲滞ナク當該年度ノ事業報告書及收支決算書ヲ府知事ニ差出スヘシ

**第三十條** 耕地整理法第三十五條ノ規定ニ該當スル整理施行者ノ公告ハ整理施行地區ノ屬スル各市役所又ハ町村役場ノ揭示場ニ三日間送付スヘキ書類ノ要領ヲ揭示スヘシ

**第三十一條** 耕地整理法第三十八條第一項ノ規定ニ該當スル土地區劃整理ノ事業ヲ市町村又ハ水利組合ニ引繼ク場合ニ於テ其ノ引繼完了シタルトキハ共同施行者又ハ土地區劃整理組合長ハ遲滞ナク其ノ旨ヲ府知事ニ届出ツヘシ

**第三十二條** 土地區劃整理事業完了シ若ハ廢止セラレタルト

第十一類 都市計畫 耕地整理 市街地建築物 第一章 都市計畫

- 一 都市計畫法、耕地整理法又ハ之ニ基キテ發スル命令ノ規定ニ依リ認可、認許又ハ同意ヲ證スル書面
  - 二 設計書
  - 三 規約
  - 四 土地原簿
  - 五 權利者名簿又ハ組合員名簿
  - 六 議事錄
- キ又ハ土地區劃整理組合ノ清算終了シタルトキハ整理施行者又ハ組合長ハ土地區劃整理ニ關スル一切ノ書類及帳簿ヲ整理施行地區ノ屬スル市町村長ニ引渡スヘシ其ノ整理施行地區ニ以上ノ市町村ニ涉ルトキハ整理施行者又ハ組合長ノ申請ニ依リ府知事ニ於テ其ノ書類及帳簿ヲ引渡スヘキ市町村長ヲ指定ス
- 耕地整理法第五十三條第一項第五號ニ該當スル場合ニ於テハ前項ノ規定ヲ適用セス
- 土地區劃整理組合聯合會ノ清算終了シタルトキハ會長ハ聯合會ニ關スル一切ノ書類及帳簿ヲ其ノ所屬組合ノ一ニ引渡スヘシ
- 第三十三條** 市町村長前條第一項ノ規定ニ依リ書類及帳簿ノ引渡ヲ受ケタルトキハ其ノ引渡ヲ受ケタル日ヨリ左ニ掲グルモノニ付テハ十年間、其ノ他ノモノニ付テハ五年間之ヲ保存スヘシ



- 七 換地説明書
- 八 整理確定圖
- 九 事業報告書
- 十 收支決算書

前項ノ規定ハ明治四十二年勅令第二百三十一號第三號ノ規定ニ該當スル市町村長又ハ水利組合管理者カ土地區劃整理ニ關スル書類及帳簿ノ引繼ヲ受ケタル場合ニ之ヲ準用ス

第三十四條 耕地整理法第八十七條ノ規定ニ該當スル申請書ニハ申請ノ目的及事由ヲ記載シ協議調ハサルトキハ其ノ願末書ヲ、協議ヲ爲スコト能ハサルトキハ其ノ事由書ヲ添付スヘシ

府知事前項ノ申請書ヲ受理シタルトキハ之ヲ協議ノ相手方ニ交付シ且交付ヲ受ケタル日ヨリ十四日以内ニ答辯書ヲ差出スヘキ旨ヲ附記ス

協議ノ相手方前項ノ期間内ニ答辯書ヲ差出サ、ルトキハ府知事ハ申請書ノミニ依リテ決定スルコトアルヘシ申請書ノ交付ヲ爲スコト能ハサルトキ亦同シ

第二章 一人施行及共同施行

第三十五條 耕地整理法第三條第一項ノ規定ニ該當スル認可申請書ニハ左ニ掲グル事項ヲ記載スヘシ

- 一 一人ニテ土地區劃整理ヲ施行セムトスル者ニ在リテハ事業ノ範圍

〔大阪土〕

- 二 第三十九條條一號乃至第三號ノ事項
- 三 整理施行者ノ員數
- 四 整理施行者タル土地所有者、地上權者、永小作權者、賃借權者、豫約開墾者又ハ埋立若ハ干拓ノ許可ヲ受ケタル者ノ所有權其ノ他ノ權利ノ目的タル土地又ハ水面ノ權利別、地目別ノ面積及地價若ハ假地價
- 五 耕地整理法第四十三條ニ該當スル土地アルトキハ其ノ表示
- 六 整理施行地區ヨリ特ニ除斥シタル土地アルトキハ其ノ事由
- 前項ノ申請書ニハ左ニ掲グル書面ヲ添付スヘシ
- 一 耕地整理法第四十三條第一項第一號ニ該當スル土地ニシテ地上權者、永小作權者、賃借權者又ハ豫約開墾者カ其ノ土地ニ付整理施行者タル場合ニ非サル土地、第二號及第三號ニ該當スル土地アルトキハ其ノ編入ニ付主務官廳又ハ公共團體ノ認許アリタルコトヲ證スル書面
- 二 耕地整理法第四十三條第一項第四號乃至第八號ニ該當スル土地アルトキハ其ノ土地ニ存スル建物ニ付登記シタル權利ヲ有スル者ノ同意ヲ證スル書面、其ノ同意ヲ得ルコト能ハサルトキハ其ノ事由ヲ記載シタル書面
- 三 埋立又ハ干拓ノ許可ヲ受ケタル水面アルトキハ其ノ許

〔大阪土〕

可ヲ證スル書面

第三十六條 耕地整理法第十一條第一項ニ該當スル土地ニ付テハ國ハ之ヲ整理施行者ト看做サス

第三十七條 共同施行者ハ土地區劃整理ノ施行ニ關シ書類又ハ通知ノ授受ノ爲代表者一人ヲ定メ土地區劃整理施行ノ認可申請ト同時ニ其ノ氏名、住所ヲ府知事ニ届出テ且之ヲ公告スヘシ代表者又ハ其ノ氏名、住所ニ變更アリタル場合亦同シ

第三十八條 耕地整理法第三條ノ規定ニ該當スル整理施行者ハ土地區劃整理施行ノ認可アリタル後遲滞ナク土地原簿及權利者名簿ヲ調製スヘシ

第三十九條 土地原簿ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

- 一 整理施行地ノ總面積及總地價
- 二 整理施行地ノ筆數、面積及地價ノ地目別合計
- 三 土地各筆ノ字、番號及地目並水面ノ位置
- 四 耕地整理法第四十三條第一項第一號乃至第三號ニ該當スル土地、豫約開墾ヲ爲ス土地、耕作物アル土地又ハ所有權以外ノ登記シタル權利ノ目的タル土地アルトキハ其ノ表示

第四十條 權利者名簿ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

- 一 整理施行者タル土地所有者、地上權者、永小作權者、賃借權者又ハ豫約開墾者ノ氏名若ハ名稱、住所並其ノ所

有權其ノ他ノ權利ノ目的タル土地ノ字、番號、地目、面積、地價、等位及權利ノ表示

- 二 整理施行者タル埋立又ハ干拓ノ許可ヲ受ケタル者ノ氏名若ハ名稱、住所並其ノ權利ノ目的タル水面ノ位置及面積
- 三 土地又ハ水面ノ價額若ハ等位ヲ評定シ、面積ヲ實測シ又ハ假地價ヲ附シタルトキハ其ノ價額、等位、面積又ハ假地價
- 四 關係人又ハ整理施行地ニ存スル建物ニ付先取特權、質權又ハ抵當權ヲ有スル者ノ氏名若ハ名稱、住所、登記ノ要領
- 五 整理施行者タル地上權者、永小作權者又ハ賃借權者ノ權利ノ目的タル土地ノ所有者ノ氏名若ハ名稱、住所及土地ノ表示
- 六 工作物所有者ノ氏名若ハ名稱、住所及工作物ノ表示
- 七 耕地整理法第二十五條第二項又ハ第二十五條ノ第二項ニ該當スル訴訟當事者アルトキハ其ノ氏名若ハ名稱、住所及訴訟ノ要領

第四十一條 土地原簿又ハ權利者名簿ニ記載シタル事項ニ變更ヲ生シタルトキハ遲滞ナク之ヲ更正スヘシ

第四十二條 耕地整理法第三條ノ規定ニ該當スル設計書、規約若ハ整理施行地區ノ變更又ハ事業ノ停止若ハ廢止ノ認可



申請書ニハ其ノ事由ヲ記載シ之ニ關シ定メタル必要ノ事項ヲ記載シタル書面ヲ添付スヘシ

事業ヲ廢止シ、債務ノ分擔ニ關スル規約ヲ變更シ又ハ整理施行地區ヲ減少セムトスル場合ニ於テ借入金アルトキハ債權者ノ同意ヲ證スル書面ヲ添付スヘシ

整理施行地區ヲ變更セムトスル場合ニ於テハ地區ニ編入シ又ハ地區ヨリ除外セラルヘキ土地又ハ水面ノ整理施行者タルヘキ者又ハ整理施行者タル者ノ同意ヲ證スル書面、其ノ變更力豫約開墾者又ハ埋立若ハ干拓ノ許可ヲ受ケタル者ノ權利ノ消滅ニ依ルモノナルトキハ權利ノ消滅ヲ證スル書面ヲ添付スヘシ但シ第三十五條ノ規定ハ地區ニ編入シ又ハ地區ヨリ除外セラルヘキ土地又ハ水面ニ付之ヲ準用ス

第四十三條 一人ニテ施行スル土地區劃整理ヲ變シテ數人共同ノ施行ト爲サムトスルトキハ認可申請書ニ其ノ事由ヲ記載シ協議一致ヲ證スル書面、規約、數人共同ノ施行ト爲ス爲定メタル必要ノ事項ヲ記載シタル書面及第三十五條第一項第三號、第四號ノ事項ヲ記載シタル書面ヲ添付スヘシ

第四十四條 數人共同シテ施行スル土地區劃整理ニシテ整理施行者カ一人ト爲リタルトキハ其ノ旨ヲ府知事ニ届出ツヘシ

第四十五條 第二十九條ノ規定ハ耕地整理法第三條ノ規定ニ該當スル土地區劃整理事業完了シ若ハ廢止セラレ又ハ之ヲ

〔大阪土〕

市町村若ハ水利組合ニ引繼キタル場合ニ之ヲ準用ス

第三章 土地區劃整理組合

第四十六條 土地區劃整理組合設立ノ認可申請者ハ土地原簿及組合員名簿ヲ調製スヘシ

第四十七條 土地原簿ニハ第三十九條ニ掲グル事項ノ外耕地整理法第四十四條第一項ニ該當スル土地アルトキハ其ノ表示ヲ爲スヘシ

第四十八條 第四十條ノ規定ハ組合員名簿ニ之ヲ準用ス

第四十九條 第四十一條ノ規定ハ土地區劃整理組合ノ土地原簿又ハ組合員名簿ニ之ヲ準用ス

第五十條 耕地整理法第五十條ニ該當スル條件ヲ算定スル場合ニ於テハ耕地整理法第十一條第一項ニ該當スル土地ハ之ヲ算入セス

第五十一條 土地區劃整理組合設立ノ認可申請書ニハ左ニ掲グル事項ヲ記載スヘシ

- 一 第三十五條第一項第二號、第五號、第六號ノ事項及第三號、第四號ニ準スル事項
- 二 耕地整理法第四十四條第一項ニ該當スル土地アルトキハ其ノ表示

前項ノ申請書ニハ左ニ掲グル書面ヲ添付スヘシ

- 一 組合員タルヘキ者ニシテ組合設立ニ同意シタル者ノ總數及其土地、水面ノ總面積及總地價並其ノ同意ヲ證ス

〔大阪土〕

要ナル事項ニ付表決ヲ爲スヘシ

第五十三條 組合長又ハ組合副長ノ選任又ハ解任ノ認可申請書ニハ總會、組合會又ハ評議員會ノ議事録ノ謄本ヲ添付スヘシ

前項選任ノ認可申請書ニハ履歷書ヲ添付シ特別ノ事情ニ依リ組合員ニ非サル者ヲ選任シタル場合ニ於テハ尙其ノ事情ヲ記載シタル書面ヲ添付スヘシ

第五十四條 組合長ノ就任アリタルトキハ組合設立ノ認可申請者ハ遲滞ナク組合ニ關スル一切ノ事務及書類帳簿ヲ之ニ引繼クヘシ

第五十五條 耕地整理法第四十七條ノ規定ニ該當スル代表者アルトキハ組合長ハ其ノ氏名、住所若ハ居所ヲ組合員名簿ニ記載スヘシ

第五十六條 組合會ハ百人以上ノ組合員ヲ有スル組合ニ非サルハ之ヲ設クルコトヲ得ス

組合會ヲ設ケムトスルトキハ規約中ニ議員ノ定數並任期及選舉ニ關スル規定ヲ設ケヘシ

第五十七條 組合會議員ハ組合員中ヨリ之ヲ選舉スヘシ

第五十八條 組合會ニ於テハ第五十二條第二項ノ表決ヲ爲シ又ハ耕地整理法第三十條第一項、第二項ノ規定ニ該當スル處分ノ議決ヲ爲スコトヲ得ス

第五十九條 組合會議員ノ表決權ハ平等ナルモノトス

第六 埋立又ハ干拓ノ許可ヲ受ケタル水面アルトキハ其ノ許可ヲ證スル書面

第五十二條 組合設立ノ認可アリタルトキハ申請者ハ遲滞ナク總會ヲ召集スヘシ

前項ノ總會ニ於テハ組合長、組合副長、評議員ヲ置ク組合ニ在リテハ評議員ノ選舉並組合設立ニ關スル費用其ノ他必

ル書面

二 耕地整理法第四十三條第一項第一號乃至第三號ニ該當スル土地アルトキハ其ノ編入ニ付主務官廳又ハ公共團體ノ認許又ハ同意アリタルコトヲ證スル書面

三 耕地整理法第四十三條第一項第四號乃至第八號ニ該當スル土地アルトキハ其ノ編入ニ付土地所有者、關係人及其ノ土地ニ存スル建物ニ付登記シタル權利ヲ有スル者ノ同意ニ證スル書面

四 特別ノ價值又ハ用途ヲ有スル土地アルトキハ其ノ編入ニ付土地所有者及關係人ノ同意ヲ證スル書面、其ノ同意ヲ得サルトキハ其ノ價值又ハ用途、土地所有者及關係人ノ氏名若ハ名稱並同意セサル事由及之ヲ編入スルニ非サレハ土地區劃整理ヲ適當ニ施行スルコト能ハサル事由ヲ記載シタル書面

五 組合員タルヘキ地上權者、永小作權者、賃借權者又ハ豫約開墾者アルトキハ土地所有者及賃貸人ノ同意ヲ證スル書面

六 埋立又ハ干拓ノ許可ヲ受ケタル水面アルトキハ其ノ許可ヲ證スル書面

第五十二條 組合設立ノ認可アリタルトキハ申請者ハ遲滞ナク總會ヲ召集スヘシ

前項ノ總會ニ於テハ組合長、組合副長、評議員ヲ置ク組合ニ在リテハ評議員ノ選舉並組合設立ニ關スル費用其ノ他必



**第六十條** 組合會ニ於テ耕地整理法第五十四條第一項又ハ第六十一條第二號若ハ第五號ノ事項ニ該當スル表決ヲ爲スニハ組合會議員總數ノ過半數ノ同意アルコトヲ要ス但シ特別ノ事情アルトキハ規約ヲ以テ別段ノ規定ヲ爲スコトヲ得

**第六十一條** 組合會議員ハ組合會ニ於テ書面又ハ代理人ヲ以テ表決ヲ爲スコトヲ得ス

**第六十二條** 總會又ハ組合會ハ少ナクモ每事業年度一回之ヲ開クヘシ

**第六十三條** 耕地整理法第五十五條第一項ニ該當スル總會議ニ於テハ編入區域ノ土地所有者ハ其ノ編入區域ノ土地所有者ニ非サル者ヲ以テ代理人ト爲スコトヲ得ス

**第六十四條** 代理人ハ代理權ヲ證スル書面ヲ組合設立ノ認可申請者又ハ組合長ニ差出スヘシ

**第六十五條** 評議員ハ三人以上トス

**第六十六條** 評議員ハ組合長又ハ組合副長ト相兼ムルコトヲ得ス

評議員總數ノ五分ノ一以上ニ當ル者ヨリ會議ノ目的及其ノ事由ヲ記載シタル書面ヲ提出シテ評議員會ノ招集ヲ請求シタルトキハ組合長ハ七日以内ニ之ヲ招集スヘシ

組合長カ前項ノ招集ノ手續ヲ爲サ、ルトキハ其ノ請求ヲ爲シタル評議員ハ第一次監督官廳ノ許可ヲ得テ其ノ招集ヲ爲スコトヲ得

〔大阪土〕

評議員會ノ議事ハ評議員ノ半數以上出席シ其ノ過半數ノ同意ヲ以テ之ヲ決ス

**第六十七條** 組合設立ノ認可申請者、組合長、組合副長、評議員及組合會議員ハ規約ニ別段ノ規定アルニ非サレハ給料、報酬又ハ賞與ヲ受クルコトヲ得ス

**第六十八條** 組合ハ耕地整理法第七十三條第四項ノ規定ニ該當シ指定セラレタル臨時代理者ニ給料及旅費等ヲ支給スヘシ但シ臨時代理者官吏ナルトキハ給料ヲ支給スルコトヲ要セス

**第六十九條** 總會、總會議、組合會及評議員會ノ議長ハ組合長ニ當ル但シ第五十二條ノ總會ニ在リテハ認可申請者ノ一人、耕地整理法第五十五條ニ該當スル總會議ニ在リテハ編入區域ノ土地所有者ノ一人之ニ當ル

評議員會ノ議事カ業務又ハ財産ノ狀況ノ監査ニ關スルトキハ評議員ノ一人其ノ議長ト爲ル第六十六條第三項ニ依リ評議員會ニ付亦同シ

**第七十條** 總會、總會議、組合會又ハ評議員會ノ議長ハ會議ノ議事録ヲ作リテ左ノ事項ヲ記載スヘシ之ニ議長及出席シタル組合員、編入區域ノ土地所有者、組合會議員又ハ評議員二人以上記名捺印スヘシ

一 開會ノ日時及場所

二 組合員、編入區域ノ土地所有者、組合會議員又ハ評議員

〔大阪土〕

員ノ現在總數及出席シタル者ノ氏名若ハ名稱

三 議事ノ要領

四 表決シタル事項

五 贊否ノ數

耕地整理法第五十條ニ該當スル條件ヲ具備スルコトヲ要スル表決ヲ爲ス總會又ハ總會議ノ議事録ニハ前項ニ記載シタル事項ノ外左ノ事項ヲ記載スルコトヲ要ス

一 組合ノ地區若ハ編入區域内ノ土地ノ所有者總數、總面積及總地價

二 贊成者ノ氏名若ハ名稱及其ノ所有スル土地ノ總面積及總地價

總會又ハ總會議ノ表決ニ付規約ノ規定ニ依リ特別ノ條件ヲ具備スルコトヲ必要トスル場合ニ於テ前二項ニ依リ記載ニシテ其ノ條件ヲ具備シタルコトヲ明カニスルコト能ハサルトキハ之ヲ示スヘキ事項ヲ記載スルコトヲ要ス

**第七十一條** 組合長ハ耕地整理法第五十五條ノ規定ニ該當スル總會議ヲ開カムトスルトキハ招集ノ通知ヲ發スル日ヨリ少ナクモ十日前三日間編入區域ノ屬スル各市役所又ハ町村役場ノ揭示場ニ編入セムトスル區域及總會議ノ日時、場所及目的ヲ揭示スヘシ

**第七十二條** 耕地整理法第五十四條第一項ノ規定ニ該當スル認可申請書ニハ設計書若ハ規約ノ變更、組合ノ解散合併、

地區ノ變更又ハ事業ノ停止ノ事由及之ニ關シ定メタル必要ノ事項ヲ記載シ總會、總會議、組合會又ハ評議員會ノ議事録ノ謄本ヲ添附スヘシ

組合ノ解散、合併、地區ノ減少又ハ債務ノ分擔ニ關スル規約ヲ變更セムトスル場合ニ於テ組合債アルトキハ債權者ノ同意ヲ證スル書面、組合ヲ解散セムトスル場合ニ於テハ尙事業報告書及收支決算書ヲ添附スヘシ

第五十一條ノ規定ハ第二項第一號ヲ除クノ外地區變更ノ認可申請ノ場合ニ於テ地區ニ編入シ又ハ地區ヨリ除斥セラレヘキ土地ニ付之ヲ準用ス但シ其ノ變更力豫約開墾者又ハ埋立若ハ干拓ノ許可ヲ受ケタル者ノ權利ノ消滅ニ依ルモノナルトキハ權利ノ消滅ヲ證スル書面ヲ添附スヘシ編入區域ノ土地所有者ノ同意ヲ以テ總會議ニ代ヘタル場合ニ於テハ同意シタル土地所有者ノ氏名若ハ名稱及其ノ所有スル土地ノ面積、地價ヲ記載シタル書面並其ノ同意ヲ證スル書面ヲ添附スヘシ

**第七十三條** 土地所有者ニ非スシテ組合員タルヘキ者ハ第六十三條、第六十九條、第七十條及前條ノ適用ニ付テハ之ヲ編入區域ノ土地所有者ト看做ス

**第七十四條** 組合カ耕地整理法第五十三條第一項第一號、第二號、第七號ニ該當スル事由ニ依リ解散シタルトキハ組合長又ハ最終ニ組合員タリシ者ヨリ事業報告書及收支決算書ヲ添附シテ其ノ旨ヲ遲滞ナク府知事ニ届出ツヘシ



第七十五條 組合方耕地整理法第五十三條第一項第四號乃至第六號ニ該當スル事由ニ依リ解散シタルトキハ遲滞ナク組合長ヨリ事業報告書及收支決算書ヲ府知事ニ差出スヘシ

第七十六條 組合カ合併シタルトキハ土地區劃整理ニ關スル一切ノ書類及帳簿ハ合併後存續シ又ハ合併ニ依リ設立シタル組合ニ於テ之ヲ保存スヘシ

第七十七條 清算終了シタルトキハ組合長ハ遲滞ナク清算ニ關スル報告書ヲ作り之ヲ總組合員ニ報告シ且之ヲ添附シテ清算終了ノ旨ヲ府知事ニ届出ツヘシ

第四章 土地區劃整理組合聯合會  
第七十八條 土地區劃整理組合聯合會ヲ設ケムトスルトキハ各組合連署ヲ以テ認可ヲ申請スヘシ

前項ノ認可申請書ニハ各組合ノ聯合會設立ニ關スル議事録ノ謄本ヲ添附スヘシ

第七十九條 第五十三條、第五十四條、第六十七條、第六十八條、第七十二條第一項、第二項及第七十四條乃至第七十七條ノ規定ハ土地區劃整理組合聯合會ニ之ヲ準用ス

第五章 公共團體  
第八十條 都市計畫法施行令第十五條ニヨリ公共團體カ土地區劃整理ノ施行ヲ命セラレタルトキハ府知事ハ其ノ要領ヲ告示ス

第八十一條 土地區劃整理ノ施行ヲ命セラレタル公共團體ハ

〔大阪土〕

〔大阪土〕

〔大阪土〕

〔大阪土〕

〔大阪土〕

●土地區劃整理ノ施行ニ關スル件

昭和四年二月一日  
內務省令第二號

大正十二年內務省令第二十二號土地區劃整理ノ施行ニ關スル件左ノ通改正ス

土地區劃整理ノ施行ニ關シテハ明治四十二年農商務省令第三十九號耕地整理法施行規則ヲ準用ス

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●土地區劃整理補助規則

昭和十年十一月二十九日  
大阪府令第八十一號

第一條 土地區劃整理獎勵ノ爲必要アリト認ムルトキハ毎年度豫算ノ範圍内ニ於テ本令ノ定ムル所ニ依リ補助金ヲ交付ス

第二條 土地區劃整理ノ補助額ハ其ノ事業費ノ十分ノ二以内トス但シ寄附金又ハ他ノ補助金アルトキハ事業費ヨリ之ヲ控除シタル殘額ニ付補助額ヲ定ム

第三條 補助ヲ受ケントスル者ハ設計書及收支豫算書ヲ添附シ知事ニ申請スベシ

第四條 事業竣成シタルトキハ事業費精算書ヲ添附シ補助金

第十一類 都市計畫 耕地整理 市街地建築物 第一章 都市計畫

遲滞ナク土地臺帳及土地所有者及關係人名簿ヲ調製スヘシ

第八十二條 土地臺帳ニ付テハ第四十七條、土地所有者及關係人名簿ニ付テハ第四十條ノ規定ヲ準用ス

第四十一條ノ規定ハ第八十一條ノ土地臺帳及土地所有者及關係人名簿ニ之ヲ準用ス

第八十三條 耕地整理法第四十七條ノ規定ニ該當スル代表者アルトキハ其ノ氏名、住所若ハ居所ヲ土地所有者及關係人名簿ニ記載スヘシ

第八十四條 都市計畫法施行令第十七條第一項ノ規定ニヨリ認可申請書ニ記載スヘキ事項及添附スヘキ書類ニ付テハ第五十一條ノ規定ヲ準用ス

第八十五條 都市計畫法施行令第十七條第二項ノ規定ニヨリ土地所有者又ハ關係人ニ於テ異議ノ申出ヲ爲ストキハ當該公共團體ヲ經由スヘシ

第一項ノ申出ヲ受理シタル公共團體ハ十日以内ニ意見ヲ附シ府知事ニ進達スヘシ

附則  
本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

〔大阪土〕

〔大阪土〕

〔大阪土〕

ヲ請求スベシ但シ二事業年度以上ニ互リ繼續施行スルモノニ在リテハ其ノ年度内ニ竣成シタル部分ニ付請求スルコトヲ得

補助金ハ實地検査ノ上其ノ費用ヲ審査シ之ヲ交付ス

第五條 左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ補助ヲ取消シ又ハ停止シ交付シタル補助金ノ返還ヲ命ズルコトアルベシ

一 故ナク事業ノ進行ヲ遅延シ又ハ廢止シタルトキ

二 施行シタル工事が設計ニ適合セズト認メタルトキ

三 本令又ハ本令ニ基キテ發スル命令ニ違背シタルトキ

附則  
本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

〔大阪土〕

●土地區劃整理設計認可申請ニ關スル件

大正十三年七月九日  
發第三七號都市計畫局長通牒  
關係道廳長官府縣知事宛

都市計畫法第十四條ノ規定ニ依リ土地區劃整理ノ設計ニ關シ認可申請ノ場合ハ自今左記事項具備相成度

一 土地區劃整理施行又ハ組合設立認可申請者ノ住所氏名及組合ノ名稱

二 事業ノ範圍

第十一類 都市計畫 耕地整理 市街地建築物 第一章 都市計畫



- 三 整理施行前ニ於ケル施行地ノ地目別合計面積但シ耕地整理法第十一條第一項ノ國有地ニ付テハ用途別ノコト
- 四 耕地整理法第四十三條第一項及第四十四條第一項ノ土地ニシテ施行地ニ編入シ得サリシモノ又ハ其ノ他ノ土地ニシテ施行地ヨリ特ニ除斥シタルモノアルトキハ其ノ面積及事由
- 五 耕地整理法施行規則第八條ノ規定ニ依ル設計書

● 都市計畫法ニ依ル土地區劃整理ニ關スル登記ノ件

大正八年十一月二十八日  
勅令第四百八十四號

耕地整理登記令ハ都市計畫法ニ依ル土地區劃整理ノ地區内ノ土地及其ノ上ニ存スル建物ノ登記ニ之ヲ準用ス

附則

本令ハ都市計畫法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

● 土地區劃整理地ノ取扱方

大正十四年三月十三日  
大藏省訓令第一號

稅務監督局 稅務署

都市計畫法及特別都市計畫法ニ依ル土地區劃整理地ノ取扱方

〔大阪土〕

ニ關シテハ明治四十二年大藏省訓令第二十八號耕地整理地取扱手續ヲ準用ス

● 都市計畫法ニ依ル土地區劃整理ニ關スル登記ノ件

大正八年十一月二十八日  
司法省令第十八號

明治四十二年司法省令第二十一號耕地整理登記令施行規則ハ土地區劃整理地區内ノ土地及其ノ上ニ存スル建物ノ登記ニ之ヲ準用ス

本令ハ大正九年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

● 土地區劃整理地ニ關シ明治四十二年大藏省訓令第二十九號 準用ノ件

大正十四年三月十三日  
大藏省訓令第二號

稅務監督局 稅務署

都市計畫法及特別都市計畫法ニ依ル土地區劃整理地ニシテ耕地整理法第十六條ニ依リ一定ノ期間負擔又ハ利益ヲ受クヘキ金額ニ付テハ明治四十二年大藏省訓令第二十九號ヲ準用ス

〔大阪土〕

第二章 耕地整理

● 耕地整理法

明治四十二年四月十三日  
法律第三十號

改正 明治四十四年四月法律第四號、大正三年三月第三二號、八年四月第四五號、昭和六年三月第一五號、第二九號、一〇月第六八號

第一章 總則

第一條 本法ニ於テ耕地整理ト稱スルハ土地ノ農業上ノ利用ヲ増進スル目的ヲ以テ本法ニ依リ左ノ各號ノ一ニ該當スル事項ヲ行フヲ謂フ

一 土地ノ交換、分合、開墾、地目變換其ノ他區劃形質ノ變更、湖海ノ埋立、干拓若ハ道路、堤塘、畦畔、溝渠、溜池等ノ變更廢置又ハ之ニ伴フ灌漑排水ニ關スル設備若ハ工事

二 前號ノ事項施行ノ爲若ハ施行ノ結果必要ナル工作物ノ設置其ノ他ノ設備又ハ其ノ維持管理

三 開墾又ハ湖海ノ埋立若ハ干拓ニ依ル耕地整理ニ附隨シテ行フ整理施行地ノ利用ニ關スル必要ナル工作物ノ設置其ノ他ノ施設

四 前三號ノ事項ニ關シ必要アルトキ國、道府縣、市町村其ノ他公共團體ノ認許ヲ得テ行フ營造物ノ修繕

第二條 本法ニ於テ關係人ト稱スルハ整理施行地ニ付所有權

第十一類 都市計畫 耕地整理 市街地建築物 第二章 耕地整理

以外ノ登記シタル權利ヲ有スル者（抵當證券ノ發行アリタルトキハ其ノ所持人）ヲ謂フ

第二條ノ二 登記シタル地上權、永小作權、土地賃借權ヲ有スル者又ハ國有財產法第二十二條ノ規定ニ依ル豫約事業者ハ土地ノ所有者及賃貸人ノ同意ヲ得タルトキハ其ノ土地ニ付第三條ノ規定ニ依ル整理施行者又ハ耕地整理組合ノ組合員ト爲ルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テハ土地ノ所有者及賃貸人ハ其ノ土地ニ付テハ整理施行者又ハ組合員タルコトヲ得ス

第二條ノ三 公有水面埋立法ニ依リ埋立ノ免許ヲ受ケタル者ハ本法ノ適用ニ付テハ之ヲ土地ノ所有者ト看做ス

耕地整理組合ノ組合員ト爲リ又ハ爲ルヘキ地上權者、永小作權者、賃借權者又ハ豫約事業者ハ第三十四條、第四十七條乃至第五十條、第五十五條、第五十六條及第五十九條ノ適用ニ付テハ之ヲ土地ノ所有者ト看做ス

第三條 耕地整理ヲ施行セムトスルトキハ設計書ヲ作り關係人ノ同意書並第二條ノ二ノ場合ニ於ケル土地ノ所有者及賃貸人ノ同意書ヲ添ヘ數人共同シテ施行セムトスルモノニ在リテハ尙規約ヲ作り地方長官ノ認可ヲ受クヘシ但シ關係人ノ同意ヲ得ルコト能ハサルトキハ其ノ事由ヲ記載シタル書面ヲ添附スヘシ

設計書、規約若ハ整理施行地區ヲ變更シ若ハ一人ニテ施行スル耕地整理ヲ變シテ數人共同ノ施行ト爲シ又ハ事業ヲ停







耕地整理減租年期ヲ有ス

地租法第九條第一項ノ規定ニ依リ一般ニ貸賃價格ヲ改訂スル場合ニ於テハ耕地整理減租年期ノ貸賃價格ハ其ノ改訂ニ依リ定メラルヘキ貸賃價格ニ相當スル額ニ第三項ノ規定ニ依リ定メタル假貸賃價格ノ合計額ヲ以テ第十三條第二項ノ現貸賃價格ノ合計額ヲ除シテ得タル比率ヲ乘シタル額ニ之ヲ改訂ス

第十三條第二項ノ規定ニ依リ貸賃價格ノ配賦ヲ爲シタル土地ニ付テハ稅務署長ハ整理施行者ノ申請ニ依リ地租法第九條第三項ノ規定ニ準シ假貸賃價格ヲ定ム  
稅務署長ハ假貸賃價格ヲ定メタルトキハ整理施行者ニ之ヲ通知スヘシ

第十三條ノ四 耕地整理減租年期地ニ付地目變換、地類變換又ハ開墾ヲ爲シタルトキハ其ノ耕地整理減租年期ハ消滅ス  
第十三條ノ五 地租法第五十九條第一項ノ規定ハ耕地整理減租年期地ニ付荒地免租年期ヲ許可シタル場合ニ之ヲ準用ス  
第十三條ノ六 耕地整理減租年期地ニ付テハ其ノ年期ノ滿了スル年ニ於テ地租法第九條第三項ノ規定ニ準シ其ノ貸賃價格ヲ修正シ其ノ修正ヲ爲シタル年ノ翌年分ヨリ修正貸賃價格ニ依リ地租ヲ徵收ス

第十四條 耕地整理ノ施行ニ依リ開墾又ハ第一類地中ノ地目變換ヲ爲シタル土地ノ地積力整理施行地區内ノ有租地ノ總

〔大阪土〕

地積ノ五分ノ一ヲ超ユル場合ニ於テハ稅務署長ハ整理施行者ノ申請ニ依リ工事完了ノトキ從前ノ地域ニ依リ地租法第九條第三項ノ規定ニ準シ其ノ貸賃價格ヲ修正シ修正貸賃價格ノ合計額ト之ニ對スル從前ノ貸賃價格ノ合計額トノ差額ノ平均額ニ開墾又ハ變換シタル土地ノ總地積ト整理施行地區内ノ有租地ノ總地積ノ五分ノ一ニ相當スル地積トノ差額ヲ乘シタル額ヲ開墾又ハ變換シタル土地ノ從前ノ貸賃價格ノ合計額ニ加ヘタルモノヲ以テ其ノ土地ノ第十三條第二項ノ現貸賃價格トス  
前項ノ規定ニ依リ貸賃價格ノ修正ヲ爲シタル土地ニ付テハ稅務署長ハ整理施行者ノ申請ニ依リ開墾シタルモノニ在リテハ工事著手ノ年ノ翌年ヨリ起算シ四十年(四十年ヲ經過スルモ尙地味成熟スルニ至ラズト認ムルモノニ付テハ四十年以上五十年以内)ノ耕地整理開墾減租年期ヲ、變換シタルモノニ在リテハ工事完了ノ年及其ノ翌年ヨリ六年ノ耕地整理地目變換減租年期ヲ許可ス  
前二項ノ場合ニ於テ二十年以内ニ成功シ能ハサル地目變換ハ之ヲ開墾ト看做ス  
第十四條ノ二 無租地ヲ整理施行地區ニ編入シ有租地ト爲シタルトキハ第十一條第一項ノ規定ニ依リ交付シタル土地ヲ除ク外稅務署長ハ整理施行者ノ申請ニ依リ工事完了ノトキ從前ノ地域ニ依リ地租法第九條第三項ノ規定ニ準シ其ノ

〔大阪土〕

貸賃價格ヲ設定シ設定貸賃價格ヲ以テ其ノ土地ノ第十三條第二項ノ現貸賃價格トス

第十四條ノ三 第十四條第一項又ハ前條ノ規定ニ依リ貸賃價格ノ修正又ハ設定ヲ爲シタル後貸賃價格配賦前ニ於テ地租法第九條第一項ノ規定ニ依リ一般ニ貸賃價格ヲ改訂スル場合ニ於テハ修正貸賃價格又ハ設定貸賃價格ハ工事完了ノトキノ現況ニ依リ之ヲ改訂ス

第十四條ノ四 國有財產法第二十一條ノ規定ニ依リ賣拂又ハ讓與ノ豫約ヲ爲シタル土地ニシテ耕地整理ノ施行ニ依リ開拓ノ事業成功ニ因リ賣拂又ハ讓與ヲ受ケ有租地ト爲リタルモノニ付テハ稅務署長ハ土地所有者ノ申請ニ依リ有租地ト爲リタル年及其ノ翌年ヨリ二十年ノ耕地整理開拓免租年期ヲ許可ス

國有財產法第二十一條ノ規定ニ依リ賣拂若ハ讓與ノ豫約ヲ爲シタル土地ニシテ耕地整理ノ施行ニ依リ埋立(干拓ヲ含ム)ノ事業成功ニ因リ賣拂若ハ讓與ヲ受ケ有租地ト爲リタルモノ又ハ耕地整理ヲ施行シ公有水面埋立法ニ依リ埋立ヲ爲シ同法第二十四條若ハ第五十條ノ規定ニ依リ埋立地ノ所有權ヲ取得シ有租地ト爲リタルモノニ付テハ稅務署長ハ土地所有者ノ申請ニ依リ有租地ト爲リタル年及其ノ翌年ヨリ六十年ノ耕地整理埋立免租年期ヲ許可ス  
前二項ノ場合ニ於テ整理施行者ハ土地所有者ニ代リテ其ノ

申請ヲ爲スコトヲ得

第一項又ハ第二項ノ年期滿了スルモ尙地味成熟セサル土地ニ付テハ稅務署長ハ土地所有者ノ申請ニ依リ更ニ十年以内ノ年期延長ヲ許可スルコトヲ得

第十五條 整理施行地區内ニ開墾減租年期、地目變換減租年期、開拓減租年期、埋立免租年期、耕地整理減租年期、耕地整理開拓免租年期又ハ耕地整理埋立免租年期ヲ有スル土地アル場合ニ於テハ稅務署長ハ整理施行者ノ申請ニ依リ工事著手ノトキ地租法第九條第三項ノ規定ニ準シ其ノ貸賃價格ヲ修正又ハ設定シ修正貸賃價格又ハ設定貸賃價格ヲ以テ其ノ土地ノ第十三條第二項ノ現貸賃價格トス

前項ノ土地ニ第十四條第一項ノ規定ヲ適用スル場合ニ於テハ前項ノ修正貸賃價格又ハ設定貸賃價格ヲ以テ其ノ土地ノ第十四條第一項ノ從前ノ貸賃價格トス  
整理施行地區内ニ工事完了ノトキニ於テ荒地免租年期地(震災ニ因リ一定ノ期間地租ノ免除ヲ受クル土地ヲ含ム)アル場合ニ於テハ稅務署長ハ整理施行者ノ申請ニ依リ工事完了ノトキ從前ノ地域ニ依リ地租法第九條第三項ノ規定ニ準シ其ノ貸賃價格ヲ設定シ設定貸賃價格ヲ以テ其ノ土地ノ第十三條第二項ノ現貸賃價格トス

第十五條ノ二 前條第一項又ハ第三項ノ規定ニ依リ貸賃價格ノ修正又ハ設定ヲ爲シタル後貸賃價格配賦前ニ於テ地租法



第九條第一項ノ規定ニ依リ一般ニ貸賃價格ヲ改訂スル場合ニ於テハ前條第一項ノ修正賃賃價格又ハ設定賃賃價格ハ工事着手ノトキノ現況ニ依リ、前條第三項ノ設定賃賃價格ハ工事完了ノトキノ現況ニ依リ之ヲ改訂ス

第十五條ノ三 第十五條第一項又ハ第三項ノ土地ニ付テハ其ノ年期カ賃賃價格配賦前ニ滿了スル場合ニ於テハ其ノ滿了スル年ノ翌年分ヨリ賃賃價格配賦ノ年ノ分迄修正賃賃價格又ハ設定賃賃價格ニ依リ地租ヲ徵收ス

第十六條 整理施行地區内ニ賃賃價格配賦ノトキニ於テ第十五條第一項若ハ第三項ニ掲ケル年期、耕地整理開墾減租年期又ハ耕地整理地目變換減租年期ヲ有スル土地アル場合ニ於テハ稅務署長ハ整理施行者ノ申請ニ依リ左ノ各號ノ金額ヲ整理施行地區内ノ全部又ハ一部ノ土地ニ配當ス命令ヲ以テ定ムル期間内ニ其ノ申請ヲキトキハ稅務署長ハ職權ヲ以テ其ノ配當ヲ行フ

一 第十五條第一項ニ掲ケル減租年期地ノ同項ノ修正賃賃價格ヨリ之ニ對スル從前ノ賃賃價格ヲ控除シタル金額  
二 第十五條第一項又ハ第三項ニ掲ケル免租年期地ノ同條第一項又ハ第三項ノ設定賃賃價格ニ相當スル金額  
三 耕地整理開墾減租年期又ハ耕地整理地目變換減租年期ヲ有スル土地ノ第十四條第一項ノ現賃賃價格ヨリ之ニ對スル從前ノ賃賃價格ヲ控除シタル金額

〔大阪土〕

第十六條ノ二 地租法第九條第一項ノ規定ニ依リ一般ニ賃賃價格ヲ改訂スル場合ニ於テハ配當金額ハ整理施行地區内ノ耕地整理減租年期地ニ付第十三條ノ三第二項ノ規定ニ依リ改訂セラレヘキ賃賃價格ノ合計額ヲ之ニ對スル改訂前ノ賃賃價格(配當金額ヲ控除セサルモノ)ノ合計額ヲ以テ除シテ得タル比率ヲ改訂前ノ配當金額ニ乘シタル額ニ之ヲ改訂ス

第十六條ノ三 第十六條ノ規定ニ依リ配當ヲ爲シタル土地ニ付テハ同條ノ年期ノ殘年期中第十三條第二項ノ規定ニ依リ配賦ヲ爲シタル賃賃價格(第十三條ノ三第二項ノ規定ニ依リ改訂シタル場合ニ於テハ其ノ賃賃價格)ヨリ配當金額ヲ控除シタル額ヲ以テ其ノ賃賃價格トス

第十六條ノ四 第十六條ノ規定ニ依リ配當ヲ爲シタル土地ニ付同條ノ年期ノ殘年期中土地ノ異動ニ因リ賃賃價格ヲ修正スル場合ニ於テハ修正賃賃價格ヨリ配當金額ヲ控除シタル額ヲ以テ其ノ賃賃價格トス  
第十六條ノ五 前二條ノ規定ニ依リ賃賃價格ヲ定メタル土地ニ付テハ賃賃價格ヲ定メタル年ノ翌年分ヨリ其ノ賃賃價格ニ依リ地租ヲ徵收ス  
第十六條ノ六 第十六條ノ規定ニ依リ配當ヲ爲シタル土地ニ付テハ同條ノ年期ノ殘年期中滿了スル年ニ於テ地租法第九條第三項ノ規定ニ準シ其ノ賃賃價格ヲ修正シ其ノ修正ヲ爲シタル年ノ翌年分ヨリ修正賃賃價格ニ依リ地租ヲ徵收ス

〔大阪土〕

第十六條ノ七 地租法第五十九條第一項ノ規定ハ第十六條ノ規定ニ依リ配當ヲ爲シタル土地ニ付荒地免租年期ヲ許可シタル場合ニ之ヲ準用ス但シ荒地免租年期ノ殘年期中ニ付第十六條ノ規定ニ依リ配當ヲ爲シタル土地ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第十六條ノ八 第十三條第三項ノ規定ハ第十四條第一項、第十四條ノ二、第十五條第一項、第三項、第十六條及第十六條ノ二ノ場合ニ之ヲ準用ス

第十七條 換地ハ別ニ規定アル場合ヲ除クノ外第三十條第四項ノ告示ノ日ヨリ之ヲ從前ノ土地ト看做ス  
前項ノ規定ハ行政上又ハ裁判上ノ處分ニシテ從前ノ土地ニ專屬スルモノニ影響ヲ及ボサス

第十八條 賃借地ニ付耕地整理施行ノ爲賃借ヲ爲シタル目的ヲ達スルコト能ハサルトキハ賃借人ハ契約ノ解除ヲ爲スコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ賃借人ハ整理施行者ニ對シ解除ニ依リ生シタル損害ノ補償ヲ請求スルコトヲ得但シ整理施行者ハ規約ノ定ムル所ニ依リ賃借人ニ對シ求償スルコトヲ得

第十九條 耕地整理施行ノ爲賃借地ノ利用ヲ妨ケララルトキハ賃借人ハ賃賃ノ相當ノ減額又ハ前拂シタル借賃ノ相當ノ拂戻ヲ請求スルコトヲ得

第二十條 耕地整理施行ノ爲著シク賃賃地ノ利用ヲ増シタル  
第十一類 都市計畫 耕地整理 市街地建築物 第二章 耕地整理

トキハ賃借人ハ借賃ノ相當ノ増額ヲ請求スルコトヲ得  
前項ノ請求アリタル場合ニ於テ賃借人ハ契約ノ解除ヲ爲シ其ノ義務ヲ免ルルコトヲ得

第二十一條 耕地整理施行ノ爲地上權、永小作權又ハ地役權ヲ設定シタル目的ヲ達スルコト能ハサルトキハ地上權者、永小作權者又ハ地役權者ハ其ノ權利ヲ拋棄スルコトヲ得

第十八條第二項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス  
第二十二條 整理施行地ノ上ニ存スル地役權ハ耕地整理施行ノ後仍從前ノ土地ノ上ニ存ス

耕地整理施行ノ爲地役權者カ其ノ權利ヲ行使スル利益ヲ受クルコトヲ要セサルニ至リタルトキハ其ノ地役權ハ消滅ス  
耕地整理施行ノ爲從前同一ノ利益ヲ受クルコト能ハサルニ至リタル地役權者ハ其ノ利益ヲ保存スル範圍内ニ於テ地役權ノ設定ヲ請求スルコトヲ得

第二十三條 第十九條及第二十條ノ規定ハ地上權、永小作權又ハ地役權ニ之ヲ準用ス

第二十四條 前六條ノ規定ニ依ル賃賃借ノ解除、地上權若ハ永小作權ノ拋棄、地役權ノ拋棄若ハ設定又ハ借賃、地代、小作料若ハ地役ノ對價ノ減額、拂戻若ハ増額ノ請求ハ第三十條第四項ノ告示ノ日ヨリ三十日ヲ經過シタルトキハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第二十四條ノ二 第十八條乃至第二十一條及前二條ノ規定ハ



地上權者、永小作權者又ハ賃借權者ニシテ整理施行者又ハ組合員ト爲リタル者ニ之ヲ適用セス第二條ノ二第一項ノ規定ニ依リ同意ヲ爲シタル者ニ付亦同シ

第二十五條 整理施行地又ハ之ニ存スル建物ニシテ先取特權、質權又ハ抵當權ノ目的タル場合ニ於テ第二十七條、第二十八條、第三十條第一項、第二項又ハ第四十四條第三項ノ規定ニ依リ拂渡スヘキ金錢アルトキハ整理施行者ハ其ノ金額ヲ供託スヘシ但シ關係人ノ同意ヲ得タルトキハ此ノ限ニ在ラス

同一所有者ニ屬スル數筆ノ土地ヲ目的トスル抵當權ニ付抵當證券ノ發行アリタル場合ニ於テハ前項ノ規定ニ依リ供託スヘキ第三十條第一項又ハ第二項ノ規定ニ依リ拂渡金額ノ計算ニ付テハ其ノ數筆ノ土地ヲ一筆ノ土地ト看做ス但シ其ノ土地ニ付當該抵當權以外ノ前項ニ掲グル權利アル場合ニ於テ其ノ權利者ノ同意ヲ得サルトキハ此ノ限ニ在ラス  
第一項ノ規定ハ整理施行地又ハ之ニ存スル建物方訴訟ノ目的タル爲訴訟當事者ヨリ請求アリタル場合ニ之ヲ準用ス  
先取特權者、質權者、抵當權者又ハ訴訟當事者ハ第一項又ハ第三項ノ規定ニ依リ供託シタル金額ニ對シテモ其ノ權利ヲ行フコトヲ得

第二十五條ノ二 整理施行地ニ付存スル漁業權カ登錄シタル先取特權又ハ抵當權ノ目的タル場合ニ於テ第二十七條ノ二

〔大阪土〕

ノ規定ニ依リ補償金ヲ拂渡スヘキトキハ整理施行者ハ其ノ金額ヲ供託スヘシ但シ先取特權者又ハ抵當權者ノ同意ヲ得タルトキハ此ノ限ニ在ラス

前項ノ規定ハ整理施行地ニ付存スル漁業權又ハ入漁權カ訴訟ノ目的タル爲訴訟當事者ヨリ請求アリタル場合ニ之ヲ準用ス  
登錄シタル先取特權若ハ抵當權ヲ有スル者又ハ訴訟當事者ハ前二項ノ規定ニ依リ供託シタル金額ニ對シテモ其ノ權利ヲ行フコトヲ得

第二十六條 第三條ノ規定ニ依ル整理施行者カ其ノ事業ノ爲借入レタル金額及其ノ利息其ノ他耕地整理ノ施行ニ依リ生シタル債務ニ付テハ共同施行者連帶シテ其ノ責ニ任ス但シ規約ニ別段ノ規定アルトキハ此ノ限ニ在ラス  
帝室及國ハ前項ノ責ニ任セス

第二十七條 整理施行者ハ耕地整理施行ノ爲必要アルトキハ整理施行地區内ノ工作物又ハ木石等ヲ移轉シ、除却シ又ハ破毀スルコトヲ得但シ之ニ依リ生シタル損害ハ之ヲ補償スヘシ

第二十七條ノ二 整理施行地ニ付漁業權存スル場合ニ於テハ漁業權者ニ對シ、漁業權及入漁權存スル場合ニ於テハ漁業權者及入漁權者ニ對シ整理施行者ハ整理施行ニ依リ生スヘキ損害ヲ補償スルコトヲ要ス

〔大阪土〕

前項ノ規定ニ依ル補償ヲ受クル權利ハ漁業權者及入漁權者共同シテ之ヲ有スルモノトス

整理施行者ハ前二項ノ規定ニ依リ損害ノ補償ヲ爲シタル後ニ非サレハ工事ニ著手スルコトヲ得ス但シ其ノ損害ノ補償ヲ受クル權利者ノ同意ヲ得タルトキ、第二十五條ノ二ノ規定ニ依リ供託ヲ爲シタルトキ又ハ第八十七條第三項ノ規定ニ依リ決定ヲ得タル金額ヲ供託シタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第二十八條 第三條ノ規定ニ依ル整理施行者又ハ耕地整理組合員ハ耕地整理施行ノ爲受ケタル損害ニ對シ第七條、第八條又ハ第二十七條ノ場合ヲ除クノ外補償ノ請求ヲ爲スコトヲ得ス但シ規約ニ別段ノ規定アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第二十九條 整理施行地ニ付權利ヲ有スル者耕地整理施行ノ認可若ハ整理施行地區變更ノ認可又ハ耕地整理組合ノ設立若ハ組合地區變更ノ認可ノ告示アリタル後ニ於テ監督官廳ノ許可ヲ得シテ土地ノ形質ヲ變更シ又ハ工作物ノ新築、改築、増築若ハ大修繕ヲ爲シ又ハ物件ヲ附加増置シタルトキハ之ニ關スル損害ノ補償ヲ請求スルコトヲ得ス  
前項告示ノ後ニ於テ土地ニ付權利ヲ取得シタル者ハ從前ノ權利者ノ爲シ得ヘキ範圍内ニ於テノミ損害ノ補償ヲ請求スルコトヲ得

第三十條 換地ハ從前ノ土地ノ地目、地積、等位等ヲ標準トシ

テ之ヲ交付スヘシ但シ地目、地積、等位等ヲ以テ相殺ヲ爲スコト能ハサル部分ニ關シテハ金錢ヲ以テ之ヲ清算スヘシ  
特別ノ事情ノ爲前項ノ規定ニ依ルコト能ハサルモノノ處分ニ關シテハ規約ノ定ムル所ニ依ル

前二項ノ規定ニ依ル處分ハ地方長官ノ認可ヲ受ケヘシ  
地方長官前項ノ認可ヲ與ヘタルトキハ之ヲ告示シ直ニ其ノ旨ヲ管轄登記所ニ通知スヘシ

第三十一條 前條ノ規定ニ依ル處分ハ整理施行地ノ全部ニ付工事完了シタル後ニ非サレハ之ヲ爲スコトヲ得ス但シ規約ニ別段ノ規定アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第三十二條 整理施行地ニ以上ノ市町村、大字又ハ字ニ涉ル場合ニ於テ一筆ノ土地ノ區域ハ二以上ノ市町村、大字又ハ字ニ涉リテ之ヲ定ムルコトヲ得ス

第三十三條 從前ノ土地ノ全部又ハ一部ニ付既登記ノ所有權以外ノ權利又ハ處分ノ制限アルトキハ之ニ對スル換地ノ交付ハ其ノ權利又ハ處分ノ制限ノ目的タル土地又ハ其ノ部分ヲ指定シテ之ヲ爲スヘシ

第三十四條 本法中土地所有者ノ數ヲ計算スル場合ニ於テハ共有者ハ之ヲ一人ト看做ス但シ共有者ノミ共同シテ耕地整理ヲ施行スル場合ニ於テハ此ノ限ニ在ラス  
前項但書ノ場合ニ於テ第五十條、第五十五條第二項、第五十六條第二項、第六十五條第二項又ハ第六十八條第二項中



土地ノ地積又ハ賃賃價格ハ共有者ノ持分ニ依リ之ヲ定ム

第三十五條 住所又ハ居所ノ不明其ノ他ノ事由ニ依リ耕地整理ニ關スル書類ノ送付ヲ爲スコト能ハサル場合ニ於テ命令ノ定ムル所ニ依リ整理施行者又ハ監督官廳カ公告ヲ爲ストキハ其ノ公告ノ日ヲ以テ書類ヲ發送シタルモノト看做シ二十日ヲ經過スルトキハ其ノ末日ニ於テ書類ノ送付ヲ了リタルモノト看做ス

第三十六條 第三十條第三項ノ認可ヲ受ケタルトキハ整理施行者ハ遲滞ナク既登記ノ土地及建物ニ付登記ヲ申請スヘシ

第三十七條 整理施行地區内ノ土地及其ノ上ニ存スル建物ノ登記ニ付テハ勅令ヲ以テ特例ヲ設クルコトヲ得

第三十八條 共同施行又ハ耕地整理組合ニ依ル耕地整理ノ事業ニシテ市町村又ハ水利組合ニ依リ施行スルコトヲ得ルニ至リタルトキハ特別ノ事情アル場合ヲ除クノ外命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ事業ヲ市町村若ハ水利組合ニ引繼キ又ハ耕地整理組合ヲ普通水利組合ニ變更スヘシ

前項ノ規定ニ依リ引繼又ハ變更アリタルトキハ地方長官ハ其ノ旨ヲ告示スヘシ

第三十九條 第五項ノ規定ハ前二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第四十條 (削除)

第四十條 市制第六條ノ市ニ於テハ第三十八條及第五十三條第一項第五號ノ市ニ關スル規定ハ區ニモ之ヲ適用ス

- 一 御料地、國有地
  - 二 官ノ用ニ供スル土地
  - 三 道府縣、市町村其ノ他勅令ヲ以テ指定スル公共團體ノ公用又ハ公共ノ用ニ供スル土地
  - 四 名勝地、舊蹟地
  - 五 古墳墓地、墳墓地
  - 六 社寺境内地
  - 七 鐵道用地、軌道用地
  - 八 建物アル宅地
- 前項ノ場合ニ於テ抵當證券ノ所持人ノ同意ヲ得ルコト能ハサルトキハ地方長官ノ認可ヲ以テ之ニ代フルコトヲ得
- 登記シタル地上權又ハ永小作權ノ目的タル御料地又ハ國有地ニ付主務官廳ノ認許ヲ得タルトキハ其ノ地上權者又ハ永小作權者ヲ組合員ト爲シ其ノ土地ヲ組合ノ地區ニ編入スルコトヲ得但シ地上權又ハ永小作權ノ殘存期間カ耕地整理組合設立ノ認可申請ノ日ヨリ二十年未滿ナルモノニ付テハ此ノ限ニ在ラス
- 第二條ノ二第二項及第五條第二項ノ規定ハ前項ノ規定ニ依リ地上權者又ハ永小作權者カ組合員ト爲リタル場合ニ之ヲ

市制第六條又ハ第八十二條第三項ノ市ニ於テハ本法中市長ニ關スル規定ハ區長ニモ、市役所ニ關スル規定ハ區役所ニモ之ヲ適用ス

町村制ヲ施行セサル地ニ於テハ本法中町村ニ關スル規定ハ町村ニ準スヘキモノニ、町村役場ニ關スル規定ハ町村役場ニ準スヘキモノニ之ヲ適用ス

第四十條ノ二 整理施行地區カ數府縣ニ涉ル場合ニ於テハ本法中地方長官ノ職權ニ屬スル事項ハ關係地方長官中主務大臣ノ指定スルモノ之ヲ行フ

第二章 耕地整理組合

第四十一條 耕地整理ヲ施行スル爲必要アルトキハ耕地整理組合ヲ設立スルコトヲ得

第四十二條 耕地整理組合ハ法人トス

第四十三條 耕地整理組合ハ整理施行地ヲ以テ其ノ地區トス

第四十四條 耕地整理施行ノ爲土地ヲ分筆スルノ必要アル場合ニ於テハ組合ハ其ノ所有者ニ代リ之ニ關スル手續ヲ爲スコトヲ得

第四十五條 左ニ掲クル土地ハ之ヲ耕地整理組合ノ地區ニ編入スルコトヲ得ス但シ第一號乃至第三號ノ土地ニ付テハ主務官廳又ハ公共團體ノ認許、第四號乃至第八號ノ土地ニ付

準用ス

第四十四條 特別ノ價值又ハ用途アル土地ハ土地所有者及關係人ノ同意ヲ得ルニ非サレハ之ヲ耕地整理組合ノ地區ニ編入スルコトヲ得ス但シ之ヲ編入スルニ非サレハ耕地整理ヲ適當ニ施行スルコト能ハサルトキハ此ノ限ニ在ラス

前條第二項ノ規定ハ前項本文ノ場合ニ於テ抵當證券ノ所持人ノ同意ニ付之ヲ準用ス

土地收用法第四十七條乃至第四十九條、第五十一條乃至第五十四條、第五十六條、第五十八條、第六十條及第六十一條ノ規定ハ第一項但書ノ場合ニ之ヲ準用ス但シ組合ノ設立又ハ地區變更ノ認可ノ告示ヲ以テ土地收用法第十九條ノ規定ニ依ル公告又ハ通知ト看做ス

第一項但書ノ場合ニ於テ補償金ノ拂渡又ハ供託ヲ爲ササルトキハ土地所有者又ハ關係人ハ其ノ土地ニ付工事ノ施行ヲ拒ムコトヲ得但シ第八十七條第一項ノ規定ニ依リ決定ヲ得タル金額ヲ供託シタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第四十五條 耕地整理組合設立ノ認可アリタルトキハ其ノ地區内ニ土地ヲ所有スル者ハ總テ之ヲ組合員トス但シ第十一條第一項ノ土地ニ關シテハ此ノ限ニ在ラス

第四十六條 耕地整理組合ノ名稱中ニハ耕地整理組合ナル文字ヲ用ウヘシ

〔大阪土〕

〔大阪土〕



第四十七條 土地ノ共有者ハ耕地整理ニ關スル一切ノ行為ヲ爲サシムル爲其ノ一人ヲ以テ代表者ト爲シ之ヲ組合ニ通知スヘシ

前項ノ代表者ノ權限ニ加ヘタル制限ハ之ヲ以テ第三者ニ對抗スルコトヲ得ス

第四十八條 前條ノ委任ノ終了ハ組合ニ通知アル迄之ヲ以テ善意ノ第三者ニ對抗スルコトヲ得ス

第四十九條 第四十七條第一項ノ手續ヲ爲ササル土地共有者ニ對スル書類ノ送付ハ其ノ一人ニ對シ之ヲ發送シタル時ニ於テ完了シタルモノト看做ス

第二款 組合ノ設立及解散

第五十條 耕地整理組合ヲ設立セムトスルトキハ組合ノ地區タルヘキ區域内ノ土地所有者總數ノ二分ノ一以上ニシテ其ノ區域内ノ土地ノ總地積及總貸賃價格ノ各三分ノ二以上ニ當ル土地所有者ノ同意ヲ得テ設計書及規約ヲ作り地方長官ノ認可ヲ受クヘシ

前項ノ土地所有者中共有者アル場合ニ於テハ各共有地ニ付共有者總數ノ二分ノ一以上ニシテ其ノ持分ノ三分ノ二以上ニ當ル者ノ同意ヲ得タルトキハ其ノ共有地ニ付同意アリタルモノト看做ス

第五十一條 耕地整理組合ハ前條地方長官ノ認可ニ依リ成立ス

〔大阪土〕

前項ノ場合ニ於テハ地方長官ハ組合設立ノ旨ヲ告示スヘシ

組合ハ前項ノ告示アル迄其ノ成立ヲ以テ他人ニ對抗スルコトヲ得ス

第五十二條 組合設立ニ關スル費用ハ組合設立ノ後組合ノ負擔トス

第五十三條 組合ハ左ノ事由ニ依リ解散ス但シ第二號ノ場合ニ於テ選了セサル組合債アルトキハ此ノ限ニ在ラス

一 規約ニ定メタル事由ノ發生

二 目的タル事項ノ完成又ハ完成ノ不能

三 總會ノ議決

四 合併

五 事業ヲ市町村又ハ水利組合ニ引繼キタルトキ

六 普通水利組合ニ變更シタルトキ

七 組合員一人ト爲リタルトキ

八 監督官廳ノ處分

前項ノ場合ニ於テ地方長官ハ第三號又ハ第四號ニ該當スルトキヲ除クノ外其ノ旨ヲ告示スヘシ

第五十四條 組合ニ於テ設計書若ハ規約ノ變更、組合ノ解散、合併、地區ノ變更又ハ事業ノ停止ヲ爲サムトスルトキハ之ニ關スル必要ノ事項ヲ定メ總會ノ議決ヲ經テ地方長官ノ認可ヲ受クヘシ但シ組合債ヲ負擔スルトキハ債權者ノ同意ヲ

〔大阪土〕

得ルニ非サレハ組合ノ解散、合併、地區ノ減少又ハ債務分擔ニ關スル規約ノ變更ヲ爲スコトヲ得ス

地方長官前項ノ認可ヲ與ヘタルトキハ其ノ旨ヲ告示スヘシ

第五十五條 組合ノ地區ヲ變更スル場合ニ於テ新ニ組合ノ地區ニ編入セラルヘキ土地アルトキハ組合長ハ設計書案及規約案ヲ作り編入區域ノ土地所有者ノ總會議ニ付シ其ノ議決ヲ前條ノ總會ノ議決ニ添付スヘシ

前項ノ總會議ノ議決ヲ爲スニハ第五十條ノ條件ヲ具備スルコトヲ要ス但シ命令ノ定ムル所ニ依リ土地所有者ノ代理人ヲ許スコトヲ得

第六十六條ノ規定ハ第一項ノ總會議ニ之ヲ準用ス

第五十六條 前條ノ總會議ハ編入區域ノ土地所有者ノ同意ヲ以テ之ニ代フルコトヲ得

第五十七條 設計書若ハ規約ノ變更、組合ノ解散、合併、地區ノ變更又ハ事業ノ停止ハ第五十三條第二項又ハ第五十四條第二項ノ告示アル迄之ヲ以テ他人ニ對抗スルコトヲ得ス

第五十八條 組合ヲ合併シタルトキハ合併ニ依リ解散シタル組合ニ屬スル權利義務ハ合併後存續シ又ハ合併ニ依リ設立シタル組合ニ移轉ス

第五十九條 組合員一人ト爲リタル爲組合解散ノ場合ニ於テハ其ノ事業ハ一切ノ權利義務ト共ニ土地所有者ニ移轉ス

前項ノ土地所有者ハ之ヲ第三條ノ規定ニ依ル整理施行者ト看做ス

第六十條 組合解散シタルトキハ第五十三條第一項第四號、第六號又ハ第七號ノ場合ヲ除クノ外清算ヲ爲スヘシ

組合ハ解散ノ後ト雖清算ノ目的ノ範圍内ニ於テハ仍存續スルモノト看做ス

第三款 組合ノ會議

第六十一條 別ニ規定アルモノノ外左ニ掲クル事項ハ總會ノ表決ヲ經ヘシ

- 一 第三十條第一項、第二項ノ規定ニ依ル處分ヲ爲ス事
- 二 組合債ヲ起シ、起債ノ方法、利息ノ定率若ハ償還ノ方法ヲ定メ又ハ之ヲ變更スル事
- 三 經費ノ收支豫算ヲ定ムル事
- 四 豫算ヲ以テ定ムルモノヲ除クノ外新ニ義務ノ負擔ヲ爲シ又ハ權利ノ拋棄ヲ爲ス事
- 五 組合長、組合副長若ハ評議員ヲ選任シ又ハ解任スル事
- 六 組合費、夫役現品ノ分賦收入ニ關スル事
- 七 事業報告書及收支決算書ヲ承認スル事
- 八 工作物又ハ設備ノ維持管理方法ヲ定ムル事
- 九 訴訟、訴訟及和解ニ關スル事
- 十 耕地整理組合聯合會ヲ設ケ、聯合會ニ加入シ又ハ聯合會ヲ脫退スル事



十一 規約ニ定メタル事項

十二 其ノ他組合長ニ於テ重要ナリト認メタル事項

第六十二條 總會ハ規約ノ定ムル所ニ依リ其ノ權限ニ屬スル事項ヲ評議員會ニ委任シ又ハ組合長ヲシテ專決セシムルコトヲ得

評議員會ニ關スル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第六十三條 總會ノ表決ヲ經ヘキ事件ニシテ臨時急施ヲ要シ總會ヲ召集スル暇ナシト認ムルトキハ組合長ハ專決處分シ次ノ總會ニ於テ其ノ承認ヲ求ムヘシ但シ設計書、規約若ハ組合地區ノ變更又ハ組合ノ解散若ハ合併ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

組合長前項ノ處分ヲ爲サムトスルトキハ其ノ處分前評議員會ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス但シ評議員ヲ置カサル場合ニ於テハ此ノ限ニ在ラス

第六十四條 總會ハ總組合員ヲ以テ之ヲ組織ス

第六十五條 總會ハ組合長之ヲ召集ス

組合員總數ノ五分ノ一以上ニ當ル者又ハ組合地區内ノ土地ノ總面積若ハ總貸賃價格ノ五分ノ一以上ニ當ル者ヨリ會議ノ目的及其ノ事由ヲ記載シタル書面ヲ提出シテ總會ヲ召集ヲ請求スルトキハ組合長ハ十四日以内ニ之ヲ召集スヘシ

第六十六條 總會ヲ召集スルニハ會日ヨリ五日前ニ會議ノ日時、場所及目的ヲ記載シテ各組合員ニ通知ヲ發スヘシ但シ

〔大阪土〕

急施ヲ要スル場合ニ於テハ期間ヲ二日迄短縮スルコトヲ得

第六十七條 組合員ハ各一箇ノ表決權ヲ有ス但シ規約ヲ以テ表決權總數ノ五分ノ一ヲ超過セサル範圍内ニ於テ一人ニ付二箇以上ノ表決權ヲ有セシムルコトヲ得

前項ノ規定ハ第六十八條第二項ノ場合ニ之ヲ適用セス

第六十八條 總會ノ議事ハ別ニ規定アルモノヲ除クノ外組合員ノ半數以上出席シ出席者ノ表決權ノ過半數ヲ以テ之ヲ決ス

第五十四條又ハ第六十一條第一號、第二號若ハ第五號ノ事項ノ表決ヲ爲スニハ第五十條ノ條件ヲ具備スルコトヲ要ス但シ命令又ハ規約ニ別段ノ規定アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第六十九條 組合員ハ總會ニ於テ書面又ハ代理人ヲ以テ表決ヲ爲スコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ表決權ヲ行フ者ハ出席者ト看做ス

第七十條 第三十一條但書ノ規定ニ依リ第三十條ノ處分ヲ爲サムトスル場合ニ於テハ其ノ處分ヲ爲サムトスル土地ニ關スル組合員ノ總會ヲ以テ總會ト看做ス

第七十一條 組合ハ命令ノ定ムル所ニ依リ組合員ノ選舉シタル評議員ヲ以テ組織スル組合會ヲ以テ總會ニ代フルコトヲ得

第七十二條 總會ニ關スル規定ハ命令ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外前二條ノ規定ニ依リ組合員ノ總會又ハ組合會ニ之ヲ準用ス但シ組合會ニ於テハ組合ノ解散又ハ合併ノ議

〔大阪土〕

決ヲ爲スコトヲ得ス

第四款 組合ノ管理

第七十三條 組合ニ組合長一人及組合副長一人又ハ數人ヲ置ク

組合長又ハ組合副長ハ組合員中ヨリ之ヲ選舉ス但シ特別ノ事情アルトキハ組合員ニ非サル者ヨリ之ヲ選舉スルコトヲ得

組合長又ハ組合副長ノ選任又ハ解任ハ地方長官ノ認可ヲ受クヘシ

組合長、組合副長共ニ副員ト爲リタルトキハ地方長官ハ臨時代理人ヲ指定スルコトヲ得

地方長官前二項ノ規定ニ依リ認可ヲ與ヘ又ハ指定ヲ爲シタルトキハ其ノ旨ヲ告示スヘシ

第七十四條 組合長ハ組合ヲ代表シ組合一切ノ事務ヲ管理ス

組合副長ハ組合長ヲ補佐シ組合長事故アルトキ其ノ職務ヲ代理ス組合副長數人アルトキハ其ノ代理ノ順序ハ規約ノ定ムル所ニ依ル

第七十五條 組合長ノ權限ニ加ヘタル制限ハ之ヲ以テ善意ノ第三者ニ對抗スルコトヲ得ス

第七十六條 組合ニ評議員ヲ置ク但シ特別ノ事情アル爲地方長官ノ認可ヲ得タルトキハ此ノ限ニ在ラス

評議員ハ組合員中ヨリ之ヲ選舉ス

評議員ハ組合長ノ諮詢ニ應ジ並業務及財産ノ狀況ヲ監査ス

組合長ハ規約ノ定ムル所ニ依リ評議員ヲシテ組合ノ事務ノ一部ヲ分掌セシムルコトヲ得

第七十七條 組合長ハ設計書、規約、組合員名簿、會議ノ議事録其ノ他組合ニ關スル書類及帳簿ヲ事務所ニ備ヘ置クヘシ

組合員又ハ利害關係人ヨリ前項ノ書類又ハ帳簿ノ閱覽ヲ求メタルトキハ正當ノ事由アル場合ヲ除クノ外之ヲ拒ムコトヲ得ス

第五款 組合ノ財務

第七十八條 組合ノ費用ハ規約ノ定ムル所ニ依リ組合員之ヲ負擔ス

夫役現品ノ分賦及之ニ代ルヘキ金額ニ關スル規定ハ規約中ニ之ヲ定ムヘシ

第七十九條 組合員ニシテ組合費、第三十條第一項、第二項ノ規定ニ依リ支拂フヘキ金錢又ハ延滞利息若ハ過怠金ヲ滯納スルトキハ市町村ハ組合長ノ請求ニ依リ市町村稅ノ例ニ依リ之ヲ處分ス

前項ノ場合ニ於テ組合ハ其ノ徵收金額中百分ノ四ヲ市町村



ニ交付スヘシ

市町村カ第一項ノ請求ヲ受ケタル日ヨリ三十日以内ニ其ノ處分ニ著手セス又ハ九十日以内ニ之ヲ結了セサルトキハ組合長ハ地方長官ノ認可ヲ得テ之ヲ處分スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ町村制第百十一條第一項及第四項ノ規定ヲ準用ス

第一項及第三項ノ徵收金ハ組合地區内ノ土地ニ關シ市町村、水利組合其ノ他之ニ準スヘキモノノ徵收金ニ次テ先取特權ヲ有ス

前四項ノ規定ハ組合員カ夫役現品ニ代ルヘキ金錢ヲ滯納スル場合ニ之ヲ準用ス

第八十條 組合ニ於テ負債ヲ起シ、起債ノ方法、利息ノ定率若ハ償還ノ方法ヲ定メ又ハ之ヲ變更セムトスルトキハ地方長官ノ認可ヲ受クヘシ

前項ノ負債ハ起債ノ時ヨリ十五年以内ニ之ヲ還了スヘシ但シ特別ノ事由アル場合ニ限り五十年以内ト爲スコトヲ得

第八十一條 組合ニシテ其ノ債務ヲ完済スルコト能ハサルトキハ帝室及國ヲ除クノ外組合員ハ之ヲ連帶無限ノ責任ヲ負擔ス但シ規約ニ別段ノ規定アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第二章ノ二 耕地整理組合聯合會

第八十一條ノ二 耕地整理組合ハ登記手續ニ關スル事項ヲ除クノ外其ノ事業ノ一部ヲ他ノ耕地整理組合ト共同シテ行ハ

〔大阪土〕

ムトスル場合ニ於テ之ヲ代行ハシムル爲協議ニ依リ設計書及規約ヲ作り地方長官ノ認可ヲ得テ耕地整理組合聯合會ヲ設クルコトヲ得

聯合會ハ法人トス

聯合會其ノ所屬組合ノ増減ヲ爲サムトスルトキハ各組合ノ協議ニ依リ地方長官ノ認可ヲ受クヘシ

聯合會ニ會長一人及副會長一人又ハ數人ヲ置ク

第四十二條ノ二、第四十六條、第五十一條乃至第五十四條、第五十七條乃至第五十九條第一項、第六十條、第七十三條乃至第七十五條及第七十七條乃至第八十一條ノ規定ハ聯合會ニ之ヲ準用ス但シ第五十九條第一項中土地所有者トアルハ組合、第七十三條中組合員トアルハ聯合會所屬組合ノ組合員トス

第三章 監督

第八十二條 耕地整理ハ第一次ニ地方長官、第二次ニ主務大臣之ヲ監督ス

第八十三條 主務大臣又ハ地方長官ニ於テ會議ノ表決又ハ整理施行者ノ行爲カ設計書、規約又ハ法令ニ違反シ其ノ他公益ヲ害スルノ虞アリト認ムルトキハ會議ノ表決ヲ取消シ、組合長組合副會長若ハ聯合會會長聯合會副會長ヲ解任シ、評議員若ハ組合會議員ノ改選、事業ノ停止若ハ組合組合聯合會ノ解散ヲ命シ又ハ整理施行ノ認可ヲ取消スコトヲ得

〔大阪土〕

第八十四條 監督官廳ハ整理施行者ヲシテ耕地整理事業ニ關スル報告ヲ爲サシメ、書類、帳簿、出納又ハ工事ヲ検査シ、設計書又ハ規約ノ變更ヲ命シ其ノ他監督上必要ナル命令ヲ發シ又ハ處分ヲ爲スコトヲ得

第八十五條 監督官廳ハ本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ノ規定ニ依リ認可申請ニ對シ申請ノ趣旨ニ反セスト認ムル範圍内ニ於テ更正シテ認可ヲ與フルコトヲ得

第八十六條 第三條ノ規定ニ依リ耕地整理ノ施行若ハ整理施行地區ノ變更ニ異議アル關係人、第四十三條若ハ第四十四條ノ規定ニ違反シテ耕地整理組合ノ地區ニ編入シタル土地ノ所有者若ハ關係人又ハ第三條第二項但書若ハ第五十四條第一項但書ノ規定ニ依リ異議アル債權者ハ各耕地整理施行ノ認可若ハ整理施行地區變更ノ認可ノ告示、耕地整理組合ノ設立若ハ組合地區變更ノ認可ノ告示又ハ第三條第四項若ハ第五十四條第二項ノ規定ニ依リ當該事項ノ告示アリタル日ヨリ六十日以内ニ主務大臣ニ訴願スルコトヲ得

前項ノ訴願アリタル場合ニ於テハ地方長官ハ其ノ裁決アル迄目的タル土地ニ付耕地整理ノ施行ヲ停止スルコトヲ得

第八十六條ノ二 第十三條ノ三第三項ノ假貸賃價格ノ決定ニ對シ不服アル整理施行者ハ同條第四項ノ通知ヲ受ケタル日ヨリ六十日以内ニ訴願スルコトヲ得

第八十七條 第四十四條第三項ノ規定ニ依リ補償金ニ付協議

第十一類 都市計畫 耕地整理 市街地建築物 第二章 耕地整理

調ハサルカ又ハ協議ヲ爲スコト能ハサルトキハ地方長官ノ決定ヲ求ムヘシ

前項ノ決定ニ不服アル者ハ其ノ決定書ヲ送付ヲ受ケタル日ヨリ九十日以内ニ通常裁判所ニ出訴スルコトヲ得

第二十七條ノ二第一項ノ規定ニ依リ補償金ニ付亦前二項ニ同シ

第八十八條 總會、總會若ハ組合會ノ招集手續若ハ表決カ違法ナル場合ニ於テ之ニ對シ不服アル者又ハ地上權者、永小作權者、賃借權者若ハ豫約事業者カ整理施行者若ハ組合員ト爲リタル場合ニ於テ第三十條第一項、第二項ノ處分ニ對シ不服アル土地ノ所有者ハ其ノ表決ノ日ヨリ十四日以内ニ地方長官ニ異議ヲ申立ツルコトヲ得

前項異議ノ申立アリタル場合ニ於テ監督官廳ハ其ノ職權ニ依リ又ハ利害關係人ノ請求ニ依リ必要ト認ムルトキハ表決又ハ處分ノ執行ヲ停止スルコトヲ得

第八十九條 監督官廳ノ處分ニシテ本法中他ノ條項ニ於テ地方長官ノ告示ヲ必要トスル事項ニ相當スルモノニ付テハ地方長官ハ之ヲ告示スヘシ

整理施行者ハ前項ノ告示アル迄其ノ受ケタル處分ヲ以テ他人ニ對抗スルコトヲ得ス

前二項ノ規定ハ監督官廳ノ命令シタル停止處分ノ解除ニ之ヲ準用ス



第四章 罰則

第九十條 耕地整理施行ニ關シ設ケタル標識ヲ移轉、汚損、毀壞又ハ除却シタル者ハ五十圓以下ノ罰金ニ處ス

第九十一條 第三條ノ規定ニ依ル整理施行者又ハ組合長組合副長若ハ聯合會會長聯合會副會長本法又ハ本法ニ基キテ發

スル命令ニ違反シタルトキハ五十圓以下ノ過料ニ處ス

非訟事件手續法第二百六條乃至第二百八條ノ規定ハ前項ノ過料ニ之ヲ準用ス

第九十二條 組合長、組合副長、聯合會會長、聯合會副會長、臨時代理人、評議員又ハ組合會議員其ノ職務ニ關シ

賄賂ヲ收受シ又ハ之ヲ要求若ハ約束シタルトキハ二年以下ノ懲役ニ處ス因テ不正ノ行爲ヲ爲シ又ハ相當ノ行爲ヲ爲サ

サルトキハ五年以下ノ懲役ニ處ス

前項ノ場合ニ於テ收受シタル賄賂ハ之ヲ沒收ス若シ其ノ全部又ハ一部ヲ沒收スルコト能ハサルトキハ其ノ價額ヲ追徴ス

第九十一條ノ三 前條第一項ニ掲グル者ニ對シ賄賂ヲ交付、提供又ハ約束シタル者ハ二年以下ノ懲役又ハ三百圓以下ノ罰金ニ處ス

前項ノ罪ヲ犯シタル者自首シタルトキハ其ノ刑ヲ減輕又ハ免除スルコトヲ得

附則 本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム(明治四十二年勅令第二十二號)

第九十二條 本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム(明治四十二年勅令第二十二號)

〔大阪土〕

百三十號ヲ以テ同年十月十六日ヨリ施行

明治三十年法律第三十九號ハ之ヲ廢止ス但シ現ニ土地ノ區劃形狀變更ノ許可ヲ得タル者ニ關シテハ仍從前ノ例ニ依ル

第九十三條 北海道ノ耕地整理ニ付テハ勅令ヲ以テ特例ヲ設クルコトヲ得

第九十四條 本法施行前耕地整理ニ關シ發起又ハ施行ノ認可ヲ得タル者ニ付テハ以下數條ニ規定スルモノヲ除クノ外舊

法ノ規定ヲ適用ス

第九十五條 本法第一條、第二條、第四條、第八條、第十條、第十七條、第二十五條、第二十七條、第二十八條、第三十條、第三十一條、第三十三條、第三十五條乃至第四十條、第七十九條、第八十二條、第八十四條及第八十五條ノ規定

ハ本法施行前耕地整理ニ關シ發起又ハ施行ノ認可ヲ得タル者ニ之ヲ適用ス

第九十六條 本法施行前耕地整理發起ノ認可ヲ得タル者ハ發起人又ハ整理委員ノ申請ニ依リ命令ノ定ムル所ニ從ヒ之ヲ

本法ニ依ル耕地整理組合ト爲スコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ耕地整理組合ト爲シタルトキハ耕地整理ニ關スル從前ノ設計書又ハ規約ハ本法又ハ本法ニ基キテ發

スル命令ニ違反セサル範圍内ニ於テ本法ノ規定ニ依リ設計書又ハ規約ト看做ス

〔大阪土〕

第一項ノ規定ニ依ル耕地整理組合ハ耕地整理ニ關スル參加土地所有者共同ノ權利義務ヲ承繼ス

第九十七條 本法施行前耕地整理發起ノ認可ヲ申請シ未タ之ヲ得ルニ至ラサル者ハ命令ノ定ムル所ニ從ヒ之ヲ本法第五

十條ノ規定ニ依ル耕地整理組合設立ノ申請ト爲スコトヲ得

第九十八條 舊法又ハ明治三十年法律第三十九號ニ依リ爲シタル處分ニ對スル訴願ニ關シテハ各舊法又ハ明治三十年法

律第三十九號ノ規定ニ依ル

附則 (大正八年法律第四十五號)

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム(大正八年勅令第二百四十五號)

本法施行前第十四條及第十四條ノ二ノ規定ニ依ル許可アリタル土地ニ關シテハ仍從前ノ例ニ依ル

附則 (昭和六年法律第二十九號)

第一條 本法ハ昭和六年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

第二條 昭和九年三月三十一日迄第三十四條第二項、第五十條第一項及第六十五條第二項ノ改正規定ニ依リ難キ事項ニ

關シテハ命令ヲ以テ別段ノ定ヲ爲スコトヲ得

第三條 大正十五年四月一日以後地價配賦ヲ爲シタル整理施行地區内ノ土地ノ賃貸價格ハ稅務署長ハ整理施行者ノ申請

ニ依リ其ノ地區内從前ノ土地ニ付土地賃貸價格調査法ニ依リ調査シタル賃貸價格(以下調査賃貸價格ト稱ス)ノ合計額

ヲ工事完了ノトキノ現況ニ依リ每筆相當ニ配賦シテ之ヲ定ム

命令ノ定ムル期間内ニ前項ノ申請ナキトキハ第三項ノ規定ニ依リ定メタル賃貸價格ヲ以テ前項ノ土地ノ賃貸價格ト

ス

第一項ノ規定ニ依リ賃貸價格ノ配賦ヲ爲ス迄ハ其ノ土地ノ賃貸價格ハ調査賃貸價格ノ合計額ヲ從前ノ地價ニ依リ算出

シタル地租條例ノ地租額ニ按分シテ之ヲ定ム

第一項及前項ノ場合ニ於テ調査賃貸價格ニ百分ノ三・八ヲ乘シタル金額ヲ從前ノ地價ニ依リ算出シタル地租條例ノ地租額ノ三倍八割ヲ超ユル土地アルトキハ地租條例ノ地租額

ノ三倍八割ニ相當スル金額ヲ百分ノ三・八ヲ以テ除シタル金額ヲ以テ其ノ土地ノ調査賃貸價格トス

第十三條第二項但書ノ改正規定ハ第一項及第三項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第四條 前條第一項又ハ第三項ノ規定ニ依リ賃貸價格ノ配賦ヲ爲シ又ハ之ヲ定メタル土地ハ耕地整理減租年期ヲ有ス但

シ地價配賦後地目變換、地類變換又ハ開墾ヲ爲シタル土地ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第十三條ノ三第二項、第三項及第八十六條ノ二ノ改正規定ハ前條第一項又ハ第三項ノ規定ニ依リ賃貸價格ノ配賦ヲ爲

シ又ハ之ヲ定メタル土地ニ之ヲ準用ス



第五條

附則第三條第一項ノ規定ニ依リ賃貸價格ノ配賦ヲ爲シタル土地ニ付テハ其ノ配賦ヲ爲シタル年ノ翌年分ヨリ配賦シタル賃貸價格ニ依リ、同條第三項ノ規定ニ依リ賃貸價格ヲ定メタル土地ニ付テハ昭和六年分ヨリ同條第一項ノ規定ニ依リ賃貸價格ノ配賦ヲ爲ス年ノ分迄其ノ定メタル賃貸價格ニ依リ地租ヲ徵收ス

附則第三條第一項ノ規定ニ依リ昭和六年ニ賃貸價格ノ配賦ヲ爲シタル土地ノ昭和六年分ノ地租ハ附則第三條第三項ノ規定ニ準シ算出シタル賃貸價格ニ依リ之ヲ徵收ス

第六條

大正十五年三月三十一日迄ニ地價配賦ヲ爲シタル整理施行地區内ノ土地ノ賃貸價格ハ其ノ土地ノ屬スル郡又ハ市ニ於ケル土地(大正十五年三月三十一日迄ニ地價配賦ヲ爲シタル土地ヲ除ク)ノ地目別ノ大正十五年四月一日現在ノ地價ノ合計額ヲ以テ之ニ對スル地租法第九十二條ノ規定ニ依リ賃貸價格ノ合計額ヲ除シテ得タル比率ヲ地目別ニ毎筆ノ地價ニ乘シタル額トス

前項ノ場合ニ於テ其ノ土地ノ屬スル郡又ハ市ニ於ケル當該地目ノ土地ノ大正十五年四月一日現在ノ總地積ノ二分ノ一以上方其ノ前日迄ニ地價配賦ヲ爲シタルモノナルトキハ同項ノ郡又ハ市ハ之ヲ府縣トス

第一項ノ場合ニ於テ附則第十六條第一項但書ノ規定ニ依リ宅地ノ賃貸價格ハ其ノ土地ノ屬スル府縣ニ於ケル宅地(大

〔大阪土〕

正十五年三月三十一日迄ニ地價配賦ヲ爲シタル宅地ヲ除ク)ノ大正十五年四月一日現在ノ地價ノ合計額ヲ以テ之ニ對スル地租法第九十二條ノ規定ニ依リ賃貸價格ノ合計額ヲ除シテ得タル比率ヲ其ノ每筆ノ地價ニ乘シタル額トス

第一項又ハ第三項ノ規定ニ依リ賃貸價格カ地租法第九十二條ノ規定ニ依リ賃貸價格ヲ超ユル土地ニ付テハ同條ノ規定ニ依リ賃貸價格ヲ以テ其ノ賃貸價格トス

第七條

前條ノ規定ハ地價配賦後地目變換、地類變換又ハ開墾ヲ爲シタル土地ニ之ヲ適用セズ  
前條ノ規定ニ依リ賃貸價格ヲ定メタル土地ニ付テハ昭和六年分ヨリ其ノ賃貸價格ニ依リ地租ヲ徵收ス  
前條ノ規定ニ依リ賃貸價格ヲ定メタル土地ハ耕地整理減租年分ヨリ有ス

第八條

地租法第九條第一項ノ規定ニ依リ一般ニ賃貸價格ヲ改訂スル場合ニ於テハ前條第三項ノ年分ヨリ有スル土地ノ賃貸價格ハ其ノ改訂ニ依リ定メラルヘキ賃貸價格ニ相當スル額ニ附則第六條ノ規定ニ依リ定メタル賃貸價格ノ合計額ヲ之ニ對スル地租法第九十二條ノ規定ニ依リ賃貸價格ニ相當スル額ノ合計額ヲ以テ除シテ得タル比率ヲ乘シタル額ニ之ヲ改訂ス

第九條 第十四條及第十四條ノ二ノ改正規定ハ大正十五年四月一日以後地價配賦ヲ爲シタル整理施行地區内ノ土地ニシ

〔大阪土〕

テ從前ノ第十四條ノ規定ニ依リ地價ノ修正又ハ設定ヲ爲シタルモノニ付附則第三條ノ調査賃貸價格ヲ算定スル場合ニ之ヲ準用ス但シ附則第三條第三項ニ規定スル場合ニ於テハ整理施行者ノ申請ヲ要セズ

第十條

第十四條及第十四條ノ二ノ改正規定ハ本法施行ノ際未タ地價配賦ヲ爲ササル整理施行地區内ノ土地ニシテ從前ノ第十四條ノ規定ニ依リ地價ノ修正又ハ設定ヲ爲シタルモノニ付現賃貸價格ヲ算定スル場合ニ之ヲ準用ス  
第十四條ノ三ノ改正規定ハ前項ノ土地ニ付賃貸價格配賦前ニ於テ地租法第九條第一項ノ規定ニ依リ一般ニ賃貸價格ヲ改訂スル場合ニ之ヲ準用ス

第十一條

本法施行前耕地整理地價据置年若ハ其ノ年若延長又ハ耕地整理新開免租年若ハ其ノ年若許可ヲ受ケタル土地ニシテ本法施行ノ際未タ其ノ年若滿了セサルモノハ左ノ區分ニ從ヒ本法ニ依リ減租年若又ハ免租年若許可セラレタルモノト看做ス  
一 耕地整理地價据置年若又ハ其ノ年若延長ハ開墾シタル土地ニ付許可セラレタルモノニ在リテハ耕地整理開墾減租年若、地目變換ヲ爲シタル土地ニ付許可セラレタルモノニ在リテハ耕地整理地目變換減租年若トス  
二 耕地整理新開免租年若ハ埋立地又ハ干拓地ニ付許可セラレタルモノニ在リテハ耕地整理埋立免租年若、其ノ他ノ土地ニ付許可セラレタルモノニ在リテハ耕地整理

開拓免租年若トス  
前項ノ年若ハ本法施行前許可セラレタル年若ノ殘年若期間ノ經過スル年若翌年ニ於テ滿了ス

第十二條

第十五條ノ改正規定ハ大正十五年四月一日以後地價配賦ヲ爲シタル整理施行地區内ノ土地ニシテ從前ノ第十四條ノ規定ニ依リ地價ノ修正又ハ設定ヲ爲シタルモノニ付附則第三條ノ調査賃貸價格ヲ算定スル場合ニ之ヲ準用ス但シ附則第三條第三項ニ規定スル場合ニ於テハ整理施行者ノ申請ヲ要セズ

第十三條

第十五條ノ改正規定ハ本法施行ノ際未タ地價配賦ヲ爲ササル整理施行地區内ノ土地ニシテ從前ノ第十五條ノ規定ニ依リ地價ノ修正又ハ設定ヲ爲シタルモノニ付現賃貸價格ヲ定ムル場合ニ之ヲ準用ス  
第十五條ノ二ノ改正規定ハ前項ノ土地ニ付賃貸價格配賦前ニ於テ地租法第九條第一項ノ規定ニ依リ一般ニ賃貸價格ヲ改訂スル場合ニ之ヲ準用ス  
第十五條ノ三ノ改正規定ハ第一項ノ土地ニ付其ノ年若力賃貸價格配賦前ニ滿了スル場合ニ之ヲ準用ス

第十四條

第十六條乃至第十六條ノ七ノ改正規定ハ附則第三條第一項又ハ第三項ノ規定ニ依リ賃貸價格ノ配賦ヲ爲シタルモノニ於テ整理施行地區内ニ從前ノ第十六條ノ規定ニ依リ利益ヲ有スル土地アル場合ニ之ヲ準用ス但シ



附則第三條第三項ニ規定スル場合ニ於テハ整理施行者ノ申請ヲ要セズ

第十五條 大正十五年三月三十一日迄ニ地價配賦ヲ爲シタル整理施行地區内ノ土地ニシテ從前ノ第十六條ノ規定ニ依ル利益ヲ有スルモノニ付テハ同條ノ殘年期間ノ經過スル年ノ翌年迄ハ附則第六條ノ規定ニ依ル其ノ土地ノ賃貸價格ヨリ第二項ノ規定ニ依リ算出スル額ヲ控除シタル額ヲ以テ其ノ賃貸價格トス

前項ノ規定ニ依リ控除スヘキ額ハ從前ノ第十六條ノ規定ニ依ル利益ニ相當スル地租條例ノ地租額ヲ地租條例第一條ニ規定スル其ノ土地ノ稅率ヲ以テ除シタル額ニ其ノ土地ノ從前ノ地價ヲ以テ附則第六條ノ規定ニ依ル賃貸價格ヲ除シテ得タル比率ヲ乘シタル額トス

第十六條ノ二及第十六條ノ四乃至第十六條ノ七ノ改正規定ハ第一項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第十六條 附則第六條ノ規定ハ市ノ區域内ノ宅地及主務大臣ノ指定スル地域内ノ宅地ニハ之ヲ適用セズ但シ市ノ區域内ノ宅地ニシテ主務大臣ノ指定スル地域内ノモノニ付テハ此ノ限ニ在ラス

〔大阪土〕

ル地域内ノモノヲ除クハ耕地整理減租年率ヲ有セズ  
第十七條 第十二條乃至第十六條ノ七ノ改正規定及前條ノ規定ハ第九十四條ノ規定ニ拘ラス明治三十二年法律第八十二號耕地整理法ニ依リ耕地整理ニ關シ發起又ハ施行ノ認可ヲ得タル者ニシテ第九十六條ノ規定ニ依リ耕地整理組合ト爲ラス且未タ地價配賦ヲ爲ササルモノニ之ヲ準用ス  
附則第十二條乃至前條ノ規定ハ第九十四條ノ規定ニ拘ラス明治三十二年法律第八十二號耕地整理法ニ依リ耕地整理ニ關シ發起又ハ施行ノ認可ヲ得タル者ニシテ第九十六條ノ規定ニ依リ耕地整理組合ト爲ラス且既ニ地價配賦ヲ爲シタルモノニ之ヲ準用ス  
第十八條 第十三條第三項ノ改正規定ハ附則第三條第一項、第三項、第六條第一項、第九條、第十條、第十二條、第十四條、第十五條及前條ノ場合ニ之ヲ準用ス  
第十九條 附則第十七條ノ規定ハ第九十二條第二項但書ニ規定スル者ニ之ヲ準用ス

●耕地整理法施行規則

明治四十二年十月十三日  
農商務省令第三十九號

改正 明治四三年四月農商務省令第五號、大正元年八月第二號、一月第二號、二年五月第八號、八年五月第二號、昭和六年三月農林省令第七號、七月第一號、一〇月第二號

〔大阪土〕

第一章 總則

第一條 整理施行者又ハ耕地整理組合ノ組合員タル資格ヲ有スル者ニ非サレハ耕地整理施行者又ハ耕地整理組合設立ノ認可申請者ト爲ルコトヲ得ス但シ耕地整理組合設立ノ認可申請者ニ付テハ地方ノ狀況ニ依リ特別ノ事情アルトキハ此ノ限ニ在ラス

第二條 耕地整理施行者ハ耕地整理組合設立ノ認可申請者又ハ整理施行者ハ整理施行地區所在ノ市町村ニ事務所ヲ設クヘシ但シ特別ノ事情アルトキハ之ヲ其ノ鄰接市町村ニ設クルコトヲ得  
事務所ニハ耕地整理ニ關スル一切ノ書類及帳簿ヲ備ヘ置クヘシ

共同施行者若ハ組合員タルヘキ者又ハ利害關係人ヨリ前項ノ書類又ハ帳簿ノ閱覽ヲ求メタルトキハ正當ノ事由アル場合ヲ除クノ外之ヲ拒ムコトヲ得ス

第三條 耕地整理施行者又ハ耕地整理組合設立ノ認可申請者ハ其ノ氏名若ハ名稱、住所、整理施行地區及事務所ヲ整理施行地區ノ屬スル各市町村長ニ届出ツヘシ

第三條ノ二 主務大臣耕地整理法第三條ノ二ノ規定ニ依ル指定ヲ爲シタルトキハ之ヲ告示ス

第四條 耕地整理法第七條又ハ第八條ノ規定ニ依ル通知又ハ公告ニハ立入ノ目的、場所及期日ヲ示スヘシ

前項ノ公告ハ立入ルヘキ土地ノ屬スル各市役所又ハ町村役場ノ揭示場ニ少ナクモ三日間之ヲ揭示スヘシ

第五條 耕地整理法第三十四條第二項、第五十條第一項、第五十五條第二項、第五十六條第二項、第六十五條第二項又ハ第六十八條第二項ノ規定ニ依リ土地ノ賃貸價格ヲ計算スル場合ニ於テ耕地整理法第十一條ノ國有地以外ノ無租地、同法第十五條第一項若ハ第三項ノ土地又ハ一筆ノ土地ノ一部アルトキハ耕地整理施行者ハ耕地整理組合設立ノ認可申請者又ハ整理施行者ハ其ノ現況ニ依リ整理施行地區内ノ土地ノ賃貸價格ヲ參酌シテ相當ノ準賃貸價格ヲ附スヘシ埋立ノ免許ヲ受ケタル水面ニ付亦同シ

地租法第九條第一項ノ規定ニ依リ一般ニ賃貸價格ノ改訂アリタルトキハ耕地整理施行者ハ耕地整理組合設立ノ認可申請者又ハ整理施行者ハ遲滞ナク前項ノ準賃貸價格ヲ改訂スヘシ

耕地整理法第十五條第一項ノ規定ニ依リ賃貸價格ノ修正又ハ設定アリタル土地ニ付テハ其ノ修正賃貸價格又ハ設定賃貸價格(耕地整理法第十五條ノ二ノ規定ニ依リ改訂シタル場合ニ於テハ其ノ改訂シタルモノ)ヲ以テ第一項ノ準賃貸價格ト看做ス

第六條 耕地整理事業力道府縣、市町村其ノ他ノ公共團體ノ事業ニ關スルトキハ耕地整理施行者又ハ耕地整理組合設立ノ認可申請書ニ其ノ團體ノ承認ヲ證スル書面、其ノ承認ヲ得サ



ルトキハ其ノ事由ヲ記載シタル書面ヲ添付スヘシ  
前項ノ規定ハ設計書、規約又ハ整理施行地區變更ノ場合ニ  
之ヲ準用ス

第七條 國有地又ハ道府縣ノ公用若ハ公共ノ用ニ供スル土地  
ヲ整理施行地區ニ編入スル爲耕地整理法又ハ本則ノ規定ニ  
依リ認許ヲ申請スル場合ニ於テハ耕地整理施行、耕地整理  
組合設立又ハ整理施行地區變更ノ認可申請ト共ニ之ヲ爲ス  
コトヲ得

耕地整理法第四十三條第二項又ハ第四十四條第二項ノ規定  
ニ依ル認可申請ハ耕地整理組合設立又ハ耕地整理組合地區  
變更ノ認可申請ト共ニ之ヲ爲スコトヲ得

第八條 設計書ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ但シ規約ヲ以テ整  
理施行地區ヲ數區ニ分チタル場合ニ於テハ第五號、第六號、  
第九號及第十號ノ事項ハ各區毎ニ之ヲ記載スヘシ

一 整理施行地ノ現況及工事施行ノ目的  
二 工事其ノ他ノ事業ノ計畫説明

三 (削除)

四 主要工事ノ仕様

五 工事施行後ニ於ケル土地ノ筆數及地積ノ地目別合計ノ  
豫定

六 工事施行ニ依リテ得ヘキ利益

七 整理施行地及之ニ鄰接スル土地、水面ノ現形圖

〔大阪土〕

八 整理豫定圖

九 工事ノ著手及完了ノ豫定時期

十 維持管理ニ要スルモノヲ除ク外工事費其ノ他一切ノ費  
用及夫役現品ノ豫算

第九條 規約ニハ耕地整理法又ハ本則ニ規定アルモノノ外左  
ノ事項ヲ記載スヘシ

一 事業ノ範圍

二 (削除)

三 耕地整理組合又ハ聯合會ニ在リテハ名稱

四 事務所ノ所在地

五 耕地整理組合ニ在リテハ組合長、組合副長及評議員、  
聯合會ニ在リテハ會長及副會長ノ定數、選任、解任及  
任期ニ關スル規定、共同施行ニ依ル耕地整理ニシテ役  
員ヲ置クモノニ在リテハ其ノ名稱、定數、職務權限、  
選任、解任及任期ニ關スル規定

六 會議ニ關スル規定

七 處務及會計ニ關スル規定

八 補償金評定ノ標準ヲ定メタルトキハ其ノ規定

九 費用及夫役現品ノ分賦收入方法並延滞利息又ハ過怠金  
ニ關スル規定

十 耕地整理法第三十條第四項ノ告示前ニ於ケル土地使用  
ニ關スル規定

十一 耕地整理法第三十條第一項、第二項ノ規定ニ依ル處  
分方法

十二 土地及水面ノ價額及等位ノ評定ニ關スル規定

十三 數人共同シテ施行スル耕地整理ニ在リテハ設計書、  
規約若ハ整理施行地區ノ變更又ハ事業ノ停止若ハ廢止  
ニ關スル規定

十四 豫約事業者又ハ埋立ノ免許ヲ受ケタル者ノ權利消滅  
ノ場合ニ於ケル補償金徵收ノ方法ヲ定メタルトキハ其  
ノ規定

十五 維持管理ヲ行フモノニ在リテハ其ノ規定

第十條 耕地整理施行又ハ耕地整理組合設立ノ認可アリタル  
トキハ整理施行者ハ工事ニ著手スル前第八條第七號ノ圖面  
ヲ添付シテ左ノ事項ヲ所轄稅務署長ニ申告スヘシ其ノ變更  
ヲ生シタルトキ亦同シ

一 整理施行地ノ屬スル郡、市町村並土地ノ字、地番及水  
面ノ位置、地積

二 耕地整理施行若ハ耕地整理組合設立又ハ整理施行地區  
變更ノ認可ノ年月日

三 工事施行後ニ於ケル土地ノ筆數及地積ノ地目別合計ノ  
豫定

四 工事ノ著手及完了ノ豫定時期

第十條ノ二 整理施行地區内ニ一筆ノ一部ヲ編入シタル土地

第十一類 都市計畫 耕地整理 市街地建築物 第二章 耕地整理

アルトキハ前條ノ申告ト共ニ分筆ノ手續ヲ爲スヘシ

第十條ノ三 耕地整理法第十五條第一項ノ規定ニ依ル貸賃價  
格ノ修正又ハ設定ノ申請ハ工事著手前申請書ヲ所轄稅務署  
長ニ提出シテ之ヲ爲スヘシ

前項ノ申請書ニハ耕地整理法第十五條第一項ノ土地ノ字、  
地番、地目(土地臺帳ノ地目カ土地ノ現況ト異ナルトキハ  
土地臺帳ノ地目及現況ニ依ル地目)、地積及修正賃賃價格又  
ハ設定賃賃價格ノ見積額ヲ記載シタル書面ヲ添付スヘシ

第十條ノ四 整理施行者ハ工事著手前整理施行地區内ノ土地  
及水面ノ等位ヲ評定スヘシ

第十一條 工事ニ著手シ又ハ工事完了シタルトキハ整理施行  
者ハ遲滞ナク其ノ旨ヲ地方長官及所轄稅務署長ニ届出ツヘ  
シ

第十二條 規約ヲ以テ整理施行地區ヲ數區ニ分チタル場合ニ  
於テハ各區毎ニ第十條乃至第十條ノ三及前條ノ手續ヲ爲ス  
ヘシ

第十二條ノ二 耕地整理法第十四條第一項、第十四條ノ二及  
第十五條第三項ノ規定ニ依ル賃賃價格ノ修正又ハ設定ノ申  
請ハ工事完了ノ届出ト共ニ申請書ヲ所轄稅務署長ニ提出シ  
テ之ヲ爲スヘシ

前項ノ申請書ニハ從前ノ土地ノ字、地番、地目及地積、之  
ニ對スル工事完了後ノ地目及地積並ニ修正賃賃價格又ハ設

定

定

定

定

定



定賃賃價格ノ見積額ヲ記載シタル書面ヲ添附スヘシ  
前項ノ書面ニハ從前ノ土地及工事完了後ノ土地ノ各筆ノ區域ヲ表示シタル圖面ヲ添附スヘシ

第十二條ノ三 耕地整理開墾減租年期、耕地整理地目變換減租年期、耕地整理開拓免租年期又ハ耕地整理立免租年期ノ許可ノ申請ハ工事完了ノ届出ヲ爲シタル後三十日以内ニ、耕地整理開拓免租年期又ハ耕地整理立免租年期延長ノ許可ノ申請ハ年期ノ滿了スル年ノ六月三十日迄ニ申請書ヲ所轄稅務署長ニ提出シテ之ヲ爲スヘシ

第十三條 整理施行者ハ工事完了ノ届出ヲ爲シタル後遲滞ナク換地説明書、整理確定圖及賃賃價格配賦案ヲ作成スヘシ

賃賃價格配賦案ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ  
一 整理施行地區内ノ土地ノ現賃賃價格ノ合計額及其ノ算出ノ基礎  
二 豫定地番、地目、地積及配賦賃賃價格  
三 耕地整理法第十三條ノ三第三項ノ規定ニ依ル假賃賃價格ノ見積額

〔大阪土〕

四 耕地整理法第三十條第一項、第二項ノ規定ニ依ル處分ニ依リ所有者タルヘキ者ノ氏名又ハ名稱及住所  
前項第二號乃至第四號ノ事項ハ工事完了後ノ土地ノ各筆ニ付之ヲ記載スヘシ

賃賃價格配賦案ハ耕地整理組合ニ在リテハ耕地整理法第三十條第一項、第二項ノ規定ニ依ル處分ノ議決ヲ爲ス總會又ハ總會議ニ於テ、共同施行ニ依ル耕地整理ニ在リテハ規約ニ定ムル會議ニ於テ其ノ承認ヲ經ヘシ

第十四條 地上權者、永小作權者、賃借權者又ハ豫約事業者ハ整理施行者又ハ組合員タル場合ニ於テ一人施行者又ハ共同施行者耕地整理法第三十條第三項ノ規定ニ依ル認可ヲ申請セムトスルトキハ七日前ニ、耕地整理組合同條第一項、第二項ノ規定ニ依ル處分ノ議決ヲ爲ス總會又ハ總會議ヲ召集セムトスルトキハ同時ニ其ノ旨ヲ土地所有者ニ通知スヘシ

第十五條 耕地整理法第三十條第三項ノ規定ニ依ル認可申請書ニハ換地説明書、整理確定圖及耕地整理組合ニ在リテハ總會又ハ總會議ノ議事録ノ謄本ヲ添附スヘシ

第十六條 耕地整理法第十三條第二項ノ規定ニ依ル賃賃價格配賦ノ申請ハ同法第三十條第三項ノ認可アリタル後遲滞ナク申請書ヲ所轄稅務署長ニ提出シテ之ヲ爲スヘシ  
前項ノ申請書ニハ賃賃價格配賦案、耕地整理法第三十條第

〔大阪土〕

可ヲ爲シタルトキハ申請者又ハ整理施行者ニ之ヲ通知スヘシ

三項ノ認可書ノ謄本、換地説明書及整理確定圖ヲ添附スヘシ  
耕地整理法第十三條ノ三第三項ノ規定ニ依ル假賃賃價格決定ノ申請ハ第一項ノ申請ト共ニ之ヲ爲スヘシ

第十六條ノ二 耕地整理法第十三條ノ三第二項又ハ第十六條ノ二ノ規定ニ依リ算出シタル比率ニ千分ノ一未滿ノ端數アル場合ニ於テハ其ノ端數ハ之ヲ切捨ツ

第十七條 耕地整理法第十六條ノ規定ニ依ル配當ノ申請ハ賃賃價格ノ配賦アリタル後六十日以内ニ申請書ヲ所轄稅務署長ニ提出シテ之ヲ爲スヘシ  
前項ノ申請書ニハ配當ヲ受クヘキ土地ノ字及地番並ニ之ニ配當スヘキ金額、年期ノ種別及其ノ殘年期間ヲ記載シタル配當案ヲ添附スヘシ

第十七條ノ二 左ノ事項ハ規約ニ別段ノ定アル場合ヲ除クノ外耕地整理組合ニ在リテハ評議員會ニ於テ、共同施行ニ依ル耕地整理ニ在リテハ規約ニ定ムル會議ニ於テ其ノ承認ヲ經ヘシ

一 第十條ノ三第二項及第十二條ノ二第二項ノ修正賃賃價格又ハ設定賃賃價格ノ見積額

二 前條第二項ノ配當案  
第十七條ノ三 所轄稅務署長耕地整理法ノ規定ニ依リ賃賃價格ノ配賦、修正若ハ設定、配當又ハ年期若ハ年期延長ノ許

第十七條ノ四 耕地整理法第三十條第四項ノ規定ニ依ル認可ノ通知ハ通知書ニ左ニ掲クル書類ヲ添附シテ之ヲ爲スヘシ

認可ノ變更又ハ更正アリタル場合亦同シ但シ其ノ添附書類ハ變更又ハ更正アリタル部分ニ關スルモノヲ以テ足ル

一 耕地整理法第三十條第三項ノ規定ニ依ル認可書ノ謄本  
二 整理施行者ノ氏名若ハ名稱、住所ヲ記載シタル書面  
三 換地説明書  
四 整理確定圖

第十七條ノ五 前條第三號及第四號ノ書類ハ耕地整理地區カニ以上ノ登記所ノ管轄ニ涉ル場合ニ於テハ各登記所ノ管轄ニ屬スル地域毎ニ分割シタルモノヲ以テ之ニ代フルコトヲ得但シ甲登記所ノ管轄ニ屬スル從前ノ土地ニ對シ乙登記所ノ管轄内ニ於テ換地ヲ交付シタルモノアルトキハ其ノ牽聯スル從前ノ土地及換地ハ換地説明書ノ分割シタルモノニ之ヲ表示スヘシ

第十八條 整理施行地又ハ之ニ存スル建物ニ付登記ヲ爲シタルトキハ登記權利者ハ遲滞ナク整理施行者ニ其ノ旨ヲ通知スヘシ

第十九條 耕地整理法第三十條第一項、第二項ノ規定ニ依ル處分ヲ爲シタル後同條第四項ノ告示前ニ於テ從前ノ土地ノ



全部又ハ一部ニ付所有權以外ノ權利又ハ處分ノ制限ニ關スル登記ヲ爲シタルモノアルトキハ整理施行者ハ遲滞ナク同法第三十三條ノ指定ヲ爲シ地方長官ノ認可ヲ受クヘシ

第二十二條 共同施行者又ハ耕地整理組合若ハ聯合會ハ每事業年度經過後遲滞ナク當該年度ノ事業報告書及收支決算書ヲ地方長官ニ差出スヘシ

又ハ處分ノ制限アル場合ニ於テ耕地整理法第三十三條ノ指定ヲ爲ササリシモノアルトキ亦前項ニ同シ

第二十三條 耕地整理法第三十五條ノ規定ニ依ル公告ハ整理施行地區ノ屬スル各市役所又ハ町村役場ノ揭示場ニ三日間送付スヘキ書類ノ要領ヲ揭示スヘシ

耕地整理法第三十條第四項ノ告示前ニ於テ換地ノ一部ニ該當スル從前ノ土地ニ付所有權移轉ノ登記ヲ爲シタルモノアルトキハ整理施行者ハ遲滞ナク同法第三十條第一項、第二項ノ規定ニ依ル處分ヲ爲シ地方長官ノ認可ヲ受クヘシ

第二十四條 耕地整理法第三十八條第一項ノ規定ニ依リ耕地整理ノ事業ヲ市町村又ハ水利組合ニ引繼ク場合ニ於テ其ノ引繼完了シタルトキハ共同施行者又ハ耕地整理組合長ハ遲滞ナク其旨ヲ地方長官ニ届出ツヘシ

第十九條ノ二 前條ノ規定ハ耕地整理登記令第八條ノ五但書ノ規定ニ依リ耕地整理法第三十條第四項ノ告示後登記ヲ爲シタル場合ニ之ヲ準用ス

第二十五條 耕地整理事業完了シ若ハ廢止セラレタルトキ又ハ耕地整理組合ノ清算終了シタルトキハ整理施行者又ハ組合長ハ耕地整理ニ關スル一切ノ書類及帳簿ヲ整理施行地區ノ屬スル市町村長ニ引渡スヘシ其ノ整理施行地區ニ以上ノ市町村ニ涉ルトキハ整理施行者又ハ組合長ノ申請ニ依リ地方長官ニ於テ其ノ書類及帳簿ヲ引渡スヘキ市町村長ヲ指定スヘシ

第二十條 共同施行者又ハ耕地整理組合若ハ聯合會ニ依ル耕地整理ノ事業年度ハ一箇年トス

耕地整理法第五十三條第一項第五號ノ場合ニ於テハ前項ノ規定ヲ適用セス

前項ノ事業年度ハ九月一日ヨリ翌年八月三十一日迄トス但シ特別ノ事情アルトキハ規約ヲ以テ別段ノ規定ヲ爲スコトヲ得

耕地整理組合聯合會ノ清算終了シタルトキハ會長ハ聯合會ニ關スル一切ノ書類及帳簿ヲ其ノ所屬組合ノ一ニ引渡スヘシ

第二十一條 共同施行者又ハ耕地整理組合若ハ聯合會ハ每事業年度前經費ノ收支豫算ヲ定ムヘシ但シ初年度ニ於テハ耕地整理施行者又ハ耕地整理組合若ハ聯合會設立ノ認可後遲滞ナク之ヲ爲スヘシ

地方長官前項ノ申請書ヲ受理シタルトキハ之ヲ協議ノ相手方ニ交付シ且交付ヲ受ケタル日ヨリ十四日以内ニ答辯書ヲ差出スヘキ旨ヲ附記スヘシ

第二十六條 市町村長前條第一項ノ規定ニ依リ書類及帳簿ノ引渡ヲ受ケタルトキハ其ノ引渡ヲ受ケタル日ヨリ左ニ掲グルモノニ付テハ十年間、其ノ他ノモノニ付テハ五年間之ヲ保存スヘシ

第二十七條 市制第六條ノ市ニ於テハ第六條、第二十四條及第三十八條ノ市ニ關スル規定ハ區ニモ之ヲ適用ス

一 耕地整理法又ハ之ニ基キテ發スル命令ノ規定ニ依ル認可、認許又ハ同意ヲ證スル書面

第二十八條 耕地整理法第三條第一項ノ規定ニ依ル認可申請書ニハ左ニ掲グル事項ヲ記載スヘシ

二 設計書

一 一人ニテ耕地整理ヲ施行セムトスル者ニ在リテハ事業

三 規約

一 一人ニテ耕地整理ヲ施行セムトスル者ニ在リテハ事業

四 土地原簿

一 一人ニテ耕地整理ヲ施行セムトスル者ニ在リテハ事業

五 權利者名簿又ハ組合員名簿

一 一人ニテ耕地整理ヲ施行セムトスル者ニ在リテハ事業

六 議事錄

一 一人ニテ耕地整理ヲ施行セムトスル者ニ在リテハ事業

七 換地説明書

一 一人ニテ耕地整理ヲ施行セムトスル者ニ在リテハ事業

八 整理確定圖

一 一人ニテ耕地整理ヲ施行セムトスル者ニ在リテハ事業

九 事業報告書

一 一人ニテ耕地整理ヲ施行セムトスル者ニ在リテハ事業

十 收支決算書

一 一人ニテ耕地整理ヲ施行セムトスル者ニ在リテハ事業

前項ノ規定ハ明治四十二年勅令第二百三十一號第三條ノ規定ニ依リ市町村長又ハ水利組合管理者方耕地整理ニ關スル書類及帳簿ノ引繼ヲ受ケタル場合ニ之ヲ準用ス

第二十七條ノ二 整理施行地區方數府縣ニ涉ル場合ニ於テハ本則中地方長官ノ職權ニ屬スル事項ハ關係地方長官中主務大臣ノ指定スルモノ之ヲ行フ

第二十六條ノ二 耕地整理法第八十七條ノ規定ニ依ル申請書ニハ申請ノ目的及事由ヲ記載シ協議調ハサルトキハ其ノ願末書ヲ、協議ヲ爲スコト能ハサルトキハ其ノ事由書ヲ添付スヘシ

第二十八條 耕地整理法第三條第一項ノ規定ニ依ル認可申請書ニハ左ニ掲グル事項ヲ記載スヘシ

一 一人ニテ耕地整理ヲ施行セムトスル者ニ在リテハ事業

一 一人ニテ耕地整理ヲ施行セムトスル者ニ在リテハ事業

二 一人ニテ耕地整理ヲ施行セムトスル者ニ在リテハ事業

一 一人ニテ耕地整理ヲ施行セムトスル者ニ在リテハ事業

三 一人ニテ耕地整理ヲ施行セムトスル者ニ在リテハ事業

一 一人ニテ耕地整理ヲ施行セムトスル者ニ在リテハ事業

四 一人ニテ耕地整理ヲ施行セムトスル者ニ在リテハ事業

一 一人ニテ耕地整理ヲ施行セムトスル者ニ在リテハ事業

五 一人ニテ耕地整理ヲ施行セムトスル者ニ在リテハ事業

一 一人ニテ耕地整理ヲ施行セムトスル者ニ在リテハ事業

六 一人ニテ耕地整理ヲ施行セムトスル者ニ在リテハ事業

一 一人ニテ耕地整理ヲ施行セムトスル者ニ在リテハ事業

七 一人ニテ耕地整理ヲ施行セムトスル者ニ在リテハ事業

一 一人ニテ耕地整理ヲ施行セムトスル者ニ在リテハ事業

八 一人ニテ耕地整理ヲ施行セムトスル者ニ在リテハ事業

一 一人ニテ耕地整理ヲ施行セムトスル者ニ在リテハ事業

九 一人ニテ耕地整理ヲ施行セムトスル者ニ在リテハ事業

一 一人ニテ耕地整理ヲ施行セムトスル者ニ在リテハ事業

十 一人ニテ耕地整理ヲ施行セムトスル者ニ在リテハ事業

一 一人ニテ耕地整理ヲ施行セムトスル者ニ在リテハ事業

第十一類 都市計畫 耕地整理 市街地建築物 第二章 耕地整理

第七

〔大阪土〕

〔大阪土〕



ノ範圍

- 二 第三十二條第一號乃至第三號ノ事項
- 三 整理施行者ノ員數
- 四 整理施行者タル土地所有者、地上權者、永小作權者、賃借權者、豫約事業者又ハ埋立ノ免許ヲ受ケタル者ノ所有權其ノ他ノ權利ノ目的タル土地又ハ水面ノ權利別、地目別ノ地積及賃貸價格若ハ準賃貸價格
- 五 耕地整理法第四十三條ノ土地アルトキハ其ノ表示
- 六 整理施行地區ヨリ特ニ除斥シタル土地アルトキハ其ノ事由

前項ノ申請書ニハ左ニ掲グル書面ヲ添附スヘシ

- 一 耕地整理法第四十三條第一項第一號ノ土地ニシテ地上權者、永小作權者、賃借權者又ハ豫約事業者カ其ノ土地ニ付整理施行者タル場合ニ非サル土地、第二號及第三號ノ土地アルトキハ其ノ編入ニ付主務官廳又ハ公共團體ノ認許アリタルコトヲ證スル書面
- 二 耕地整理法第四十三條第一項第四號乃至第八號ノ土地アルトキハ其ノ土地ニ存スル建物ニ付登記シタル權利ヲ有スル者ノ同意ヲ證スル書面、其ノ同意ヲ得ルコト能ハサルトキハ其ノ事由ヲ記載シタル書面
- 三 埋立ノ免許ヲ受ケタル水面アルトキハ其ノ免許ヲ證スル書面

〔大阪土〕

第二十九條 耕地整理法第十一條第一項ノ土地ニ付テハ國ハ之ヲ整理施行者ト看做サス

第三十條 共同施行者ハ耕地整理ノ施行ニ關シ書類又ハ通知ノ授受ノ爲代表者一人ヲ定メ耕地整理施行ノ認可申請ト同時ニ其ノ氏名、住所ヲ地方長官ニ届出テ且之ヲ公告スヘシ代表者又ハ其ノ氏名、住所ニ變更アリタル場合亦同シ

第三十一條 耕地整理法第三條ノ規定ニ依ル整理施行者ハ耕地整理施行ノ認可アリタル後遲滞ナク土地原簿及權利者名簿ヲ調製スヘシ

第三十二條 土地原簿ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

- 一 整理施行地ノ總地積及總賃貸價格
- 二 整理施行地ノ筆數、地積及賃貸價格ノ地目別合計
- 三 土地各筆ノ字、地番及地目並水面ノ位置
- 四 耕地整理法第四十三條第一項第一號乃至第三號ノ土地、豫約事業者ヲ爲ス土地、工作物アル土地又ハ所有權以外ノ登記シタル權利ノ目的タル土地アルトキハ其ノ表示

第三十三條 權利者名簿ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

- 一 整理施行者タル土地所有者、地上權者、永小作權者、賃借權者又ハ豫約事業者ノ氏名若ハ名稱、住所並其ノ所有權其ノ他ノ權利ノ目的タル土地ノ字、地番、地目、地積、賃貸價格及權利ノ表示
- 二 整理施行者タル埋立ノ免許ヲ受ケタル者ノ氏名若ハ名

〔大阪土〕

稱、住所並其ノ權利ノ目的タル水面ノ位置及地積

- 三 土地又ハ水面ノ價額若ハ等位ヲ評定シ、地積ヲ實測シ又ハ準賃貸價格ヲ附シタルトキハ其ノ價額、等位、地積又ハ準賃貸價格
  - 四 關係人又ハ整理施行地ニ存スル建物ニ付先取特權、賃權又ハ抵當權ヲ有スル者ノ氏名若ハ名稱、住所及登記ノ要領（抵當證券ノ所持人ニ付テハ抵當證券ヲ作成シタル登記所名、抵當證券ノ番號及登記ノ要領）
  - 五 整理施行者タル地上權者、永小作權者又ハ賃借權者ノ權利ノ目的タル土地ノ所有者ノ氏名若ハ名稱、住所及土地ノ表示
  - 六 工作物所有者ノ氏名若ハ名稱、住所及工作物ノ表示
  - 七 耕地整理法第二十五條第三項又ハ第二十五條ノ第二項ノ訴訟當事者アルトキハ其ノ氏名若ハ名稱、住所及訴訟ノ要領
- 第三十四條 土地原簿又ハ權利者名簿ニ記載シタル事項ニ變更ヲ生シタルトキハ遲滞ナク之ヲ更正スヘシ
- 第三十五條 耕地整理法第三條ノ規定ニ依ル設計書、規約若ハ整理施行地區ノ變更又ハ事業ノ停止若ハ廢止ノ認可申請書ニハ其ノ事由ヲ記載シ之ニ關シ定メタル必要ノ事項ヲ記載シタル書面ヲ添附スヘシ
- 事業ヲ廢止シ、債務ノ分擔ニ關スル規約ヲ變更シ又ハ整理

施行地區ヲ減少セムトスル場合ニ於テ借入金アルトキハ債權者ノ同意ヲ證スル書面ヲ添附スヘシ

整理施行地區ヲ變更セムトスル場合ニ於テハ地區ニ編入シ又ハ地區ヨリ除斥セラレヘキ土地又ハ水面ノ整理施行者タルヘキ者又ハ整理施行者タル者ノ同意ヲ證スル書面、其ノ變更力豫約事業者又ハ埋立ノ免許ヲ受ケタル者ノ權利ノ消滅ニ依ルモノナルトキハ權利ノ消滅ヲ證スル書面ヲ添附スヘシ但シ第二十八條ノ規定ハ地區ニ編入シ又ハ地區ヨリ除斥セラレヘキ土地又ハ水面ニ付之ヲ準用ス

第三十六條 一人ニテ施行スル耕地整理ヲ變シテ數人共同ノ施行ト爲サムトスルトキハ認可申請書ニ其ノ事由ヲ記載シ協議一致ヲ證スル書面、規約、數人共同ノ施行ト爲ス爲定メタル必要ノ事項ヲ記載シタル書面及第二十八條第一項第三號、第四號ノ事項ヲ記載シタル書面ヲ添附スヘシ

第三十七條 數人共同シテ施行スル耕地整理ニシテ整理施行者カ一人ト爲リタルトキハ其ノ旨ヲ地方長官ニ届出ツヘシ

第三十八條 第二十二條ノ規定ハ耕地整理法第三條ノ規定ニ依ル耕地整理事業完了シ若ハ廢止セラレ又ハ之ヲ市町村若ハ水利組合ニ引繼キタル場合ニ之ヲ準用ス

第三章 耕地整理組合

第三十九條 耕地整理組合設立ノ認可申請者ハ土地原簿及組合員名簿ヲ調製スヘシ



第四十條 土地原簿ニハ第三十二條ニ掲グル事項ノ外耕地整理法第四十四條第一項ノ土地アルトキハ其ノ表示ヲ爲スヘシ

第四十一條 第三十三條ノ規定ハ組合員名簿ニ之ヲ準用ス

第四十二條 第三十四條ノ規定ハ耕地整理組合ノ土地原簿又ハ組合員名簿ニ之ヲ準用ス

第四十三條 耕地整理法第五十條ノ條件ヲ算定スル場合ニ於テハ耕地整理法第十一條第一項ノ土地ハ之ヲ算入セス

第四十四條 耕地整理組合設立ノ認可申請書ニハ左ニ掲グル事項ヲ記載スヘシ

- 一 第二十八條第一項第二號、第五號、第六號ノ事項及第三號、第四號ニ準スル事項
- 二 耕地整理法第四十四條第一項ノ土地アルトキハ其ノ表示

前項ノ申請書ニハ左ニ掲グル書面ヲ添附スヘシ

- 一 組合員タルヘキ者ニシテ組合設立ニ同意シタル者ノ總數及其ノ土地、水面ノ總面積及總賃貸價格並其ノ同意ヲ證スル書面
- 二 耕地整理法第四十三條第一項第一號乃至第三號ノ土地アルトキハ其ノ編入ニ付主務官廳又ハ公共團體ノ認許又ハ同意アリタルコトヲ證スル書面
- 三 耕地整理法第四十三條第一項第四號乃至第八號ノ土地

〔大阪土〕

アルトキハ其ノ編入ニ付土地所有者、關係人及其ノ土地ニ存スル建物ニ付登記シタル權利ヲ有スル者ノ同意ヲ證スル書面又ハ同法第四十三條第二項ノ認可アリタルコトヲ證スル書面

四 特別ノ價值又ハ用途ヲ有スル土地アルトキハ其ノ編入ニ付土地所有者及關係人ノ同意ヲ證スル書面又ハ耕地整理法第四十四條第二項ノ認可アリタルコトヲ證スル書面、其ノ同意ヲ得タルトキハ其ノ價值又ハ用途、土地所有者及關係人ノ氏名若ハ名稱並同意セサル事由及之ヲ編入スルニ非サレハ耕地整理ヲ適當ニ施行スルコト能ハサル事由ヲ記載シタル書面

五 組合員タルヘキ地上權者、永小作權者、賃借權者又ハ豫約事業者アルトキハ土地所有者及賃貸人ノ同意ヲ證スル書面

六 埋立ノ免許ヲ受ケタル水面アルトキハ其ノ免許ヲ證スル書面

第四十五條 組合設立ノ認可アリタルトキハ申請者ハ遲滯ナク總會ヲ招集スヘシ

前項ノ總會ニ於テハ組合長、組合副長、評議員ヲ置ク組合ニ在リテハ評議員ノ選舉並組合設立ニ關スル費用其ノ他必要ナル事項ニ付表決ヲ爲スヘシ

〔大阪土〕

第四十六條 組合長又ハ組合副長ノ選任又ハ解任ノ認可申請書ニハ總會、組合會又ハ評議員會ノ議事録ノ際本ヲ添附スヘシ

前項選任ノ認可申請書ニハ履歷書ヲ添附シ特別ノ事情ニ依リ組合員ニ非サル者ヲ選任シタル場合ニ於テハ尙其ノ事情ヲ記載シタル書面ヲ添附スヘシ

第四十七條 組合長ノ就任アリタルトキハ組合設立ノ認可申請者ハ遲滯ナク組合ニ關スル一切ノ事務及書類、帳簿ヲ之ニ引繼クヘシ

第四十八條 耕地整理法第四十七條ノ規定ニ依ル代表者アルトキハ組合長ハ其ノ氏名、住所若ハ居所ヲ組合員名簿ニ記載スヘシ

第四十九條 組合會ハ百人以上ノ組合員ヲ有スル組合ニ非サルハ之ヲ設ケルコトヲ得ス

組合會ヲ設ケムトスルトキハ規約中ニ議員ノ定數並任期及選舉ニ關スル規定ヲ設ケヘシ

第五十條 組合會議員ハ組合員中ヨリ之ヲ選舉スヘシ

第五十一條 組合會ニ於テハ第四十五條第二項ノ表決ヲ爲シ又ハ耕地整理法第三十條第一項、第二項ノ規定ニ依ル處分ノ議決ヲ爲スコトヲ得ス

第五十二條 組合會議員ノ表決權ハ平等ナルモノトス

第五十三條 組合會ニ於テ耕地整理法第五十四條第一項又ハ

第六十一條 第二號若ハ第五號ノ事項ノ表決ヲ爲スニハ組合會議員總數ノ過半數ノ同意アルコトヲ要ス但シ特別ノ事情アルトキハ規約ヲ以テ別段ノ規定ヲ爲スコトヲ得

第五十四條 組合會議員ハ組合會ニ於テ書面又ハ代理人ヲ以テ表決ヲ爲スコトヲ得ス

第五十五條 總會又ハ組合會ハ少ナクモ每事業年度一回之ヲ開クヘシ

第五十六條 耕地整理法第五十五條第一項ノ總會議ニ於テハ編入區域ノ土地所有者ハ其ノ編入區域ノ土地所有者ニ非サル者ヲ以テ代理人ト爲スコトヲ得ス

第五十七條 代理人ハ代理權ヲ證スル書面ヲ組合設立ノ認可申請者又ハ組合長ニ差出スヘシ

第五十八條 評議員ハ三人以上トス

評議員ハ組合長又ハ組合副長ト相兼マルコトヲ得ス

第五十九條 評議員會ハ組合長之ヲ招集ス

評議員總數ノ五分一以上ニ當ル者ヨリ會議ノ目的及其ノ事由ヲ記載シタル書面ヲ提出シテ評議員會ノ招集ヲ請求シタルトキハ組合長ハ七日以内ニ之ヲ招集スヘシ

組合長カ前項招集ノ手續ヲ爲ササルトキハ其ノ請求ヲ爲シタル評議員ハ第一次監督官廳ノ許可ヲ得テ其ノ招集ヲ爲スコトヲ得

評議員會ノ議事ハ評議員ノ半數以上出席シ其ノ過半數ノ同



意ヲ以テ之ヲ決ス

第六十條 組合設立ノ認可申請者、組合長、組合副長、評議員及組合會議員ハ規約ニ別段ノ規定アルニ非サレハ給料、報酬又ハ賞與ヲ受クルコトヲ得ス

第六十條ノ二 組合ハ耕地整理法第七十三條第四項ノ規定ニ依リ指定セラレタル臨時代理者ニ給料及旅費等ヲ支給スヘシ但シ臨時代理者官吏ナルトキハ給料ヲ支給スルコトヲ要セス

第六十一條 總會、總會議、組合會及評議員會ノ議長ハ組合長ニ當ル但シ第四十五條ノ總會ニ在リテハ認可申請者ノ一人、耕地整理法第五十五條ノ總會議ニ在リテハ編入區域ノ土地所有者ノ一人之ニ當ル

評議員會ノ議事力業務又ハ財産ノ狀況ノ監査ニ關スルトキハ評議員ノ一人其ノ議長ト爲ル第五十九條第三項ニ依リ評議員會ニ付亦同シ

第六十二條 總會、總會議、組合會又ハ評議員會ノ議長ハ會議ノ議事録ヲ作りテ左ノ事項ヲ記載シ之ニ議長及出席シタル組合員、編入區域ノ土地所有者、組合會議員又ハ評議員二人以上記名捺印スヘシ

一 開會ノ日時及場所  
二 組合員、編入區域ノ土地所有者、組合會議員又ハ評議員ノ現在總數及出席シタル者ノ氏名若ハ名稱

〔大阪土〕

三 議事ノ要領  
四 表決シタル事項  
五 贊否ノ數  
耕地整理法第五十條ノ條件ヲ具備スルコトヲ要スル表決ヲ爲ス總會又ハ總會議ノ議事録ニハ前項ニ記載シタル事項ノ外左ノ事項ヲ記載スルコトヲ要ス  
一 組合ノ地區若ハ編入區域内ノ土地ノ所有者總數、總地積及總貸賃價格  
二 贊成者ノ氏名若ハ名稱及其ノ所有スル土地ノ總地積及總會又ハ總會議ノ表決ニ付規約ノ規定ニ依リ特別ノ條件ヲ具備スルコトヲ要トスル場合ニ於テ前二項ニ依リ記載ニシテ其ノ條件ヲ具備シタルコトヲ明カニスルコト能ハサルトキハ之ヲ示スヘキ事項ヲ記載スルコトヲ要ス  
第六十三條 組合長ハ耕地整理法第五十五條ノ規定ニ依リ總會ヲ開カムトスルトキハ召集ノ通知ヲ發スル日ヨリ少ナクモ十日前三日間編入區域ノ屬スル各市役所又ハ町村役場ノ揭示場ニ編入セムトスル區域及總會議ノ日時、場所及目的ヲ揭示スヘシ  
第六十四條 耕地整理法第七十九條第三項ノ規定ニ依リ認可ノ申請書ニハ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル書面ヲ添附スベシ

〔大阪土〕

一 耕地整理法第七十九條第三項ノ規定ニ依ル處分ヲ爲サントスル組合員ノ氏名又ハ名稱及住所

二 前號ノ組合員ノ滯納金額及納期其ノ他滯納金額ノ算出ノ基礎タルベキ事項  
三 市町村ガ耕地整理法第七十九條第一項ノ請求ヲ受ケタル日ヨリ三十日以内ニ其ノ處分ニ著手セズ又ハ九十日以内ニ之ヲ結了セザリシ事實ヲ示スニ足ルベキ事項

第六十四條ノ二 地方長官耕地整理法第七十九條第三項ノ規定ニ依リ認可ヲ爲シタルトキハ遲滞ナク同條第一項ノ市町村ニ之ヲ通知スベシ

第六十四條ノ三 組合長耕地整理法第七十九條第三項ノ規定ニ依ル處分ヲ結了シタルトキハ遲滞ナク其ノ經過ヲ記載シタル報告書ヲ地方長官ニ提出スベシ

第六十五條 耕地整理法第五十四條第一項ノ規定ニ依リ認可ノ申請書ニハ設計書若ハ規約ノ變更、組合ノ解散、合併、地區ノ變更又ハ事業ノ停止ノ事由及之ニ關シ定メタル必要ノ事項ヲ記載シ總會、總會議、組合會又ハ評議員會ノ議事録ノ謄本ヲ添附スヘシ

組合ノ解散、合併、地區ノ減少又ハ債務ノ分擔ニ關スル規約ヲ變更セムトスル場合ニ於テ組合債アルトキハ債權者ノ同意ヲ證スル書面、組合ヲ解散セムトスル場合ニ於テハ尙事業報告書及收支決算書ヲ添附スヘシ

第四十四條ノ規定ハ第二項第一號ヲ除クノ外地區變更ノ認可申請ノ場合ニ於テ地區ニ編入シ又ハ地區ヨリ除斥セラレヘキ土地ニ付之ヲ準用ス但シ其ノ變更力豫約事業者又ハ埋立ノ免許ヲ受ケタル者ノ權利ノ消滅ニ依ルモノナルトキハ權利ノ消滅ヲ證スル書面ヲ添附スヘシ

編入區域ノ土地所有者ノ同意ヲ以テ總會議ニ代ヘタル場合ニ於テハ同意シタル土地所有者ノ氏名若ハ名稱及其ノ所有スル土地ノ地積、貸賃價格ヲ記載シタル書面並其ノ同意ヲ證スル書面ヲ添附スヘシ

第六十五條ノ二 土地所有者ニ非スシテ組合員タルヘキ者ハ第五十六條、第六十一條、第六十二條及前條ノ適用ニ付テハ之ヲ編入區域ノ土地ノ所有者ト看做ス

第六十六條 組合ガ耕地整理法第五十三條第一項第一號、第二號、第七號ノ事由ニ依リ解散シタルトキハ組合長又ハ最終ニ組合員タリシ者ヨリ事業報告書及收支決算書ヲ添附シテ其ノ旨ヲ遲滞ナク地方長官ニ届出ツヘシ

第六十七條 組合ガ耕地整理法第五十三條第一項第四號乃至第六號ノ事由ニ依リ解散シタルトキハ遲滞ナク組合長ヨリ事業報告書及收支決算書ヲ地方長官ニ差出スヘシ

第六十八條 組合ガ合併シタルトキハ耕地整理ニ關スル一切ノ書類及帳簿ハ合併後存續シ又ハ合併ニ依リ設立シタル組合ニ於テ之ヲ保存スヘシ



第六十九條 清算終了シタルトキハ組合長ハ遲滞ナク清算ニ關スル報告書ヲ作り之ヲ總組合員ニ報告シ且之ヲ添附シテ清算終了ノ旨ヲ地方長官ニ届出ツヘシ

第四章 耕地整理組合聯合會

第六十九條ノ二 耕地整理組合聯合會ヲ設ケムトスルトキハ各組合連署ヲ以テ認可ヲ申請スヘシ  
前項ノ認可申請書ニハ各組合ノ聯合會設立ニ關スル議事録ノ謄本ヲ添附スヘシ

第六十九條ノ三 第四十六條、第四十七條、第六十條、第六十條ノ二、第六十四條乃至第六十四條ノ三、第六十五條第一項、第二項及第六十六條乃至第六十九條ノ規定ハ耕地整理組合聯合會ニ之ヲ準用ス

附則

第七十條 本則ハ耕地整理法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス(明治四十二年十月十六日施行)  
明治三十三年農商務省令第十四號ハ之ヲ廢止ス

第七十一條 耕地整理法施行前耕地整理ニ關シ發起又ハ施行ノ認可ヲ得タルモノニ付テハ本則第四條、第十條、第十一條、第十二條ノ二、第十七條ノ二、第十七條ノ三、第十九條乃至第二十三條、第二十七條、第三十八條及第六十四條乃至第六十四條ノ三ノ規定ヲ準用スルノ外舊則ノ規定ヲ適用ス但シ舊則第三十一條中農商務大臣トアルハ地方長官トス

〔大阪土〕

〔大阪土〕

第七十二條 耕地整理法施行前耕地整理ノ發起ノ認可ヲ得タル者ヲ耕地整理組合ト爲サムトスルトキハ發起人又ハ整理委員ハ總會ヲ召集シテ本則第八條第五號、第十號及第九條第一號乃至第五號、第九號、第十一號ノ事項其ノ他必要ナル事項ニ付設計書及規約ノ變更ヲ議決シ並組合長、組合副長、評議員ヲ置ケモノニ在リテハ評議員ヲ選舉シ總會ノ議事録ヲ添附シテ大正二年十月十五日迄ニ耕地整理組合ト爲スノ認可ヲ地方長官ニ申請スヘシ  
前項ノ總會ニハ耕地整理法及本則ノ規定ヲ適用ス  
耕地整理法第七十三條第三項ノ認可申請ハ第一項ノ申請ト同時ニ之ヲ爲スヘシ此ノ場合ニ於テハ本則第四十六條第二項ノ規定ヲ準用ス

第七十三條 前條ノ場合ニ於テ百人以上ノ參加土地所有者アルトキハ發起人又ハ整理委員ハ總代選舉規程ヲ作りテ地方長官ノ認可ヲ得タル後其ノ選舉規程ニ依リ選舉シタル總代ヲ以テ組織スル總代會ヲ召集シ總會ニ代フルコトヲ得  
前項ノ總代會ニハ耕地整理法第六十六條、第六十八條第一項並本則第五十二條、第五十三條及第六十二條第一項ノ規定ヲ準用ス

第七十四條 前二條ノ總會又ハ總代會ニ在リテハ第七十二條ニ記載シタル事項ノ外必要ナル事項ヲ表決スルコトヲ得  
第七十五條 耕地整理法施行前耕地整理發起ノ認可ヲ申請シ

第二條 耕地整理法第三十四條第二項、第五十條第一項、第五十五條第二項、第五十六條第二項、第六十五條第二項又ハ第六十八條第二項ノ規定ニ依ル土地ノ賃貸價格ノ計算ニ付テハ昭和九年三月三十一日迄從前ノ地價又ハ從前ノ第五條若ハ附則第三條ノ規定ニ依リ附シタル假地價ニ依ルコトヲ得

第三條 前條ノ場合ニ於テ耕地整理施行若ハ耕地整理組合設立ノ認可申請者又ハ整理施行者ハ左ノ規定ニ依ルヘシ  
一 第五條ノ改正規定ニ依リ賃貸價格ヲ附スヘキ場合ニ於テハ從前ノ第五條ノ規定ニ依リ假地價ヲ附スルコト  
二 土地ノ異動ニ因リ本則施行後賃貸價格ノ修正又ハ設定アリタル土地ニ付テハ修正又ハ設定ノ都度前號ノ規定ニ準シ假地價ヲ附スルコト

三 第二十八條第一項第四號、第三十二條第一號、第二號、第三十三條第一號、第三號、第四十條、第四十一條、第四十四條第一項第一號、同條第二項第一號、第六十二條第二項又ハ第六十五條第四項ノ規定ニ依リ土地ノ賃貸價格又ハ賃貸價格ヲ記載スヘキ場合ニ於テハ從前ノ地價又ハ從前ノ第五條若ハ前二號ノ規定ニ依リ附シタル假地價ヲ記載スルコト

第四條 昭和六年法律第二十九號附則第三條第一項ノ規定ニ依ル賃貸價格配賦ノ申請ハ昭和九年三月三十一日迄ニ申請

未タ之ヲ得ルニ至ラサル者ニシテ耕地整理組合設立ノ申請ト爲サムトスルトキハ發起人ハ參加土地所有者ノ總會議ヲ召集シ本則第八條第五號、第十號及第九條第一號乃至第五號、第九號、第十一號ノ事項其ノ他必要ナル事項ニ付設計書及規約ノ變更ヲ議決シ總會議ノ議事録ヲ添附シ明治四十二年四月十五日迄ニ耕地整理組合設立ノ申請ト爲ス旨ヲ地方長官ニ届出ツヘシ  
前項ノ場合ニ於テハ第七十二條第二項及第七十三條ノ規定ヲ準用ス

附則 (大正四年農商務省令第八號)

本令ハ大正三年法律第三十二號施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス  
本令施行前耕地整理法第三十條第三項又ハ舊耕地整理法第四十八條ノ認可アリタルモノニシテ未タ耕地整理法第三十六條ノ登記ノ申請ヲ爲ササルモノニ付テハ地方長官ハ第十七條ノ二及第十七條ノ三ニ準シテ管轄登記所ニ其ノ旨ヲ通知スヘシ

附則 (昭和六年農林省令第七號)

第一條 本令ハ昭和六年四月一日ヨリ之ヲ施行ス



書及貸賃價格配賦案ヲ所轄稅務署長ニ提出シテ之ヲ爲スヘシ  
第十三條第二項、第三項及第十七條ノ二ノ改正規定ハ前項ノ貸賃價格配賦案ニ之ヲ準用ス

昭和六年法律第二十九號附則第四條第二項ノ規定ニ依ル假貸賃價格決定ノ申請ハ第一項ノ申請ト共ニ之ヲ爲スヘシ

第五條 昭和六年法律第二十九號附則第四條第二項ノ規定ニ依ル假貸賃價格決定ノ申請書ニハ前條第三項ノ規定ニ依リ申請ヲ爲ス場合ヲ除クノ外整理施行地區内ノ土地ノ字、地番、地目、地積及假貸賃價格ノ見積額ヲ記載シタル書面ヲ添付スヘシ

第十七條ノ二ノ改正規定ハ前項ノ假貸賃價格ノ見積額ニ之ヲ準用ス

第六條 昭和十年三月三十一日迄ニ昭和六年法律第二十九號附則第四條第二項ノ規定ニ依リ假貸賃價格決定ノ申請ナキトキハ所轄稅務署長ハ職權ヲ以テ假貸賃價格ヲ定ムヘシ

第七條 昭和六年法律第二十九號附則第九條又ハ第十條第一項ノ規定ニ依ル假賃價格ノ修正又ハ設定ノ申請ハ昭和八年三月三十一日迄ニ申請書ヲ所轄稅務署長ニ提出シテ之ヲ爲スヘシ

第十二條ノ二第二項及第十七條ノ二ノ改正規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

〔大阪土〕

アリタル後六十日以内ニ申請書ヲ所轄稅務署長ニ提出シテ之ヲ爲スヘシ

第十七條第二項及第十七條ノ二ノ改正規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第十一條 從前ノ第十三條第二項ノ規定ニ依リ地價配賦案ノ承認ヲ得未タ地價配賦ヲ爲サル整理施行地區内ノ土地ニ付テハ整理施行者ハ第十三條第二項及第三項ノ改正規定ニ準シ貸賃價格配賦案ヲ作成スヘシ

第十七條ノ二ノ改正規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第十二條 第十六條ノ二ノ改正規定ハ昭和六年法律第二十九號附則第四條第二項、第六條第一項若ハ第三項、第八條、第十四條又ハ第十五條第二項若ハ第三項ノ規定ニ依リ比率ヲ算出スル場合ニ之ヲ準用ス

第十三條 主務大臣昭和六年法律第二十九號附則第十六條ノ規定ニ依ル指定ヲ爲シタルトキハ之ヲ告示ス

第十四條 第五條及第十條乃至第十七條ノ二ノ改正規定竝ニ附則第九條、第十一條及前條ノ規定ハ第七十一條ノ規定ニ拘ラス明治三十二年法律第八十二號耕地整理法ニ依リ耕地整理ニ關シ發起又ハ施行ノ認可ヲ得タル者ニシテ耕地整理法第九十六條ノ規定ニ依リ耕地整理組合ト爲ラス且未タ地價配賦ヲ爲サルモノニ之ヲ準用ス  
前項ノ規定ニ該當スル整理施行地區ニシテ從前ノ規定ニ依

第八條 從前ノ第十五條ノ二ノ規定ニ依ル申請ニシテ未タ處分ヲ終ラサルモノハ左ノ區分ニ從ヒ之ヲ第十二條ノ三ノ改正規定ニ依ル申請ト看做ス

一 耕地整理地價据置年期ノ申請ハ開墾シタル土地ニ付爲シタルモノニ在リテハ耕地整理開墾減租年期ノ申請、地目變換ヲ爲シタル土地ニ付爲シタルモノニ在リテハ耕地整理地目變換減租年期ノ申請トス

二 耕地整理新開免租年期ノ申請ハ埋立地又ハ干拓地ニ付爲シタルモノニ在リテハ耕地整理埋立免租年期ノ申請、其ノ他ノ土地ニ付爲シタルモノニ在リテハ耕地整理開拓免租年期ノ申請トス

第九條 昭和六年法律第二十九號附則第十二條又ハ第十三條第一項ノ規定ニ依ル假賃價格ノ修正又ハ設定ノ申請ハ昭和八年三月三十一日迄ニ申請書ヲ所轄稅務署長ニ提出シテ之ヲ爲スヘシ

耕地整理法第十五條第一項ノ土地ニ付前項ノ申請ヲ爲ス場合ニ於テハ第十條ノ三第二項及第十七條ノ二ノ改正規定ヲ、耕地整理法第十五條第三項ノ土地ニ付前項ノ申請ヲ爲ス場合ニ於テハ第十二條ノ二第二項及第十七條ノ二ノ改正規定ヲ準用ス

第十條 昭和六年法律第二十九號附則第十四條ノ規定ニ依ル配當ノ申請ハ同法附則第三條ノ規定ニ依ル假賃價格ノ配賦

〔大阪土〕

リ工事完了ノ届出ヲ爲シタルモノニ耕地整理法第十四條第一項、第十四條ノ二又ハ第十五條第三項ノ規定ニ依リ假賃價格ノ修正又ハ設定ノ申請ヲ爲スヘキ土地アル場合ニ於テハ整理施行者ハ昭和八年三月三十一日迄ニ第十二條ノ二ノ改正規定ニ依ル申請書ヲ所轄稅務署長ニ提出スヘシ此ノ場合ニ於テハ第十二條ノ三ノ改正規定ニ依ル年期許可ノ申請ハ其ノ假賃價格ノ修正又ハ設定ノ申請ヲ爲シタル後三十日以内ニ之ヲ爲スヘシ

第十五條 第五條ノ改正規定竝ニ附則第四條乃至第六條、第九條、第十條、第十二條及第十三條ノ規定ハ第七十一條ノ規定ニ拘ラス明治三十二年法律第八十二號耕地整理法ニ依リ耕地整理ニ關シ發起又ハ施行ノ認可ヲ得タル者ニシテ耕地整理法第九十六條ノ規定ニ依リ耕地整理組合ト爲ラス且既ニ地價配賦ヲ爲シタルモノニ之ヲ準用ス

第十六條 附則第三條ノ規定ハ昭和九年三月三十一日迄前二條ノ規定ニ該當スル耕地整理ニ關シ之ヲ準用ス

第十七條 第十七條ノ三ノ改正規定ハ昭和六年法律第二十九號附則第三條第一項、第九條、第十條第一項、第十二條、第十三條第一項、第十四條及第十七條第二項ノ規定ニ依ル處分ニ之ヲ準用ス

第十八條 前四條ノ規定ハ耕地整理法第九十二條第二項但書ニ規定スル者ニ之ヲ準用ス



●耕地整理地取扱手續

明治四十二年十月二十六日  
大藏省訓令第二十八號

改正 大正一四年三月大藏省訓令第四號

稅務監督局 稅務署

第一條 耕地整理施行者ヨリ整理施行ノ認可アリタルコトノ申告アリタルトキハ相當調査ヲ爲シ其ノ地區内ニ耕地整理法第十五條第一號ノ土地アルトキハ工事著手前實地臨檢ノ上毎筆地價ノ修正又ハ設定ヲ爲シ土地臺帳ノ整理ヲ爲スヘシ

第二條 耕地整理施行者ヨリ工事完了ノ申告アリタルトキニ於テ耕地整理法第十四條第一項、第三項及第十五條第二號ニ依リ從前ノ地域ニ依リ地價ヲ設定又ハ修正スヘキ土地アルトキハ實地臨檢ノ上直ニ之ヲ設定又ハ修正ヲ爲スヘシ

第三條 耕地整理施行者ヨリ地價配賦ノ請求アリタルトキハ實地臨檢ノ上毎筆ニ地價ヲ附シ相當ニ地價ヲ配賦スヘシ

第四條 整理地ノ地番ハ其ノ地區内ニ於ケル從前ノ地番中首位ニ在ルモノヨリ順次之ヲ附シ從前ノ地番ノ最終番ヲ超エル場合ニ於テハ便宜ノ土地ニ付一二三等ノ符號ヲ附シタル地番ヲ用フヘシ但シ其ノ順位ニ當ル地番地區外ノ土地ニ在ルカ爲重複スルトキハ之ヲ除外スヘシ

大字ノ全部ヲ地區ニ編入シタル場合ニ於テ其ノ地番力他大

〔大阪土〕

字ノ土地ニ通シテ附セラレタルモノニ非サルトキハ從前ノ地番ノ最終番ヲ超ユルモ妨ケナシ

第五條 耕地整理法施行規則第十五條ニ該當スル土地アルトキハ實地ノ狀況ニ依リ工事ノ利益ヲ受ケタルヤ否ヤヲ調査シ相當處理スヘシ

第六條 整理地ニ關スル土地臺帳ノ登錄ハ新ニ之ヲ爲シ從前ノ登錄ハ其ノ沿革欄ニ異動ノ事由ヲ記入シ置クヘシ

第七條 前條ニ依リ整理地ヲ土地臺帳ニ登錄シタル場合ニ於テ開墾著手後九年(大正八年五月三十一日迄)若ハ二十年(大正八年六月一日以降)ヲ經過セサルモノ又ハ各種ノ年期ヲ有スル土地ニシテ其ノ年期終了セサルモノアルトキハ荒地臺帳開墾地臺帳其ノ他ノ臺帳ニ於ケル當該土地ノ事故欄ニ耕地整理ノ爲年期消滅ノ旨ヲ記入シ其ノ記載事項ヲ朱抹スヘシ

第八條 耕地整理法第十六條ニ依リ事業關係者ニ於テ負擔又ハ利益ヲ受クヘキ土地及其ノ金額ヲ定ムルコトニ付協議一致セサルトキハ實地ノ狀況ニ依リ公平適實ニ之ヲ定ムヘシ

第九條 耕地整理法第十六條ニ依リ負擔又ハ利益ヲ受クヘキ金額ハ土地臺帳ノ沿革欄ニ其ノ負擔又ハ利益ヲ受クヘキ期間及金額ヲ記載シ其ノ期間中ハ其ノ金額ヲ加除シテ地租ノ徵收ヲ爲スヘシ

〔大阪土〕

前項ノ負擔又ハ利益ヲ受クヘキ土地ニ付テハ別記様式ノ帳簿ヲ作り之ヲ整理スヘシ

第十條 土地臺帳ノ整理ヲ了シタルトキハ有租地集計簿ヲ整理(別記様式)

理スヘシ  
第十一條 耕地整理ニ關ス 圖面ハ永久之ヲ保存スヘシ

耕地整理地租調理臺帳

摘要	田(何々)		何市町村	
	大字	字地番	段	別
大正十一年十月開墾地	九重	二見三	町	一〇〇〇
同	向島	梅川五		五〇〇〇
同				一五〇〇
大正十二年一月一日現在				三〇〇〇
大正十二年五月元地目變換地	神山	馬場七		六〇〇〇
同				一八〇〇
同				一〇〇〇
元開墾地	同	同	八	五〇〇〇
大正十二年十二月三十一日現在				一七五〇
				四六〇〇
				〇〇〇〇
				一三五〇〇
				四五〇〇
				一〇〇〇
				三〇〇〇
				〇〇〇〇
				四

備考

- 一 大字毎ニ地番ヲ付シタル市町村ニ在リテハ字ノ記載ヲ要セス
  - 二 異動ナキトキハ重ねテ現在額ヲ掲グルヲ要セス
  - 三 負擔ヲ受クヘキ土地ト利益ヲ受クヘキ土地トニ口座ヲ設クルモノトス
- 第十一類 都市計畫 耕地整理 市街地建築物 第二章 耕地整理



●耕地整理登記令

明治四十二年十月十二日  
勅令第二百三十三號

改正 大正二年五月勅令第九二號、四年五月第八〇號

- 第一條 耕地整理法第三十七條ノ規定ニ依ル土地及建物ニ關スル登記ノ特例ニ付テハ本令ニ依ル
- 第二條 耕地整理ニ依ル土地ニ關スル登記ハ整理施行地區内ノ從前ノ土地既登記ナルカ又ハ從前ノ土地數箇ニ對シ一箇ノ換地ヲ交付シタル場合ニ於テ其ノ數箇ノ土地中ニ既登記ノモノアルトキ換地ニ付之ヲ爲ス整理施行後其ノ上ニ既登記ノ地役權存續スヘキ換地ニ付亦同シ
- 第三條 (削除)
- 第四條 土地ニ關スル登記ノ申請書ニハ左ノ事項ヲ記載シ整理施行者又ハ其ノ代理人之ニ署名捺印スヘシ
  - 一 從前ノ土地及換地ノ所在ノ郡、市、區、町村、字及土地ノ番號
  - 二 從前ノ土地並換地ノ地目及段別若ハ坪數
  - 三 換地ノ交付ヲ受ケタル者ノ氏名及住所若法人ナルトキハ其ノ名稱及事務所
- 四 耕地整理ニ因リテ登記ヲ申請スル旨
- 五 登記所ノ表示
- 六 年月日

〔大阪土〕

- 第五條 換地ノ上ニ既登記ノ地役權存續スル場合ニ於テハ申請書ニ前條ニ掲ケタル事項ノ外左ノ事項ヲ記載シ尙地役權換地ノ一部ニ付存スルトキハ其ノ部分ヲ表示シタル圖面ヲ添附スヘシ
  - 一 耕地整理施行前ニ於ケル換地ノ所在ノ郡、市、區、町村、字及土地ノ番號
  - 二 耕地整理施行前ニ於ケル換地ノ地目及段別若ハ坪數
  - 三 耕地整理施行前ニ於ケル換地ノ所有者ノ氏名及住所若法人ナルトキハ其ノ名稱及事務所
  - 四 地役權換地ノ一部ニ付存スルトキハ其ノ部分及符號
- 第六條 從前ノ土地ノ全部又ハ一部ニ付既登記ノ所有權以外ノ權利又ハ處分ノ制限アルトキハ申請書ニ其ノ權利又ハ處分ノ制限ノ目的タル土地又ハ其ノ部分ヲ指定シテ交付シタル換地ノ部分及其ノ部分ノ符號ヲ記載スヘシ
- 第七條 從前ノ土地ニ對シ換地ヲ交付セサル場合ニ於テハ申請書ニ其ノ旨ヲ記載スヘシ
- 第七條ノ二 從前ノ土地數箇ニ對シ一箇ノ換地ヲ交付シタル場合ニ於テ其ノ數箇ノ土地中ニ未登記ノモノアルトキハ申請書ニ其ノ未登記ナル旨ヲ記載スヘシ未登記ノ從前ノ土地ニ對シ換地ヲ交付シタル場合ニ於テ其ノ換地ニ地役權ノ登記アルトキ亦同シ
- 第八條 耕地整理ニ依ル土地ノ登記ノ申請ハ整理施行地區ノ

〔大阪土〕

- 全部ニ付同一ノ申請書ヲ以テ之ヲ爲スヘシ但シ規約ヲ以テ整理施行地區ヲ數區ニ分チタル場合ニ於テハ其ノ各區毎ニ之ヲ爲スヘシ
- 前項ノ規定ハ換地ニ付權利ノ設定又ハ移轉ノ登記ヲ必要トスルトキ其ノ他特別ノ事由アル場合ニ於テ整理施行地區内ノ一部ノ土地ニ付登記ノ申請ヲ爲スコトヲ妨ケス
- 前項ノ規定ニ依リ登記ノ申請ヲ爲ス場合ニ於テハ申請書ニ其ノ事由ヲ記載スヘシ
- 整理施行地區方ニ以上ノ登記所ノ管轄ニ涉ル場合ノ申請ニ關シテハ司法大臣ノ定ムル所ニ依ル
- 第八條ノ二 耕地整理ニ依ル土地ニ關スル登記ヲ申請スル場合ニ於テ必要アルトキハ整理施行者ハ登記名義人又ハ相續人ニ代リ土地ノ表示若ハ登記名義人ノ表示ノ變更又ハ相續ニ因ル所有權移轉ノ登記ヲ申請スルコトヲ得
- 第八條ノ三 不動産登記法第四十六條ノ二、第五十條第三項、第六十條ノ二及第六十三條ノ三ノ規定ハ前條ノ登記ニ之ヲ準用ス
- 第八條ノ四 第八條ノ二ノ場合ニ於テハ登記原因及登記ノ目的方異ナルトキト雖同一ノ申請書ヲ以テ登記ヲ申請スルコトヲ得
- 第八條ノ五 耕地整理法第三十條第四項ノ告示アリタル後ハ整理施行地區内ノ土地ニ關シテハ耕地整理ニ因ル登記ヲ爲シタル後ニ非サレハ他ノ登記ヲ爲スコトヲ得ス但シ申請人



記載シ前ノ登記ヲ朱抹シ捺印スヘシ

第十條 従前ノ土地數箇ニ對シ一箇ノ換地ヲ交付シタル場合ニ於テハ登記官吏ハ従前ノ數箇ノ土地中其ノ一箇ノ登記用紙ニ於ケル表示欄ニ換地及従前ノ土地ノ表示ヲ爲シ他ノ登記用紙ニ登記シタル従前ノ土地ニ付テハ其ノ登記番號ヲ轉寫シ耕地整理ニ因リテ登記ヲ爲ス旨ヲ記載シ前ノ表示及其ノ番號ヲ朱抹スヘシ

前項ノ手續ヲ爲シタルトキハ他ノ従前ノ土地ノ登記用紙中表示欄ニ耕地整理ニ因リテ登記何號ニ移シタル旨ヲ記載シ前ノ表示、其ノ番號及登記番號ヲ朱抹シ其ノ登記用紙ヲ閉鎖スヘシ

第十一條 前條ノ場合ニ於テハ換地ノ表示ヲ爲シタル登記用紙中甲區事項欄ニ他ノ従前ノ土地ノ登記用紙ヨリ所有權ニ關スル登記ヲ移シ其ノ登記ハ従前ノ數箇ノ土地中某土地ノミニ關スル旨、耕地整理ニ因リテ登記ヲ爲ス旨、申請書受附ノ年月日及受附番號ヲ記載シ登記官吏捺印スヘシ

従前ノ數箇ノ土地中ニ未登記ノモノアルトキハ換地ノ表示ヲ爲シタル登記用紙中甲區事項欄ニ其ノ土地ヲ表示シテ所有權保存ノ登記ヲ爲シ耕地整理ニ因リテ登記ヲ爲ス旨ヲ記載スヘシ

換地ノ表示ヲ爲シタル登記用紙ニ所有權以外ノ權利又ハ處分ノ制限ニ關スル登記アルトキハ登記官吏ハ其ノ土地ヲ指

〔大阪土〕

定シテ交付シタル換地ノ某部分ノミ其ノ權利又ハ處分ノ制限ノ目的タル旨、耕地整理ニ因リテ變更シタル旨及其ノ年月日ヲ記載シ捺印スヘシ

他ノ従前ノ土地ノ登記用紙ニ所有權以外ノ權利又ハ處分ノ制限ニ關スル登記アルトキハ登記官吏ハ換地ノ表示ヲ爲シタル登記用紙中相當區事項欄ニ其ノ權利又ハ處分ノ制限ニ關スル登記ヲ移シ其ノ土地ヲ指定シテ交付シタル換地ノ某部分ノミ其ノ權利又ハ處分ノ制限ノ目的タル旨、耕地整理ニ因リテ登記何號ヨリ移シタル旨及其ノ年月日ヲ記載シ捺印スヘシ

第十一條ノ二 前條ノ規定ニ依リ他ノ従前ノ土地ノ登記用紙ヨリ所有權其ノ他ノ權利ニ關スル登記ヲ移シタル場合ニ於テ登記原因、其ノ日附、登記ノ目的及受附番號方同一ナルトキハ従前ノ土地ノ登記用紙ニ於ケル登記番號ノミヲ轉寫シ各登記番號ノ土地ニ付同一事項ノ登記アル旨ヲ附記スルヲ以テ足ル

〔大阪土〕

第十二條 従前ノ土地一箇ニ對シ數箇ノ換地ヲ交付シタル場合ニ於テハ登記官吏ハ従前ノ土地ノ登記用紙中表示欄ニ一箇ノ換地ノ表示ヲ爲シ他ノ換地ニ付登記何號ニ登記ヲ爲シタル旨、耕地整理ニ因リテ登記ヲ爲ス旨ヲ記載シ前ノ表示及其ノ番號ヲ朱抹スヘシ

換地ノ表示ヲ爲シタル登記用紙ニ所有權以外ノ權利又ハ處分ノ制限ニ關スル登記アルトキハ登記官吏ハ其ノ土地ヲ指

ノ換地ヲ交付シタル場合ニ之ヲ準用ス

第十五條 未登記ノ従前ノ土地ニ對スル換地ニ地役權ノ登記アル場合ニ於テハ登記官吏ハ登記用紙中登記番號欄ニ其ノ登記簿ニ於ケル登記ノ順序ヲ追ヒテ新ナル番號ヲ記載シ表示欄ニ換地ノ表示ヲ爲シ他ノ換地ニ付登記何號ニ登記ヲ爲シタル旨、耕地整理ニ因リテ登記ヲ爲ス旨ヲ記載スヘシ

第十三條 前條ノ場合ニ於テハ登記官吏ハ他ノ各換地ニ付登記用紙中登記番號欄ニ其ノ登記簿ニ於ケル登記ノ順序ヲ追ヒテ新ナル番號ヲ記載シ表示欄ニ換地ノ表示ヲ爲シ他ノ換地ニ付登記何號ニ登記ヲ爲シタル旨、耕地整理ニ因リテ登記ヲ爲ス旨ヲ記載スヘシ

第十四條 第九條第二項乃至第四項ノ規定ハ従前ノ土地數箇ニ對シ一箇ノ換地ヲ交付シ又ハ従前ノ土地一箇ニ對シ數箇

第十六條 従前ノ土地ニ對シ換地ヲ交付セサル場合ニ於テハ登記官吏ハ土地ノ減失ト看做シ登記用紙中表示欄ニ換地ヲ交付セサル事由ヲ記載シ土地ノ表示、其ノ番號及登記番號ヲ朱抹シ其ノ登記用紙ヲ閉鎖スヘシ

第十七條 前條ノ場合ニ於テ従前ノ土地他ノ土地ト共ニ所有權以外ノ權利ノ目的タリシトキハ他ノ土地ノ登記用紙中相當區事項欄ニ従前ノ土地ノ表示ヲ爲シ換地ヲ交付セサル事由ヲ附記シ其ノ土地ト共ニ所有權以外ノ權利ノ目的タル旨ヲ記載シタル登記中従前ノ土地ノ表示ヲ朱抹スヘシ

第十八條 耕地整理ヲ施行スル爲國有ニ屬スル道路、堤塘、溝渠、溜池等ノ全部又ハ一部ヲ廢止シタル場合ニ於テ其ノ手續ヲ爲スヘシ



不用ニ歸シタル既登記ノ土地ヲ整理施行地ノ所有者ニ交付シタルトキハ當該官廳ハ遲滞ナク其ノ登記ノ抹消ヲ登記所ニ囑託スヘシ

第十八條ノ二 第十六條及第十七條ノ規定ハ前條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第十九條 甲登記所ノ管轄ニ屬スル從前ノ土地ニ對シ乙登記所ノ管轄内ニ於テ換地ヲ交付シタル場合ニ於テハ甲登記所ハ既登記ノ土地ニ付テハ其ノ土地ニ關スル登記簿ノ謄本及附屬書類若ハ其ノ謄本ヲ乙登記所ニ移送シ未登記ノ土地ニ付テハ其ノ未登記ナル旨ヲ乙登記所ニ通知スヘシ但シ登記簿ノ謄本ニハ抹消ニ係ラサル登記ノミヲ謄寫スヘシ前項ノ場合ニ於テ甲登記所ハ從前ノ土地ノ登記用紙ヲ閉鎖スヘシ

第二十條 前條ノ場合ニ於テ從前ノ土地一箇ニ對シ一箇ノ換地ヲ交付シタルトキハ乙登記所ハ換地ニ付登記用紙中登記簿欄ニ其ノ登記簿ニ於ケル登記ノ順序ヲ追ヒテ新ナル番號ヲ記載シ表示欄ニ換地ノ表示ヲ爲シ其ノ登記ノ末尾ニ前登記區畫ノ表示ヲ爲シ前登記番號及耕地整理ニ因リテ登記ヲ爲ス旨ヲ記載スヘシ

〔大阪土〕

〔大阪土〕

第九條第二項乃至第四項及第十三條第二項、第三項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第二十三條ノ二 第十條及第二十二條ノ規定ハ甲乙兩登記所ノ管轄ニ屬スル從前ノ土地數箇ニ對シ乙登記所ノ管轄内ニ於テ一箇ノ換地ヲ交付シタル場合ニ之ヲ準用ス

第二十三條ノ三 第十二條及第二十三條ノ規定ハ甲登記所ノ管轄ニ屬スル從前ノ土地一箇ニ對シ甲乙兩登記所ノ管轄内ニ於テ數箇ノ換地ヲ交付シタル場合ニ之ヲ準用ス

第二十四條 同一ノ登記所ノ管轄内ニ於テ町村其ノ他登記簿ヲ分設シタル甲登記區畫ニ屬スル從前ノ土地ニ對シ換地トシテ乙登記區畫ニ屬スル土地ヲ交付シタルトキハ登記官吏ハ乙登記區畫ノ登記簿ニ其ノ換地ニ關スル登記ヲ爲スヘシ第二十條乃至第二十三條ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

乙登記區畫ノ登記簿ニ登記ヲ移シタルトキハ甲登記區畫ニ屬スル從前ノ土地ノ登記用紙ハ之ヲ閉鎖スヘシ

第二十四條ノ二 第二十三條ノ二及第二十三條ノ三ノ規定ハ同一ノ登記所ノ管轄内ニ於テ町村其ノ他登記簿ヲ分設シタル甲乙兩登記區畫ニ屬スル從前ノ土地數箇ニ對シ換地トシテ乙登記區畫ニ屬スル一箇ノ土地ヲ交付シ又ハ甲登記區畫ニ屬スル從前ノ土地一箇ニ對シ換地トシテ甲乙兩登記區畫ニ屬スル數箇ノ土地ヲ交付シタル場合ニ之ヲ準用ス

登記簿ノ謄本ニ所有權以外ノ權利又ハ處分ノ制限ニ關スル登記アルトキハ登記官吏ハ換地ノ登記用紙中相當事項欄ニ登記簿ノ謄本ヨリ其ノ權利及處分ノ制限ニ關スル從前ノ登記ヲ移シ耕地整理ニ因リテ登記ヲ爲ス旨及其ノ年月日ヲ記載シ捺印スヘシ

第二十一條 第九條第二項乃至第四項ノ規定ハ前條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第二十二條 甲登記所ノ管轄ニ屬スル從前ノ土地數箇ニ對シ乙登記所ノ管轄内ニ於テ一箇ノ換地ヲ交付シタル場合ニ於テハ乙登記所ハ換地ニ付登記用紙中登記番號欄ニ其ノ登記簿ニ於ケル登記ノ順序ヲ追ヒテ新ナル番號ヲ記載シ表示欄ニ換地及從前ノ土地ノ表示ヲ爲シ其ノ登記番號ヲ轉寫シ耕地整理ニ因リテ登記ヲ爲ス旨ヲ記載スヘシ

第九條第二項乃至第四項、第十一條及第十一條ノ二ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第二十三條 甲登記所ノ管轄ニ屬スル從前ノ土地一箇ニ對シ乙登記所ノ管轄内ニ於テ數箇ノ換地ヲ交付シタル場合ニ於テハ乙登記所ハ各換地ニ付登記用紙中登記番號欄ニ其ノ登記簿ニ於ケル登記ノ順序ヲ追ヒテ新ナル番號ヲ記載シ表示欄ニ換地ノ表示ヲ爲シ其ノ登記ノ末尾ニ前登記區畫ノ表示ヲ爲シ前登記番號及耕地整理ニ因リテ登記ヲ爲ス旨ヲ記載スヘシ

第二十四條ノ三 換地ニ付登記ヲ爲ス場合ニ於テ從前ノ土地ノ登記用紙ヨリ所有權其ノ他ノ權利ニ關スル登記ヲ移シ又ハ轉寫スルトキハ現ニ效力ヲ有スル登記ノミヲ移シ又ハ轉寫スルコトヲ得

第二十五條 從前ノ土地舊登記簿ニ登記シタルモノナル場合ニ於テ本令ニ依リ登記用紙ヲ閉鎖スヘキトキハ舊登記簿ニ其ノ登記ヲ爲スヘシ

第二十六條 耕地整理ニ依ル建物ニ關スル登記ハ耕地整理施行ノ爲既登記ノ建物ノ分合、其ノ番號若ハ構造ノ變更、其ノ滅失、其ノ建坪ノ増減又ハ建物ノ新築アリタルトキ之ヲ爲ス登記シタル建物ノ敷地ノ番號ノ變更アリタルトキ亦同シ

第二十六條ノ二 第八條ノ二乃至第八條ノ四ノ規定ハ前條ノ登記ニ之ヲ準用ス

第二十七條 耕地整理法第三十六條ノ規定ニ依リ整理施行者ノ爲スヘキ建物ニ關スル登記ノ申請ハ土地ニ關スル登記ノ申請ト共ニ之ヲ爲スヘシ

第二十八條 登記官吏土地及建物ニ關スル登記ヲ完了シタルトキハ其ノ旨整理施行者ニ通知スヘシ  
前項ノ場合ニ於テ其ノ通知ヲ受クヘキ者共同施行者ナルトキハ申請書ニ掲ケタル筆頭ノ者ノミニ通知スルヲ以テ足ル

第二十九條 登記官吏第十五條ノ規定ニ依リ登記ヲ爲シタルトキハ換地及從前ノ土地ノ表示、耕地整理ニ因リテ所有權



及地役權ニ關スル登記ヲ爲シタル旨ヲ換地ノ所有者ニ通知スヘシ

附則

第三十條 本令ハ耕地整理法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス(明治四十二年十月十六日)

整理地登記規則ハ之ヲ廢止ス

第三十一條 舊耕地整理法第四十八條ノ認可アリタル土地ノ登記ニ關シテハ第七條乃至第八條ノ五、第十一條ノ二及第十六條乃至第二十四條ノ三ノ規定ヲ準用スルノ外整理地登記規則ヲ適用ス但シ同規則第三條第二號及第三號ノ規定ハ此ノ限ニ在ラス

●耕地整理登記令施行細則

明治四十二年十月十四日  
司法省令第二十一號

改正 大正二年五月司法省令第一六號、四年五月第四號、五年二月第二五號

第一條 耕地整理登記令ニ依ル登記ニ付テハ本令ニ別段ノ定アルモノヲ除クノ外不動産登記法施行細則ノ規定ニ依ル  
第二條 整理施行地區方ニ以上ノ登記所ノ管轄ニ涉ル場合ニ於テハ土地ニ關スル登記ノ申請ハ各登記所ノ管轄ニ屬スル

〔大阪土〕

地域毎ニ之ヲ爲スヘシ

第三條 (削除)

第四條 耕地整理登記令第五條ノ規定ニ依リ登記ノ申請書ニ添付スヘキ圖面ニハ換地ノ所在ノ郡、市、區、町村、字、土地ノ番號並方位及地役權ノ存スル換地ノ部分ノ段別若ハ坪數並其ノ部分ノ符號ヲ記載シ申請人ニ署名捺印スヘシ  
第五條 耕地整理法第三十條第四項ノ規定ニ依ル地方長官ノ通知書及左ニ掲グル添附書類ハ之ヲ申請書ニ合綴シ別冊ト爲スヘシ

- 一 耕地整理法第三十條第三項ノ規定ニ依ル認可書ノ謄本
- 二 整理施行者ノ氏名、住所又ハ名稱及事務所ヲ記載シタル書面
- 三 換地説明書
- 四 整理確定圖

前項ノ通知書及第一號乃至第三號ノ書類ハ申請書受附ノ日ヨリ十年間之ヲ保存スヘシ但シ耕地整理登記令第八條第二項ノ規定ニ依リ整理施行地區内ノ一部ノ土地ニ付登記ノ申請アリタル場合ニ於テハ最後ノ申請書受附ノ日ヨリ之ヲ起算スヘシ  
第一項第四號ノ圖面ニハ番號ヲ附シ永久ニ之ヲ保存スヘシ  
第六條 第四條ノ圖面ニハ申請書受附ノ年月日、受附番號及登記番號ヲ記載シ前條ノ書類ニ之ヲ合綴スヘシ

〔大阪土〕

前項ノ圖面ニハ番號ヲ附シ永久ニ之ヲ保存スヘシ  
第六條ノ二 整理確定圖ニハ申請書受附ノ年月日及受附番號ヲ記載スヘシ但シ整理施行地區内ノ一部ノ土地ニ付登記ノ申請アリタル場合ニ於テハ其ノ都度之ヲ記載スヘシ

第六條ノ三 第五條第三項ノ整理確定圖ノ番號ハ土地ノ登記用紙中表示欄ニ爲シタル登記ノ末尾ニ、第六條第二項ノ圖面ノ番號ハ乙區事項欄ニ爲シタル登記ノ末尾ニ之ヲ記載スヘシ

第七條 耕地整理登記令第十一條第二項ノ場合ニ於テ未登記ノ從前ノ土地カ二箇以上ナルトキハ其ノ土地ヲ併記シテ所有權保存ノ登記ヲ爲スコトヲ得

第八條 耕地整理ニ因ル登記ヲ完了シタルトキハ從來ノ土地登記見出帳ノ全部又ハ一部ヲ改製スヘシ但シ整理施行地區内ノ土地算少ナルカ爲改製ヲ要セサルトキハ不動産登記法施行細則第八條ノ規定ニ從ヒ見出帳ノ整理ヲ爲スコトヲ得

第九條 耕地整理登記令第八條ノ三、第十九條第一項、第二十六條ノ二、第二十八條、第二十九條及第三十一條ノ通知事項、通知ヲ受クヘキ者及通知ヲ發スル年月日ハ不動産登記法施行細則第十四條第十三號ノ通知簿ニ之ヲ記入スヘシ  
第十條 耕地整理登記令第八條ノ三、第二十六條ノ二、第二十八條、第二十九條及第三十一條ノ通知ハ郵便其ノ他便宜ノ方法ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

第十一條 耕地整理登記令第二十九條ノ通知ハ換地カ共有ナル場合ニ於テハ共有者ノ一人ニ之ヲ爲スヲ以テ足ル  
第十二條 耕地整理法第九條ノ規定ニ依ル登記簿及其ノ附屬書類ノ謄寫ハ登記官吏ノ面前ニ於テ之ヲ爲サシムヘシ  
第十三條 耕地整理登記令第八條ノ五但書ノ規定ニ依リ登記ノ申請ヲ爲ス場合ニ於テハ申請書ニ其ノ旨ヲ記載スヘシ

附則

本令ハ明治四十二年十月十六日ヨリ之ヲ施行ス  
整理地登記取扱手續ハ之ヲ廢止ス但シ第六條ノ二ノ規定ハ舊耕地整理法ニ依リ耕地整理ヲ施行シタル土地ノ登記ニ關シテ仍效力ヲ有ス



### 第三章 市街地建築物

#### ●市街地建築物法

大正八年四月五日  
法律第三十七號

改正 昭和九年四月法律第四六號

- 第一條 主務大臣ハ本法ヲ適用スル區域内ニ住居地域、商業地域又ハ工業地域ヲ指定スルコトヲ得
- 第二條 建築物ニシテ住居ノ安寧ヲ害スル虞アル用途ニ供スルモノハ住居地域内ニ之ヲ建築スルコトヲ得ス
- 第三條 建築物ニシテ商業ノ利便ヲ害スル虞アル用途ニ供スルモノハ商業地域内ニ之ヲ建築スルコトヲ得ス
- 第四條 工場、倉庫其ノ他之ニ準スヘキ建築物ニシテ規模大ナルモノ又ハ衛生上有害若ハ保安上危険ノ虞アル用途ニ供スルモノハ工業地域内ニ非サレハ之ヲ建築スルコトヲ得ス
- 主務大臣必要ト認ムルトキハ前項ノ建築物ニシテ著シク衛生上有害又ハ保安上危険ノ虞アル用途ニ供スルモノニ付テハ工業地域内ニ於テ其ノ建築ニ付特別地區ヲ指定スルコトヲ得
- 第五條 前三條ニ規定スル建築物ノ種類ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第十一類 都市計畫 耕地整理 市街地建築物 第三章 市街地建築物

〔大阪土〕

- 第六條 前四條ノ規定ノ適用ニ付テハ新ニ建築物ノ用途ヲ定メ又ハ建築物ヲ他ノ用途ニ供スルトキハ其ノ用途ニ供スル建築物ヲ建築スルモノト看做ス
- 第七條 道路幅ノ境界線ヲ以テ建築線トス但シ特別ノ事由アルトキハ行政官廳ハ別ニ建築線ヲ指定スルコトヲ得
- 第八條 建築物ハ其ノ敷地ガ命令ノ定ムル所ニ依リ道路敷地ニ接スルニ非ザレバ之ヲ建築スルコトヲ得ズ但シ特別ノ事由アル場合ニ於テ行政官廳ノ許可ヲ受ケタルトキハ此ノ限ニ在ラズ
- 第九條 建築物ハ建築線ヨリ突出シテ之ヲ建築スルコトヲ得ズ但シ建築物ノ地盤面下ニ在ル部分ハ此ノ限ニ在ラズ
- 第十條 行政官廳ハ市街ノ計畫上必要ト認ムルトキハ建築線ニ面シテ建築スル建築物ノ壁面ノ位置ヲ指定スルコトヲ得
- 第十一條 建築物ヲ建築スル場合ニ於ケル其ノ高又ハ其ノ敷地内ニ存セシムヘキ空地ニ關シテハ地方ノ狀況、地域及地區ノ種別、土地ノ情態、建築物ノ構造、前面道路ノ幅員等ヲ參酌シ勅令ヲ以テ必要ナル規定ヲ設クルコトヲ得
- 第十二條 主務大臣ハ建築物ノ構造、設備又ハ敷地ニ關シ衛生上又ハ保安上必要ナル規定ヲ設クルコトヲ得
- 第十三條 主務大臣ハ火災豫防上必要ト認ムルトキハ防火地區ヲ指定シ其ノ地區内ニ於ケル防火設備又ハ建築物ノ防火構造ニ關シ必要ナル規定ヲ設クルコトヲ得



防火地區内ニ於テハ建物ノ部分ヲ爲ス防火壁ハ土地ノ疆界線ニ接シ之ヲ設クルコトヲ得

第十四條 主務大臣ハ學校、集會場、劇場、旅館、工場、倉庫、病院、市場、屠場、火葬場其ノ他命令ヲ以テ指定スル特殊建築物ノ位置、構造、設備又ハ敷地ニ關シ必要ナル規定ヲ設クルコトヲ得

第十五條 主務大臣ハ美觀地區ヲ指定シ其ノ地區内ニ於ケル建築物ノ構造、設備又ハ敷地ニ關シ美觀上必要ナル規定ヲ設クルコトヲ得

第十六條 主務大臣ハ建築物ノ工事執行ニ關シ必要ナル規定ヲ設クルコトヲ得

第十七條 行政官廳ハ建築物左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ其ノ除却、改築、修繕、使用禁止、使用停止其ノ他ノ必要ナル措置ヲ命スルコトヲ得

- 一 保安上危險ト認ムルトキ
- 二 衛生上有害ト認ムルトキ

三 本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ違反シテ建築物ヲ建築シタルトキ

第十八條 本法適用區域ノ設定若ハ變更、地域若ハ地區ノ指定若ハ變更其ノ他ノ場合ニ於テ從來存在スル建築物方其ノ後新ニ建築セラレタリトセハ本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ違反スヘキモノナルトキハ行政官廳ハ相當ノ期間ヲ

〔大阪土〕

指定シ其ノ建築物ニ付前條ニ掲グルル必要ナル措置ヲ命スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依ル措置ヲ命スルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ建築物所在地ノ公共團體ヲシテ損失ヲ補償セシム  
前項ノ規定ニ依リ補償ヲ受ケヘキ者補償金額ニ付不服アルトキハ其ノ金額決定ノ通知ヲ受ケタル日ヨリ三月内ニ通常裁判所ニ出訴スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ訴訟シ又ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

第十九條 建築主、建築工事請負人、建築工事管理者又ハ建築物ノ所有者若ハ占有者若ハ本法若ハ本法ニ基キテ發スル命令又ハ之ニ基キテ爲ス處分ニ違反シタルトキハ二千圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

第二十條 前條ノ規定ハ前條ニ掲グルル者未成年者又ハ禁治産者ナルトキハ其ノ法定代理人ニ之ヲ適用ス但シ營業ニ關シ成年者ト同一ノ能力ヲ有スル未成年者其ノ營業ニ關シ前條ニ規定スル違反ヲ爲シタルトキハ此ノ限ニ在ラス

前條ニ掲グルル者ハ其ノ代理人、戶主、家族、同居者、雇人其ノ他ノ從業者其ノ營業ニ關シ前條ニ規定スル違反ヲ爲シタルトキハ自己ノ指揮ニ出テサルノ故ヲ以テ處罰ヲ免ルルコトヲ得  
前條ニ掲グルル者法人ナルトキハ明治三十三年法律第五十二號ヲ準用ス

〔大阪土〕

第二十一條 本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ規定シタル事項ニ付行政官廳ノ爲シタル處分ニ不服アル者ハ訴訟スルコトヲ得

本法ニ依リ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得ル場合ニ於テハ主務大臣ニ訴願スルコトヲ得

第二十二條 本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ規定シタル事項ニ付行政官廳ノ爲シタル違法處分ニ因リ權利ヲ毀損セラレタリトスル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

第二十三條 本法適用ノ區域ハ主務大臣ノ指定スル市街地トス

特別ノ必要アル場合ニ於テハ主務大臣ハ前項ノ市街地ノ外ニ互リ本法適用ノ區域ヲ指定スルコトヲ得

第二十四條 本法ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ建築工事中ノ建築物、建築工事ニ著手セサルモ設計アル建築物又ハ建築物ニ非サル工作物ニ之ヲ準用スルコトヲ得

第二十五條 本法ノ全部又ハ一部ノ適用ヲ必要トセサル建築物ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第二十六條 本法ニ於テ道路ト稱スルハ幅員九尺以上ノモノヲ謂フ

道路ノ新設又ハ變更ノ計畫アルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ其ノ計畫ノ道路ハ之ヲ道路ト看做ス

附則

第十一類 都市計畫 耕地整理 市街地建築物 第三章 市街地建築物

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム (大正九年勅令第五百三十九號ヲ以テ大正九年十二月一日施行)

附則 (昭和九年法律第四十六號)

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム (昭和九年勅令第三百三十九號ヲ以テ昭和十年二月一日施行)

從前ノ第二十三條ノ規定ニ基キ指定セラレタル區域ハ同條ノ改正規定ニ依リ指定セラレタルモノト看做ス



改正 大正一二年八月勅令第三九五號、一三年六月第一五二號、一二月第三〇四號、昭和四年六月第二一三號、六年一二月第二九四號、八年一二月第三三七號、九年一二月第三四〇號

第一條

建築物左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ住居地域内ニ之ヲ建築スルコトヲ得ズ但シ第一號乃至第四號ニ該當スル建築物ニシテ行政官廳住居ノ安寧ヲ害スル虞ナシト認ムルモノ又ハ公益上已ムヲ得ズト認ムルモノハ此ノ限ニ在ラズ

一 常時使用スル原動機馬力數ノ合計三ヲ超過スル工場

二 左ニ掲グル事業ヲ營ム工場  
イ 玩具用普通火工品ノ製造  
ロ 「アセチレンガス」ヲ用フル金屬ノ工作（單ニ修繕スルモノヲ除ク）

ハ 「ドライクリーニング」〔單ニ拂拭スルモノヲ除ク〕又ハ「ドライダイニング」

ニ 「セルロイド」ノ加熱加工又ハ鋸機ヲ用フル加工

ホ 塗料ノ吹付

ヘ 亞硫酸「ガス」ヲ用フル物品ノ漂白

ト 骨炭其ノ他動物質炭ノ製造

チ 羽又ハ毛ノ洗滌、染色又ハ漂白

リ 襪襪、屑綿、屑紙、屑絲、屑毛ノ類ノ消毒、選別、洗滌又ハ漂白

ヌ 製綿、古綿ノ再製、起毛、反毛又ハ「フェルト」ノ製

〔大阪土〕

市街地建築物法施行令

大正九年九月三十日 勅令第四百三十八號

〔大阪土〕

造ニシテ原動機ヲ用フルモノ

ル 骨、角、牙、蹄、貝殻ノ挽割若ハ乾燥研磨又ハ金屬

ノ乾燥研磨ニシテ原動機ヲ用フルモノ

ヲ 鑛物、岩石、土砂、硫黃、金屬、硝子、煉瓦、陶磁

器、骨又ハ貝殻ノ粉碎ニシテ原動機ヲ用フルモノ

ヲ 墨、懷爐灰又ハ煉炭ノ製造

カ 煉瓦、土器類、陶磁器、人造砥石又ハ坩堝ノ製造

ニ 硝子ノ製造又ハ砂吹

タ 動力槌ヲ用フル鍛冶

三 室面積ノ合計五十平方メートルヲ超過スル自動車ノ車

庫 四 劇場、活動寫眞館、演藝場又ハ觀物場

五 待合又ハ貨座敷

六 倉庫業ヲ營ム倉庫

七 火葬場又ハ産穢物處理場

八 屠場又ハ死畜處理場

九 塵芥又ハ汚物ノ處理場

十 前各號ニ掲グルモノヲ除クノ外行政官廳住居ノ安寧ヲ

害スル虞アリト認メ命令ヲ以テ指定スルモノ

第二條 建築物左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ商業地域内ニ

之ヲ建築スルコトヲ得ズ但シ第一號又ハ第二號ニ該當スル

建築物ニシテ行政官廳商業ノ利便ヲ害スル虞ナシト認ムル

モノ又ハ公益上已ムヲ得ズト認ムルモノハ此ノ限ニ在ラズ

一 常時使用スル原動機馬力數ノ合計十五ヲ超過スル工場

但シ日刊新聞印刷所ヲ除ク

二 前條第二號ニ該當スルモノ

三 前條第七號乃至第九號ニ該當スルモノ

四 前各號ニ掲グルモノヲ除クノ外行政官廳商業ノ利便ヲ

害スル虞アリト認メ命令ヲ以テ指定スルモノ

第三條 建築物左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ工業地域内ニ

非ザレバ之ヲ建築スルコトヲ得ズ但シ第一號、第二號又ハ

第四號ニ該當スル建築物ニシテ行政官廳衛生上有害ノ若ハ

保安上危険ノ虞ナシト認ムルモノ又ハ公益上已ムヲ得ズト

認ムルモノハ此ノ限ニ在ラズ

一 常時使用スル原動機馬力數ノ合計五十ヲ超過スル工場

但シ日刊新聞印刷所ヲ除ク

二 左ニ掲グル事業ヲ營ム工場

イ 銃砲火藥類取締法ノ火藥類ノ製造

ロ 鹽素酸鹽類、過鹽素酸鹽類、硝酸鹽類、黃磷、赤磷、

硫化磷、金屬「カリウム」、金屬「ナトリウム」、「マグネ

シウム」、過酸化水素水、過酸化「カリ」、過酸化「ソー

ダ」、過酸化「バリウム」、二硫化炭素、「メタノール」、「ア

ルコール」、「エーテル」、「アセトン」、「醋酸「エステル」

類、「ニトロセルロース」、「ベンゾール」、「トルオー



ル、「キシロール」、「ピクリン」酸、「ピクリン」酸鹽類、「テレピン」油又ハ石油類ノ製造  
 ハ 燐寸ノ製造  
 ニ 「セルロイド」ノ製造  
 ホ 「ニトロセルロース」製品ノ製造  
 ヘ 「ビスコース」製品ノ製造  
 ト 合成染料若ハ其ノ中間物、顔料、塗料(漆ヲ除ク)、印刷用「インキ」又ハ繪具ノ製造  
 チ 溶劑ヲ用フル「ゴム」製品又ハ芳香油ノ製造  
 リ 乾燥油又ハ溶劑ヲ用フル擬革紙布又ハ防水紙布ノ製造  
 ヌ 溶劑ヲ用フル塗料ノ加熱乾燥又ハ燒付  
 ル 石炭「ガス」類又ハ「コークス」ノ製造  
 ヲ 壓縮「ガス」又ハ液體「ガス」ノ製造  
 ッ 鹽素、「アロム」、「ヨード」、硫黃、鹽化硫黃、弗化水素酸、鹽酸、硝酸、硫酸、磷酸、苛性「カリ」、苛性「ソーダ」、「アンモニア」水、炭酸「カリ」、洗濯「ソーダ」、「ソーダ」灰、晒粉、次硝酸若鉛、亞硫酸鹽類、「チオ」硫酸鹽類、砒素化合物、「バリウム」化合物、鉛化合物、銅化合物、水銀化合物、「シアン」化合物、「クロロホルム」、四鹽化炭素、「ホルマリン」、「ズルホチール」、「グリセリン」、「イヒチオールスルホン」酸「アンモン」、

〔大阪土〕

醋酸、石炭酸、安息香酸、「タンニン」酸、「アセトアニリド」、「アスピリン」又ハ「グアヤコール」ノ製造  
 カ 蛋白質ノ加水分解ニ依ル製品ノ製造  
 コ 油脂ノ採取又ハ加熱加工  
 ク 石鹼、「フアクチス」又ハ「ペークライト」ノ製造  
 ケ 肥料ノ製造  
 コ 製革、製膠又ハ毛皮若ハ骨ノ精製  
 ケ 「アスファルト」ノ精製  
 ナ 「アスファルト」、「コールタール」、木「タール」、石油蒸溜産物又ハ其ノ殘渣ヲ原料トスル製造  
 ニ 「セメント」、石膏、消石灰、生石灰又ハ「カーバイド」ノ製造  
 ッ 金屬ノ熔融又ハ精煉  
 ヴ 電氣用「カーボン」ノ製造  
 ウ 金屬厚板又ハ形鋼ノ工作ニシテ鋸打又ハ填隙作業ヲ伴フモノ  
 エ 鐵釘類又ハ鋼球ノ製造  
 オ 伸線、伸管又ハ「ロール」ヲ用フル金屬ノ壓延  
 カ 前號ニ掲グルモノヲ除クノ外行政官廳衛生上有害ノ又ハ保安上危険ノ虞アリト認め命令ヲ以テ指定スル事業ヲ營ム工場

〔大阪土〕

四 第二號イ、ロ、ハ、ニ及ヲノ物品、可燃性「ガス」又ハ「カーバイド」ノ貯藏又ハ處理ニ供スルモノ

五 前號ニ掲グルモノヲ除クノ外行政官廳衛生上有害ノ又ハ保安上危険ノ虞アリト認め命令ヲ以テ指定スル物品ノ貯藏又ハ處理ニ供スルモノ

第三條ノ二 前三條ノ規定又ハ市街地建築物法第四條第二項ノ規定ニ依リ現在地ニ建築スルコトヲ得ザル種類ニ屬スル建築物ハ現在地ニ建築スルコトヲ得ザルニ至リタル日ヨリ十五年間ヲ限り行政官廳ノ許可ヲ受ケ左記各號ニ規定スル制限内ニ於テ増築、改築、再築又ハ用途ノ變更ヲ爲スコトヲ妨グズ

- 一 現在地ニ建築スルコトヲ得ザルニ至リタル際現ニ存在スル建築物ノ敷地及之ト一團ヲ成ス土地ヲ超エテ増築、改築、再築又ハ用途ノ變更ヲ爲サザルコト
- 二 建築物ノ増築、改築、再築又ハ用途ノ變更ニ因リ増加スベキ建築面積ハ現在地ニ建築スルコトヲ得ザルニ至リタル際現ニ存在スル建築物ノ建築面積ノ二分ノ一ヲ超過セザルコト
- 三 建築物ノ増築、改築、再築又ハ用途ノ變更ニ因リ増加スベキ床面積ハ現在地ニ建築スルコトヲ得ザルニ至リタル際現ニ存在スル建築物ノ床面積ヲ超過セザルコト
- 四 工場ノ常時使用スル原動機馬力數ヲ増加スル場合ニ於

テ増加スベキ馬力數ハ現在地ニ建築スルコトヲ得ザルニ至リタル際常時使用スル馬力合計數ヲ超過セザルコト但シ行政官廳土地ノ狀況、事業ノ種類、作業方法又ハ建築物ノ構造設備ニ依リ特ニ支障ナシト認めルモノハ此ノ限ニ在ラズ

五 前號ニ掲グルモノヲ除クノ外用途ノ變更ニ付テハ現在地ニ建築スルコトヲ得ザルニ至リタル際現ニ存在スル建築物ノ用途ニ類似スル用途又ハ設備ヲ變更セズ若ハ之ニ些少ノ變更ヲ加フルニ依リ營ムコトヲ得ル用途ニ限ルコト

第二十六條ノ規定ニ依リ建築ノ許可ヲ受ケタル建築物ハ前項ノ規定ノ適用ニ付テハ之ヲ現在地ニ建築スルコトヲ得ザルニ至リタル際現ニ存在スル建築物ト看做ス

第四條 建築物ノ高ハ住居地域内ニ於テハ二十メートルヲ、住居地域外ニ於テハ三十一メートルヲ超過スルコトヲ得ズ但シ建築物ノ周圍ニ廣潤ナル公園、廣場、道路其ノ他ノ空地アル場合ニ於テ行政官廳交通上、衛生上及保安上支障ナシト認めルトキハ此ノ限ニ在ラス

第五條 煉瓦造建築物、石造建築物及木造建築物ハ高三メートル軒高九メートルヲ、木骨煉瓦造建築物及木骨石造建築物ハ高八メートル軒高五メートルヲ超過スルコトヲ得ズ前項ノ石造ニハ人造石造及「コンタリト」造ヲ、木造ニハ



土藏造ヲ包含ス

第一項ノ木骨煉瓦造建築物トハ厚十センチメートル以上ノ煉瓦積ヲ以テ木骨ヲ被覆又ハ填充シテ外壁ヲ構成スルモノヲ謂ヒ木骨石造建築物トハ厚十センチメートル以上ノ石、人造石又ハ「コンクリート」ヲ以テ木骨ヲ被覆又ハ填充シテ外壁ヲ構成スルモノヲ謂フ

一建築物ニシテ外壁二種以上ノ構造ヨリ成ルモノニ付テハ第一項ノ規定ノ適用ニ關シ制限ノ最嚴ナルモノニ依ル

第六條 前二條ニ規定スル建築物ノ高トハ地盤面ヨリ建築物ノ最高部迄ノ高ヲ謂フ

前條第一項ノ軒高トハ地盤面ヨリ建築物ノ外壁上端迄ノ高、外壁上端ニ扶欄、扶壁又ハ軒蛇腹アルトキハ其ノ最高部迄ノ高、出軒ノ場合ニハ軒桁上端迄ノ高ヲ謂フ但シ切妻ノ部分ハ軒高ニ之ヲ算入セス

前二項ノ地盤面ニ高底アルトキハ行政官廳其ノ地盤面ヲ認定ス

第七條 建築物各部分ノ高ハ其ノ部分ヨリ建築物ノ敷地ノ前面道路ノ對側境界線迄ノ水平距離ノ一倍四分ノ一ヲ超過スルコトヲ得ス且其ノ前面道路幅員ノ一倍四分ノ一ニハメートルヲ加ヘタルモノヲ限度トス但シ住居地域外ニ在ル建築物ニ付テハ一倍四分ノ一ヲ一倍二分ノ一トス

前項ノ高トハ前面道路ノ中央ヨリノ高ヲ謂フ

〔大阪土〕

第八條 建築物ノ敷地カ幅員同シカラサルニ以上ノ道路ニ接スル場合ニ於テ一ノ道路ノ境界線迄ノ水平距離カ其ノ道路幅員ノ一倍二分ノ一以內ニシテ且二十五メートル以內ノ區域ノ内ニ在ル建築物各部分ノ高ニ付テハ前條ノ規定ノ適用ニ關シ其ノ道路ヲ前面道路ト看做ス

前項ノ規定ニ依ル前面道路ニ以上アル場合ニ於テ其ノ幅員同シカラサルトキハ幅員小ナル前面道路ハ幅員最大ナル前面道路ト同一ノ幅員ヲ有スルモノト看做ス

第一項ノ場合ニ於テ同項ニ規定スル區域ノ外ニ在ル建築物各部分ニ付テハ幅員最大ナル道路ヲ前面道路ト看做ス

第九條 道路境界線カ建築線ト一致セサル場合ニ於テハ道路境界線又ハ道路幅員ニ關スル前二條ノ規定ノ適用ニ關シ建築線ヲ其ノ道路境界線ト看做ス

第十條 建築物ノ敷地左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ前三條ノ規定ニ拘ラス行政官廳別段ノ定ヲ爲スコトヲ得

- 一 公園、廣場、河、海ノ類ニ接スルトキ
- 二 前面道路ノ對側ニ公園、廣場、河、海ノ類アルトキ
- 三 其ノ地盤面ト前面道路ノ路面トノ高低ノ差著シキトキ
- 四 高低ノ差著シキニ以上ノ道路ニ接スルトキ
- 五 道路ノ終端ニ位スルトキ

第十一條 行政官廳ハ土地ノ狀況ニ依リ特ニ必要ト認ムルトキハ區域ヲ指定シ其ノ區域内ニ於ケル建築物ノ高ノ最低限度

〔大阪土〕

度又ハ最高限度ヲ定ムルコトヲ得

第十二條 煙突、棟飾、避雷針、旗竿、風見竿等建築物ノ屋上ニ突出スルモノノ高ハ建築物ノ高ニ之ヲ算入セス

裝飾塔、物見塔、屋窓、昇降機塔、水槽等建築物ノ屋上突出部ノ高ハ行政官廳命令ノ定ムル所ニ依リ建築物ノ高ニ之ヲ算入セサルコトヲ得

第十三條 本令中高ニ關スル規定ハ煙突、物見塔、扛重機、水槽、氣槽、無線電信管柱ノ類及工業用建築物ニシテ行政官廳其ノ用途ニ依リ已ムヲ得スト認メ許可シタルモノニ付之ヲ適用セス

本令中高ニ關スル規定ハ社寺建築物ニシテ行政官廳ノ許可ヲ受ケタルモノニ付之ヲ適用セス

第十四條 建築物ノ建築面積ハ建築物ノ敷地ノ面積ニ對シ住居地域内ニ於テハ十分ノ六、商業地域内ニ於テハ十分ノ八、住居地域及商業地域外ニ於テハ十分ノ七ヲ超過スルコトヲ得ス但シ行政官廳特ニ指定シタル角地其ノ他ノ地區ニ於ケル建築物ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第十四條ノ二 行政官廳ハ土地ノ狀況ニ依リ特ニ必要ト認ムルトキハ區域ヲ指定シ其ノ區域内ニ於ケル建築物ノ敷地内ニ存セシムベキ空地ノ最小限度ヲ定ムルコトヲ得

第十四條ノ三 都市計畫區域内ニ於テ第十一條ノ規定ニ依リ建築物ノ最低限度若ハ最高限度ヲ定ムル場合又ハ前條ノ規

定ニ依リ建築物ノ敷地内ニ存セシムベキ空地ノ最小限度ヲ定ムル場合ニ於テハ行政官廳ハ之ヲ都市計畫委員會ノ議ニ付スベシ

第十五條 本令ニ於テ建築面積トハ建築物ノ水平斷面ニ於ケル外壁ノ又ハ之ニ代ルベキ柱ノ中心線内面積中最大ナルモノヲ謂フ但シ地階ニシテ其ノ外壁ノ高地盤面上ニメートル以下ノモノノ部分ノ面積ハ之ヲ建築面積ト看做サス

軒、庇、枯出線ノ類カ前項ノ中心線ヨリ突出スルトキ一メートルヲ超ユル場合ニ於テハ其ノ外端ヨリ一メートルヲ後退スル線ヲ以テ前項ノ中心線ト看做ス

第十四條ノ建築物ノ敷地ノ面積トハ建築物ノ敷地ノ水平斷面ノ面積中最大ナルモノヲ謂フ

第十六條 本令ニ於テ建築物ノ敷地トハ一構ノ建築物ニ屬スル一團ノ土地ヲ謂フ

第十六條ノ二 建築物ノ敷地ガ二以上ノ地域、地區又ハ第十四條ノ二ノ規定ニ依リ指定セラレタル區域ニ跨ル場合ニ於テ第一條乃至第三條、第十四條又ハ第十四條ノ二ノ規定ノ適用ニ關シテハ制限ノ最嚴ナルモノニ依ル但シ特別ノ事由アル場合ニ於テ行政官廳ノ許可ヲ受ケタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第十七條 市街地建築物法第十八條第二項ノ規定ニ依リ損失ヲ補償スヘキ場合ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ限ル



- 一 地域ノ又ハ工業地域内特別地區ノ指定又ハ變更ニ基キ建築物ノ使用禁止又ハ建築物主要構造部ノ除却ヲ命シタル場合
  - 二 美觀地區ノ指定又ハ變更ニ基キ建築物主要構造部ノ除却ヲ命シタル場合
  - 三 建築線ノ指定又ハ變更ニ基キ建築物ノ主要構造部ノ除却ヲ命シタル場合
  - 四 建築線ニ面スル建築物ノ壁面ノ位置ノ指定ニ基キ建築物主要構造部ノ變更又ハ除却ヲ命シタル場合
  - 五 建築物ノ高又ハ建築物ノ敷地内ニ存セシムヘキ空地ニ關スル規定ニ基キ建築物主要構造部ノ除却ヲ命シタル場合
- 第十八條 市街地建築物法第十八條第二項ノ規定ニ依リ補償スヘキ損失ハ通常生スヘキ損失ニ限ル
- 第十九條 前二條ノ規定ニ依ル損失補償ノ請求ハ市街地建築物法第十八條第一項ノ措置ヲ命セラレタル者之ヲ命セラレタル日ヨリ起算シ三月内ニ之ヲ爲スコトヲ得
- 第二十條 市街地建築物法第十八條第二項ノ公共團體トハ同法第二十三條ノ規定ニ依ル同法適用區域ノ屬スル市町村トス
- 第二十一條 補償義務ノ有無及補償ノ金額ハ補償審査會之ヲ裁定ス

〔大阪土〕

- 第二十二條 補償審査會ハ第二十條ニ規定スル市街地建築物法第十八條第二項ノ公共團體毎ニ之ヲ置ク
- 補償審査會ハ會長一人及委員十二人ヲ以テ之ヲ組織ス
- 第二十三條 會長ハ地方長官ヲ以テ之ニ充ツ
- 委員ハ左ニ掲ケル者ヲ以テ之ニ充ツ
- 一 關係各廳高等官 四人
  - 二 前條第一項ノ公共團體ノ吏員 二人
  - 三 前號ノ公共團體ノ議會ノ議員 四人
  - 四 學識經驗アル者 二人
- 前項第一號、第二號及第四號ノ委員ハ主務大臣之ヲ命シ第三號ノ委員ハ其ノ議會ニ於テ之ヲ選舉ス
- 第二十四條 補償審査會ニ關シテハ土地收用法第二十七條乃至第三十一條、第三十七條、第三十九條、第四十條第一項、第二項、第四十二條乃至第四十五條、第六十九條、第七十二條及第八十三條ノ規定ヲ準用ス
- 第二十二條第一項ノ公共團體ノ二以上ニ互ル建築物ニ關シテハ關係補償審査會合同シテ會議ヲ開クヘシ
- 第二十五條 市街地建築物法第十八條ノ規定ハ建築工事中ノ建築物及建築工事ニ著手セサルモ設計アル建築物ニ之ヲ準用ス
- 第二十六條 行政官廳ハ建築工事中ノ建築物又ハ建築工事ニ著手セサルモ設計アル建築物ニシテ其ノ建築竣成ノ後ニ於

〔大阪土〕

- テ市街地建築物法第十八條第一項ノ規定ニ依ル措置ヲ命スル必要ナシト認ムルモノニ付テハ其ノ建築ヲ許可スルコトヲ得
- 第二十六條ノ二 建築物ノ敷地ヲ造成スル爲ニスル擁壁ニ對シテハ市街地建築物法第九條、第十二條、第十五條乃至第二十二條及第二十五條ノ規定ヲ準用ス
- 第二十七條 市街地建築物法ハ國寶保存法又ハ史蹟名勝天然記念物保存法ノ適用ヲ受クル建築物ニ付之ヲ適用セス
- 第二十八條 左ノ各號ノ一ニ該當スル建築物ニシテ行政官廳支障ナシト認ムルモノニ對シテハ市街地建築物法第八條、第九條及第十一條ノ規定ヲ適用セザルコトヲ得
- 一 鳥居、形像、紀念門、紀念塔ノ類
  - 二 交通信號塔、公共便所ノ類
  - 三 陸橋ノ類
  - 四 地下停車場ノ類
  - 五 高架工作物内ニ設クル倉庫、店舗ノ類
- 第二十九條 博覽會建築物、觀覽場、節門、飾塔、足代、棧橋其ノ他ノ假設建築物ニシテ行政官廳支障ナシト認ムルモノニ對シテハ市街地建築物法第二條乃至第六條、第九條及第十一條ノ規定ヲ適用セザルコトヲ得
- 第二十九條ノ二 市街地建築物法第二十六條第二項ノ道路ノ境域内ニ於テ行政官廳支障ナシト認ムルトキハ同法第八

- 條、第九條及第十一條ノ規定ニ拘ラス存續期限ヲ附シ假設建築物ノ建築ヲ許可スルコトヲ得
- 第三十條 市街地建築物法第二十六條第一項ノ道路ノ新設又ハ變更ノ計畫アル場合ニ於テ行政官廳其ノ計畫ヲ告示シタルトキハ其ノ計畫ノ道路ハ之ヲ道路ト看做ス
- 第三十一條 第四條乃至第十四條ノ三ノ規定ハ市街地建築物法適用區域ニシテ内務大臣ノ指定スルモノニ之ヲ適用セ
- 附則  
本令ハ市街地建築物法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

- 第十一類 都市計畫 耕地整理 市街地建築物 第三章 市街地建築物

第十一類 都市計畫 耕地整理 市街地建築物(終)



第十二類 公園

第十二類 公園  
第一 公園の定義  
公園とは、市民の健康増進及び余暇の充実に資するものとして、公園法により指定するものとする。  
第二 公園の種類  
公園は、第一種公園、第二種公園、第三種公園に分類する。  
第三 公園の設置  
公園は、市長が公園法に基づき設置する。  
第四 公園の管理  
公園は、市長が公園法に基づき管理する。  
第五 公園の維持  
公園は、市長が公園法に基づき維持する。  
第六 公園の廃止  
公園は、市長が公園法に基づき廃止する。

第七 公園の指定  
公園は、市長が公園法に基づき指定する。  
第八 公園の指定区域  
公園は、市長が公園法に基づき指定区域を定める。  
第九 公園の指定区域の範囲  
公園は、市長が公園法に基づき指定区域の範囲を定める。  
第十 公園の指定区域の形状  
公園は、市長が公園法に基づき指定区域の形状を定める。  
第十一 公園の指定区域の面積  
公園は、市長が公園法に基づき指定区域の面積を定める。  
第十二 公園の指定区域の位置  
公園は、市長が公園法に基づき指定区域の位置を定める。  
第十三 公園の指定区域の環境  
公園は、市長が公園法に基づき指定区域の環境を定める。  
第十四 公園の指定区域の交通  
公園は、市長が公園法に基づき指定区域の交通を定める。  
第十五 公園の指定区域の施設  
公園は、市長が公園法に基づき指定区域の施設を定める。



## 第十二類 公園

〔大阪土〕

- 大阪府公園地使用規則……………大正三年一二月府令八三號……………一
- 大阪府公園特殊施設使用條例……………昭和一一年六月條例七號……………三
- 大阪府山田公園ゴルフ場施設使用條例……………昭和一〇年七月條例四號……………八
- 大阪府山田公園ゴルフ場施設使用料……………昭和一二二年三月府告示二九五號……………八